

滋賀県放課後児童クラブ実態調査報告書

令和3年10月

滋賀県

- 目 次 -

I. 調査概要	1
(1)調査目的	1
(2)調査設計	1
(3)回収結果	1
(4)調査結果の見方	1
II. 調査結果	2
1. 児童クラブ施設調査	2
(1)回答者の基本属性	2
(2)支援単位/利用定員/登録児童数について	5
(3)障害児の受け入れについて	20
(4)施設の面積等	21
(5)施設の職員体制	24
(6)情報通信技術(ICT)の活用について	34
(7)職員定着に向けた取り組み	37
(8)職員の採用状況	41
(9)処遇改善等の実施状況	45
(10)運営上の課題、行政への意見 自由回答	48
2. 児童クラブ支援員調査	50
(1)回答者の基本属性	50
(2)現在の就業先の状況	55
(3)退職経験者の実態	71
(4)放課後児童支援員自由回答	79
3. 児童クラブ補助員調査	80
(1)回答者の基本属性	80
(2)現在の就業先の状況	86
(3)退職経験者の実態	104
(4)補助員自由回答	112
4. 児童クラブ事務員調査	113
(1)回答者の基本属性	113
(2)現在の就業先の状況	116
(3)退職経験者の実態	130
(4)児童クラブ事務員自由回答	134
III. 調査票	135

I. 調査概要

(1) 調査目的

放課後児童クラブの現場の職場環境の実態、放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取り組みに繋げることを目的として実施した。

(2) 調査設計

- ① 調査地域：滋賀県内全域
- ② 調査対象：
 - 〔1〕 放課後児童クラブ運営者調査
県内に所在する放課後児童クラブ事業者 376 施設
 - 〔2〕 放課後児童支援員調査
県内放課後児童クラブに勤務する支援員 1,313 人
 - 〔3〕 補助員調査
県内放課後児童クラブに勤務する補助員 1,436 人
 - 〔4〕 その他事務職員調査
県内放課後児童クラブに勤務するその他事務職員 61 人
- ③ 調査方法：郵送配布、郵送回収
- ④ 調査期間：令和3年6月14日（月）から令和3年6月30日（水）

(3) 回収結果

区分	配付数	有効回答数	有効回答率
〔1〕 放課後児童クラブ施設調査	376 件	232 件	61.7%
〔2〕 放課後児童支援員調査	1,313 件	889 件	67.7%
〔3〕 補助員調査	1,436 件	746 件	51.9%
〔4〕 その他事務職員調査	61 件	31 件	50.8%

(4) 調査結果の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ③ 図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

II. 調查結果

1. 児童クラブ施設調査

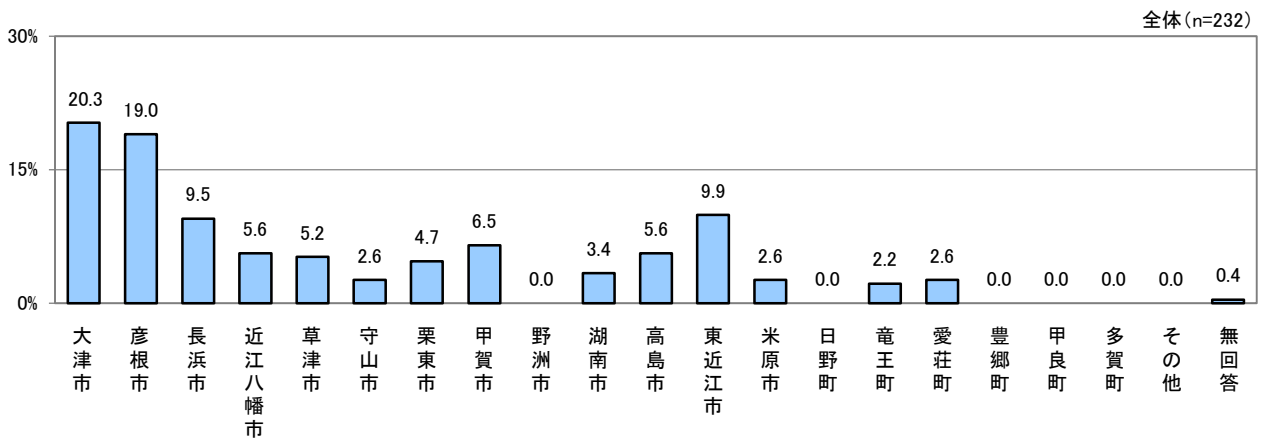
(1) 回答者の基本属性

①施設の所在地

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

①施設の所在地

【図1-1 施設の所在地】



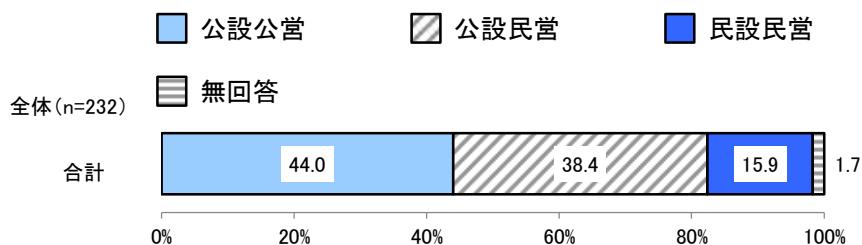
施設の所在地については、「大津市」が20.3%で最も多く、次いで「彦根市」が19.0%、「東近江市」が9.9%、「長浜市」が9.5%となっている。(図1-1)

②施設の種類

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

②施設の種類

【図1-2 施設の種類】



施設の種類の割合については、「公設公営」が44.0%で最も多く、次いで「公設民営」が38.4%、「民設民営」が15.9%となっている。(図1-2)

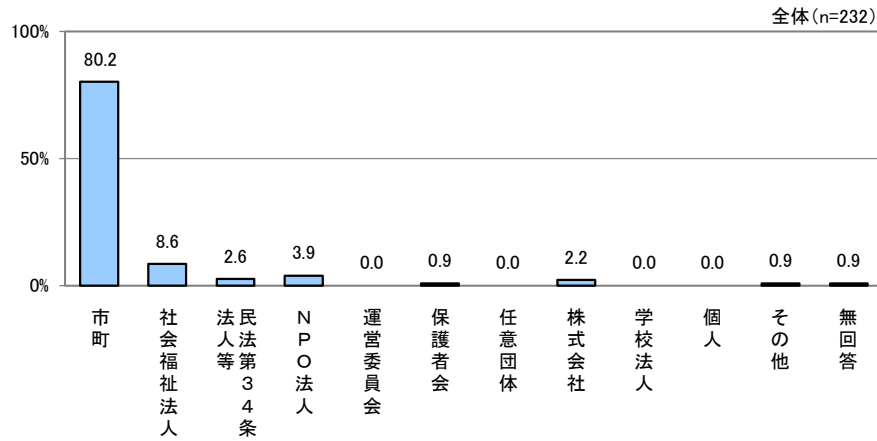
【1 児童クラブ施設調査】

③設置主体

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

③設置主体

【図1-3 設置主体】



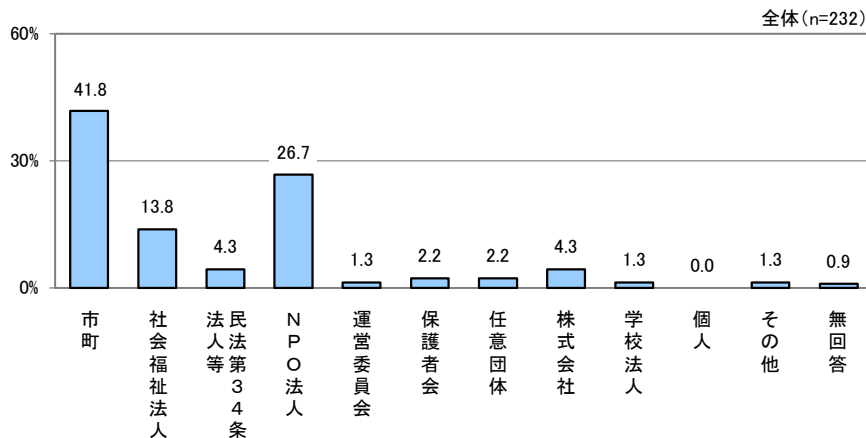
設置主体については、「市町」が80.2%と突出して多くなっている。次いで「社会福祉法人」が8.6%、「NPO法人」が3.9%となっている。(図1-3)

④運営主体

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

④運営主体

【図1-4 運営主体】



運営主体については、「市町」が41.8%で最も多く、次いで「NPO法人」が26.7%、「社会福祉法人」が13.8%となっている。(図1-4)

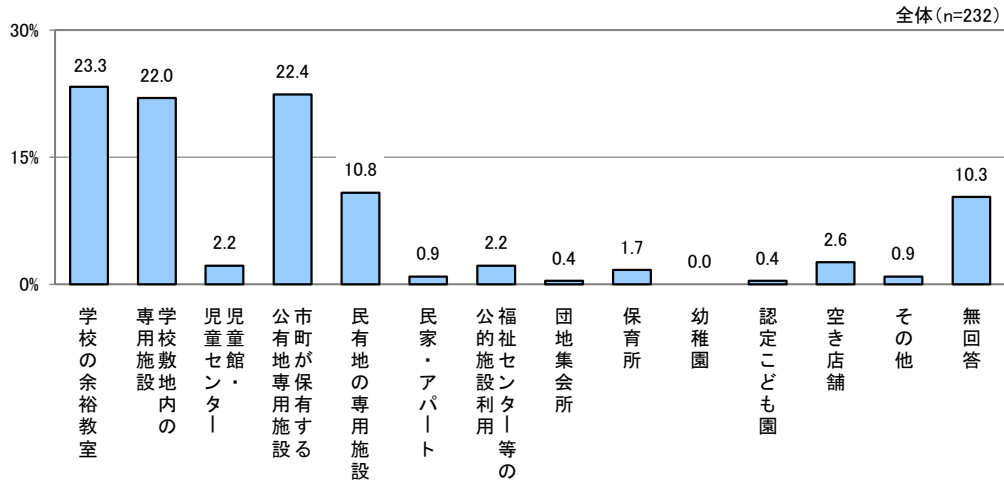
【1 児童クラブ施設調査】

⑤実施場所

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

⑤実施場所

【図1-5 実施場所】



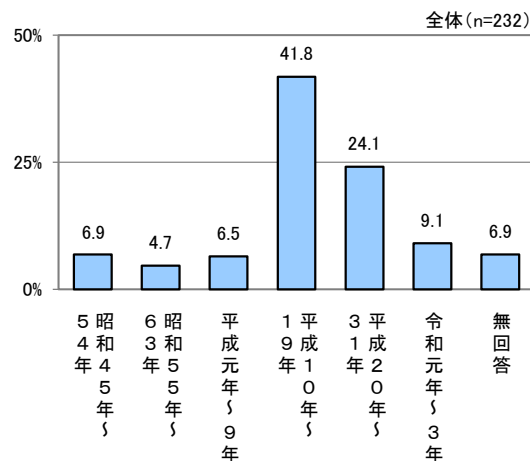
実施場所については、「学校の余裕教室」が23.3%で最も多いが、「市町が保有する公有地専用施設」が22.4%、「学校敷地内の専用施設」が22.0%と、僅差で続いている。(図1-5)

⑥開設年月日

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについておうかがいします。

⑥開設年月日

【図1-6 開設年月日】



開設年月日については、「平成10～19年」が41.8%で最も多く、次いで「平成20～31年」が24.1%、「令和元年～3年」が9.1%となっている。(図1-6)

【1 児童クラブ施設調査】

(2) 支援単位/利用定員/登録児童数について

①支援の単位数

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

①支援の単位数

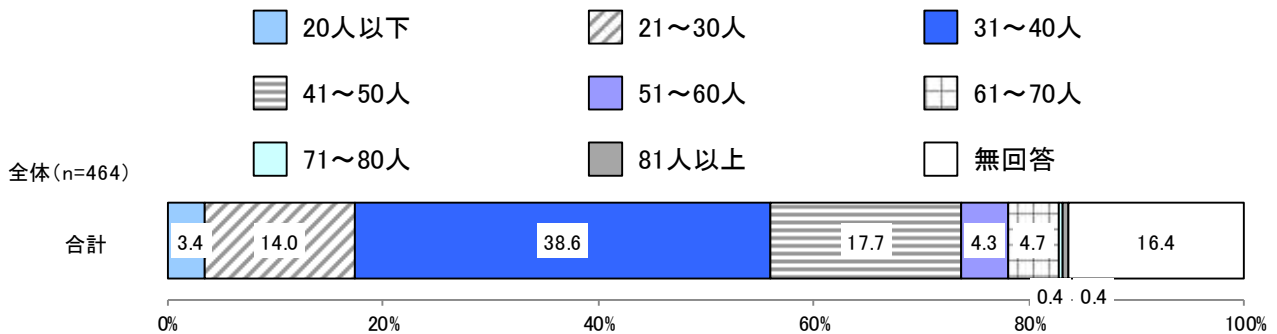
支援の単位数については、232施設、464支援単位、1施設当たり平均2.0支援単位となっており、120施設が複数の支援単位となっている。

②-1 利用定員

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

②利用定員と登録児童数（令和3年5月1日時点）

【図2-2-1 利用定員】



利用定員数は「31~40人」が38.6%で最も多く、「41~50人」が17.7%で続く。利用定員が41人以上の割合は27.5%となっている（図2-2-1）

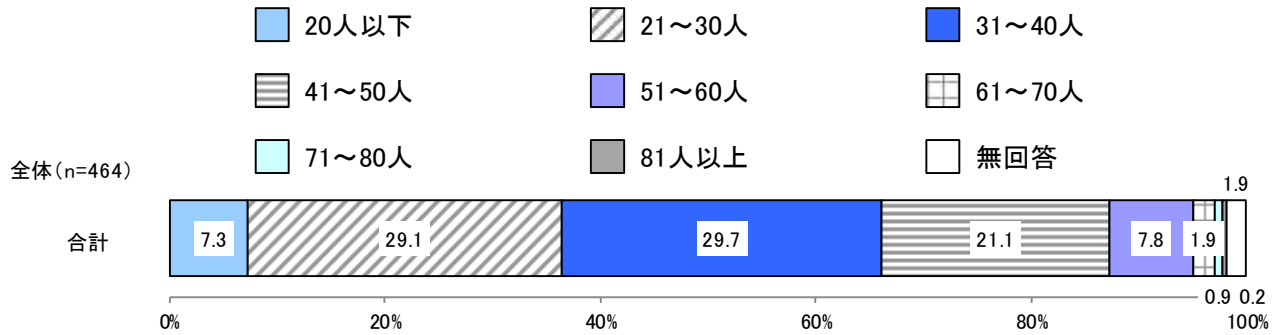
【1 児童クラブ施設調査】

②-2 登録児童数

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

②利用定員と登録児童数（令和3年5月1日時点）

【図 2-2-2 登録児童数】



登録児童数は「31~40人」が29.7%で最も多く、「21~30人」が29.1%で続く。

登録児童数が41人以上の割合は31.9%となっている。（図 2-2-2）

◆利用定員と登録児童数実数（令和3年5月1日時点）

	公設公営	公設民営	民設民営	合計
利用定員	7,663 人	5,941 人	1,653 人	15,257 人
登録児童数	9,408 人	5,193 人	1,464 人	16,065 人

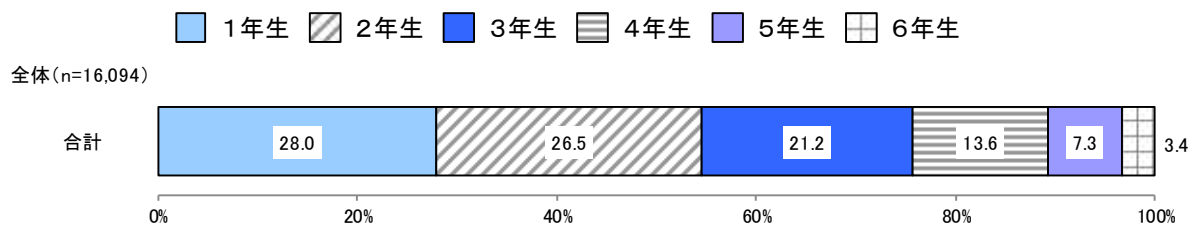
【1 児童クラブ施設調査】

③登録児童数の内訳

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

③登録児童数の内訳（令和3年5月1日時点）

【図2-3 登録児童数の内訳】



登録児童数の内訳については、「1年生」が28.0%で最も多く、次いで「2年生」が26.5%、「3年生」が21.2%となっており、低学年で75.7%を占める。（図2-3）

学年が上がるにつれて、登録児童数に占める割合が低下する。（下表）

◆施設の種別別にみた登録児童数内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
公設公営	2,677 人 28.8 %	2,535 人 27.2 %	1,941 人 20.9 %	1,260 人 13.5 %	632 人 6.8 %	262 人 2.8 %	9,307 人 100.0 %
公設民営	1,324 人 26.1 %	1,273 人 25.1 %	1,088 人 21.4 %	728 人 14.3 %	433 人 8.5 %	230 人 4.5 %	5,076 人 100.0 %
民設民営	428 人 30.2 %	385 人 27.2 %	314 人 22.1 %	157 人 11.1 %	86 人 6.1 %	48 人 3.4 %	1,418 人 100.0 %

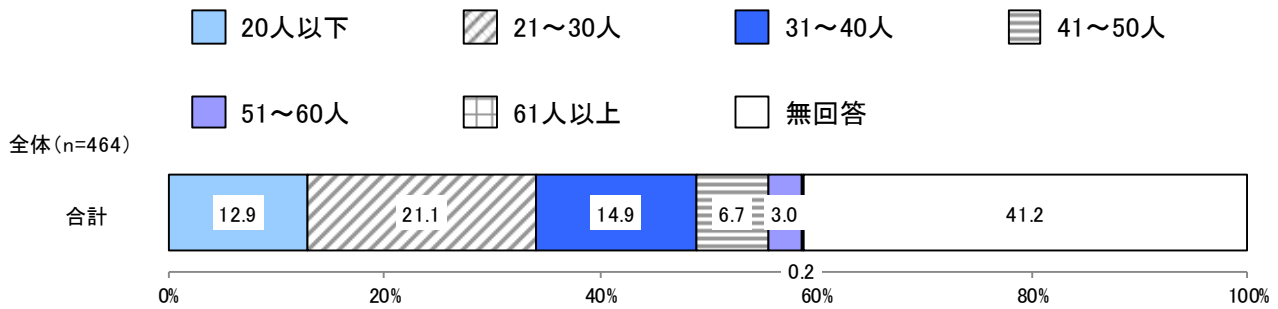
【1 児童クラブ施設調査】

④-1 1日あたり平均利用者数【毎日利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

④ 1日あたりの平均利用者数（児童の数）

【図2-4-1 1日あたり平均利用者数（毎日利用する児童の人数）】



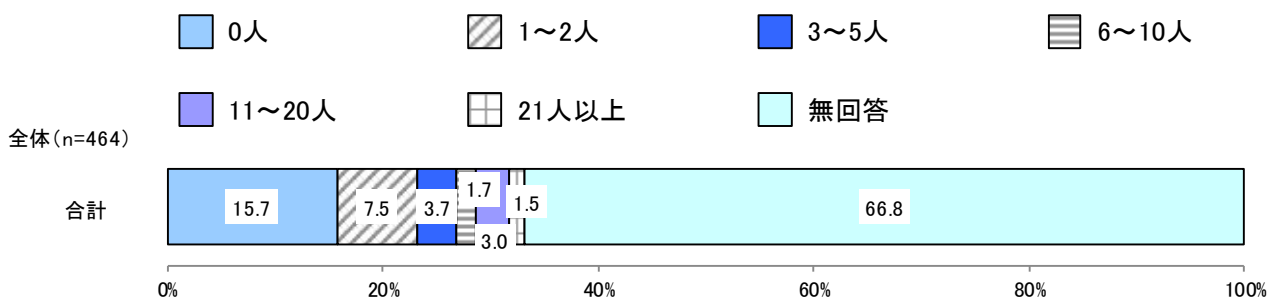
1日あたり平均利用者数のうち【毎日利用する児童の人数】は、「21~30人」が21.1%で最も多く「31~40人」が14.9%、「20人以下」が12.9%と続く。41人以上の割合は9.9%となっている。(図2-4-1)

④-2 1日あたり平均利用者数【一時的に利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

④ 1日あたりの平均利用者数（児童の数）

【図2-4-2 1日あたり平均利用者数（一時的に利用する児童の人数）】



1日あたり平均利用者数のうち【一時的に利用する児童の人数】は、「0人」が15.7%と最も多く、次いで「1~2人」が7.5%、「3~5人」が3.7%となっている。(図2-4-2)

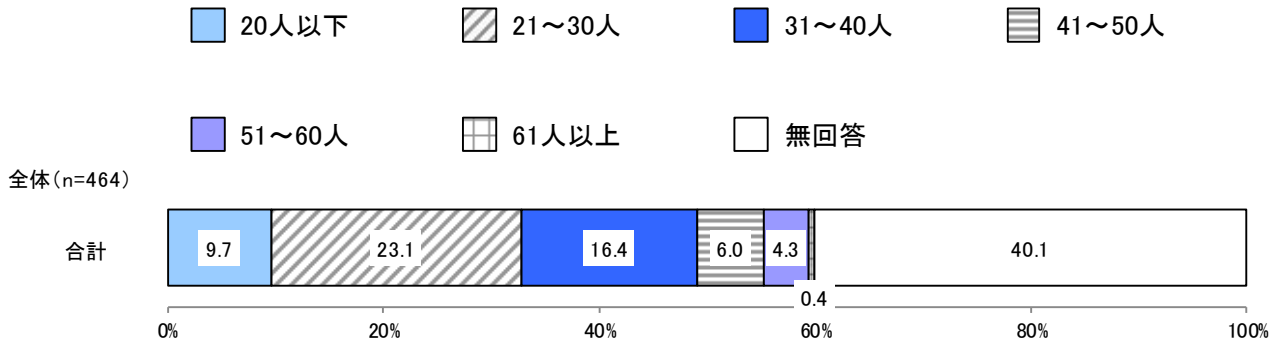
【1 児童クラブ施設調査】

④-3 1日あたり平均利用者数

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

④ 1日あたりの平均利用者数（児童の数）

【図 2-4-3 1日あたり平均利用者数】



1日あたり平均利用者数は、「21~30人」が23.1%で最も多く、次いで「31~40人」が16.4%、「20人以下」が9.7%となっており、464支援単位中、10.7%が41人以上となっている。(図 2-4-3)

施設の種別別に41人以上の支援単位数をみると、公設公営で18支援単位、公設民営で28支援単位、民設民営で4支援単位となっている。(下表)

◆施設の種別別にみた1日あたり平均利用者数

	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61人以上	無回答	合計
公設公営	18 6.8 %	31 11.7 %	27 10.2 %	11 4.2 %	7 2.7 %	0 0.0 %	170 64.4 %	264 100.0 %
公設民営	19 12.8 %	64 43.0 %	34 22.8 %	15 10.1 %	12 8.1 %	1 0.7 %	4 2.7 %	149 100.0 %
民設民営	8 18.6 %	12 27.9 %	13 30.2 %	2 4.7 %	1 2.3 %	1 2.3 %	6 14.0 %	43 100.0 %
無回答	0 0.0 %	0 0.0 %	2 25.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	6 75.0 %	8 100.0 %

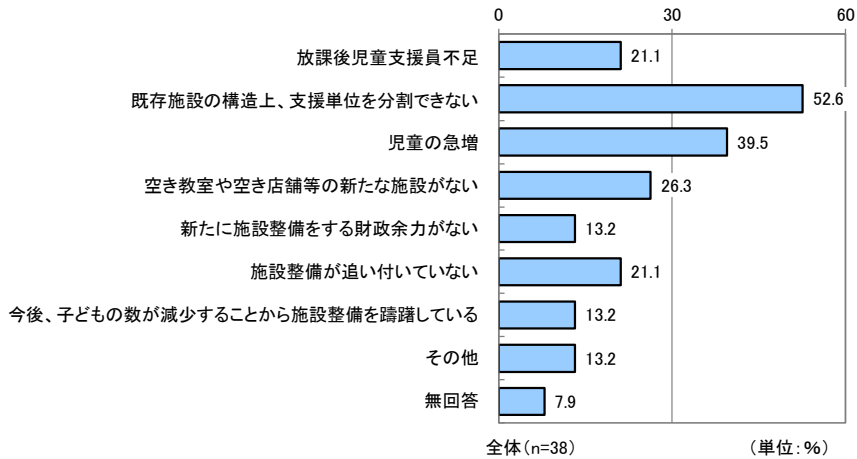
【1 児童クラブ施設調査】

④-4 4人以上の支援単位がある理由

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑤ ④で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図2-4-4 4人以上の支援単位がある理由】



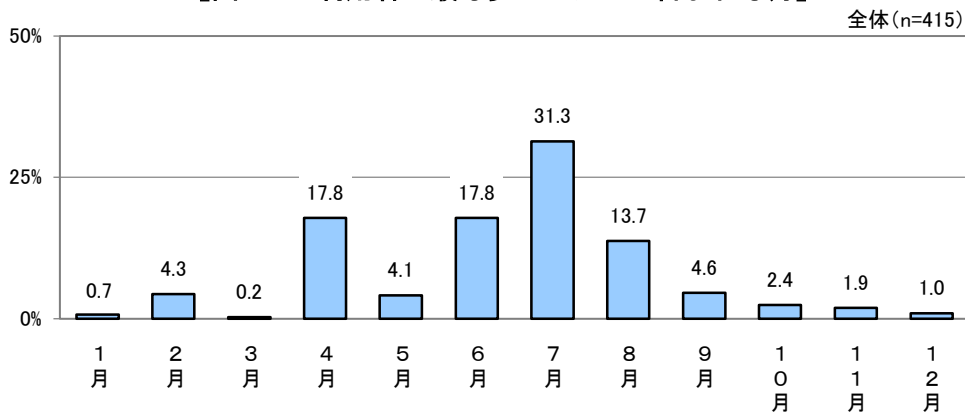
41人以上の支援単位がある理由については、「既存施設の構造上、支援単位を分割できない」が52.6%で最も多く、次いで「児童の急増」が39.5%、「空き教室や空き店舗等の新たな施設がない」が26.3%となっている。(図2-4-4)

⑤利用者が最も多かった日が含まれる月

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑥利用者が最も多かった日およびその利用者数

【図2-5 利用者が最も多かった日が含まれる月】



利用者が最も多かった日が含まれる月は、「7月」で31.3%、次いで「4月」「6月」が17.8%、「8月」が13.7%となっている。(図2-5)

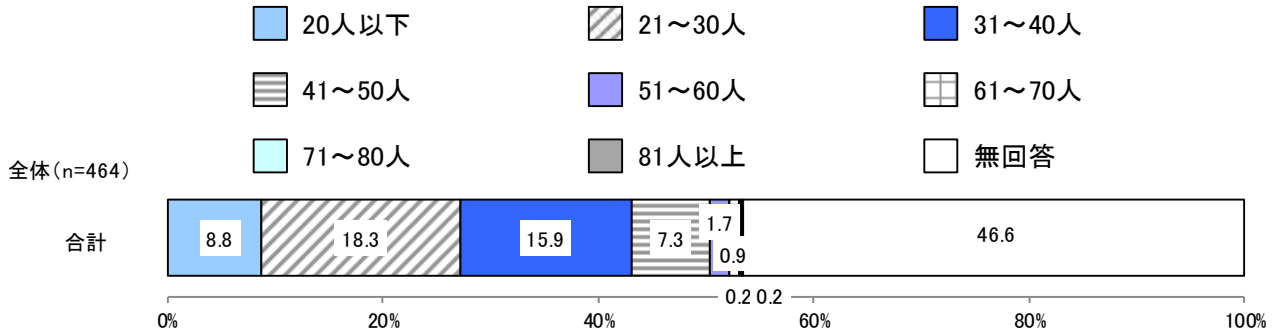
【1 児童クラブ施設調査】

⑥-1 最も利用者が多かった日の利用者数【毎日利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑥利用者が最も多かった日およびその利用者数

【図2-6-1 最も利用者が多かった日の利用者数（毎日利用する児童の人数）】



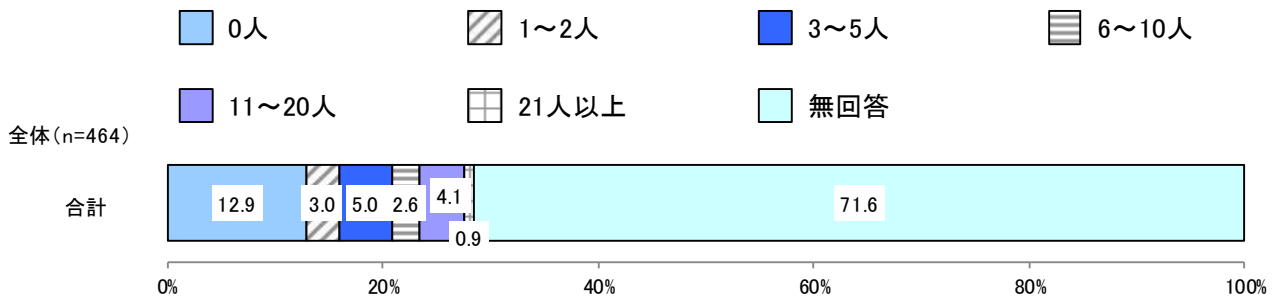
最も利用者が多かった日の利用者数【毎日利用する児童の人数】は、「21~30人」が18.3%で最も多く、「31~40人」が15.9%で続く。41人以上の割合は10.3%となっている。(図2-6-1)

⑥-2 最も利用者が多かった日の利用者数【一時的に利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑥利用者が最も多かった日およびその利用者数

【図2-6-2 最も利用者が多かった日の利用者数（一時的に利用する児童の人数）】



最も利用者が多かった日の利用者数【一時的に利用する児童の人数】は、「0人」が12.9%で最も多く、次いで「3~5人」が5.0%、「11~20人」が4.1%となっている。(図2-6-2)

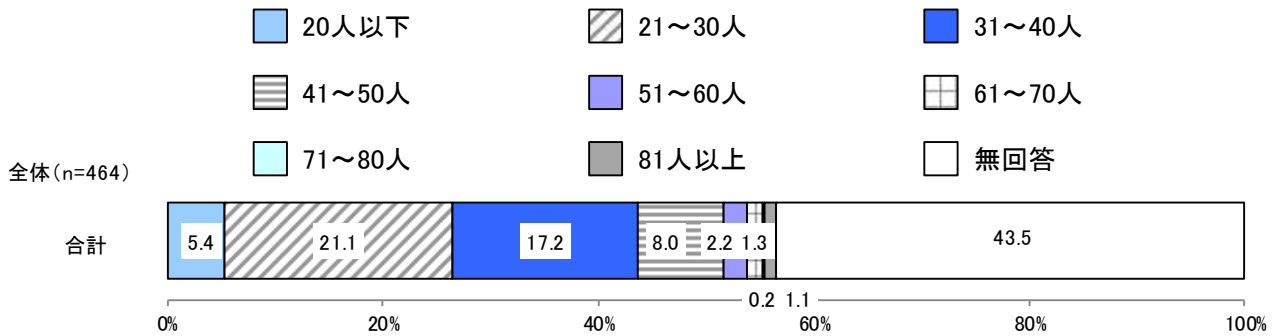
【1 児童クラブ施設調査】

⑥-3 最も利用者が多かった日の利用者数

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑥利用者が最も多かった日およびその利用者数

【図 2-6-3 最も利用者が多かった日の利用者数】



最も利用者が多かった日の利用者数は、「21~30人」が21.1%で最も多く、「31~40人」が17.2%で続く。464支援単位中、41人以上の割合は12.8%となっている。(図 2-6-3)

施設の種別別に、最も利用者が多かった日に41人以上となっている支援単位数をみると、公設公営で21支援単位、公設民営で32支援単位、民設民営で5支援単位となっている。(下表)

◆施設の種別別にみた最も利用者が多かった日の利用者数

	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	81人以上	無回答	合計
公設公営	10 3.8%	30 11.4%	38 14.4%	14 5.3%	3 1.1%	4 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	165 62.5%	264 100.0%
公設民営	8 5.4%	57 38.3%	33 22.1%	19 12.8%	7 4.7%	1 0.7%	1 0.7%	4 2.7%	19 12.8%	149 100.0%
民設民営	7 16.3%	10 23.3%	9 20.9%	3 7.0%	0 0.0%	1 2.3%	0 0.0%	1 2.3%	12 27.9%	43 100.0%
無回答	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	8 100.0%

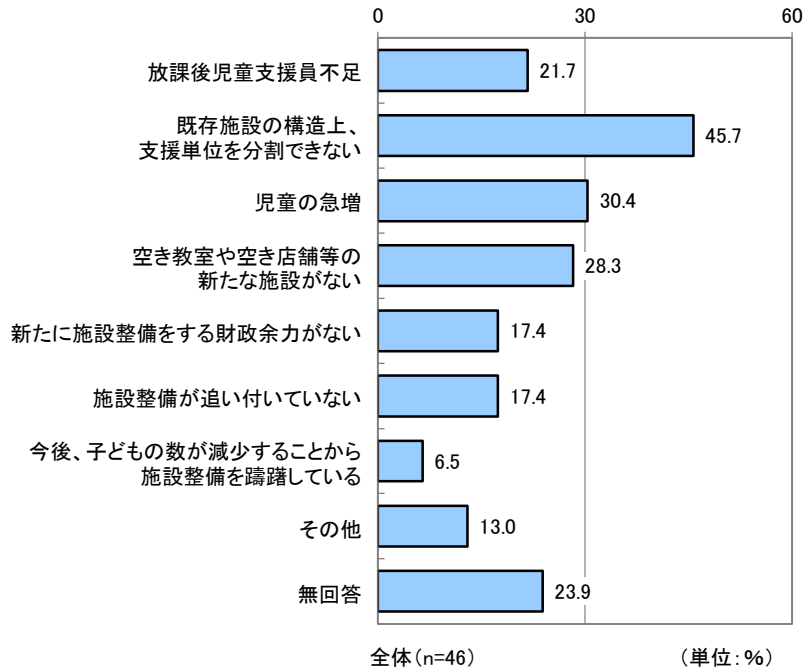
【1 児童クラブ施設調査】

⑥-4 41人以上の支援単位がある理由

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑦ ⑥で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図2-6-4 41人以上の支援単位がある理由】



41人以上の支援単位がある理由については、「既存施設の構造上、支援単位を分割できない」が45.7%で最も多く、次いで「児童の急増」が30.4%、「空き教室や空き店舗等の新たな施設がない」が28.3%となっている。(図2-6-4)

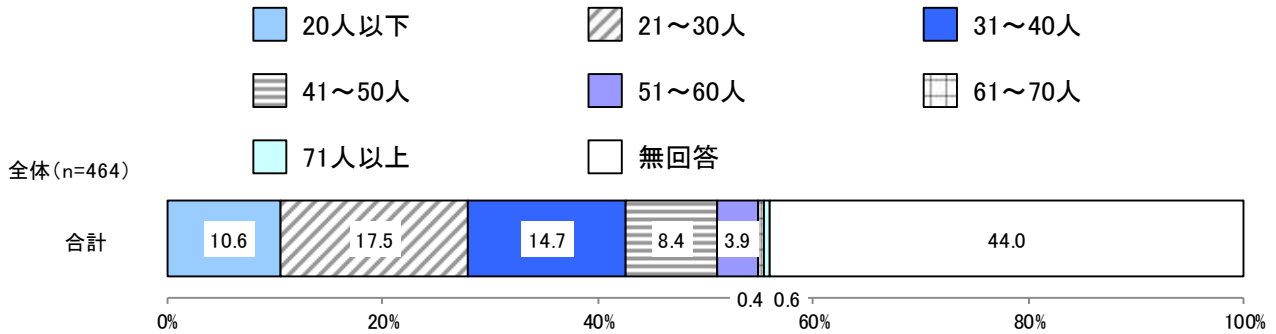
【1 児童クラブ施設調査】

⑦-1 長期休暇中の利用者数【夏休み：毎日利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-7-1 長期休暇中の利用者数（夏休み：毎日利用する児童の人数）】



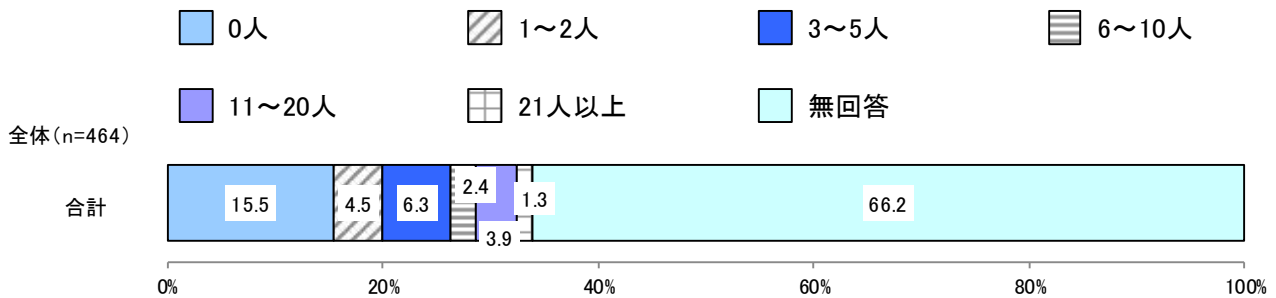
長期休暇中の利用者数【夏休み：毎日利用する児童の人数】は、「21~30人」が17.5%で最も多く、「31~40人」が14.7%で続く。41人以上の割合は13.3%となっている。(図2-7-1)

⑦-2 長期休暇中の利用者数【夏休み：一時的に利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-7-2 長期休暇中の利用者数（夏休み：一時的に利用する児童の人数）】



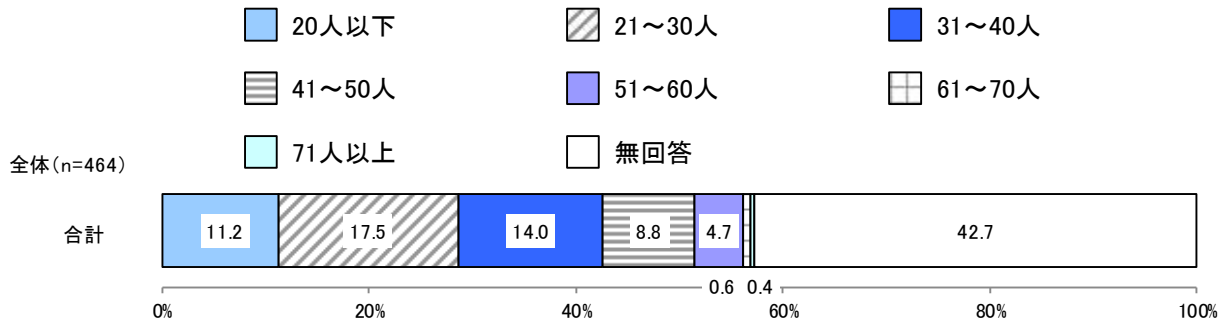
長期休暇中の利用者数【夏休み：一時的に利用する児童の人数】は、「0人」が15.5%で最も多く、次いで「3~5人」が6.3%、「1~2人」が4.5%となっている。(図2-7-2)

⑦-3 長期休暇中の利用者数【夏休み】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-7-3 長期休暇中の利用者数（夏休み）】



長期休暇中の利用者数【夏休み】については、「21~30人」が17.5%で最も多く、「31~40人」が14.0%で続く。464支援単位中、41人以上の割合は14.5%となっている。(図2-7-3)

施設の種類の別々に41人以上の支援単位数をみると、公設公営で30支援単位、公設民営で31支援単位、民設民営で6支援単位となっている。(下表)

◆施設の種類の別々にみた長期休暇中の利用者数【夏休み】

	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	合計
公設公営	20 7.6%	18 6.8%	26 9.8%	20 7.6%	9 3.4%	1 0.4%	0 0.0%	170 64.4%	264 100.0%
公設民営	17 11.4%	56 37.6%	32 21.5%	17 11.4%	11 7.4%	2 1.3%	1 0.7%	13 8.7%	149 100.0%
民設民営	15 34.9%	6 14.0%	7 16.3%	3 7.0%	2 4.7%	0 0.0%	1 2.3%	9 20.9%	43 100.0%
無回答	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	8 100.0%

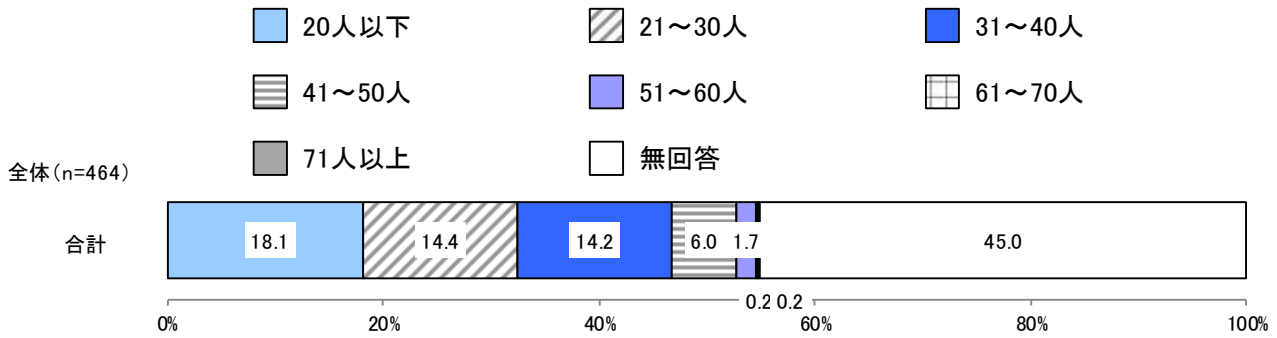
【1 児童クラブ施設調査】

⑧-1 長期休暇中の利用者数【冬休み：毎日利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-8-1 長期休暇中の利用者数（冬休み：毎日利用する児童の人数）】



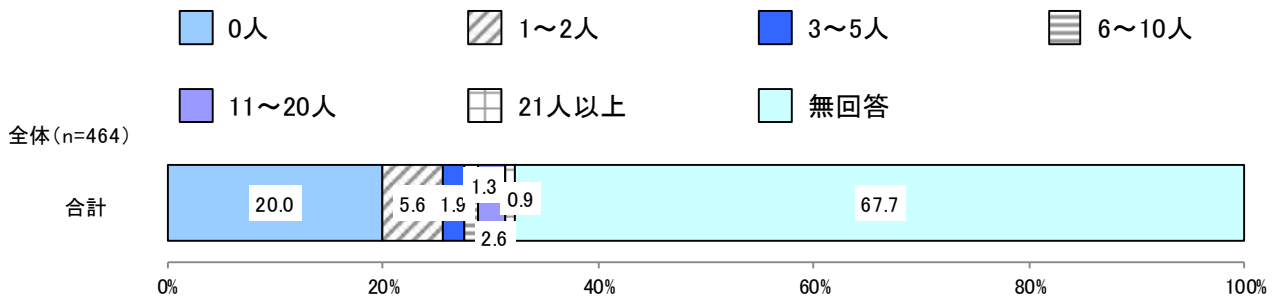
長期休暇中の利用者数【冬休み：毎日利用する児童の人数】については、「20人以下」が18.1%、で最も多く、「21~30人」が14.4%で続く。41人以上の割合は8.1%となっている。(図2-8-1)

⑧-2 長期休暇中の利用者数【冬休み：一時的に利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-8-2 長期休暇中の利用者数（冬休み：一時的に利用する児童の人数）】



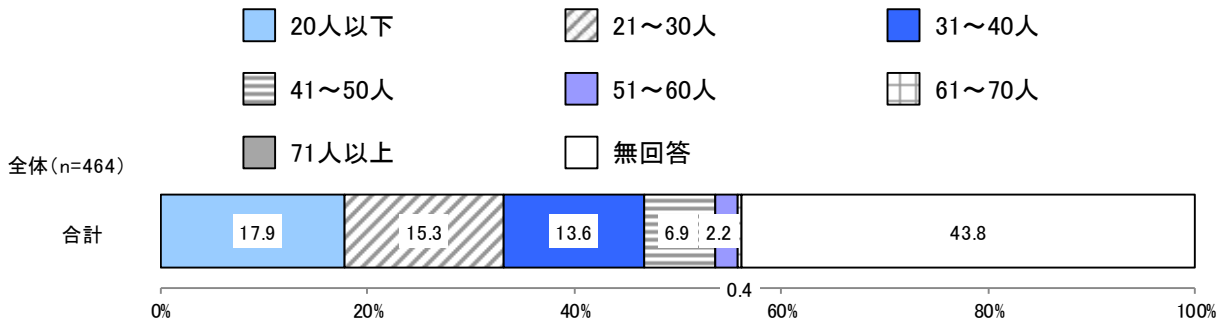
長期休暇中の利用者数【冬休み：一時的に利用する児童の人数】については、「0人」が20.0%で最も多く、次いで「1~2人」が5.6%、「11~20人」が2.6%となっている。(図2-8-2)

⑧-3 長期休暇中の利用者数【冬休み】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-8-3 長期休暇中の利用者数（冬休み）】



長期休暇中の利用者数【冬休み】については、「20人以下」が17.9%で最も多く、「21~30人」が15.3%、「31~40人」が13.6%で続く。464支援単位中、41人以上の割合は9.5%となっている。(図2-8-3)

施設の種類別に41人以上の支援単位数をみると、公設公営で15支援単位、公設民営で24支援単位、民設民営で4支援単位となっている。(下表)

◆施設の種類別にみた長期休暇中の利用者数【冬休み】

	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	合計
公設公営	20 7.6%	25 9.5%	33 12.5%	11 4.2%	3 1.1%	1 0.4%	0 0.0%	171 64.8%	264 100.0%
公設民営	47 31.5%	40 26.8%	23 15.4%	18 12.1%	6 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 10.1%	149 100.0%
民設民営	16 37.2%	5 11.6%	7 16.3%	2 4.7%	1 2.3%	1 2.3%	0 0.0%	11 25.6%	43 100.0%
無回答	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 75.0%	8 100.0%

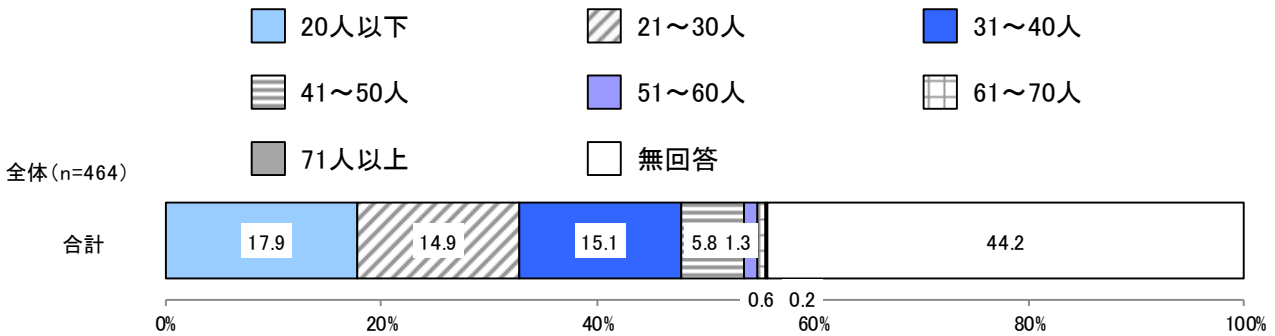
【1 児童クラブ施設調査】

⑨-1 長期休暇中の利用者数【春休み：毎日利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-9-1 長期休暇中の利用者数（春休み：毎日利用する児童の人数）】



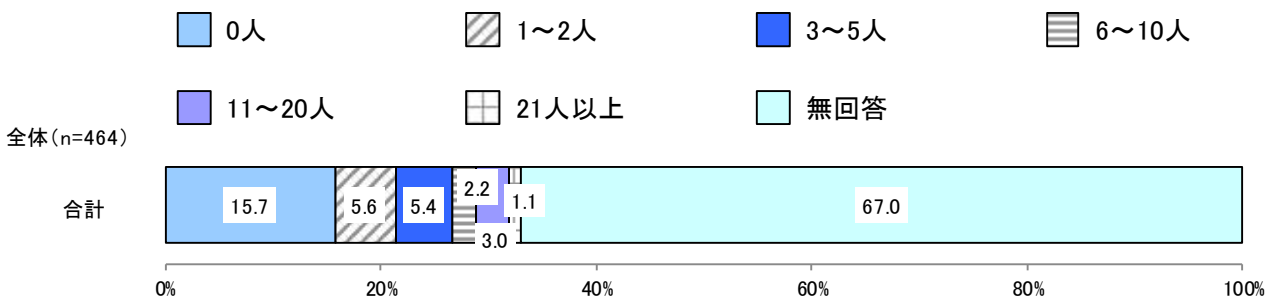
長期休暇中の利用者数【春休み：毎日利用する児童の人数】については、「20人以下」が17.9%で最も多く、「31~40人」が15.1%、「21~30人」が14.9%と続く。41人以上の割合は7.7%となっている。(図2-9-1)

⑨-2 長期休暇中の利用者数【春休み：一時的に利用する児童の人数】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図2-9-2 長期休暇中の利用者数（春休み：一時的に利用する児童の人数）】



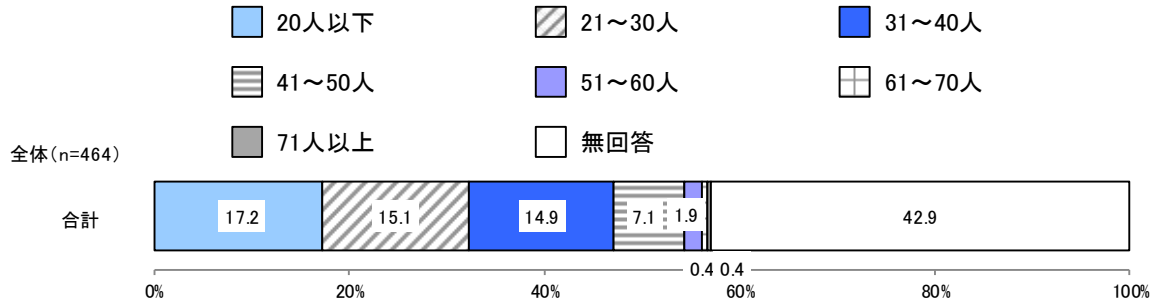
長期休暇中の利用者数【春休み：一時的に利用する児童の人数】については、「0人」が15.7%で最も多く、次いで「1~2人」が5.6%、「3~5人」が5.4%となっている。(図2-9-2)

⑨-3 長期休暇中の利用者数【春休み】

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについておうかがいします。

⑧長期休暇中の1支援単位の利用者数

【図 2-9-3 長期休暇中の利用者数（春休み）】



長期休暇中の利用者数【春休み】については、「20人以下」が17.2%で最も多く、「21~30人」が15.1%、「31~40人」が14.9%で続く。464支援単位中、41人以上の割合は9.8%となっている。(図2-9-3)

施設の種類別に41人以上の支援単位数をみると、公設公営は14支援単位、公設民営は27支援単位、民設民営は5支援単位となっている。(下表)

◆施設の種類別にみた長期休暇中の利用者数【春休み】

	20人以下	21~30人	31~40人	41~50人	51~60人	61~70人	71人以上	無回答	合計
公設公営	22 8.3 %	22 8.3 %	37 14.0 %	10 3.8 %	3 1.1 %	1 0.4 %	0 0.0 %	169 64.0 %	264 100.0 %
公設民営	43 28.9 %	43 28.9 %	23 15.4 %	21 14.1 %	5 3.4 %	0 0.0 %	1 0.7 %	13 8.7 %	149 100.0 %
民設民営	15 34.9 %	4 9.3 %	8 18.6 %	2 4.7 %	1 2.3 %	1 2.3 %	1 2.3 %	11 25.6 %	43 100.0 %
無回答	0 0.0 %	1 12.5 %	1 12.5 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	0 0.0 %	6 75.0 %	8 100.0 %

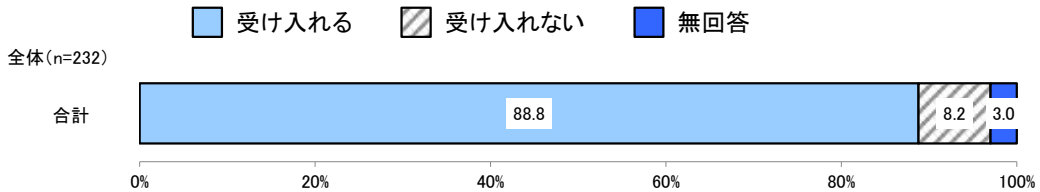
【1 児童クラブ施設調査】

(3) 障害児の受け入れについて

①障害児の受け入れ

問3 障害児から入所申し込みがあった場合、受け入れをしますか。(〇はひとつ)

【図3-1 障害児の受け入れ】



◆施設の種類別にみた障害児の受け入れ可否

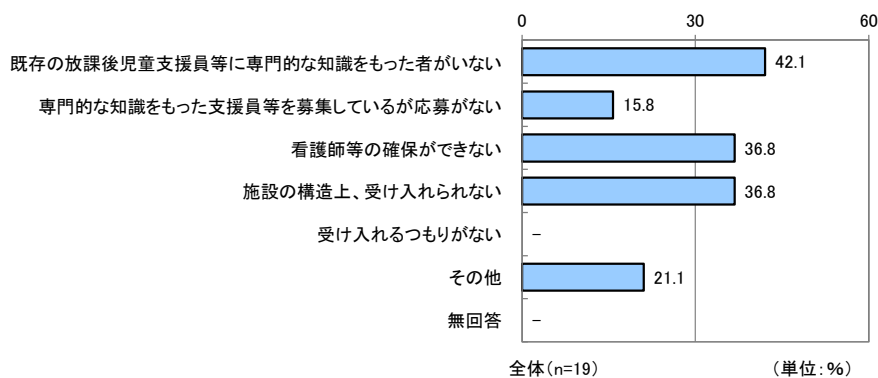
	受け入れる	受け入れない	無回答	全体
公設公営	95.1 %	1.0 %	3.9 %	n=102
公設民営	93.3 %	3.4 %	3.4 %	n=89
民設民営	59.5 %	40.5 %	0.0 %	n=37

障害児の受け入れについては、「受け入れる」が 88.8%、「受け入れない」が 8.2%となっている。施設の種類別にみると、公設公営、公設民営では「受け入れる」が9割を超えているが、民設民営では「受け入れる」は 59.5%にとどまっている。(図3-1)

②障害児を受け入れない理由

問3-1 障害児を受け入れない理由をお聞かせください。(〇はいくつでも)

【図3-2 障害児を受け入れない理由】



障害児を受け入れない理由については、「既存の放課後児童支援員等に専門的な知識をもった者がいない」が 42.1%で最も多く、次いで「看護師等の確保ができない」と「施設の構造上、受け入れられない」が 36.8%となっている。(図3-2)

【1 児童クラブ施設調査】

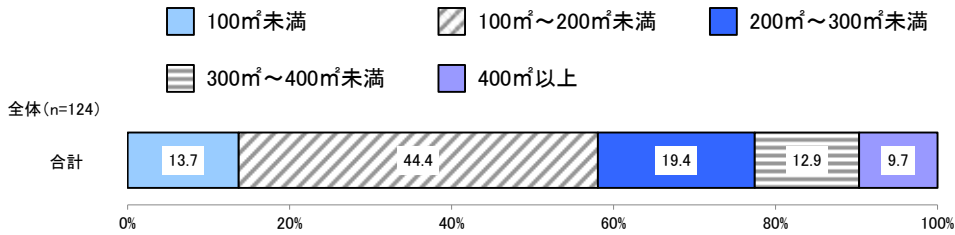
(4) 施設の面積等

①放課後児童クラブ全体の面積

問4 施設の面積等について、おうかがいします。

①放課後児童クラブ全体の面積

【図4-1 放課後児童クラブ全体の面積】



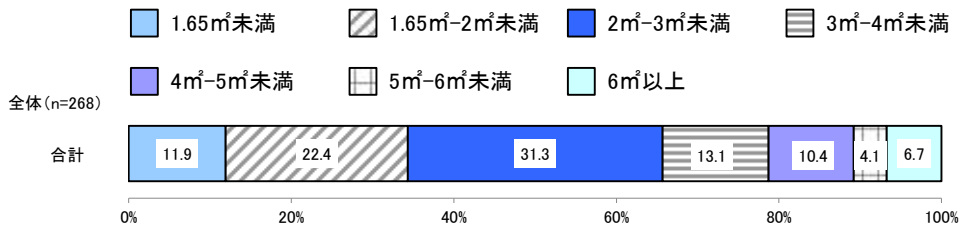
放課後児童クラブ全体の面積については、「100㎡～200㎡未満」が44.4%で最も多く、次いで「200㎡～300㎡未満」が19.4%、「100㎡未満」が13.7%となっている。(図4-1)

②児童1人当たりの専用区画面積

問4 施設の面積等について、おうかがいします。

②児童1人当たりの専用区画面積

【図4-2 児童1人当たりの専用区画面積】



児童1人当たりの専用区画面積については、「2㎡～3㎡未満」が31.3%で最も多く、「1.65㎡～2㎡未満」が22.4%、「3㎡～4㎡未満」が13.1%と続く。「1.65㎡未満」は11.9%となっている。(図4-2)

施設の種類別に「1.65㎡未満」の比率をみると、公設公営では6.4%、公設民営では10.1%、民設民営では0%となっている。(下表)

◆施設の種類別にみた児童1人当たりの専用区画面積

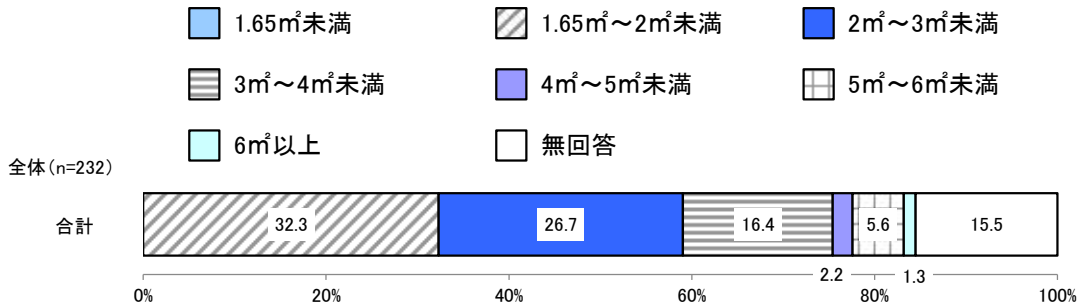
	1.65㎡未満	1.65㎡～2㎡未満	2㎡～3㎡未満	3㎡～4㎡未満	4㎡～5㎡未満	5㎡～6㎡未満	6㎡以上	無回答	合計
公設公営	6.4%	6.4%	10.2%	5.7%	3.8%	1.5%	1.5%	64.4%	n=264
公設民営	10.1%	23.5%	30.2%	10.7%	9.4%	3.4%	5.4%	7.4%	n=149
民設民営	0.0%	11.6%	27.9%	9.3%	9.3%	4.7%	14.0%	23.3%	n=43
無回答	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	n=8

③児童 1 人当たりの専用区画面積の理想

問 4 施設の面積等について、おうかがいします。

③児童 1 人当たりの専用区画面積の理想

【図 4-3 児童 1 人当たりの専用区画面積の理想】



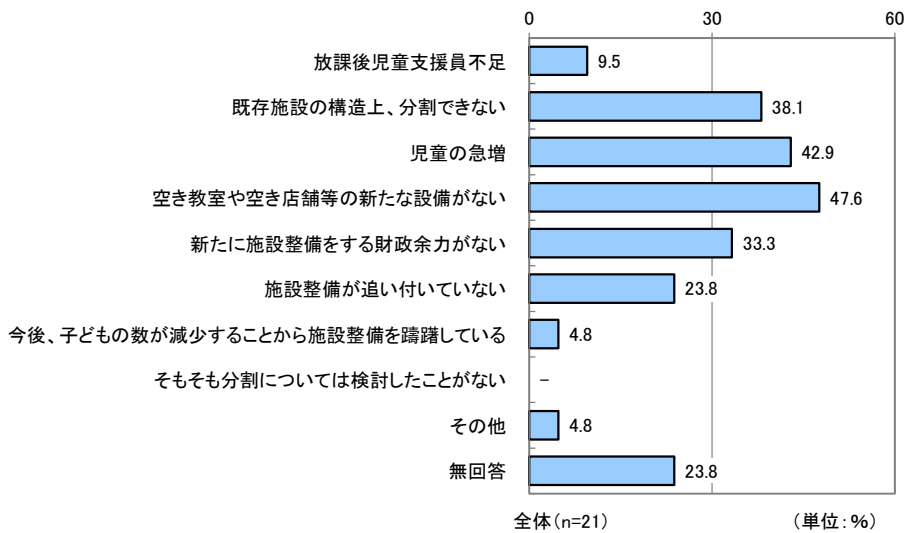
児童 1 人当たりの専用区画面積の理想については、「1.65 ㎡～2 ㎡未満」が 32.3%で最も多く、次いで「2 ㎡～3 ㎡未満」が 26.7%、「3 ㎡～4 ㎡未満」が 16.4%となっている。(図 4-3)

④ 1. 6 5 ㎡未満の支援単位がある理由

問 4 施設の面積等について、おうかがいします。

④ ②で 1.65 ㎡未満の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

【図 4-4 1. 6 5 ㎡未満の支援単位がある理由】



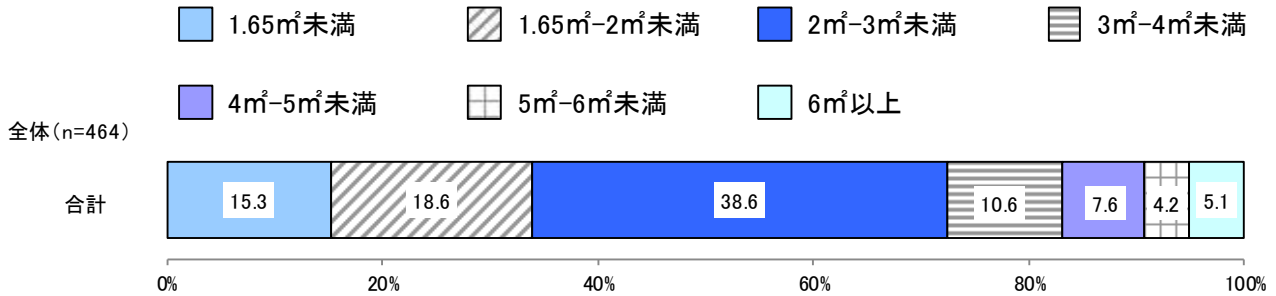
児童 1 人当たりの専用区画面積で 1.65 ㎡未満の支援単位がある理由については、「空き教室や空き店舗等の新たな設備がない」が 47.6%で最も多く、次いで「児童の急増」が 42.9%、「既存施設の構造上、分割できない」が 38.1%となっている。(図 4-4)

⑤長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積

問4 施設の面積等について、おうかがいします。

⑤長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積

【図 4-5 長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積】



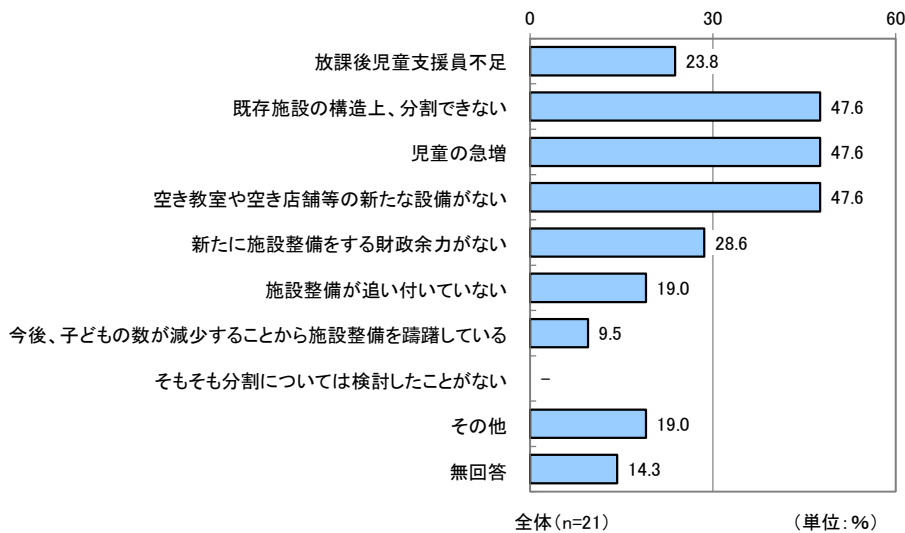
長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積については、「2㎡～3㎡未満」が 38.6%で最も多く、「1.65㎡～2㎡未満」が 18.6%と続く。「1.65㎡未満」は 15.3%となっている。(図 4-5)

⑥長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積が 1.65㎡未満の支援単位がある理由

問4 施設の面積等について、おうかがいします。

⑥ ⑤で 1.65㎡未満の支援単位がある場合、その理由をお知らせください。(〇はいくつでも)

【図 4-6 長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積が 1.65㎡未満の支援単位がある理由】



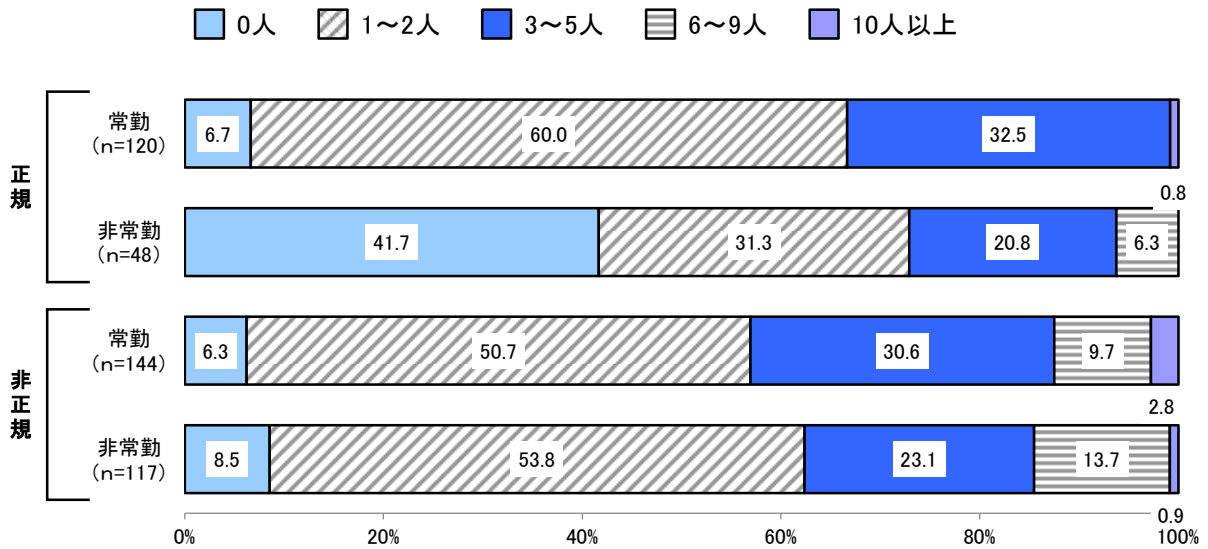
長期休暇中の児童 1 人当たりの専用区画面積が 1.65㎡未満の支援単位がある理由については、「既存施設の構造上、分割できない」と「児童の急増」と「空き教室や空き店舗等の新たな設備がない」が 47.6%で多い。(図 4-6)

(5) 施設の職員体制

①-1 放課後児童支援員の職員数

問5 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

【図 5-1-1 放課後児童支援員の職員数】



放課後児童支援員の職員数については、常勤については正規、非正規とも「1～2人」が5割～6割で最も多く（正規 60.0%、非正規 50.7%）、次いで「3～5人」が3割台となっている（正規 32.5%、非正規 30.6%）。

非常勤については、正規では「0人」が41.7%で最も多い。非正規では、「1～2人」が53.8%で最も多く、次いで「3～5人」が23.1%となっている。（図 5-1-1）

◆施設の種類の別みた放課後児童支援員の職員数

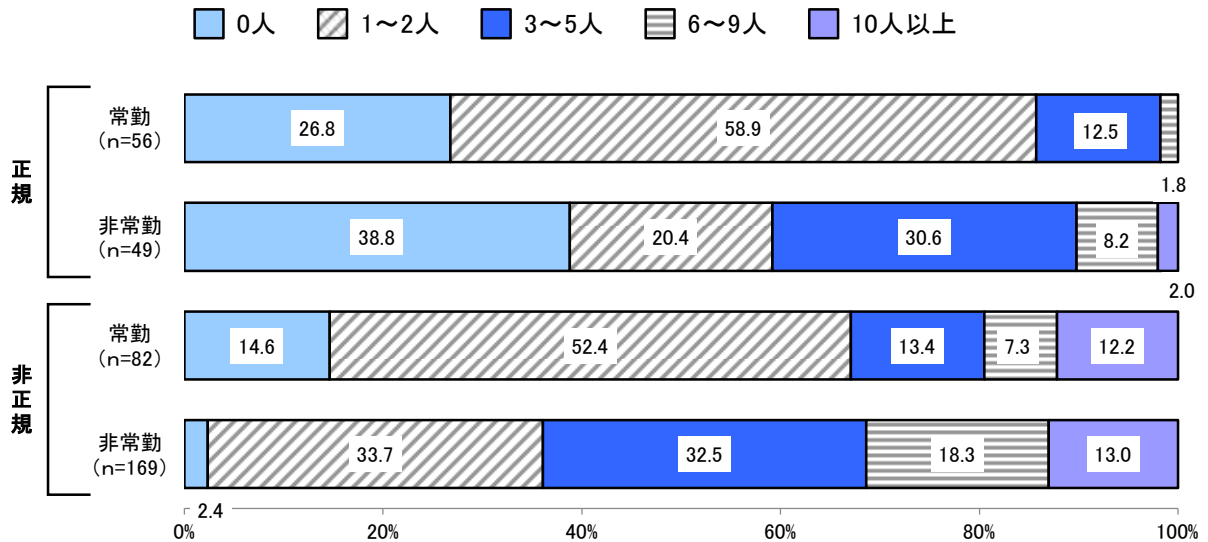
	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)	合計
公設公営	31人 6.0%	13人 2.5%	300人 57.9%	174人 33.6%	518人 100.0%
公設民営	166人 40.8%	52人 12.8%	62人 15.2%	127人 31.2%	407人 100.0%
民設民営	47人 42.3%	17人 15.3%	21人 18.9%	26人 23.4%	111人 100.0%

【1 児童クラブ施設調査】

①-2 補助員の職員数

問5 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

【図 5-1-2 補助員の職員数】



補助員の職員数については、正規は常勤で「1～2人」が58.9%、非常勤では「0人」が38.8%で最も多い。

非正規でも、常勤では「1～2人」が52.4%で最も多くなっている。非常勤では、「1～2人」が33.7%で最も多く、「3～5人」が32.5%と、僅差が続いている。(図5-1-2)

◆施設の種類の別みた補助員の職員数

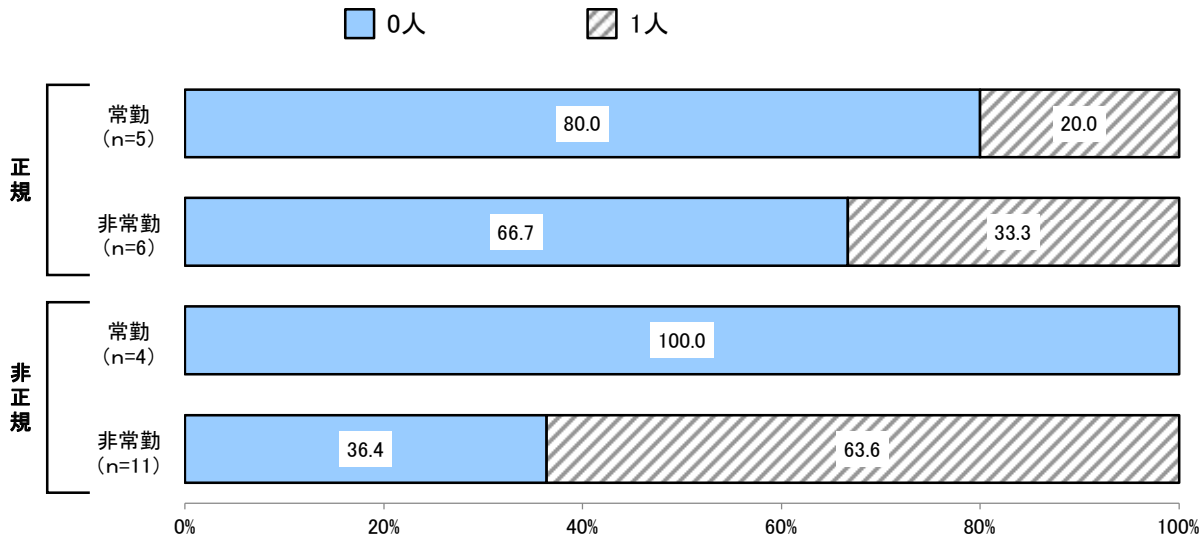
	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)	合計
公設公営	19人 2.4%	45人 5.7%	213人 27.0%	511人 64.8%	788人 100.0%
公設民営	40人 11.1%	57人 15.8%	17人 4.7%	247人 68.4%	361人 100.0%
民設民営	13人 11.8%	12人 10.9%	23人 20.9%	62人 56.4%	110人 100.0%

【1 児童クラブ施設調査】

①-3 事務員の職員数

問5 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

【図 5-1-3 事務員の職員数】



事務員の職員数については、非正規の非常勤では「1人」が63.6%と最も多いが、その他はいずれも「0人」が最も多くなっている（正規の常勤80.0%、正規の非常勤66.7%、非正規の常勤100%）。

(図 5-1-3)

◆施設の種類の別みた事務員の職員数

	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)	合計
公設公営	0人 -	0人 -	0人 -	0人 -	0人 -
公設民営	1人 20.0%	1人 20.0%	0人 0.0%	3人 60.0%	5人 100.0%
民設民営	0人 0.0%	1人 20.0%	0人 0.0%	4人 80.0%	5人 100.0%

◆職種別にみた雇用形態ごとの職員数

	正規 (常勤)	正規 (非常勤)	非正規 (常勤)	非正規 (非常勤)	合計
放課後児童 支援員	250人 23.8%	82人 7.8%	390人 37.1%	329人 31.3%	1,051人 100.0%
補助員	73人 5.7%	117人 9.2%	263人 20.6%	825人 64.6%	1,278人 100.0%
事務員	1人 10.0%	2人 20.0%	0人 0.0%	7人 70.0%	10人 100.0%

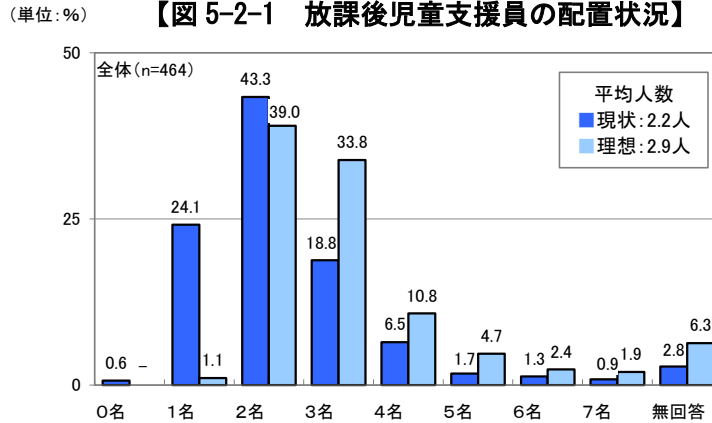
【1 児童クラブ施設調査】

②-1 放課後児童支援員の配置状況

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

①放課後児童支援員の配置状況

【図 5-2-1 放課後児童支援員の配置状況】



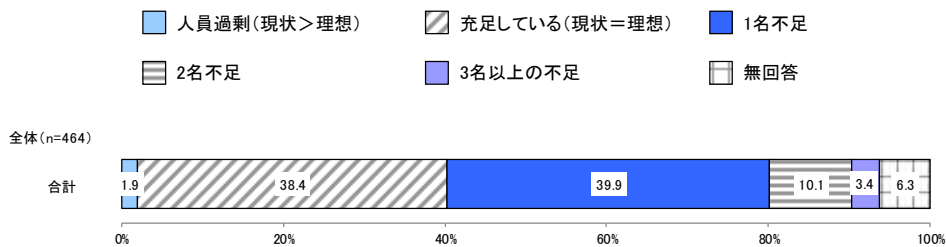
放課後児童支援員の配置状況については、現状は「2名」が43.3%で最も多く、「1名」が24.1%、「3名」が18.8%と続く。理想では、「2名」が39.0%で最も多く、「3名」が33.8%と続く。平均人数をみると、現状は2.2人、理想は2.9人と、0.7人の差がみられた。(図 5-2-1)

②-2 放課後児童支援員の過不足状況

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

①放課後児童支援員の配置状況

【図 5-2-2 放課後児童支援員の過不足状況】



支援員の過不足状況については、「1名不足」が39.9%で最も多く、「充足している(現状=理想)」が38.4%と続く。(図 5-2-2)

施設の種別別に「充足している(現状=理想)」の割合をみると、公設公営は45.8%、公設民営は30.2%、民設民営は25.6%となっており、どの種別でも「充足している」割合が半数に満たない。

◆施設の種別別にみた支援員の過不足状況

	人員過剰 (現状>理想)	充足している (現状=理想)	1名不足	2名不足	3名以上の不足	無回答	合計
公設公営	2.7 %	45.8 %	33.0 %	8.0 %	3.8 %	6.8 %	n=264
公設民営	1.3 %	30.2 %	47.7 %	12.1 %	3.3 %	5.4 %	n=149
民設民営	0.0 %	25.6 %	55.8 %	11.6 %	2.3 %	4.7 %	n=43
無回答	0.0 %	12.5 %	37.5 %	37.5 %	0.0 %	12.5 %	n=8

【1 児童クラブ施設調査】

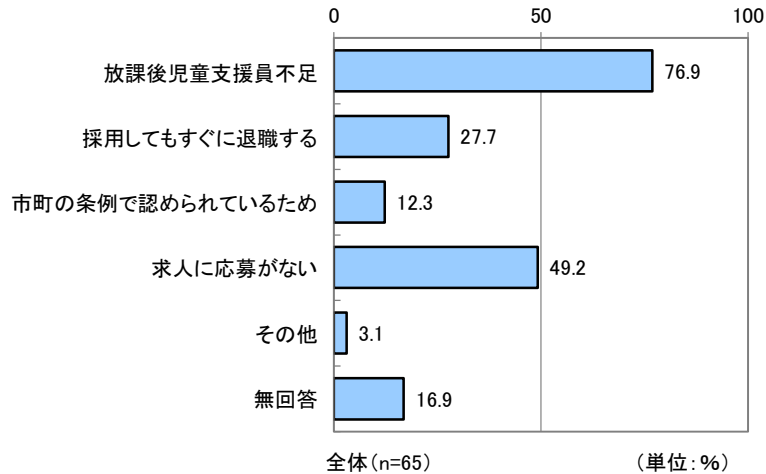
②-3 放課後児童支援員を2名以上配置できていない理由

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

② ①で2名以上配置できていない支援単位がある場合、その理由をお答えください。

(○はいくつでも)

【図 5-2-3 放課後児童支援員を2名以上配置できていない理由】



放課後児童支援員を2名以上配置できていない理由については、「放課後児童支援員不足」が76.9%で最も多く、次いで「求人に応募がない」が49.2%、「採用してもすぐに退職する」が27.7%となっている。(図 5-2-3)

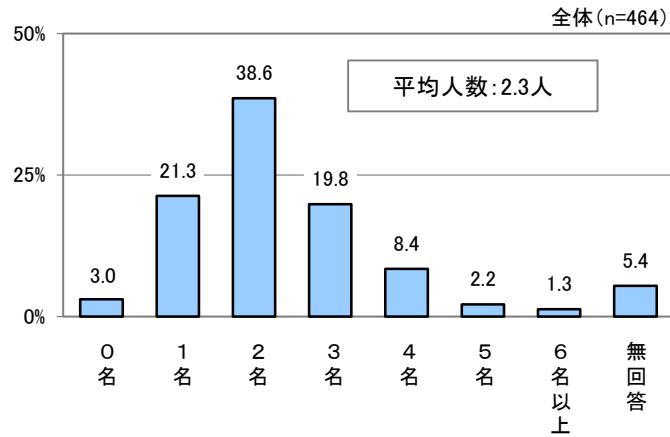
【1 児童クラブ施設調査】

②-4 補助員の配置状況

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

③補助員の配置状況

【図 5-2-4 補助員の配置状況】



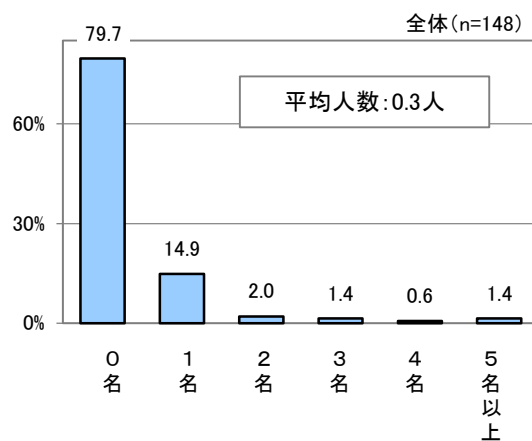
補助員の配置状況については、「2名」が38.6%で最も多く、次いで「1名」が21.3%、「3名」が19.8%となっている。平均人数は2.3人である。(図 5-2-4)

②-5 事務員の配置状況

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

④事務員の配置状況 (施設全体で)

【図 5-2-5 事務員の配置状況】



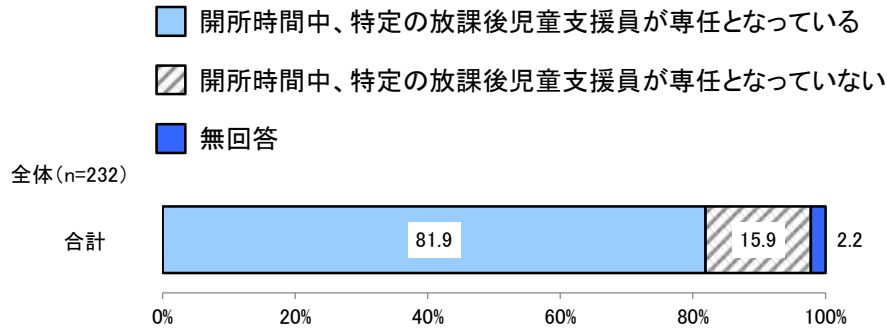
事務員の配置状況については、「0名」が79.7%で最も多く、次いで「1名」が14.9%となっている。平均人数は0.3人である。(図 5-2-5)

【1 児童クラブ施設調査】

③-1 1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制

問7 1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制はどのようになっていますか。
(○はひとつ)

【図5-3-1 1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制】

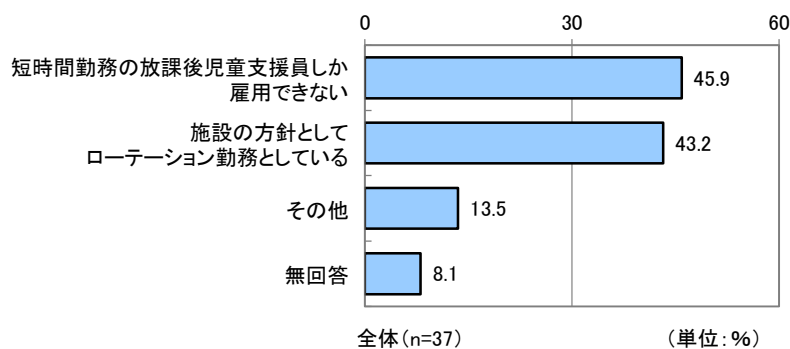


1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制については、「開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっている」が81.9%と多く、「開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっていない」が15.9%となっている。(図5-3-1)

③-2 放課後児童支援員が専任となっていない理由

問7-1 放課後児童支援員が専任となっていない理由をお知らせください。(○はいくつでも)

【図5-3-2 放課後児童支援員が専任となっていない理由】

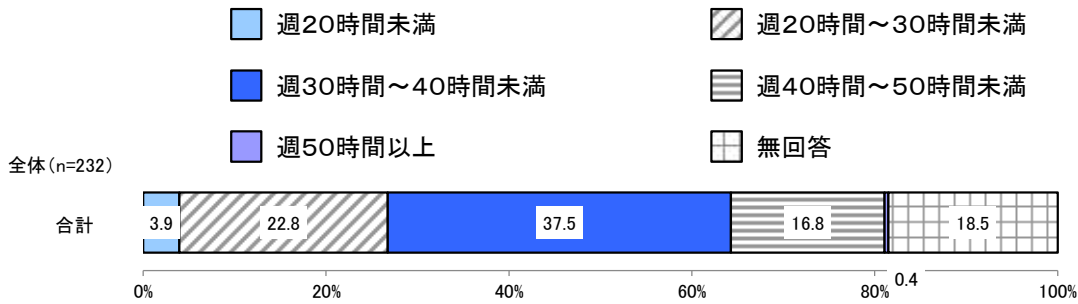


放課後児童支援員が専任となっていない理由については、「短時間勤務の放課後児童支援員しか雇用できない」が45.9%で最も多く、次いで「施設の方針としてローテーション勤務としている」が43.2%となっている。(図5-3-2)

④正規放課後児童支援員週実労働時間

問8 正規職員（常勤）の放課後児童支援員の週当たりの平均的な（時間外労働含む）実労働時間は
何時間ですか。（〇はひとつ）

【図 5-4 正規放課後児童支援員週実労働時間】



正規放課後児童支援員週実労働時間については、「週 30 時間～40 時間未満」が 37.5%で最も多く、
次いで「週 20 時間～30 時間未満」が 22.8%、「週 40 時間～50 時間未満」が 16.8%となっている。
(図 5-4)

⑤-1 放課後児童支援員の現況

問9 貴施設における放課後児童支援員の現況について、該当する数字をご記入ください。

【図 5-5-1 放課後児童支援員の現況】

		(1) 平均年齢	(2) 平均勤続年数	(3) 平均給与
常勤	新任放課後児童支援員	/	/	207 万円
	放課後児童支援員	48.0 歳	6年5ヶ月	260 万円
非常勤	新任放課後児童支援員	/	/	137 万円
	放課後児童支援員	54.4 歳	5年9ヶ月	127 万円

放課後児童支援員の現況については、平均年齢は、常勤で 48.0 歳、非常勤で 54.4 歳と、非常勤の
方がやや年配層となっている。

平均勤続年数は、常勤で 6 年 5 ヶ月、非常勤で 5 年 9 ヶ月と、常勤の方が長くなっている。

平均給与は、常勤では 260 万円（新任では 207 万円）、非常勤では 127 万円（新任では 137 万円）
と、常勤と非常勤で倍ほどの差がみられた。また、非常勤では、新任の方が高くなっている。(図 5-
5-1)

【1 児童クラブ施設調査】

⑤-2 補助員の現況

問 10 貴施設における補助員の現況について、該当する数字をご記入ください。

【図 5-5-2 補助員の現況】

		(1) 平均年齢	(2) 平均勤続年数	(3) 平均給与
常勤	新任補助員			154 万円
	補助員	45.1 歳	2年11ヶ月	142 万円
非常勤	新任補助員			108 万円
	補助員	50.2 歳	2年11ヶ月	84 万円

補助員の現況については、平均年齢は、常勤で 45.1 歳、非常勤で 50.2 歳。非常勤の方がやや年配層なのは支援員と同様だが、いずれも支援員よりやや若くなっている。

平均勤続年数は、常勤で 2 年 11 ヶ月、非常勤で 2 年 11 ヶ月と、支援員より短い。

平均給与は、常勤では 142 万円（新任では 154 万円）、非常勤では 84 万円（新任では 108 万円）と、いずれも支援員より低い。また、常勤・非常勤とも新任の方が高くなっている。（図 5-5-2）

⑤-3 事務員の現況

問 11 貴施設における事務員の現況について、該当する数字をご記入ください。

【図 5-5-3 事務員の現況】

		(1) 平均年齢	(2) 平均勤続年数	(3) 平均給与
常勤	新任事務員			229 万円
	事務員	47.9 歳	7年7ヶ月	239 万円
非常勤	新任事務員			96 万円
	事務員	51.6 歳	5年7ヶ月	71 万円

事務員の現況については、平均年齢は、常勤で 47.9 歳、非常勤で 51.6 歳。非常勤の方がやや年配層なのは支援員と同様。

平均勤続年数は、常勤で 7 年 7 ヶ月、非常勤で 5 年 7 ヶ月と、常勤では支援員より長い。

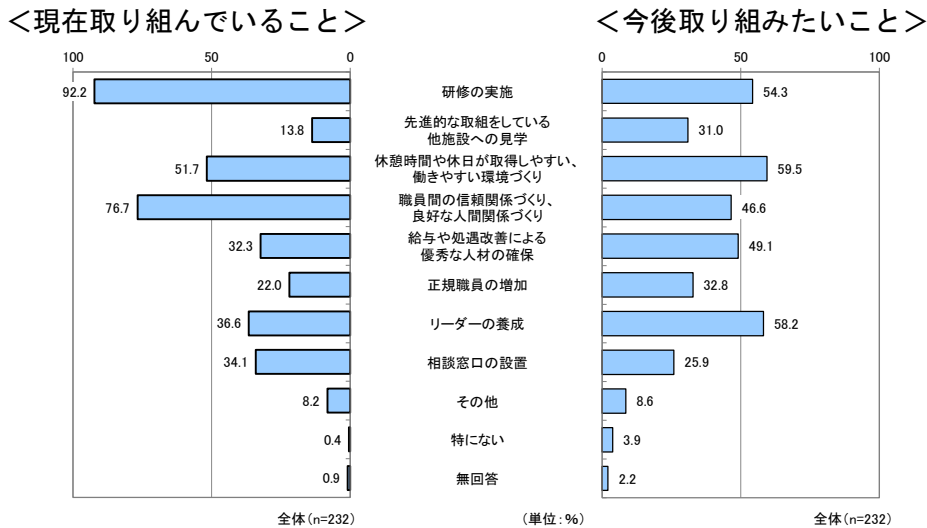
平均給与は、常勤では 239 万円（新任では 229 万円）、非常勤では 71 万円（新任では 96 万円）と、非常勤は支援員より大幅に低い。また、非常勤では、新任の方が高くなっている。（図 5-5-3）

【1 児童クラブ施設調査】

⑥-1 職員の資質向上の取り組み

問 12 職員の資質を向上させるために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをそれぞれお答えください。(〇はいくつでも)

【図 5-6-1 職員の資質向上の取り組み】

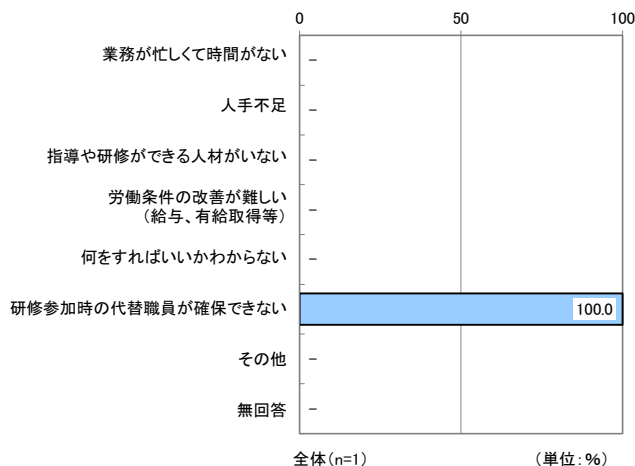


職員の資質向上の取り組みについて、現在取り組んでいることをみると、「研修の実施」が 92.2% で最も多く、次いで「職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり」が 76.7%、「休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり」が 51.7% となっている。今後取り組みたいことをみると、「休憩時間や休日取得しやすい、働きやすい環境づくり」が 59.5% で最も多く、次いで「リーダーの養成」が 58.2%、「研修の実施」が 54.3% となっている。(図 5-6-1)

⑥-2 職員の資質向上に取り組んでいない理由

問 13 問 12①で「10 特になし」と回答された方におうかがいします。現在、職員の資質向上の取り組みをできていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 5-6-2 職員の資質向上に取り組んでいない理由】



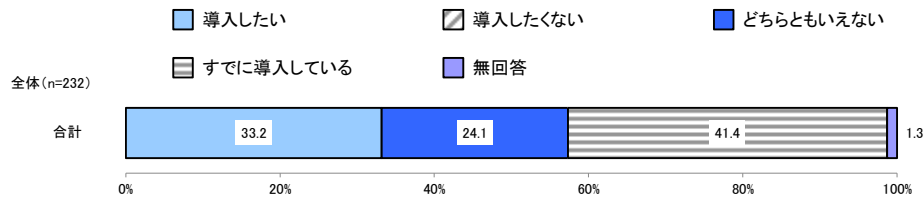
職員の資質向上に取り組んでいない理由については、サンプル数が 1 しかないが、「研修参加時の代替職員が確保できない」が 100.0% となっている。(図 5-6-2)

(6) 情報通信技術 (ICT) の活用について

①情報通信技術 (ICT) の導入意向

問 14 業務の簡略化、負担軽減のため、情報通信技術 (ICT) の導入を望まれますか。
(○はひとつ)

【図 6-1 情報通信技術 (ICT) の導入意向】

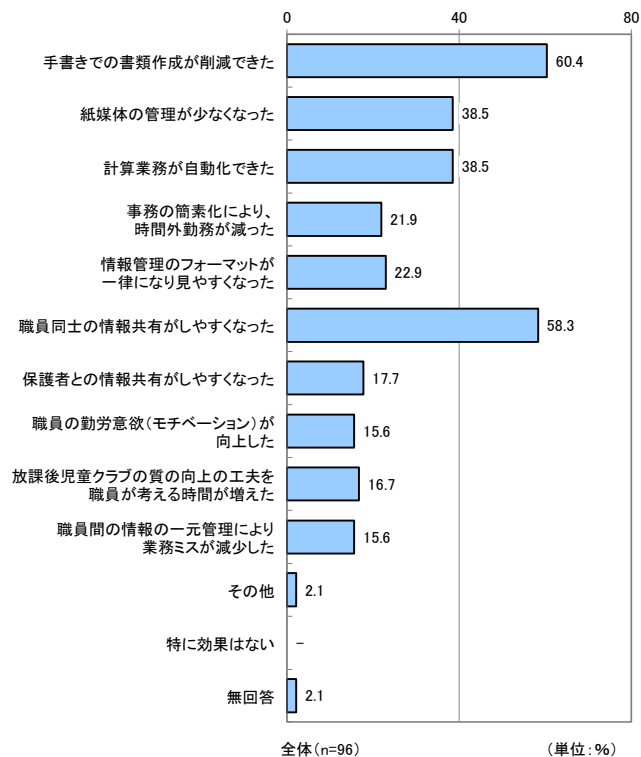


情報通信技術 (ICT) の導入意向については、「すでに導入している」が 41.4%で最も多く、次いで「導入したい」が 33.2%、「どちらともいえない」が 24.1%となっている。(図 6-1)

②情報通信技術 (ICT) の導入効果

問 15 問 14 で「4 すでに導入している」と回答した方におうかがいします。
導入して、どのような効果があったか、お答えください。(○はいくつでも)

【図 6-2 情報通信技術 (ICT) の導入効果】



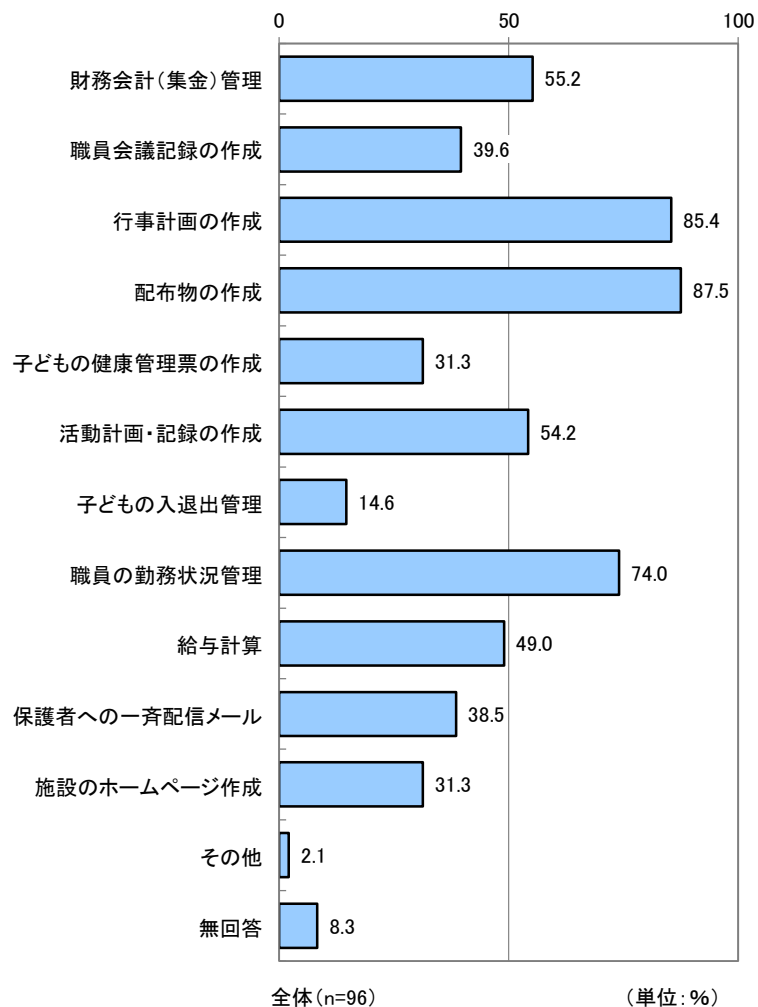
情報通信技術 (ICT) の導入効果については、「手書きでの書類作成が削減できた」が 60.4%で最も多く、次いで「職員同士の情報共有がしやすくなった」が 58.3%、「紙媒体の管理が少なくなった」と「計算業務が自動化できた」が 38.5%となっている。(図 6-2)

【1 児童クラブ施設調査】

③-1 情報通信技術（ICT）を使用して作業している業務

問 16 パソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、すでに作業している事務をお答えください。（〇はいくつでも）

【図 6-3-1 情報通信技術（ICT）を使用して作業している業務】



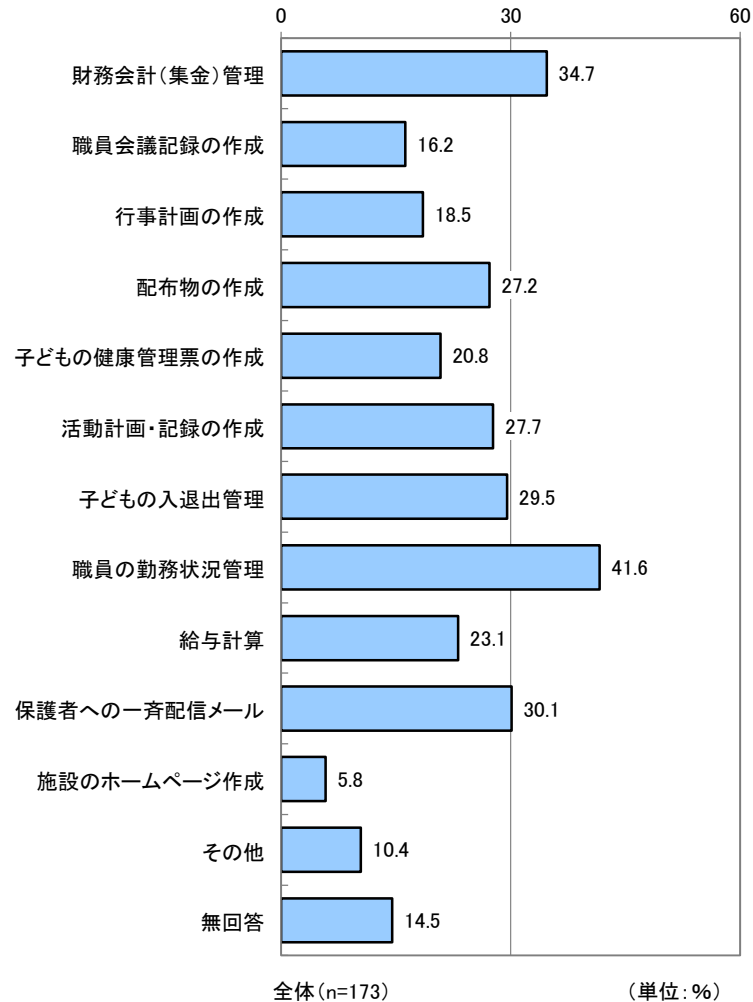
情報通信技術（ICT）を使用して作業している業務については、「配布物の作成」が 87.5%で最も多く、次いで「行事計画の作成」が 85.4%、「職員の勤務状況管理」が 74.0%となっている。（図 6-3-1）

【1 児童クラブ施設調査】

③-2 情報通信技術（ICT）を使用して作業したい業務

問17 パソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、今後作業したい事務をお答えください。
（〇はいくつでも）

【図 6-3-2 情報通信技術（ICT）を使用して作業したい業務】



情報通信技術（ICT）を使用して作業したい業務については、「職員の勤務状況管理」が 41.6%で最も多く、次いで「財務会計（集金）管理」が 34.7%、「保護者への一斉送信メール」が 30.1%となっている。（図 6-3-2）

【1 児童クラブ施設調査】

(7) 職員定着に向けた取り組み

①過去3年間の放課後児童支援員等の数

問 18 貴施設の過去3年間の放課後児童支援員等の数をご記入ください。
(各年5月1日時点のもの)

【図 7-1 過去3年間の放課後児童支援員等の数】

			平成30年	令和元年	令和2年
放課後 児童支援員	正規	常勤	189人 (36.4%)	219人 (29.8%)	240人 (28.3%)
		非常勤	61人 (11.8%)	68人 (9.3%)	74人 (8.7%)
	非正規	常勤	158人 (30.4%)	228人 (31.0%)	262人 (30.9%)
		非常勤	111人 (21.4%)	220人 (29.9%)	272人 (32.1%)
	合計		519人 (100%)	735人 (100%)	848人 (100%)
	補助員	正規	常勤	36人 (6.3%)	34人 (4.2%)
非常勤			67人 (11.7%)	102人 (12.5%)	106人 (10.7%)
非正規		常勤	76人 (13.2%)	108人 (13.2%)	126人 (12.7%)
		非常勤	395人 (68.8%)	575人 (70.2%)	717人 (72.2%)
合計		574人 (100%)	819人 (100%)	993人 (100%)	

放課後児童支援員については、正規職員の割合が年々減少傾向にあり、非正規の割合が年々増加傾向にある。補助員については、過去3年間とも非正規の非常勤が大多数を占めている。どちらの人数も過去3年間で増加傾向にある。(図7-1)

②過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の数

問 19 貴施設で過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等(定年退職除く)がいる場合、その人数をご記入ください。

【図 7-2 過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の数】

			平成30年	令和元年	令和2年
放課後 児童支援員	正規	常勤	11人 (44.0%)	19人 (30.6%)	10人 (21.3%)
		非常勤	4人 (16.0%)	3人 (4.8%)	8人 (17.0%)
	非正規	常勤	6人 (24.0%)	23人 (37.1%)	16人 (34.0%)
		非常勤	4人 (16.0%)	17人 (27.4%)	13人 (27.7%)
	合計		25人 (100%)	62人 (100%)	47人 (100%)
	補助員	正規	常勤	7人 (6.8%)	2人 (1.0%)
非常勤			9人 (8.7%)	12人 (6.0%)	15人 (5.2%)
非正規		常勤	18人 (17.5%)	34人 (16.9%)	57人 (19.7%)
		非常勤	69人 (67.0%)	153人 (76.1%)	205人 (70.9%)
合計		103人 (100%)	201人 (100%)	289人 (100%)	

放課後児童支援員については、平成30年と令和元年を比べると約2.5倍に増加しているが、令和元年と令和2年を比べると減少している。補助員については、過去3年間で増加傾向にあり、いずれの年も非正規の非常勤が約7割を占めている。(図7-2)

【1 児童クラブ施設調査】

③過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の勤務年数別人数

問 20 問 19 の過去3年間の退職者（定年退職者除く）について、勤務年数別の実人数をご記入ください。

【図 7-3 過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の勤務年数別人数】

	平成30年	令和元年	令和2年
1年未満	45人 (35.7%)	95人 (37.7%)	118人 (37.7%)
1年～3年	47人 (37.3%)	107人 (42.5%)	144人 (46.0%)
3年～5年	20人 (15.9%)	23人 (9.1%)	27人 (8.6%)
5年～7年	3人 (2.4%)	9人 (3.6%)	4人 (1.3%)
7年～10年	5人 (4.0%)	3人 (1.2%)	3人 (1.0%)
10年～15年	6人 (4.8%)	9人 (3.6%)	13人 (4.2%)
15年～20年	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	1人 (0.3%)
20年以上	0人 (0.0%)	6人 (2.4%)	3人 (1.0%)
合計	126人 (100%)	252人 (100%)	313人 (100%)

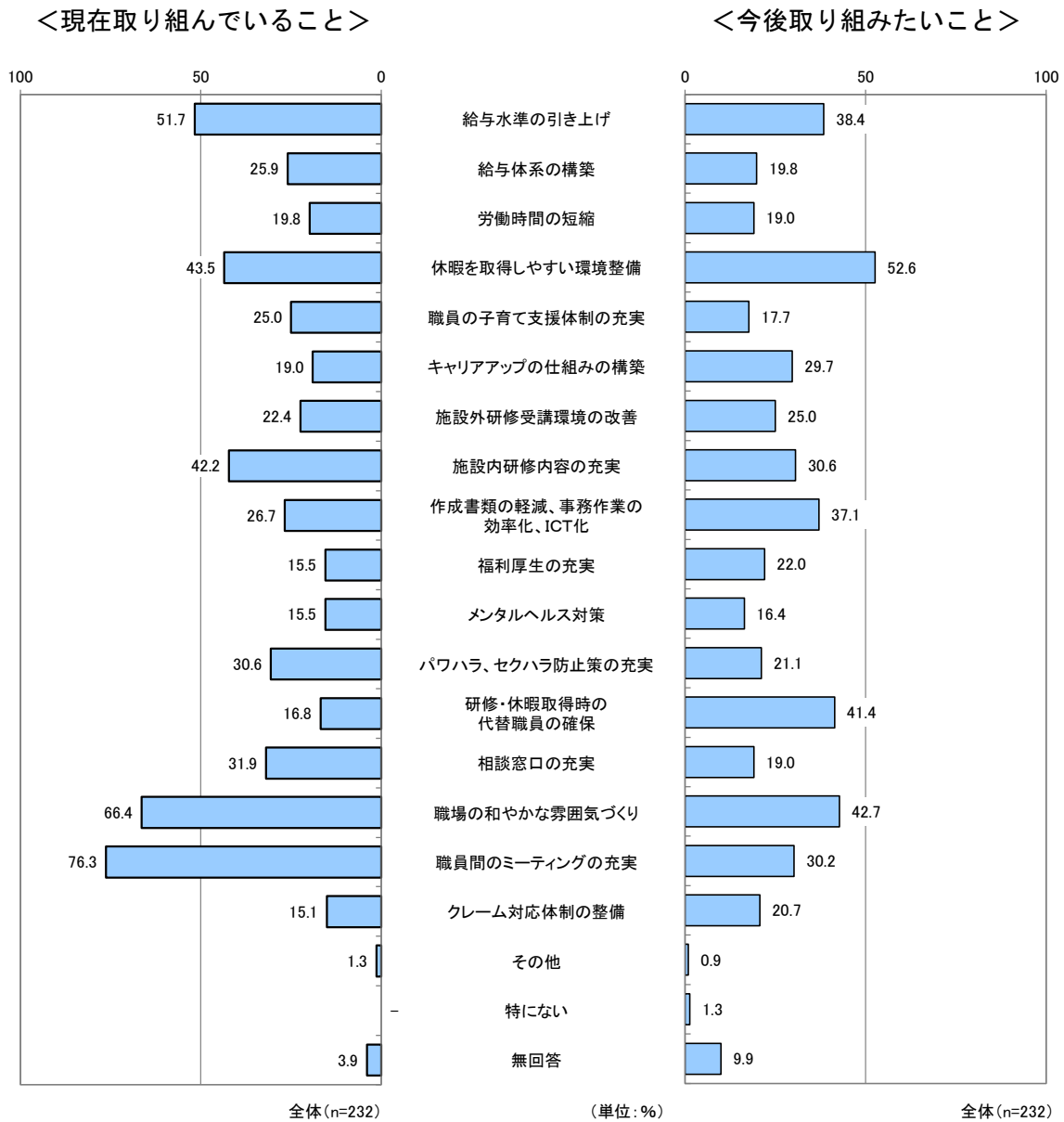
過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等の勤務年数別人数については、過去3年間で増加傾向にある。また、いずれの年も「3年未満」の退職者が7割を超えており、令和2年には83.7%となっている。(図7-3)

【1 児童クラブ施設調査】

④職員の職場定着のための取り組み

問 21 貴施設で、職員の職場定着のために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをお答えください。(〇はいくつでも)

【図 7-4 職員の職場定着のための取り組み】



職員の職場定着のための取り組みについて、現在取り組んでいることをみると、「職員間のミーティングの充実」が76.3%で最も多く、次いで「職場の和やかな雰囲気づくり」が66.4%、「給与水準の引き上げ」が51.7%となっている。

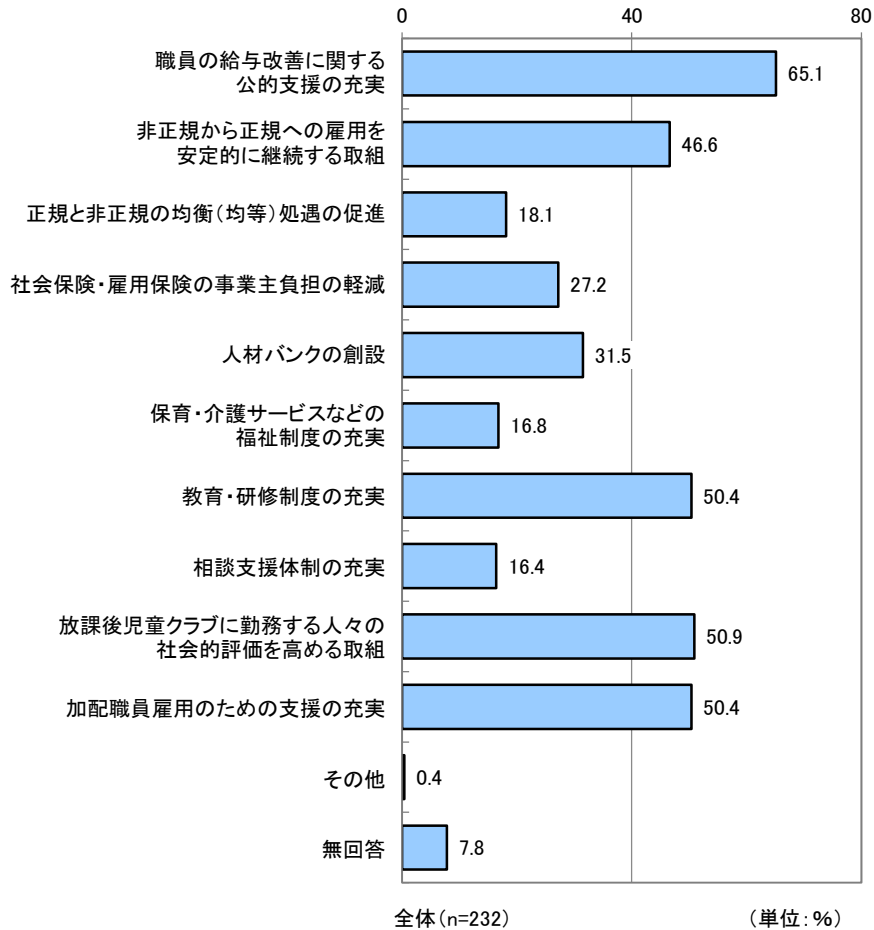
今後取り組みたいことをみると、「休暇を取得しやすい環境整備」が52.6%で最も多く、次いで「職場の和やかな雰囲気づくり」が42.7%、「研修・休暇取得時の代替職員の確保」が41.4%となっている。(図 7-4)

【1 児童クラブ施設調査】

⑤職員を安定的に雇用していくために望む公的支援

問 22 貴施設において、職員を安定的に雇用していくために望む公的支援はなんですか。
(〇はいくつでも)

【図 7-5 職員を安定的に雇用していくために望む公的支援】



職員を安定的に雇用していくために望む公的支援については、「職員の給与改善に関する公的支援の充実」が 65.1%で最も多く、次いで「放課後児童クラブに勤務する人々の社会的評価を高める取組」が 50.9%、「教育・研修制度の充実」と「加配職員雇用のための支援の充実」が 50.4%となっている。
(図 7-5)

【1 児童クラブ施設調査】

(8) 職員の採用状況

①令和2年度の採用状況

問 23 令和2年度の採用状況について、該当する欄に数字をご記入ください。

【図 8-1 令和2年度の採用状況】

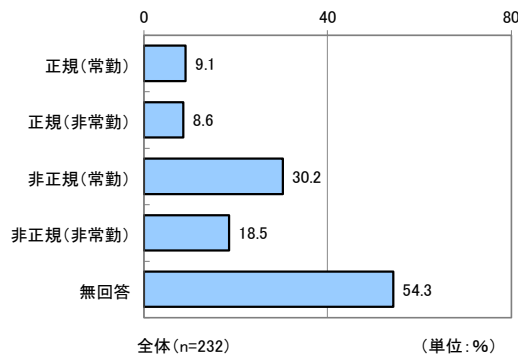
			採用予定数	採用数
支援員	正規	常勤	38名	35名
		非常勤	17名	11名
	非正規	常勤	41名	26名
		非常勤	26名	40名
補助員	正規	常勤	14名	17名
		非常勤	18名	16名
	非正規	常勤	70名	71名
		非常勤	147名	244名
事務員	正規	常勤	0名	0名
		非常勤	0名	0名
	非正規	常勤	0名	0名
		非常勤	2名	9名

令和2年度の採用状況（採用数）については、放課後児童支援員は「正規」は「常勤」、「非常勤」とともに、「非正規」は「常勤」が予定数の採用に至らなかった。補助員は「非正規」の「非常勤」が予定数を大幅に超えた採用となった。事務員は「非正規」の「非常勤」のみ採用があった。（図 8-1）

②令和2年度に応募がなかった、応募が少なかった形態

問 24 令和2年度の採用において、募集に対し応募がなかった、または、募集より応募が少なかった形態は何ですか。（〇はいくつでも）

【図 8-2 令和2年度に応募がなかった、応募が少なかった形態】



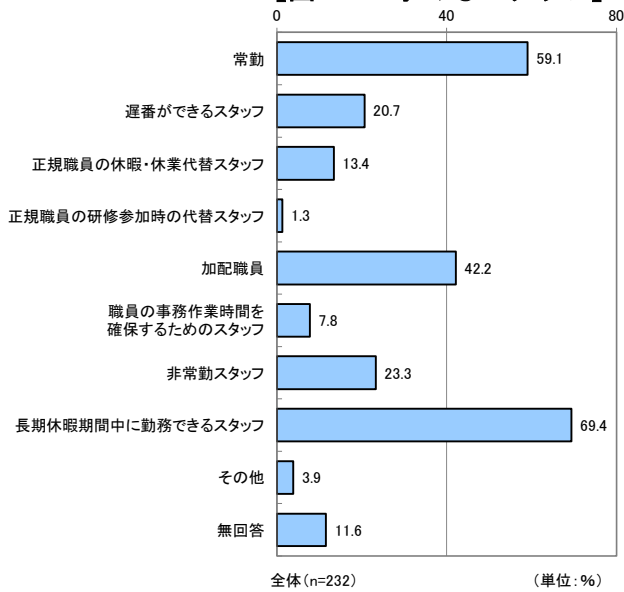
令和2年度に応募がなかった、応募が少なかった形態については、「非正規（常勤）」が30.2%で最も多く、次いで「非正規（非常勤）」が18.5%となっている。（図 8-2）

【1 児童クラブ施設調査】

③求めるスタッフ

問 25 採用するにあたり、どのようなスタッフを求めていますか。(〇は3つまで)

【図 8-3 求めるスタッフ】

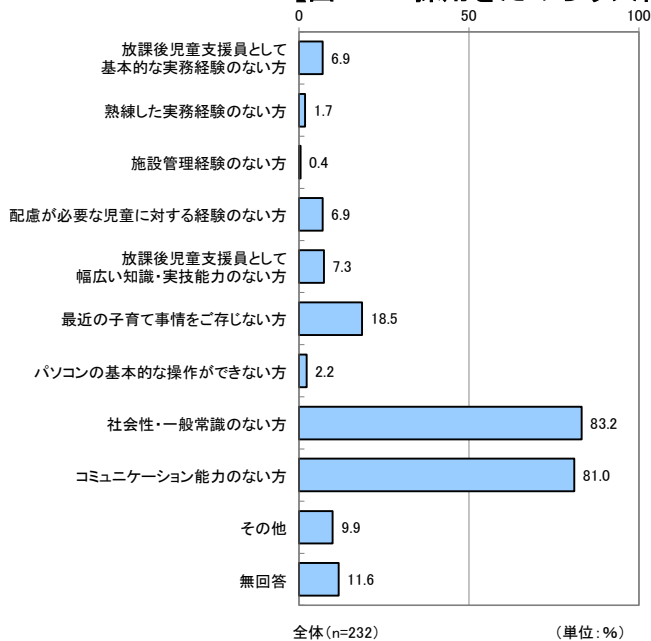


求めるスタッフについては、「長期休暇期間中に勤務できるスタッフ」が 69.4%で最も多く、次いで「常勤」が 59.1%、「加配職員」が 42.2%となっている。(図 8-3)

④採用をためらう人材

問 26 採用に至らない方、あるいは、採用するには心配な方は、どんな方ですか。(〇は3つまで)

【図 8-4 採用をためらう人材】



採用をためらう人材については、「社会性・一般常識のない方」が 83.2%で最も多く、次いで「コミュニケーション能力のない方」が 81.0%と僅差が続いている。その他は全て 2 割以下となっている。(図 8-4)

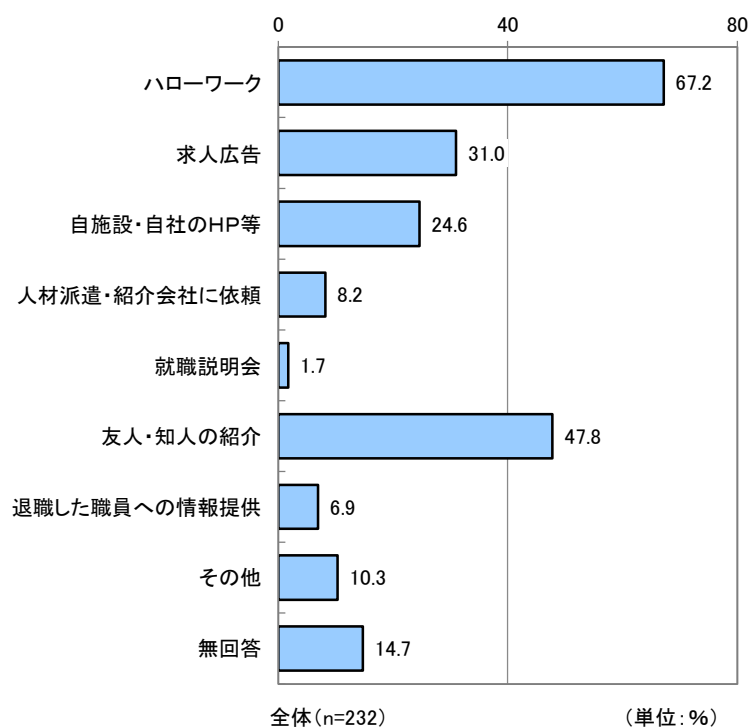
【1 児童クラブ施設調査】

⑤求人手続き手段

問 27 実施している求人手続きについて、おうかがいします。

①求人手続きの手段（〇はいくつでも）

【図 8-5 求人手続き手段】



求人手続きの手段については、「ハローワーク」が67.2%で最も多く、次いで「友人・知人の紹介」が47.8%、「求人広告」が31.0%となっている。(図 8-5)

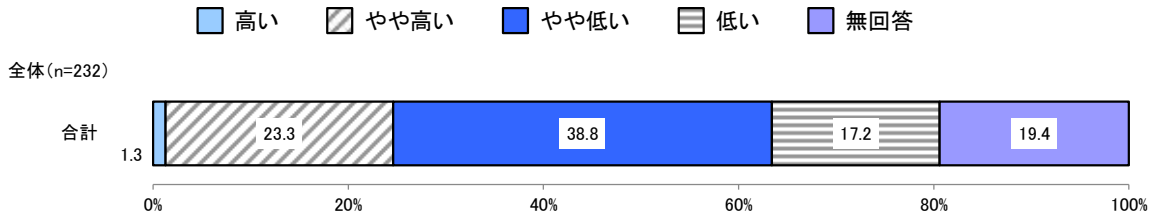
【1 児童クラブ施設調査】

⑥求人手続きの効果

問 27 実施している求人手続きについて、おうかがいします。

②求人手続きの効果（〇ひとつ）

【図 8-6 求人手続きの効果】



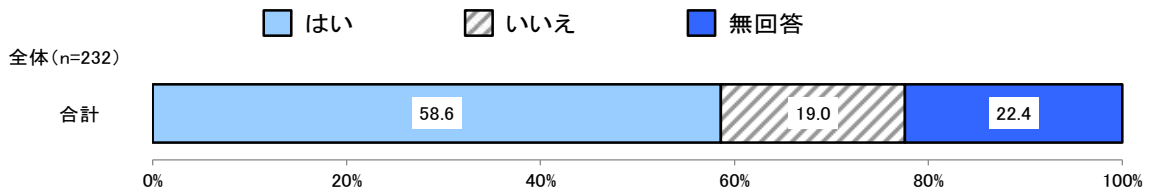
求人手続きの効果については、「やや低い」が 38.8%で最も多く、次いで「やや高い」が 23.3%、「低い」が 17.2%となっている。(図 8-6)

⑦採用に困難を感じるか

問 28 現在、職員の採用に困難を感じますか。「1 はい」の場合は、その理由もご記入ください。

(〇はひとつ)

【図 8-7 採用に困難を感じるか】



採用に困難を感じるかについては、「はい」が 58.6%、「いいえ」が 19.0%と、「はい」の方が大幅に上回った。(図 8-7)

■「はい」と回答した主な理由

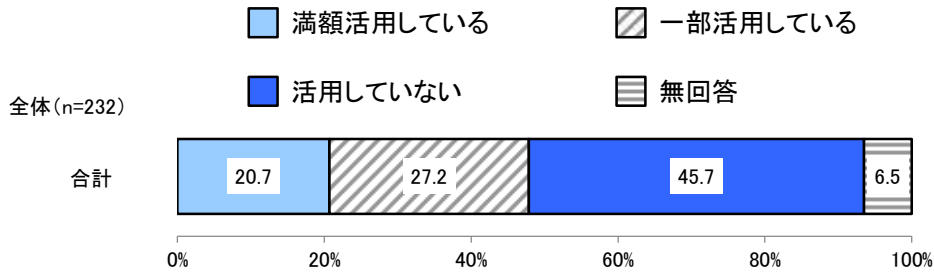
内 容	サンプル数
・ 適任者の応募が少ない	19
・ 応募がない	16
・ 長期のみの採用が難しい	13
・ 定期的にシフトに入れる方の採用が難しい	9
・ 平日と長期休暇の勤務時間の差などで応募がない	7
・ 給料が他の業種に比べて安いから	6
・ 若年層の応募が少ない	6
・ 常勤者の採用が難しい	5
・ 希望者がいない	4
・ 社会的地位の低さ	4

(9) 処遇改善等の実施状況

①放課後児童支援員等処遇改善事業の活用状況

問 29 放課後児童支援員等処遇改善事業を活用されていますか。(○はひとつ)

【図 9-1 放課後児童支援員等処遇改善事業の活用状況】

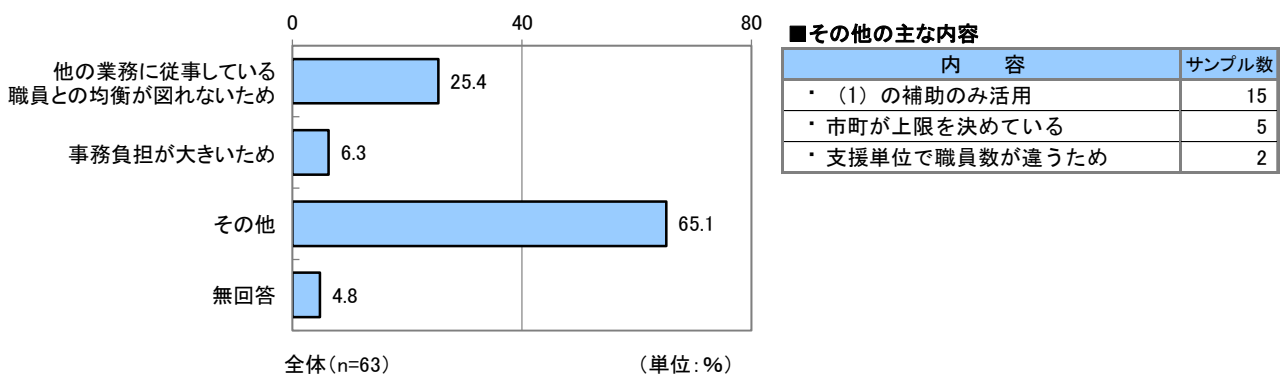


放課後児童支援員等処遇改善事業の活用状況については、「活用していない」が 45.7%で最も多く、次いで「一部活用している」が 27.2%、「満額活用している」が 20.7%となっている。(図 9-1)

②満額活用していない理由

問 30 問 29 で「2 一部活用している」を選ばれた方におうかがいします。処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)(○はいくつでも)

【図 9-2 満額活用していない理由】



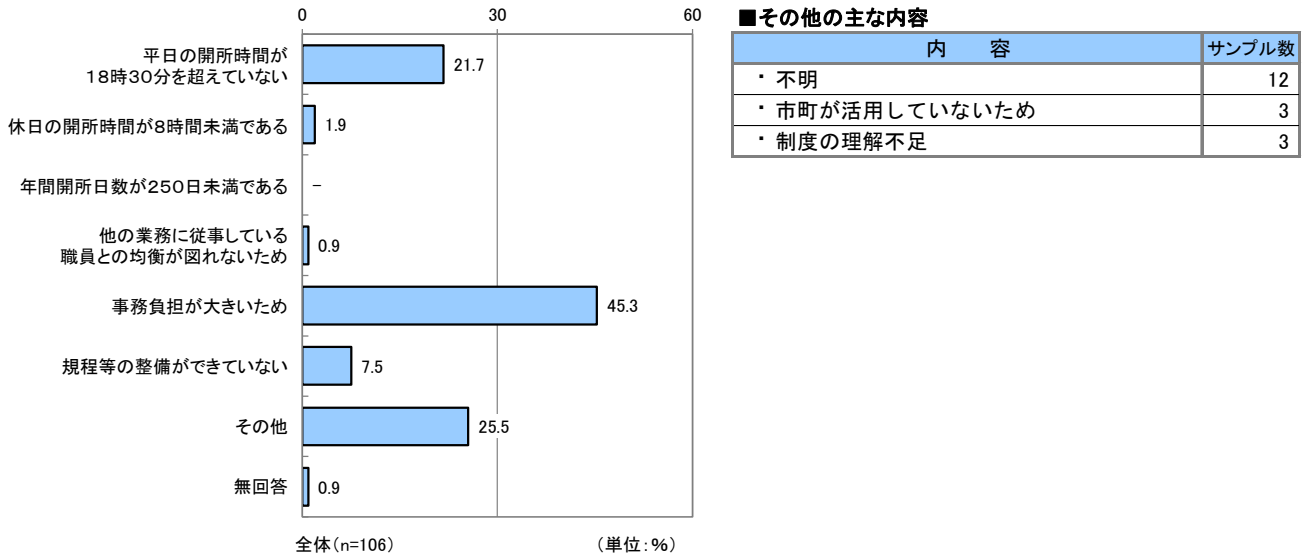
満額活用していない理由については、「その他」が 65.1%で最も多く、次いで「他の業務に従事している職員との均衡が図れないため」が 25.4%となっている。(図 9-2)

【1 児童クラブ施設調査】

③活用していない理由

問 31 問 29 で「3 活用していない」を選ばれた方におうかがいします。処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。（「5 事務負担が大きいため」、「7 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。）（〇はいくつでも）

【図 9-3 活用していない理由】

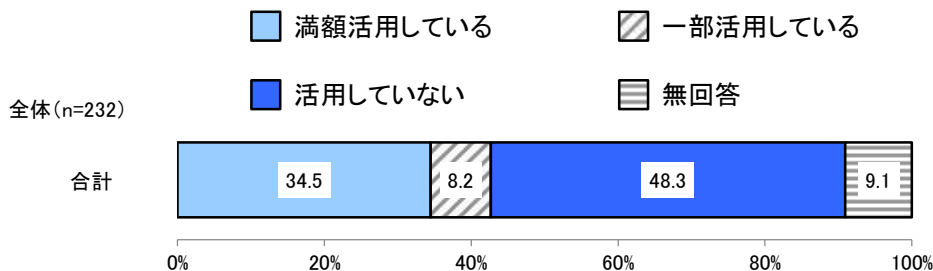


活用していない理由については、「事務負担が大きいため」が45.3%で最も多く、次いで「その他」が25.5%、「平日の開所時間が18時30分を超えていない」が21.7%となっている。（図 9-3）

④放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用状況

問 32 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を活用されていますか。（〇はひとつ）

【図 9-4 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用状況】



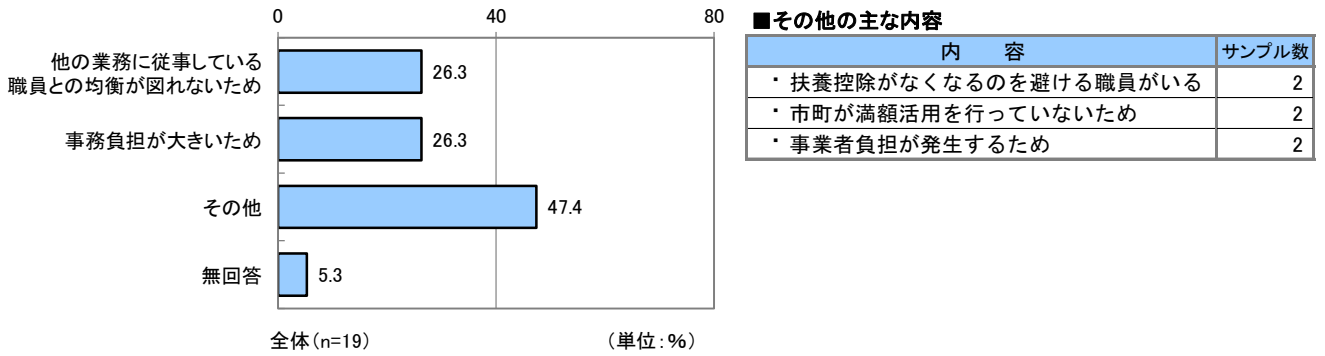
放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用状況については、「活用していない」が48.3%で最も多く、次いで「満額活用している」が34.5%、「一部活用している」が8.2%となっている。（図 9-4）

【1 児童クラブ施設調査】

⑤満額活用していない理由

問 33 問 32 で「2 一部活用している」を選ばれた方におうかがいします。キャリアアップ処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。（「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。）（○はいくつでも）

【図 9-5 満額活用していない理由】

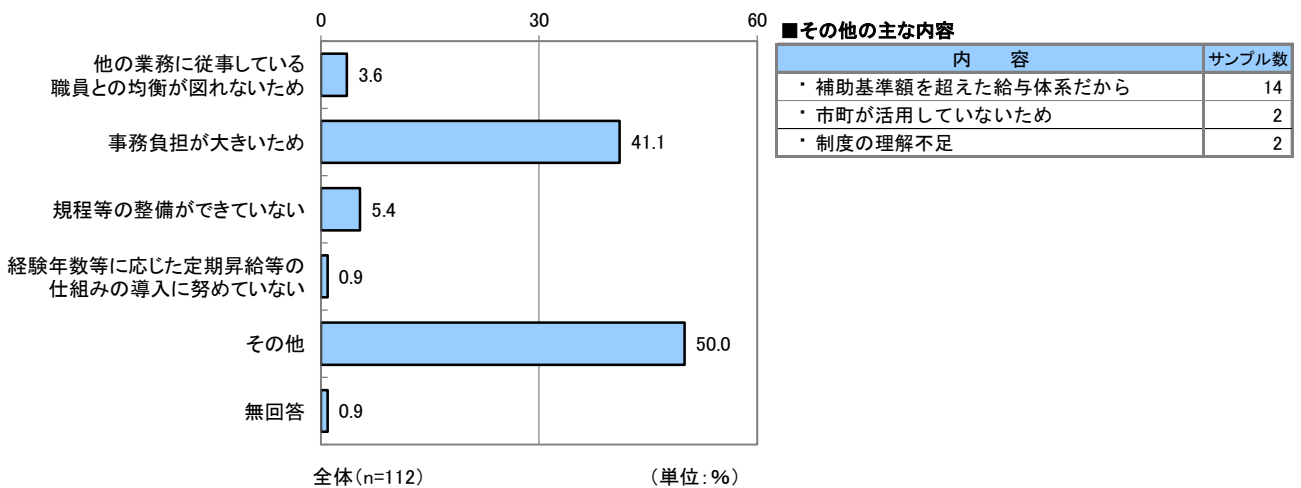


満額活用していない理由については、「その他」が 47.4%で最も多く、次いで「他の業務に従事している職員との均衡が図れないため」と「事務負担が大きいため」が 26.3%となっている。（図 9-5）

⑥活用していない理由

問 34 問 32 で「3 活用していない」を選ばれた方におうかがいします。キャリアアップ処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。（「2 事務負担が大きいため」、「4 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。）（○はいくつでも）

【図 9-6 活用していない理由】



活用していない理由については、「その他」が 50.0%で最も多く、次いで「事務負担が大きいため」が 41.1%となっている。（図 9-6）

【1 児童クラブ施設調査】

(10) 運営上の課題、行政への意見 自由回答

問 35 運営上の課題に感じていることがあれば、ご記入ください。

90 施設から回答をいただき、内容は、おおむね以下のとおり。

- 人材に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21件
 - ・放課後児童クラブの性質上、フルタイム勤務の募集がしにくく、夕方遅くまでの勤務となるため、支援員の確保にも苦慮している
 - ・補助員増員を求めているが、応募者がいないため、長期休業中の勤務態勢に困っている。現状のスタッフでやりくりしているので、今後の課題。
- 子どもへの接し方・保育のあり方について・・・・・・・・19件
 - ・要支援児童を含め児童一人ひとりの個性を尊重したきめ細やかな対応。指導員によって子どもたちに求める姿が異なり対応にも差が生じている。指導員として目指す指導のあり方や保育に関する共通理解を促すことが重要
 - ・NPO 法人として立ち上げられてからの年数の浅さもありますが、今までの保護者会運営時の各々の学童のやり方が根本にまだまだある。とくに職員の意識がまちまちである
- 給与、福利厚生などに関すること・・・・・・・・17件
 - ・人材が不足しています。人員ではなく人材です。非正規であること、処遇改善が一向にすすまないため、長く働き続けられない。同時に、人材育成が進まない。負の連鎖がますます大きくなっている現状です
- 施設・設備に関すること・・・・・・・・12件
 - ・住宅街の中にある施設なので、地域対応は1番の課題である。隣接する公園は狭く、ボール遊び等が禁止されているため、外遊びが充実できない
- 補助金・予算・運営に関すること・・・・・・・・12件
 - ・受け入れ人数が減少していった場合、補助金額となるが、支援員、補助員など雇用している以上、賃金がそれによって下がる。または雇用止めになるようなことにならないか
- 支援員・補助員の高齢化について・・・・・・・・10件
 - ・支援員の高齢化に危機感を覚えている。求人の応募も高齢化している
- 支援員・補助員の配置基準について・・・・・・・・5件
 - ・フルタイム勤務から会計年度へ変更になり、短い時間で以前と同じ仕事業務をするのには無理がある。働く人の年齢層を（キャリアも考え）、もう少しバランスよく配置してほしい
- 配慮が必要な子どもへの対応について・・・・・・・・4件
 - ・配慮が必要な子供達への関わり
- その他・・・・・・・・31件
 - ・コロナ対策の消毒で時間がかかり、事務等午前の仕事が進まない
 - ・現場と教委（デスクワーク）の感覚に隔たりがある。現場の要望がなかなか実現しない（環境整備などの予算的なこと）

【1 児童クラブ施設調査】

問 36 最後に、行政に対するご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。

84 施設から回答をいただき、内容は、おおむね以下のとおり。

- 給与、福利厚生などに関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・33件
 - ・現在の指導員の給与水準では、特に若手の人材を募集し安定雇用していくのが難しい。処遇改善に向けた公的支援を望みたい。
 - ・放課後児童支援員（学童保育指導員）の処遇は以前と比べるとよくなっているとはいえ、平均よりは下。世間からも低いというイメージが定着しており、その割には大変だと思われる。結局、賃金等の処遇を改善していただければ、一生の仕事として選んで就職する人が増えると思うので、今後も処遇改善をしていっていただきたい。
- 施設・設備に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・28件
 - ・トイレや手洗い場などハード面での環境が施設によって差がある。公的支援による環境整備をお願いしたい。
 - ・余裕教室で市の指定管理者制度として運営しているが、施設が古いことから傷みがひどい。数年前の台風の際に窓ガラスが割れた。幸い子ども達がいなかったので、負傷者はいなかったが、今後、万一、地震や台風等でガラスが割れることを思うと大変つらい。現在、日本全体で防災の課題があるが、施設の安全についてご一考いただきたい
- 補助金・予算・運営に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・27件
 - ・キャリアアップ事業に関して、支援単位当たりの上限額を上げてほしい。多くの支援員がいるクラブと少ないクラブが同額では、支援員全員に処遇改善しているため、運営者の負担が大きい。支援員配置で129,000円の補助があるのは初めて知った
 - ・社会福祉施設として認定し、責任をもって公立の放課後児童クラブとして運営できるよう補助を。というより運営主体としての責任を果たしてほしい
- 面積基準・定員について・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
 - ・国の基準1.65㎡ではなく、どの施設でも概ね40人を優先させてほしい。市は、国の基準を盾に独自の基準を設けようとしてくれないので、国へ概ね40人を優先させるよう要望していただきたい
- 新型コロナウイルス感染症対策について・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
 - ・子供の密具合など、現場の課題内容に対応してほしい
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・24件
 - ・事務的な負担が年々大きくなってきている。市側が統一したフォーマットを作成・提示する等、努力はしていただいているものの、肥大する一方なので、簡略化やICT化を進めもらいたい
 - ・地域による差が大きすぎる（パート職員のみなど）。どこにいる子供も指導員も平等になるようにしてもらいたい（質、施設、全てにおいて違う）

2. 児童クラブ支援員調査

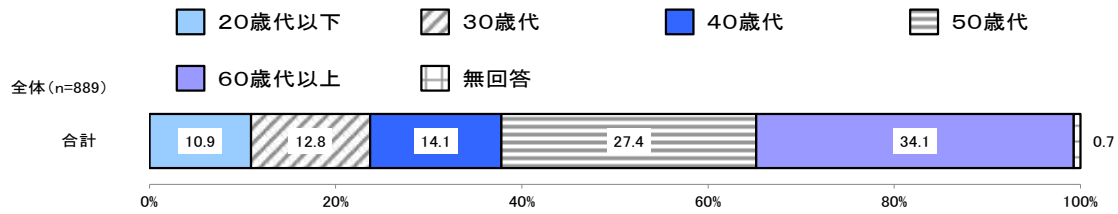
(1) 回答者の基本属性

①年代

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

①年代

【図 1-1 年代】



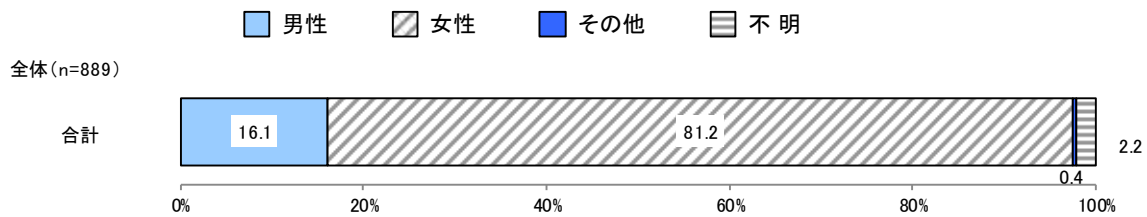
年代については、「60歳代以上」が34.1%で最も多く、次いで「50歳代」が27.4%、「40歳代」が14.1%となっている。(図 1-1)

②性別

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

②性別

【図 1-2 性別】



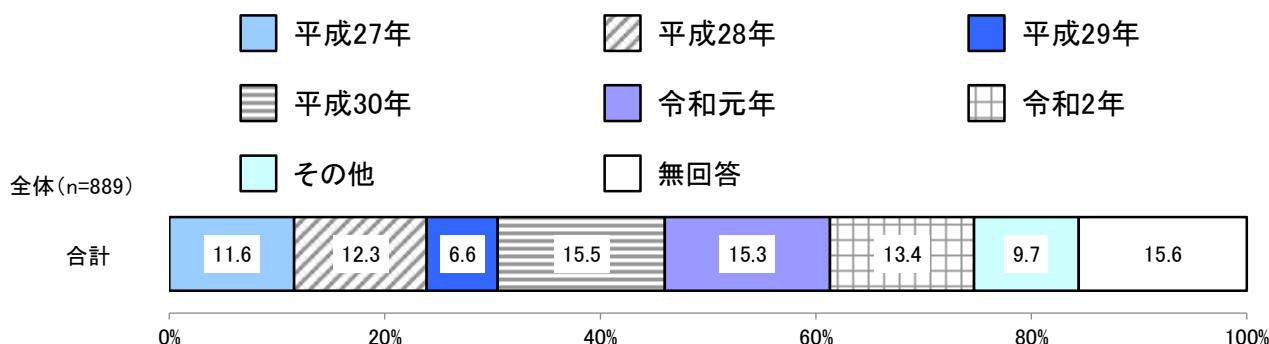
性別については、「女性」が81.2%と8割を超えており、「男性」が16.1%となっている。(図 1-2)

③放課後児童支援員認定資格研修修了年

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

③放課後児童支援員認定資格研修の研修修了年月

【図1-3 放課後児童支援員認定資格研修修了年】



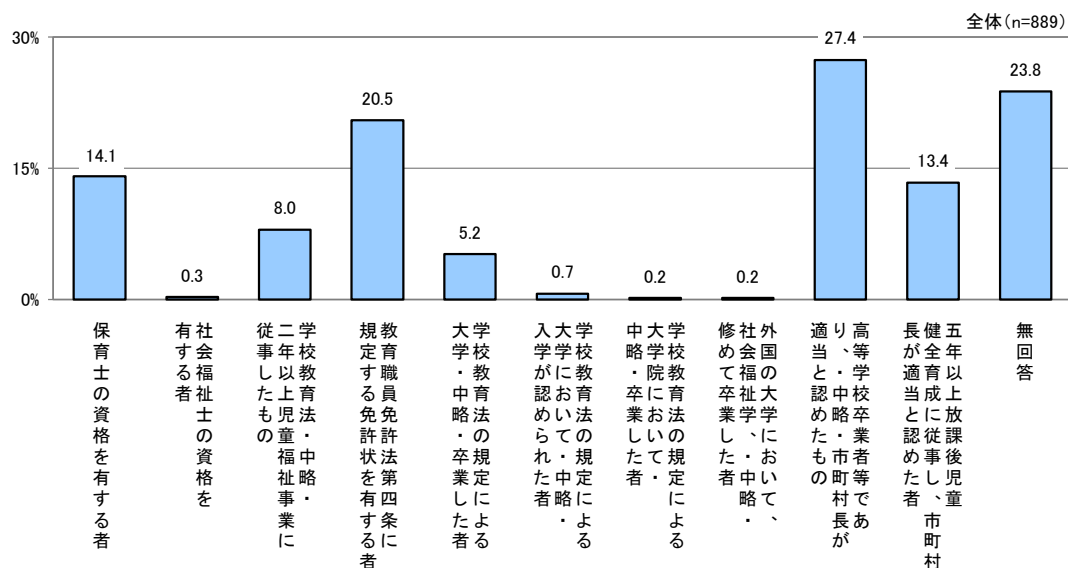
放課後児童支援員認定資格研修修了年については、「平成30年」が15.5%で最も多く、次いで「令和元年」が15.3%、「令和2年」が13.4%となっている。(図1-3)

④受験資格

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

③放課後児童支援員認定資格研修の受験資格

【図1-4 受験資格】



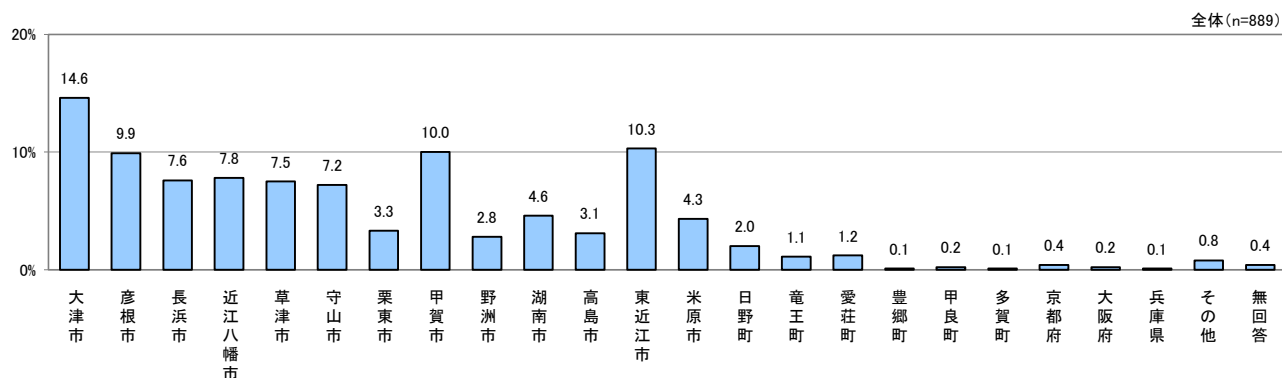
受験資格については、「高等学校卒業業者等であり、かつ、二年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの」が27.4%で最も多く、次いで「教育職員免許法第四条に規定する免許状を有する者」が20.5%、「保育士の資格を有する者」が14.1%となっている。(図1-4)

⑤居住地

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

④現在の住所地

【図1-5 居住地】



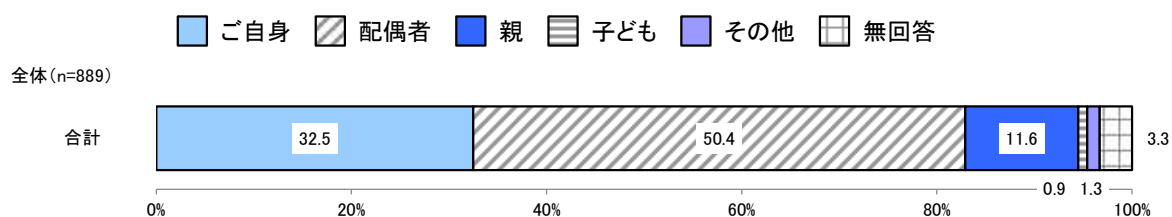
居住地については、「大津市」が14.6%で最も多く、次いで「東近江市」が10.3%、「甲賀市」が10.0%、「彦根市」が9.9%となっている。(図1-5)

⑥家計の主たる生計者

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

⑤家計の主たる生計者

【図1-6 家計の主たる生計者】

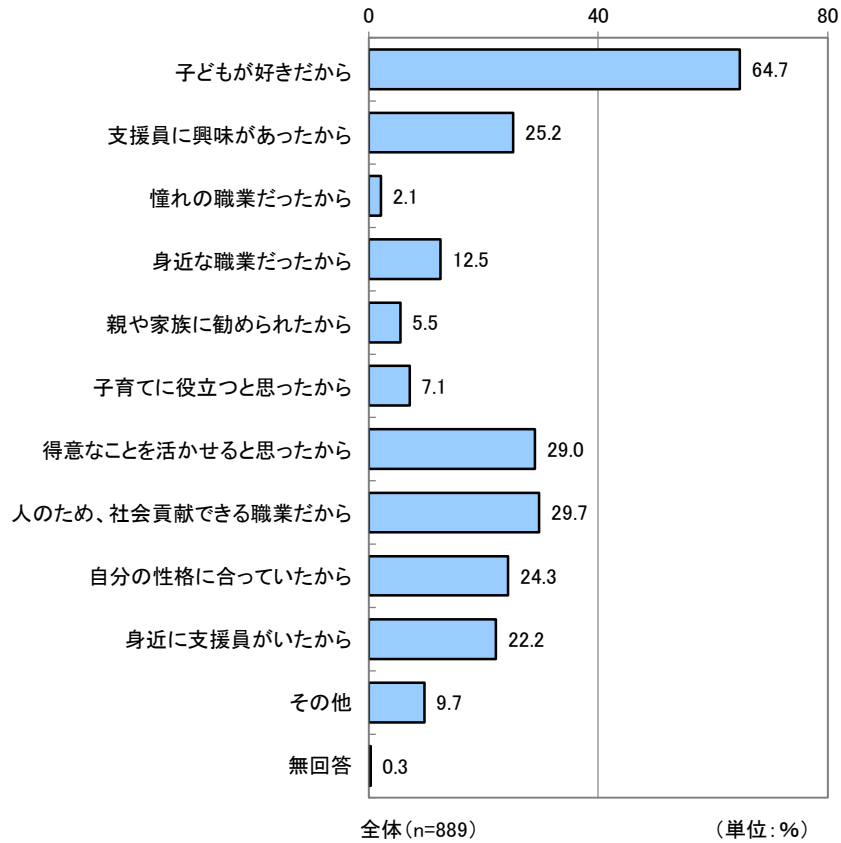


家計の主たる生計者については、「配偶者」が50.4%で最も多く、次いで「ご自身」が32.5%、「親」が11.6%となっている。(図1-6)

⑦放課後児童支援員になろうと思ったきっかけ

問2 あなたはなぜ放課後児童支援員になろうと思いましたか。(〇はいくつでも)

【図1-7 放課後児童支援員になろうと思ったきっかけ】

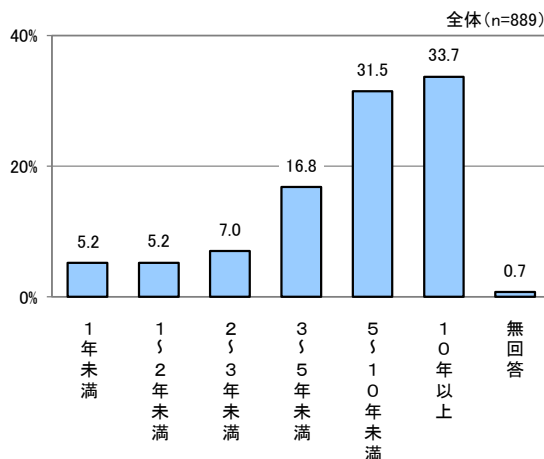


放課後児童支援員になろうと思ったきっかけについては、「子どもが好きだから」が 64.7%で最も多く、次いで「人のため、社会貢献できる職業だから」が 29.7%、「得意なことを活かせると思ったから」が 29.0%となっている。(図1-7)

⑧放課後児童支援員就業年数

問3 あなたが放課後児童支援員として働いた就業年数は、通算で何年ですか。(〇はひとつ)

【図1-8 放課後児童支援員就業年数】

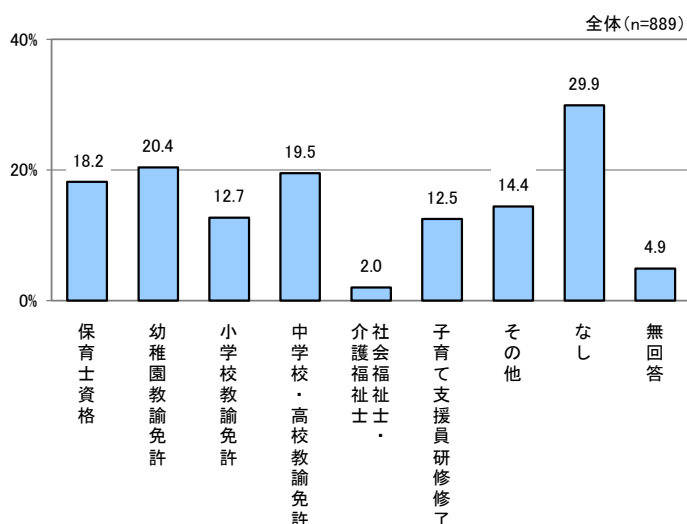


放課後児童支援員就業年数については、「10年以上」が33.7%で最も多く、次いで「5～10年未満」が31.5%、「3～5年未満」が16.8%となっている。(図1-8)

⑨放課後児童支援員以外の資格

問4 あなたが放課後児童支援員以外に取得・修了している資格等がありますか。(〇はいくつでも)

【図1-9 放課後児童支援員以外の資格】



■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 児童厚生員	31
・ 社会福祉主事	13
・ ヘルパー2級	5

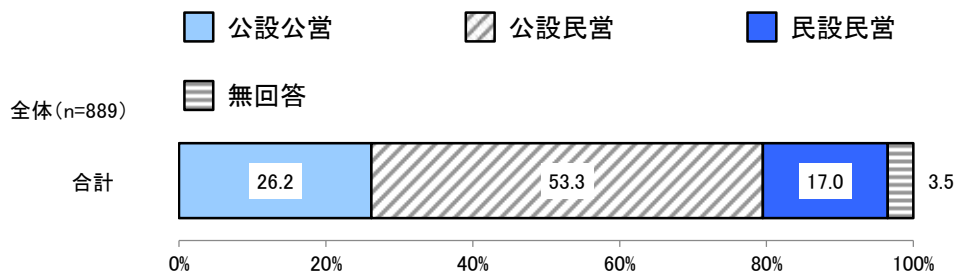
放課後児童支援員以外の資格等については、「なし」が29.9%で最も多く、次いで「幼稚園教諭免許」が20.4%、「中学校・高等教諭免許」が19.5%、「保育士資格」が18.2%となっている。(図1-9)

(2) 現在の就業先の状況

①施設の設置・運営主体

問5 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-1 施設の設置・運営主体】

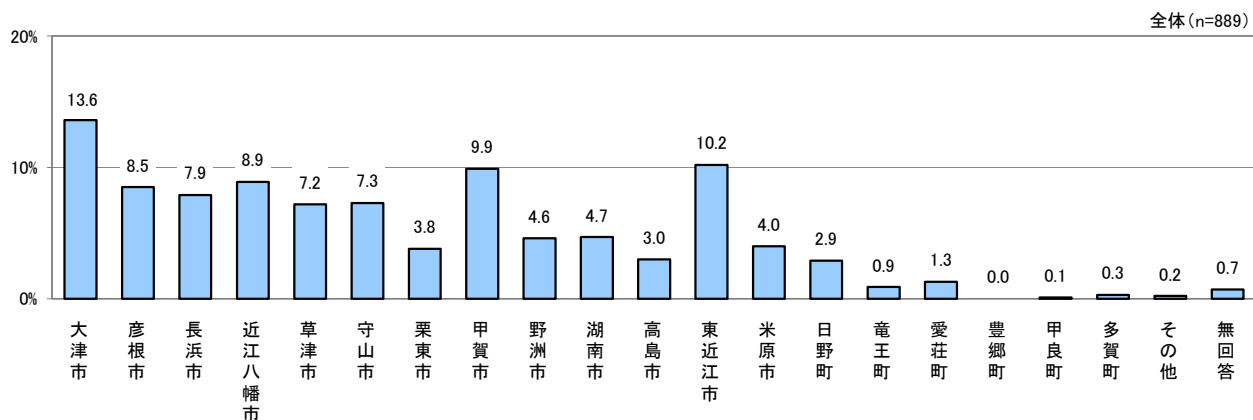


施設の設置・運営主体については、「公設民営」が 53.3%で最も多く、次いで「公設公営」が 26.2%、「民設民営」が 17.0%となっている。(図 2-1)

②施設の所在地

問6 現在の就業先の市町名をご記入ください。

【図 2-2 施設の所在地】

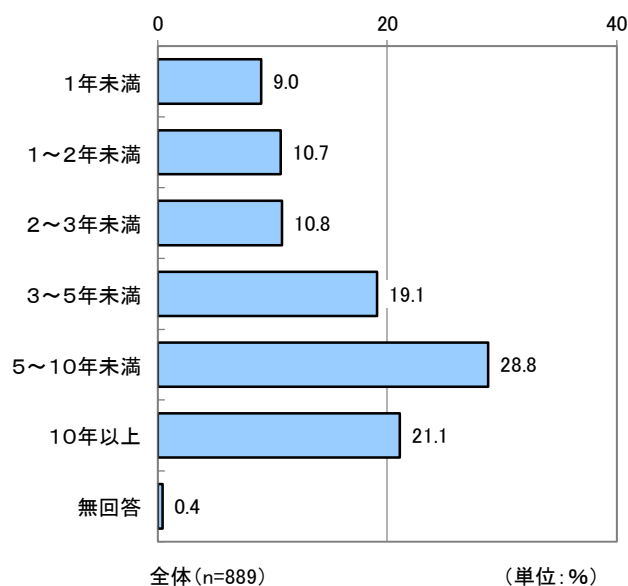


施設の所在地については、「大津市」が 13.6%で最も多く、次いで「東近江市」が 10.2%、「甲賀市」が 9.9%、「近江八幡市」が 8.9%、「彦根市」が 8.5%となっている。(図 2-2)

③現在の就業先での勤続年数

問7 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(〇はひとつ)

【図 2-3 現在の就業先での勤続年数】

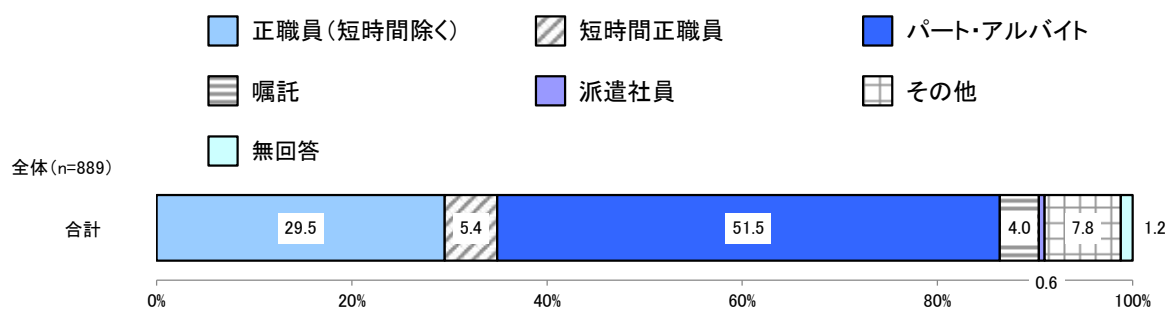


現在の就業先での勤続年数については、「5～10年未満」が28.8%で最も多く、次いで「10年以上」が21.1%、「3～5年未満」が19.1%となっている。(図 2-3)

④現在の雇用形態

問8 現在の雇用形態についてお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-4 現在の雇用形態】

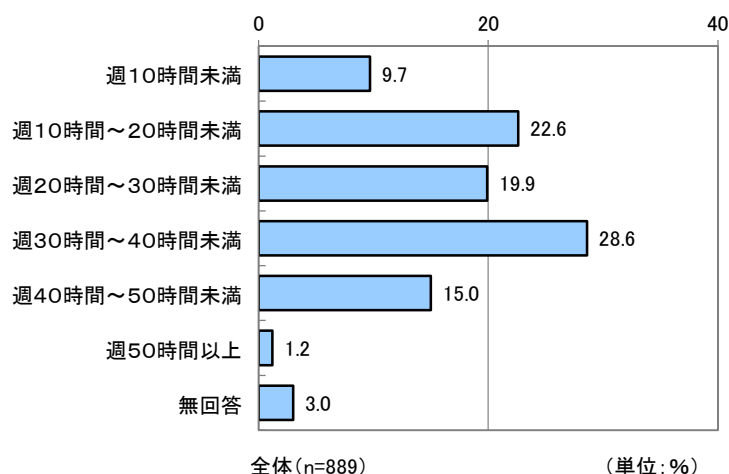


現在の雇用形態については、「パート・アルバイト」が51.5%で最も多く、次いで「正職員(短時間除く)」が29.5%、「その他」が7.8%となっている。(図 2-4)

⑤ 1週当たりの平均的な労働時間

問9 昨年度（令和2年度）の時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図2-5 1週当たりの平均的な労働時間】

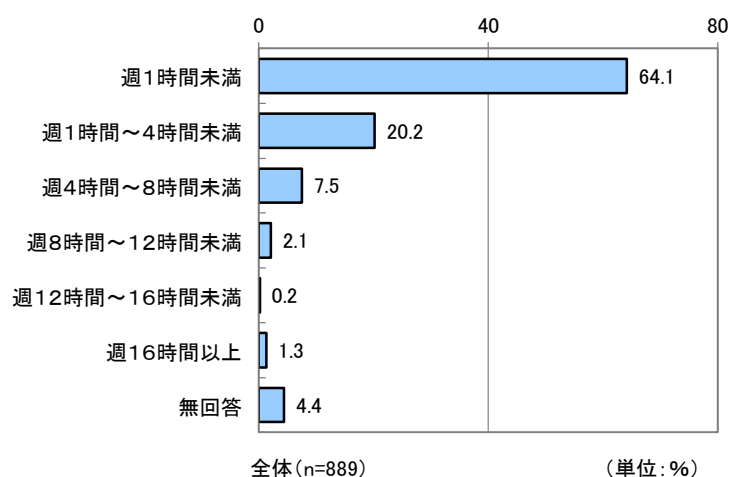


1週当たりの平均的な労働時間については、「週30時間～40時間未満」が28.6%で最も多く、次いで「週10時間～20時間未満」が22.6%、「週20時間～30時間未満」が19.9%となっている。（図2-5）

⑥ 1週当たりの平均的な残業時間

問10 昨年度（令和2年度）の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図2-6 1週当たりの平均的な残業時間】

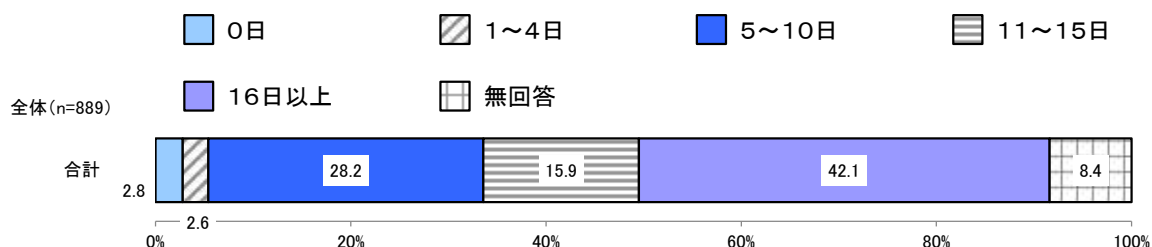


1週当たりの平均的な残業時間については、「週1時間未満」が64.1%で最も多く、次いで「週1時間～4時間未満」が20.2%、「週4時間～8時間未満」が7.5%となっている。（図2-6）

⑦-1 取得可能な有給休暇

問 11 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

【図 2-7-1 取得可能な有給休暇】

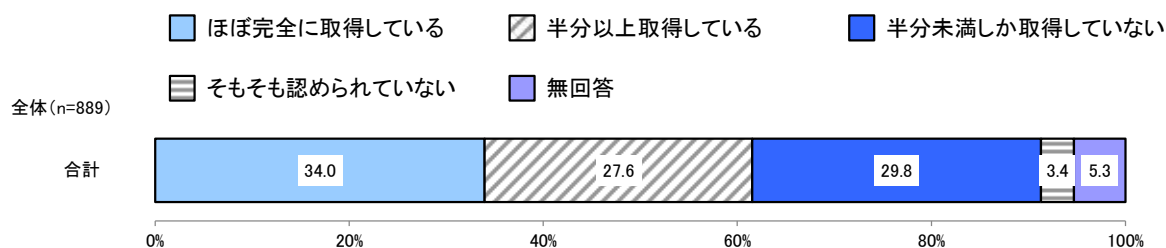


取得可能な有給休暇については、「16日以上」が42.1%で最も多く、次いで「5～10日」が28.2%、「11～15日」が15.9%となっている。(図 2-7-1)

⑦-2 有給休暇の取得状況

問 11-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(○はひとつ)

【図 2-7-2 有休休暇の取得状況】

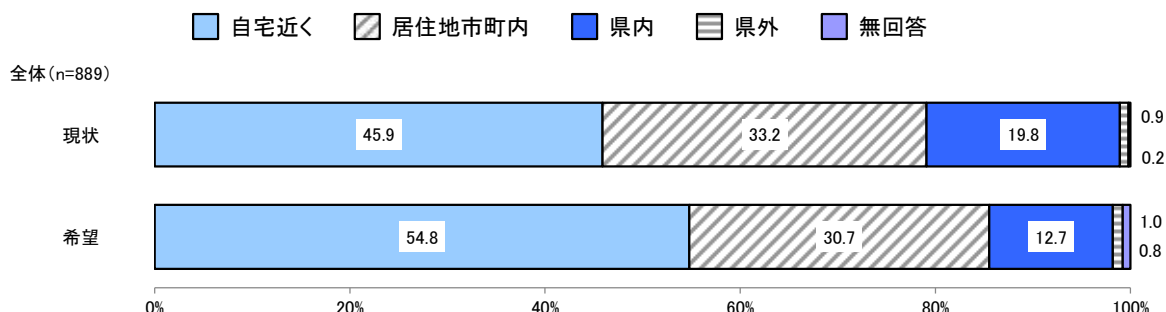


有休休暇の取得状況については、「ほぼ完全に取得している」が34.0%で最も多く、次いで「半分未満しか取得していない」が29.8%、「半分以上取得している」が27.6%となっている。(図 2-7-2)

⑧勤務地

問 12 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(〇はそれぞれひとつ)。

【図 2-8 勤務地】



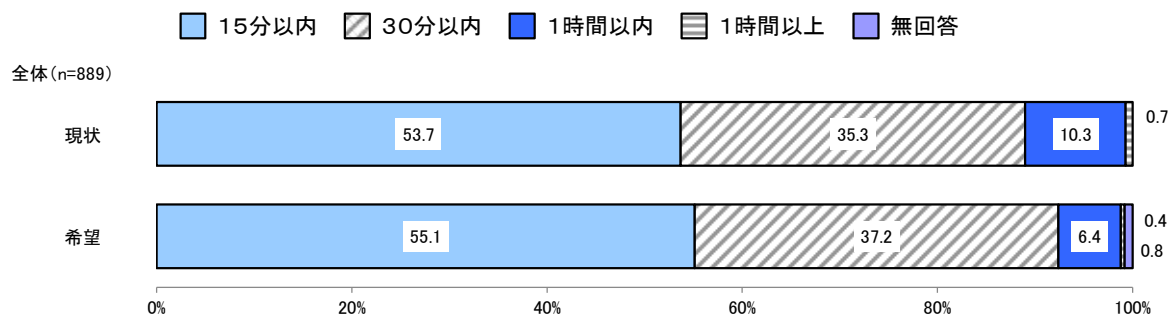
勤務地については、現状は「自宅近く」が45.9%で最も多く、次いで「居住地市町内」が33.2%、「県内」が19.8%となっている。

希望は、「自宅近く」が54.8%で最も多く、現状より8.9ポイント高くなっている。(図 2-8)

⑨通勤時間

問 13 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望（許容できる上限）をお答えください。(〇はそれぞれひとつ)

【図 2-9 通勤時間】



通勤時間については、現状は「15分以内」が53.7%で最も多く、次いで「30分以内」が35.3%、「1時間以内」が10.3%となっている。

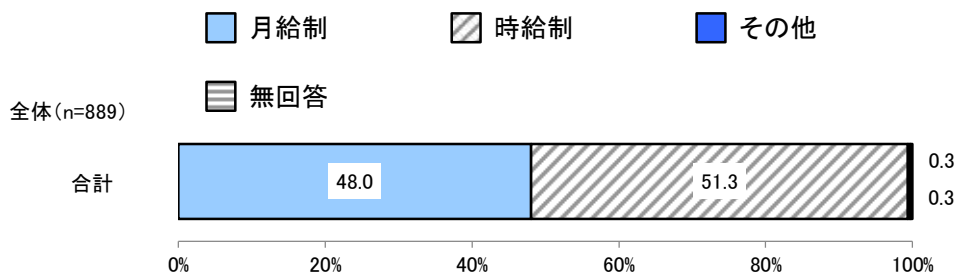
希望は、「15分以内」が55.1%で最も多く、現状より1.4ポイントとわずかだが高い。(図 2-9)

⑩-1 給与算定方法

問 14 現在の給与について、おうかがいします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-10-1 給与算定方法】



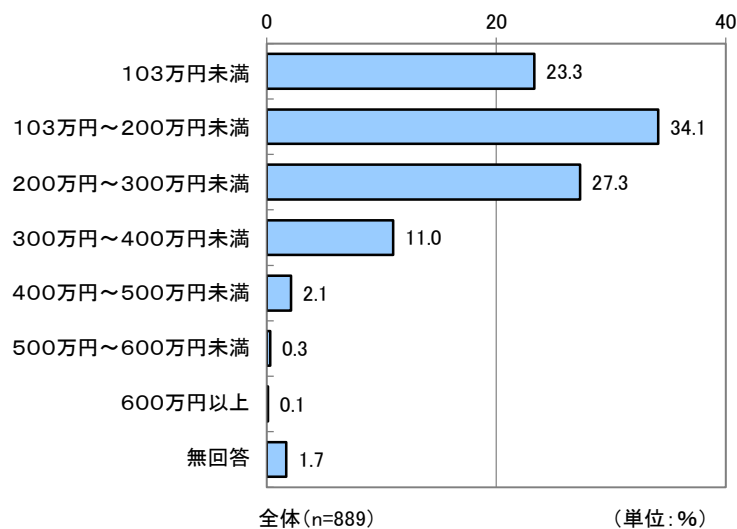
給与算定方法については、「時給制」が 51.3%で最も多く、次いで「月給制」が 48.0%となっている。(図 2-10-1)

⑩-2 給与年収ベース

問 14 現在の給与について、おうかがいします。

②現在の給与について年収ベース（総支給額）でお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-10-2 給与年収ベース】

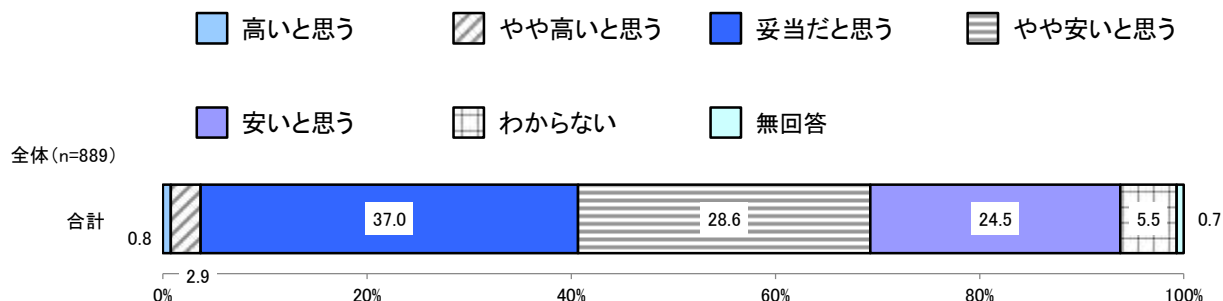


給与年収ベースについては、「103万円～200万円未満」が 34.1%で最も多く、次いで「200万円～300万円未満」が 27.3%、「103万円未満」が 23.3%となっている。(図 2-10-2)

⑩-3 給与の妥当性

問 15 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのように感じていますか。(〇はひとつ)

【図 2-10-3 給与の妥当性】



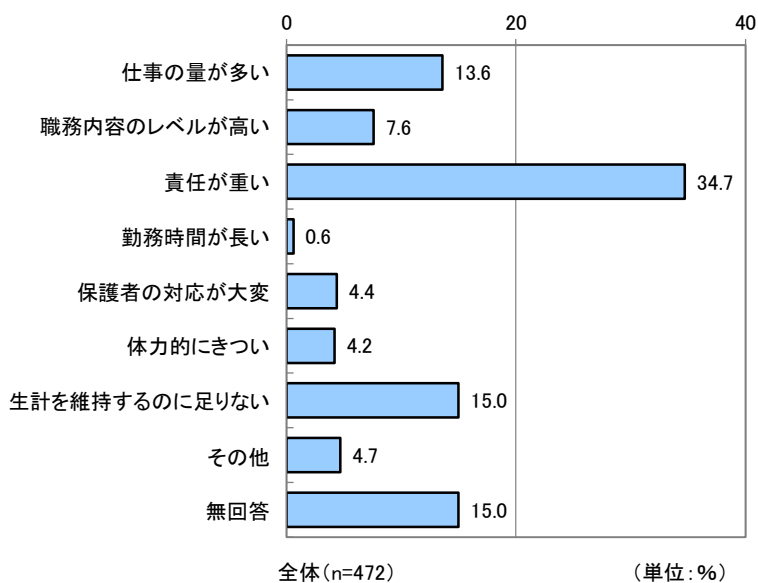
給与の妥当性については、「妥当だと思う」が 37.0%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が 28.6%、「安いと思う」が 24.5%となっている。(図 2-10-3)

⑩-4 安いと思う理由

問 16 問 15 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

①そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

【図 2-10-4 安いと思う理由】



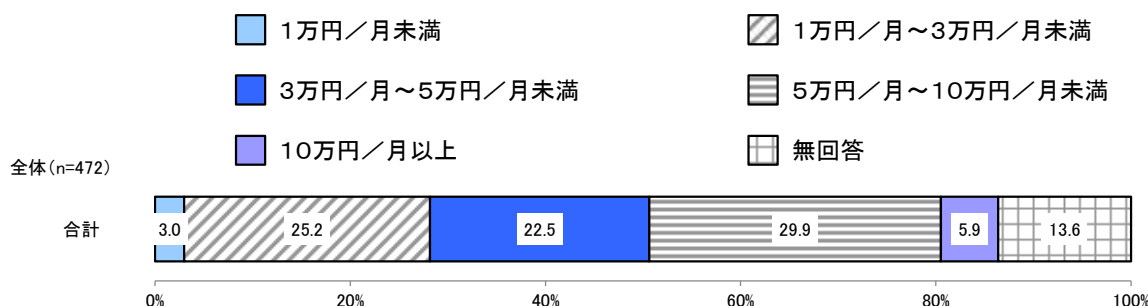
安いと思う理由については、「責任が重い」が 34.7%で最も多く、次いで「生計を維持するのに足りない」が 15.0%、「仕事の量が多い」が 13.6%となっている。(図 2-10-4)

⑩-5 あといくら上乗せがあれば妥当か

問 16 問 15 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

②現在の給与（月額）に、あといくら上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

【図 2-10-5 あといくら上乗せがあれば妥当か】

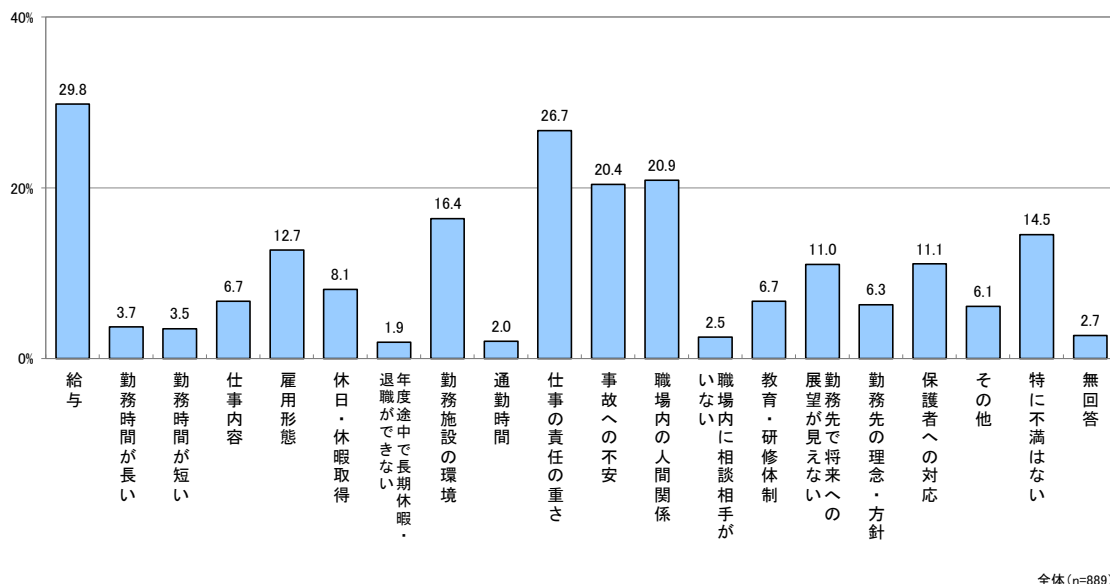


あといくら上乗せがあれば妥当かについては、「5万円/月～10万円/月未満」が29.9%で最も多く、次いで「1万円/月～3万円/月未満」が25.2%、「3万円/月～5万円/月未満」が22.5%となっている。(図 2-10-5)

⑪労働条件や労働環境についての不満

問 17 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(○は3つまで)

【図 2-11 労働条件や労働環境についての不満】

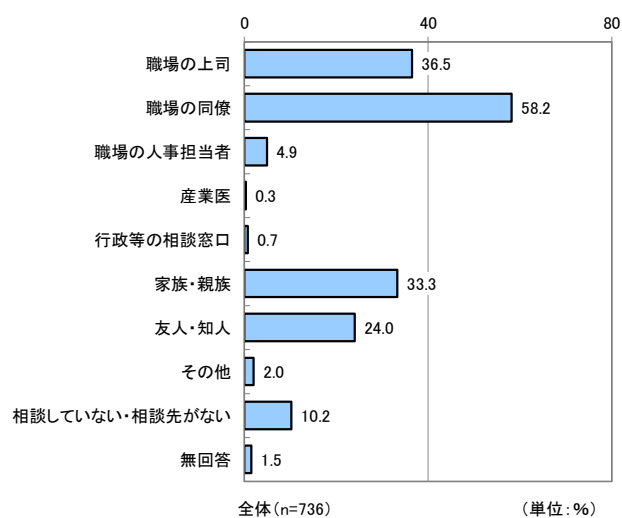


労働条件や労働環境についての不満については、「給与」が29.8%で最も多く、次いで「仕事の責任の重さ」が26.7%、「職場内の人間関係」が20.9%、「事故への不安」が20.4%となっている。(図 2-11)

⑫悩みの相談相手

問 18 問 17 で回答したような仕事での悩みの相談相手はどなたですか。(〇は3つまで)

【図 2-12 悩みの相談相手】

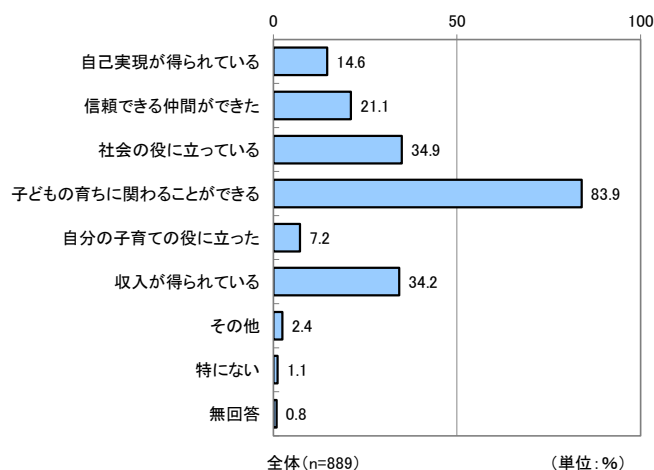


悩みの相談相手については、「職場の同僚」が 58.2%で最も多く、次いで「職場の上司」が 36.5%、「家族・親族」が 33.3%、「友人・知人」が 24.0%となっている。(図 2-12)

⑬放課後児童支援員のやりがい

問 19 あなたが放課後児童支援員として働いてこられた中で、やりがいに感じることは何ですか。(〇は主なもの3つまで)

【図 2-13 放課後児童支援員のやりがい】

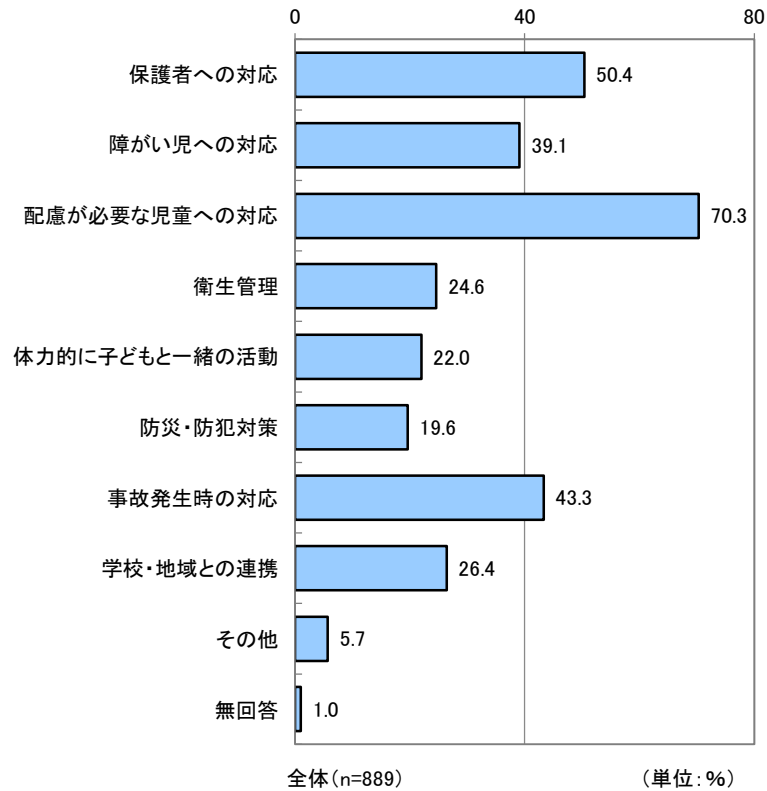


放課後児童支援員のやりがいについては、「子どもの育ちに関わることができる」が 83.9%で最も多く、次いで「社会の役に立っている」が 34.9%、「収入が得られている」が 34.2%となっている。(図 2-13)

⑭現場での悩み

問 20 あなたは、現在放課後児童クラブの現場で対応が難しいと感じていること（悩み）は何ですか。（〇はいくつでも）

【図 2-14 現場での悩み】

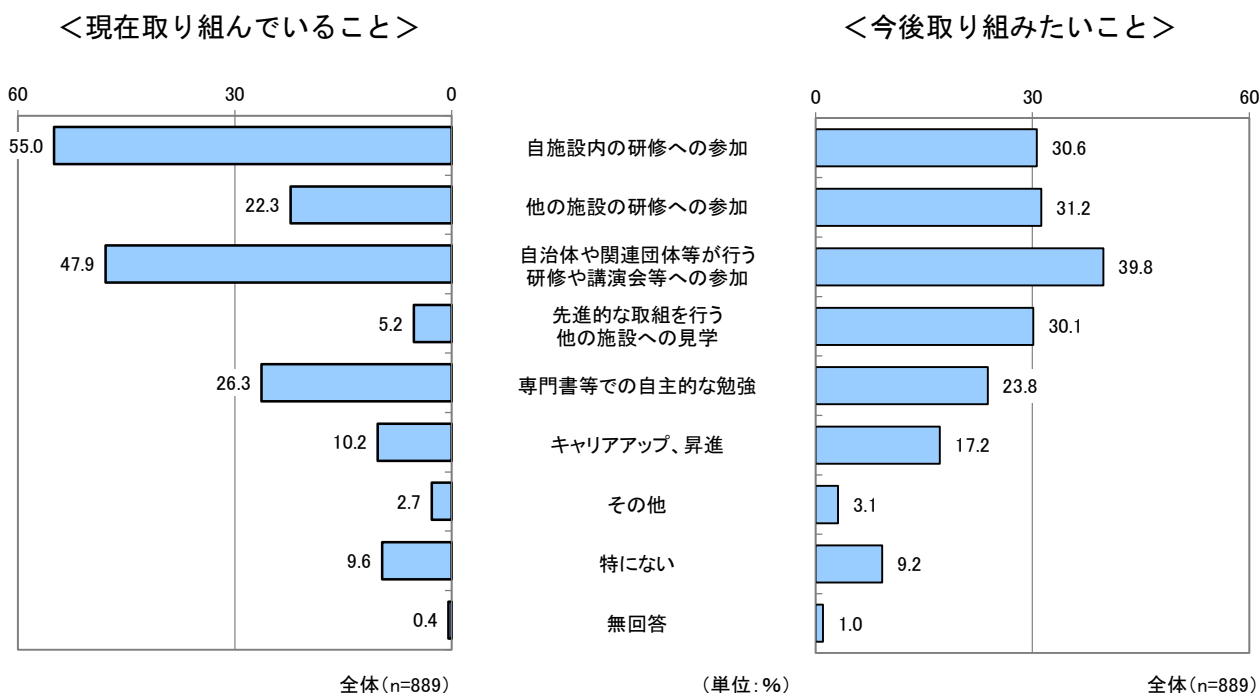


現場での悩みについては、「配慮が必要な児童への対応」が 70.3%で最も多く、次いで「保護者への対応」が 50.4%、「事故発生時の対応」が 43.3%、「障がい児への対応」が 39.1%となっている。
(図 2-14)

⑮-1 自己研鑽の取り組み

問 21 あなたは自己研鑽のため、①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことは何ですか。
(〇はいくつでも)

【図 2-15-1 自己研鑽の取り組み】



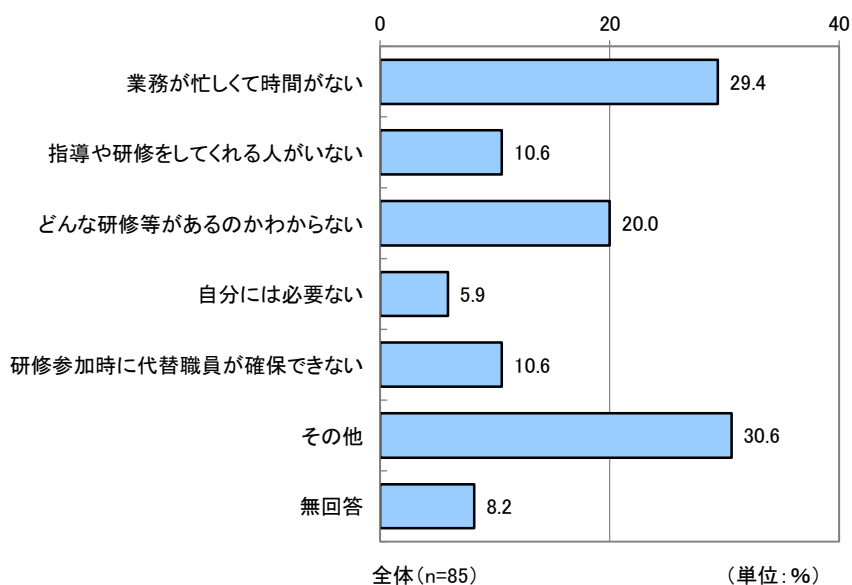
自己研鑽の取り組みについて、現在取り組んでいることをみると、「自施設内の研修への参加」が 55.0%で最も多く、次いで「自治体や関連団体等が行う研修や講演会への参加」が 47.9%、「専門書等での自主的な勉強」が 26.3%となっている。

今後取り組みたいことをみると、「自治体や関連団体等が行う研修や講演会への参加」が 39.8%で最も多く、次いで「他の施設の研修への参加」が 31.2%、「自施設内の研修への参加」が 30.6%、「先進的な取組を行う他の施設への見学」が 30.1%となっている。(図 2-15-1)

⑮-2 取り組んでいない理由

問 22 問 21「①現在取り組んでいること」で「8 特にない」を選んだ方のみお答えください。現在、取り組んでいない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

【図 2-15-2 取り組んでいない理由】



取り組んでいない理由については、「その他」が 30.6%で最も多く、次いで「業務が忙しくて時間がない」が 29.4%、「どんな研修があるのかわからない」が 20.0%となっている。(図 2-15-2)

■その他の主な内容

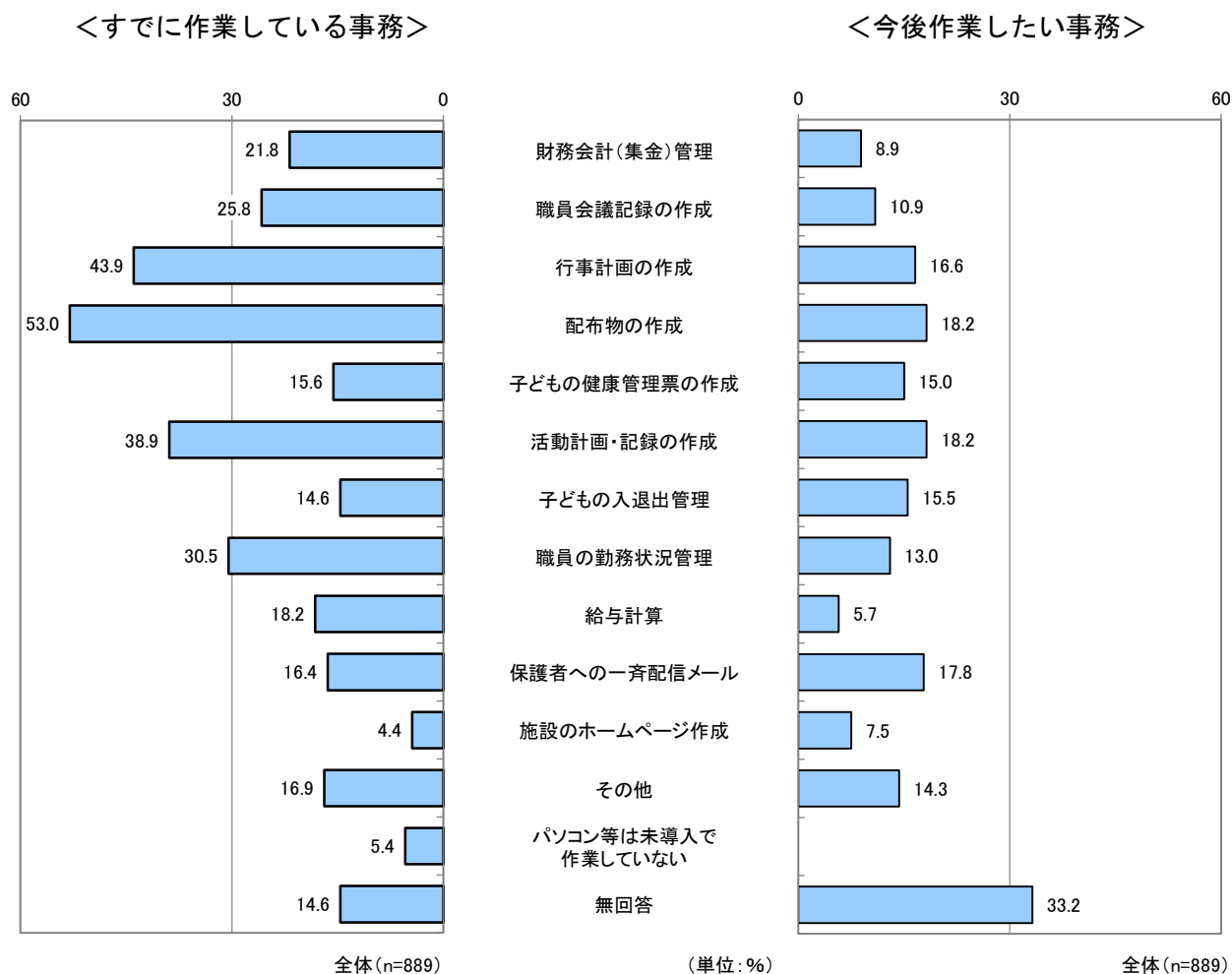
内 容	サンプル数
・ コロナで研修会がない	6
・ ダブルワークの為、時間がない	4
・ 精神的に余裕がない	2
・ 退職する	2

⑩ 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務

問 23 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、すでに作業している事務をお答えください。（〇はいくつでも）

問 24 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、今後作業したい事務をお答えください。（〇はいくつでも）

【図 2-16 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務】



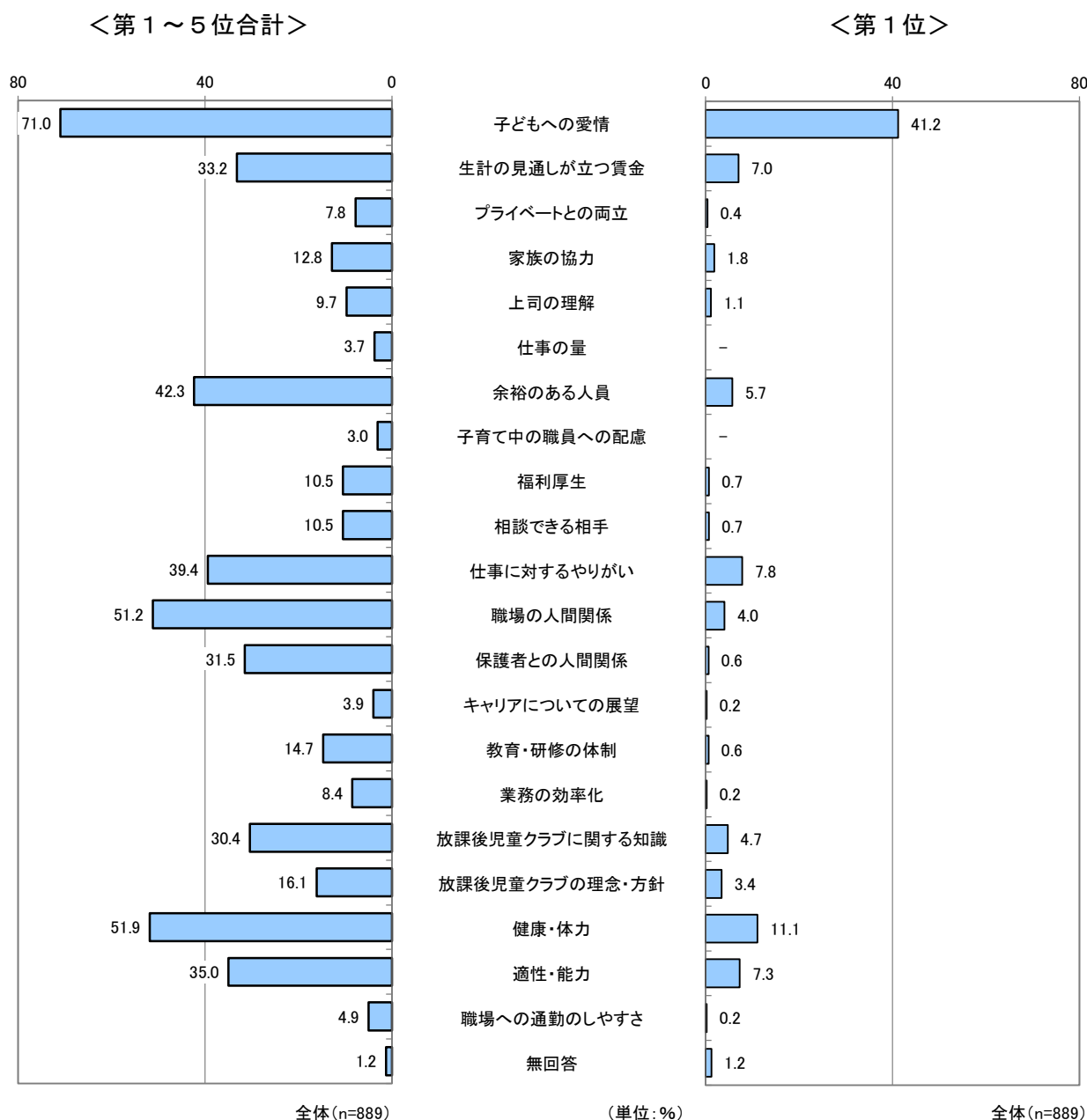
情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務については、「配布物の作成」が53.0%で最も多く、次いで「行事計画の作成」が43.9%、「活動計画・記録の作成」が38.9%となっている。

今後作業したい事務については、「配布物の作成」と「活動計画・記録の作成」が18.2%で最も多く、次いで「保護者への一斉配信メール」が17.8%、「行事計画の作成」が16.6%となっている。（図2-16）

⑰放課後児童支援員として重要なこと

問 25 放課後児童支援員として働くためには、何が重要だと思われますか。下記の選択肢から特に重要だと思うことを第1位から第5位までお選びいただき、番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

【図 2-17 放課後児童支援員として重要なこと】



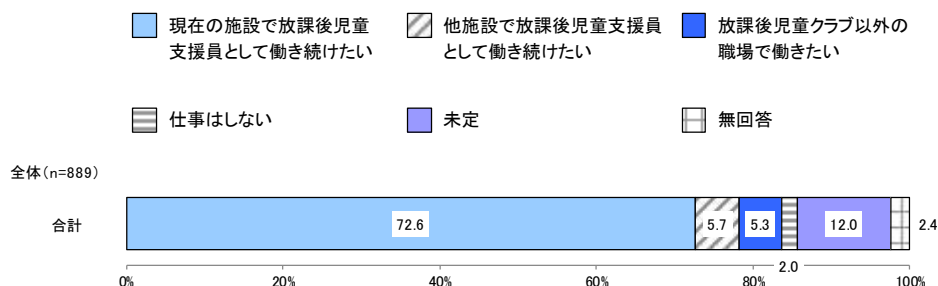
放課後児童支援員として働くために重要なことについては、第1～5位合計では、「子どもへの愛情」が71.0%で最も多く、次いで「健康・体力」が51.9%、「職場の人間関係」が51.2%、「余裕のある人員」が42.3%となっている。

第1位のみで見ると、「子どもへの愛情」が41.2%で圧倒的に高い。(図 2-17)

⑱-1 今後の就業意向

問 26 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-18-1 今後の就業意向】



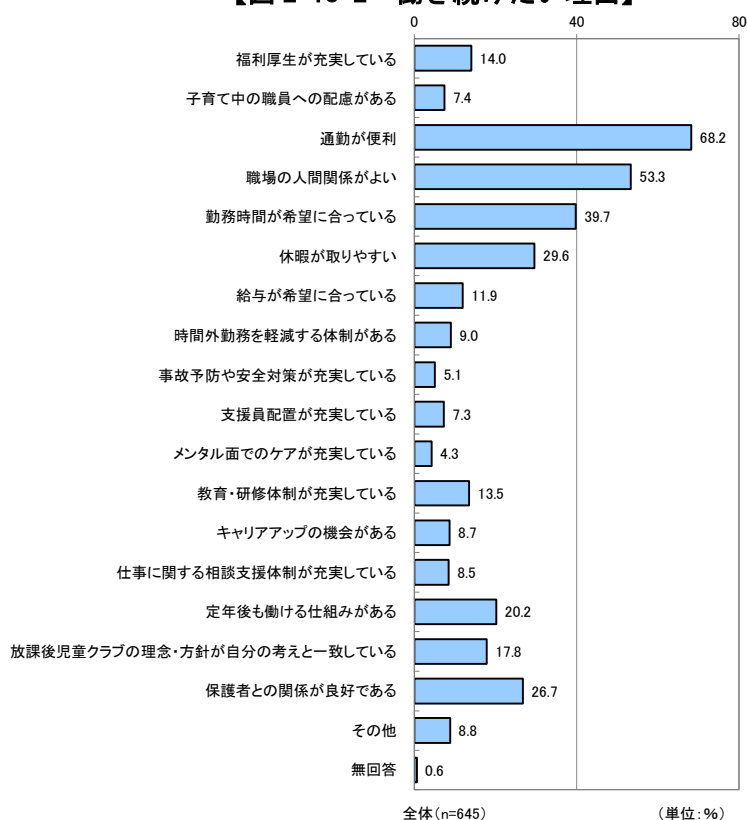
今後の就業意向については、「現在の施設で放課後児童支援員として働きたい」が 72.6%で最も多く、次いで「未定」が 12.0%、「他施設で放課後児童支援員として働きたい」が 5.7%、「放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」が 5.3%となっている。(図 2-18-1)

⑱-2 働き続けたい理由

問 27 問 26 で「1 現在の施設で放課後児童支援員として働きたい」と回答した方におうかがいします。

現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-18-2 働き続けたい理由】

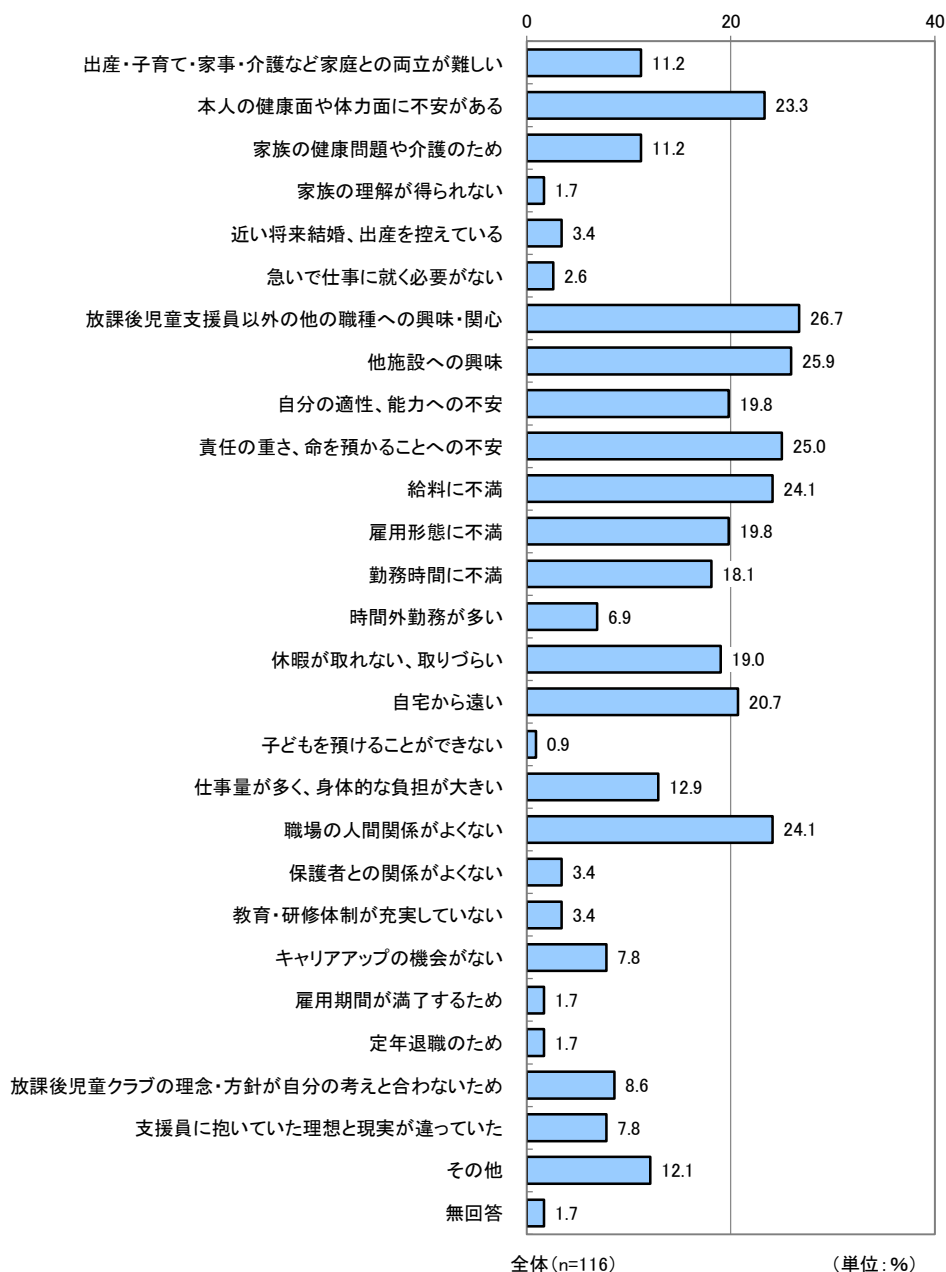


働き続けたい理由については、「通勤が便利」が 68.2%で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が 53.3%、「勤務時間が希望に合っている」が 39.7%となっている。(図 2-18-2)

⑱-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由

問 28 問 26 で「2 他の施設で放課後児童支援員として働きたい」、「3 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「4 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。
その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-18-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由】

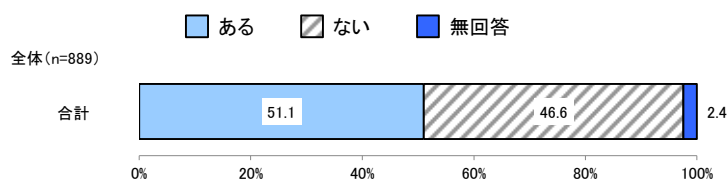


「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由については、「放課後児童支援員以外の他の職種への興味・関心」が 26.7% で最も多く、次いで「他施設への興味」が 25.9%、「責任の重さ、命を預かることへの不安」が 25.0% となっている。(図 2-18-3)

⑱就業先以外での子どもに関する仕事の経験

問 29 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(〇はひとつ)

【図 2-19 就業先以外での子どもに関する仕事の経験】



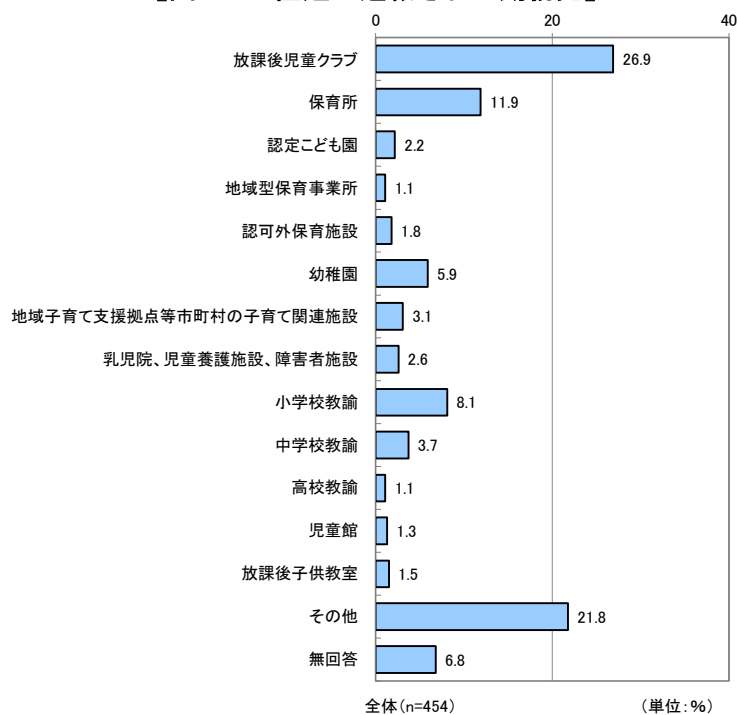
就業先以外での子どもに関する仕事の経験については、「ある」が51.1%、「ない」が46.6%と、「ある」の方がやや上回っている。(図 2-19)

(3) 退職経験者の実態

①直近に退職された勤務先

問 30 直近に退職された勤務先は、下記のいずれにあたりますか。(〇はひとつ)

【図 3-1 直近に退職された勤務先】



直近に退職された勤務先については、「放課後児童クラブ」が26.9%で最も多く、次いで「その他」が21.8%、「保育所」が11.9%、「小学校教諭」が8.1%となっている。(図 3-1)

■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 小学校特別支援教育支援員	14
・ 学習塾	9
・ スイミングスクール	6
・ 放課後等デイサービス	6

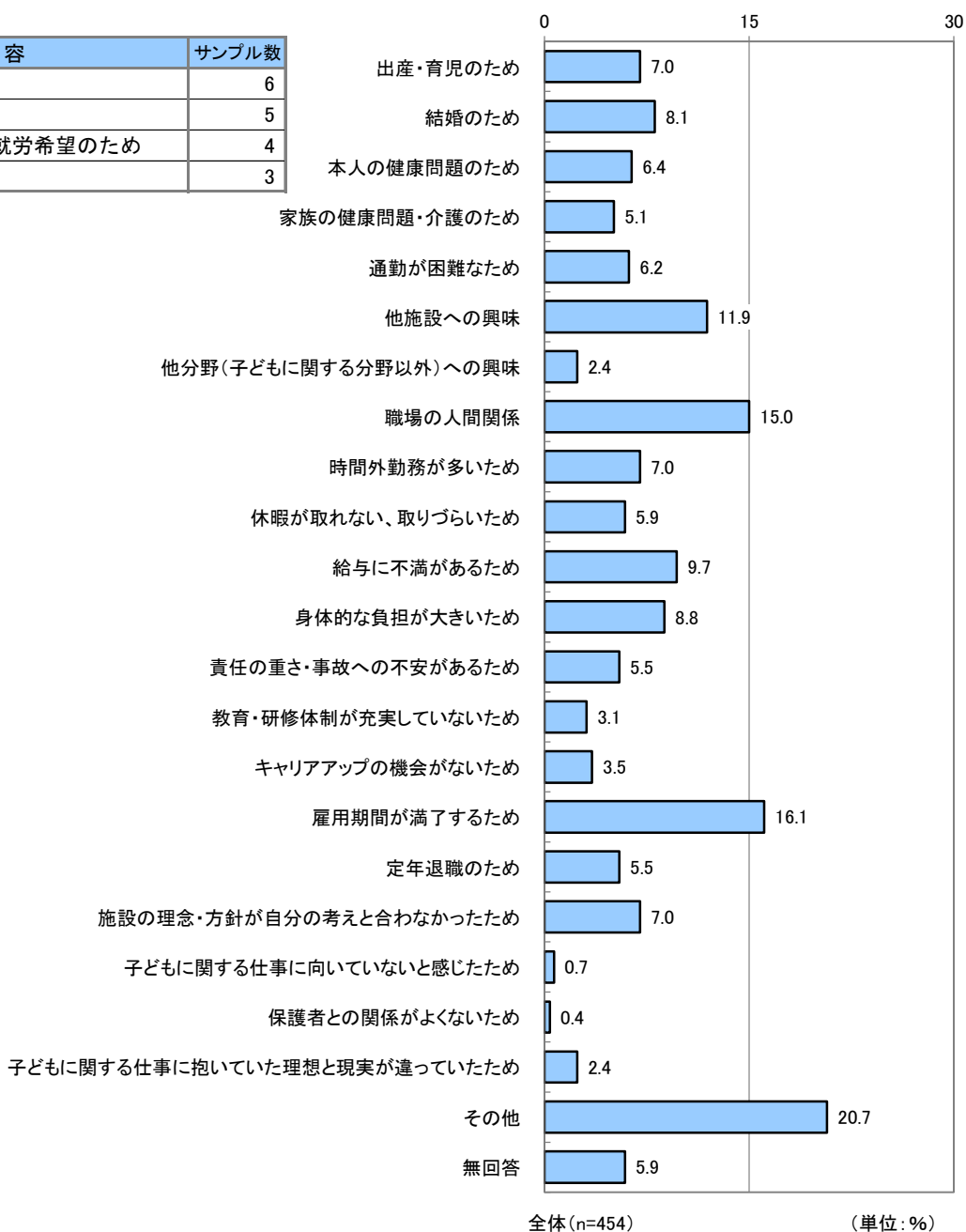
②退職理由

問 31 直近に退職された勤務先を退職された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 3-2 退職理由】

■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 家族の転勤	6
・ 転居のため	5
・ 正規職員雇用での就労希望のため	4
・ 施設の閉所	3

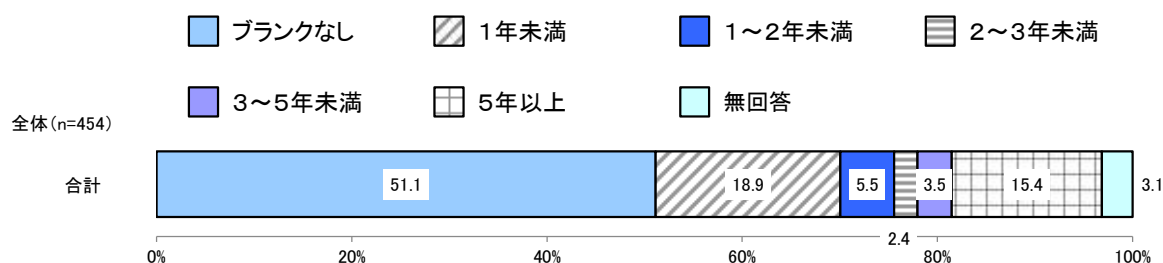


退職理由については、「その他」が 20.7%で最も多く、次いで「雇用期間が満了するため」が 16.1%、「職場の人間関係」が 15.0%、「他施設への興味」が 11.9%となっている。(図 3-2)

③退職から就業までの期間

問 32 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間はどれくらいでしたか。(〇はひとつ)

【図 3-3 退職から就業までの期間】

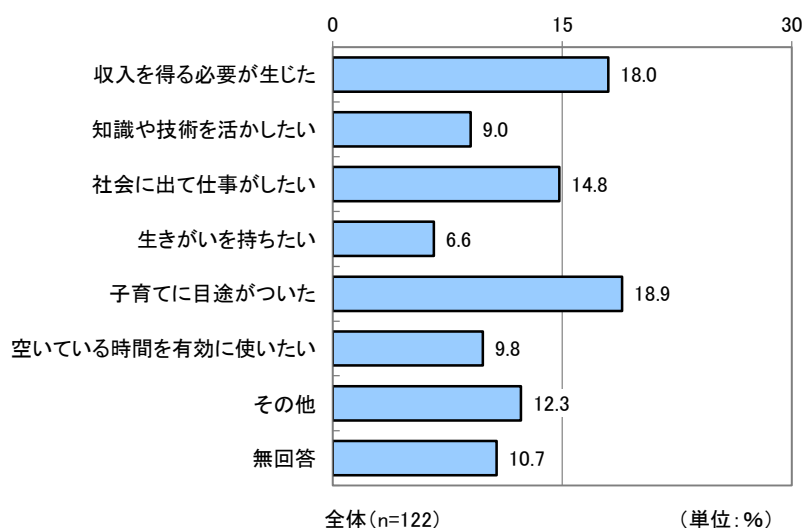


退職から就業までの期間については、「ブランクなし」が 51.1%で最も多く、次いで「1年未満」が 18.9%、「5年以上」が 15.4%となっている。(図 3-3)

④ブランクが1年以上ある人の再就職理由

問 32-1 再就職までの期間が1年以上あった方におうかがいします。
再就職された最も大きな理由は何ですか。(〇はひとつ)

【図 3-4 ブランクが1年以上ある人の再就職理由】

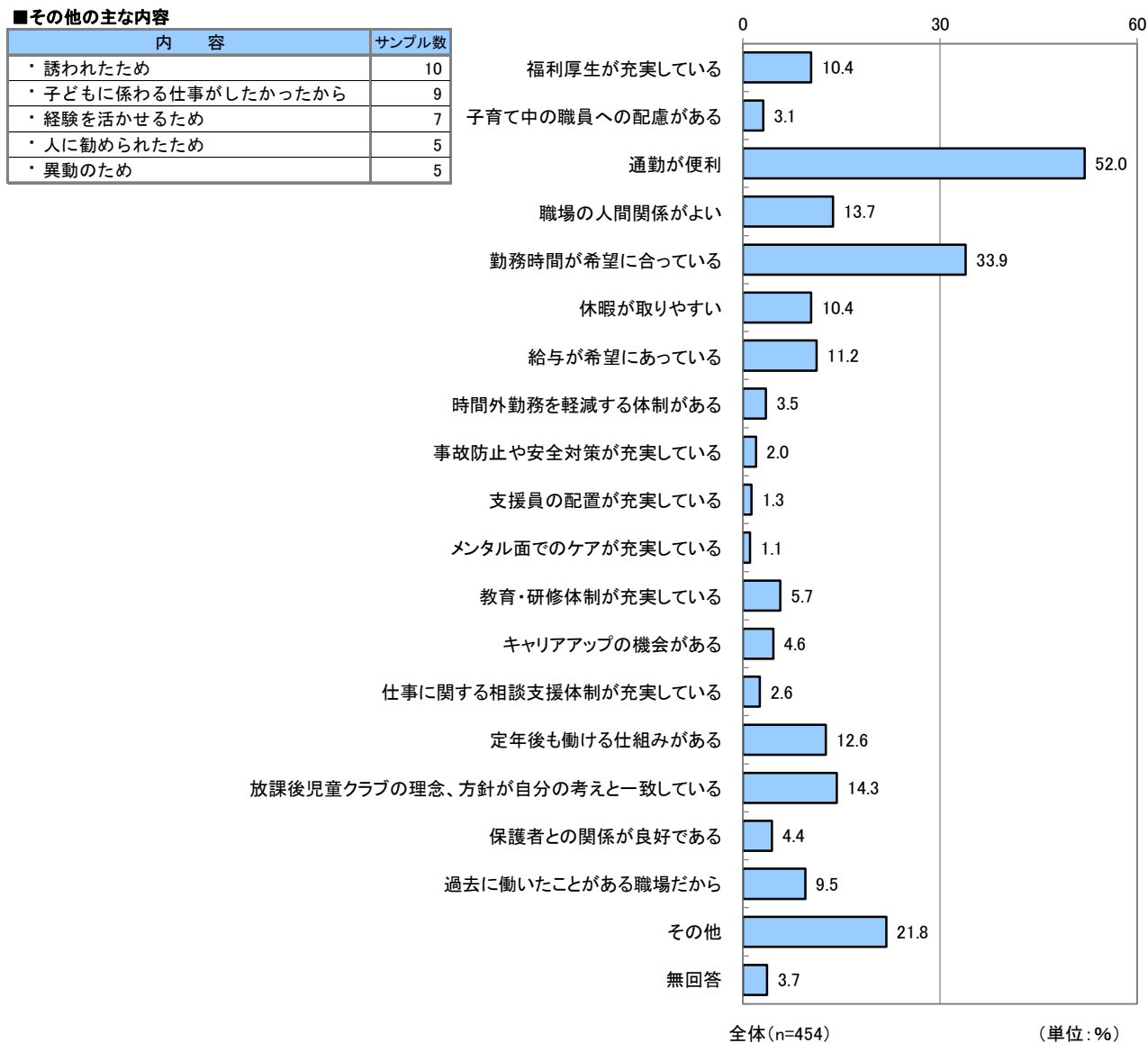


ブランクが1年以上ある人の再就職理由については、「子育てに目途がついた」が 18.9%で最も多く、次いで「収入を得る必要が生じた」が 18.0%、「社会に出て仕事がしたい」が 14.8%となっている。(図 3-4)

⑤現在の勤務先を選んだ理由

問 33 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 3-5 現在の勤務先を選んだ理由】

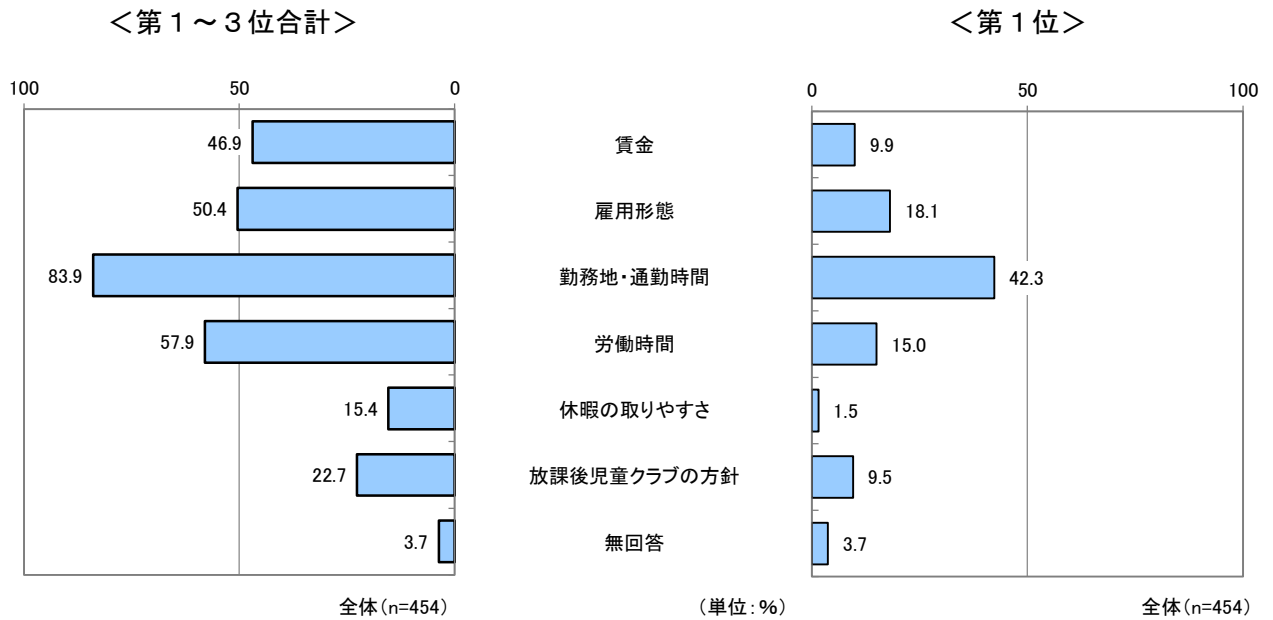


現在の勤務先を選んだ理由については、「通勤が便利」が 52.0%で最も多く、次いで「勤務時間が希望に合っている」が 33.9%、「その他」が 21.8%、「放課後児童クラブの理念、方針が自分の考えと一致している」が 14.3%となっている。(図 3-5)

⑥勤務先を探す際の重視点

問 34 現在の勤務先を探す際に重視した条件は何ですか。第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

【図 3-6 勤務先を探す際の重視点】



勤務先を探す際の重視点については、第1～3位合計では、「勤務地・通勤時間」が83.9%で最も多く、次いで「労働時間」が57.9%、「雇用形態」が50.4%となっている。

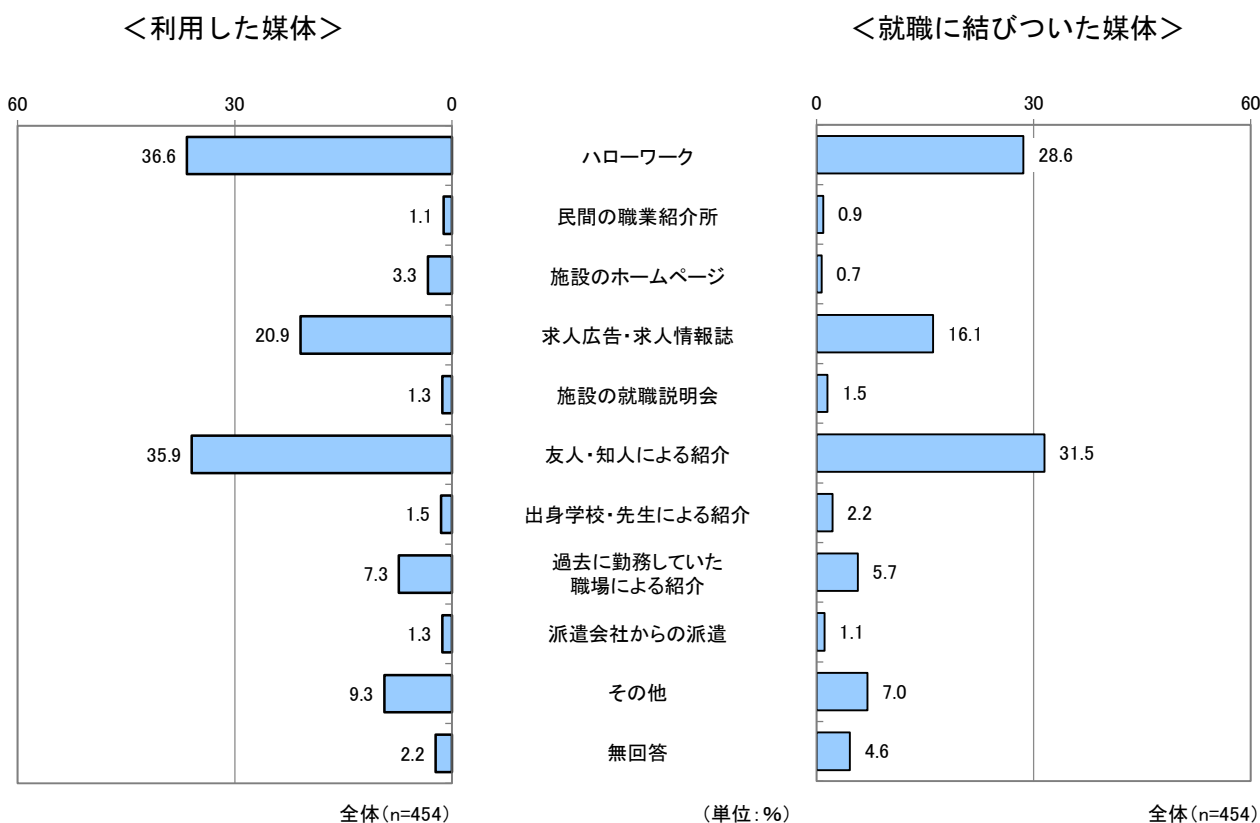
第1位のみでは、「勤務地・通勤時間」が42.3%で最も多く、次いで「雇用形態」が18.1%、「労働時間」が15.0%となっている。(図 3-6)

⑦勤務先を探す際の媒体について

問 35 現在の勤務先を探す際に利用した媒体等は何でしたか。(〇はいくつでも)

問 36 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何でしたか。
(〇は主なものひとつ)

【図 3-7 勤務先を探す際の媒体について】



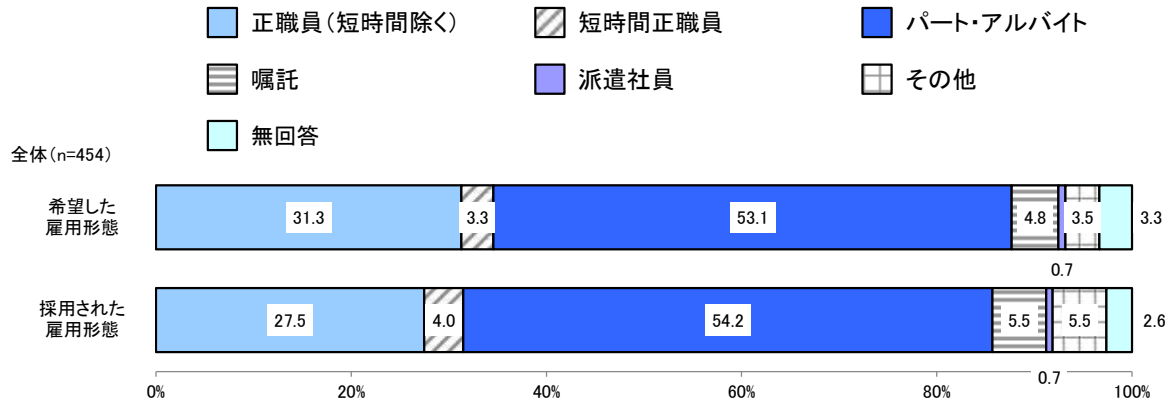
現在の勤務先を探す際に利用した媒体について、利用した媒体をみると、「ハローワーク」が 36.6%で最も多く、「友人・知人による紹介」が 35.9%と僅差が続いている。次いで「求人広告・求人情報誌」が 20.9%となっている。

実際に就職に結びついた媒体をみると、「友人・知人による紹介」が 31.5%で最も多く、次いで「ハローワーク」が 28.6%、「求人広告・求人情報誌」が 16.1%となっている。(図 3-7)

⑧希望した雇用形態と採用時の雇用形態

問 37 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。(〇はひとつ)

【図 3-8 雇用形態】



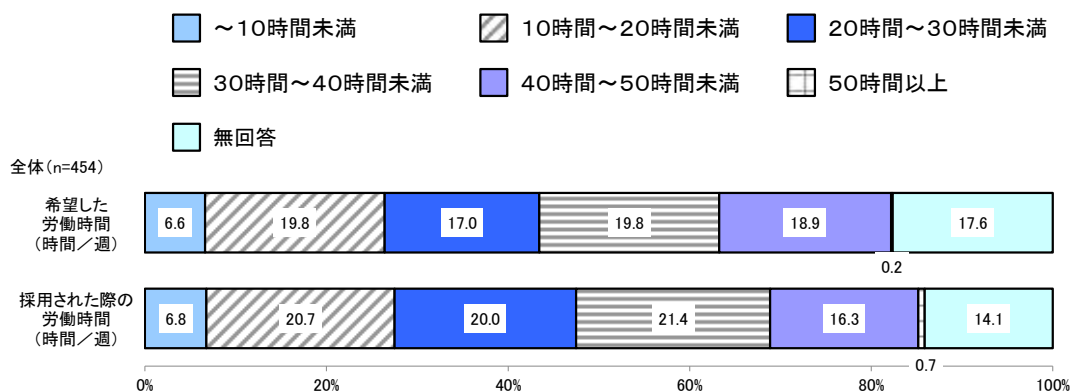
雇用形態については、希望は、「パート・アルバイト」が 53.1%で最も多く、次いで「正職員（短時間除く）」が 31.3%、「嘱託」が 4.8%となっている。

採用された雇用形態は、「パート・アルバイト」が 54.2%で最も多く、次いで「正職員（短時間除く）」が 27.5%、「嘱託」と「その他」が 5.5%となっており、希望よりも「正職員（短時間除く）」が 3.8 ポイント低い。(図 3-8)

⑨希望した労働時間と採用時の労働時間

問 38 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

【図 3-9 労働時間】



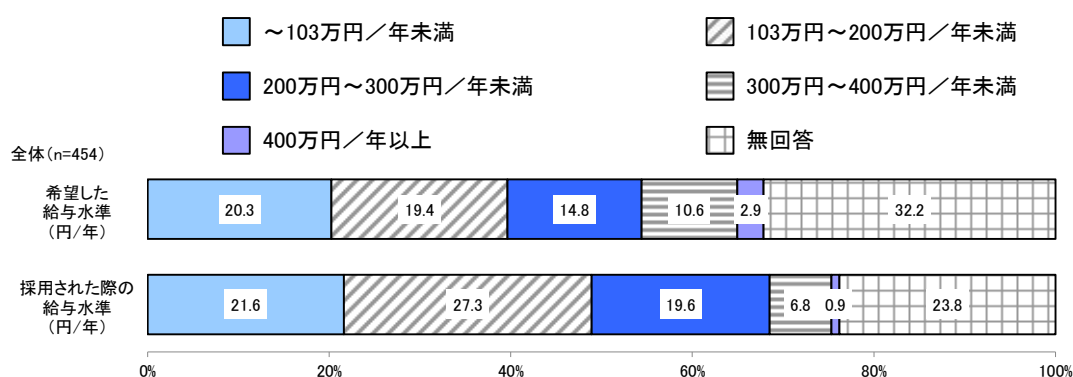
労働時間については、希望は「10時間~20時間未満」と「30時間~40時間未満」が19.8%で最も多く、次いで「40時間~50時間未満」が18.9%となっている。

採用された際の労働時間は、「30時間~40時間未満」が21.4%で最も多く、希望よりも「40時間未満」合計の割合が5.7ポイント高くなっている。(図3-9)

⑩希望した給与水準と採用時の給与水準

問 39 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、おおよその年収(総収入)ベースで金額をご記入ください。

【図 3-10 給与水準】



給与水準については、希望は「103万円/年未満」が20.3%で最も多く、次いで「103万円~200万円/年未満」が19.4%、「200万円~300万円/年未満」が14.8%となっている。

採用された際の給与水準は、「103万円~200万円/年未満」が27.3%と希望より7.9ポイント高く、「300万円~400万円/年未満」は6.8%と希望より3.8ポイント低い。(図3-10)

(4) 放課後児童支援員自由回答

問 40 すべての方に、おうかがいします。

放課後児童支援員としての就労や労働環境などについて感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

610 人から回答をいただき、内容は、おおむね以下のとおり。

- 給与、福利厚生などに関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・200 件
 - ・給料面で職業選択の 1 つとして見られていない（募集をかけても誰も入ってこない）
 - ・とにかく給料が少ない。生計をするのにはとても大変である。月々のローンで給料がなくなりとても生活ができない。アンケートを実施し児童クラブの質を向上するには、まずここを改善しないことには、児童にとって良い環境は得ることができないと思う。どうかご検討の程よろしく申し上げます
- 人材に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・164 件
 - ・人員不足で、安定人数で対応できない日があり、子どもの安全を守っていくのに、場所を制限することがある。放課後のびのびと遊び過ごせるようにしたい
 - ・支援員の数がギリギリで 1 人休むとかなりバタバタしています。学生アルバイトがいますが、やはり支援員とは仕事の内容が違うので、本当のところアルバイトより支援員を増やしてほしいのが本音です
- 施設・設備について・・・・・・・・・・・・・・・・・・106 件
 - ・現在は学校内の教室を使用してもらいながらの運営であり、室内設備や職員の利用できる部屋（ロッカー等）に不足を感じる
 - ・児童の入所人数に対して与えられた活動場所の広さが適切でない。借りられる部屋が放課後児童クラブ専用の物でない
- 労働時間・勤務体制について・・・・・・・・・・・・・・・・・・103 件
 - ・通年保育と季節保育では労働時間が異なっているのに、月間労働時間が一定になっているため、季節保育の支援員の勤務調整が難しい
- 人材育成・支援員の資質向上について・・・・・・・・・・・・・・・・・・97 件
 - ・雇用形態や労働環境が安定せず、支援員が足りない。一生働き続けられる仕事なのに、生活ができる雇用ではないので、若い人材が就職先として選ばない。子どもたちの育ちに責任のある仕事ということを、国は理解していただき、市町の行政に補助金の使い方を指導していただきたい。補助金（賃金のため）の仕組みをわかりやすく知らせてほしい
- 放課後児童クラブの社会的評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・62 件
 - ・児童クラブの仕事が社会的な地位が認められておらず、介護職同様、収入の低い職種となっていて、若い人の希望職にはならず、常に人手不足・人材不足の問題を抱えている
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・109 件
 - ・放課後児童支援員の理想像を話し合えるような職場が増えていけば、支援員の仕事ももっと魅力的なものになるだろうと思っています

3. 児童クラブ補助員調査

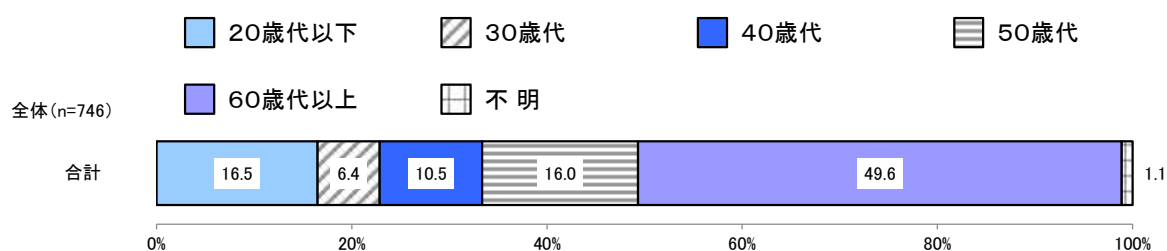
(1) 回答者の基本属性

①年代

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

①年代

【図1-1 年代】



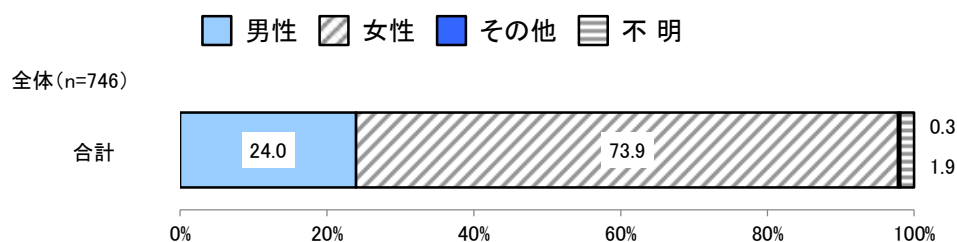
年代については、「60歳以上」が49.6%で最も多く、次いで「20歳以下」が16.5%、「50歳代」が16.0%となっている。(図1-1)

②性別

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

②性別

【図1-2 性別】



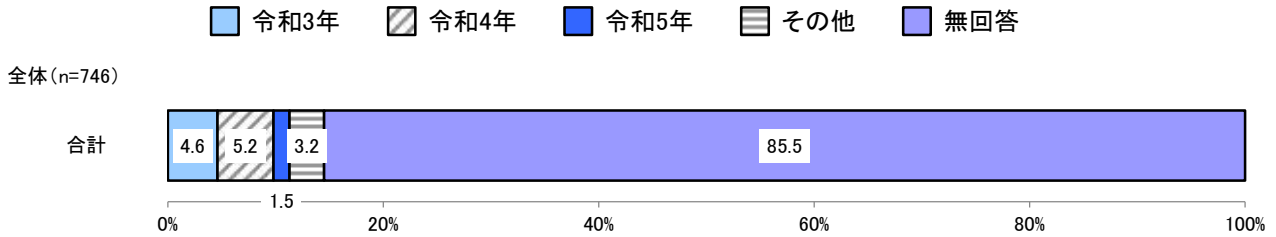
性別については、「女性」が73.9%と7割を超えており、「男性」が24.0%となっている。(図1-2)

③放課後児童支援員認定資格研修修了予定年

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

③放課後児童支援員認定資格研修の研修修了予定年月および受験資格

【図1-3 放課後児童支援員認定資格研修修了年】



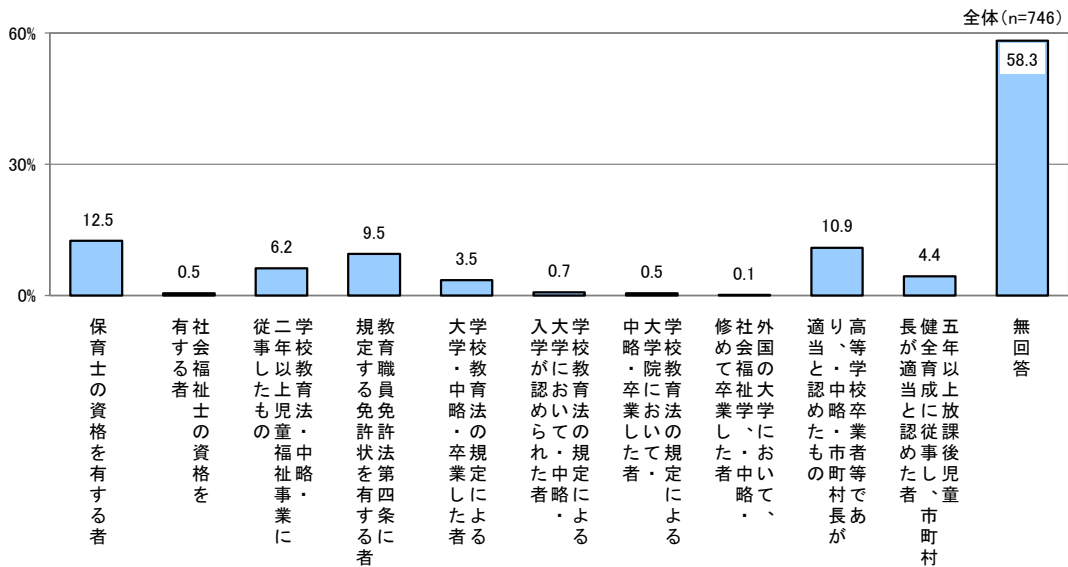
放課後児童支援員認定資格研修修了年については、「無回答」が85.5%と非常に多くなっている。回答者の中では、「令和4年」が5.2%で最も多い。(図1-3)

④受験資格

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

③放課後児童支援員認定資格研修の研修修了予定年月および受験資格

【図1-4 受験資格】



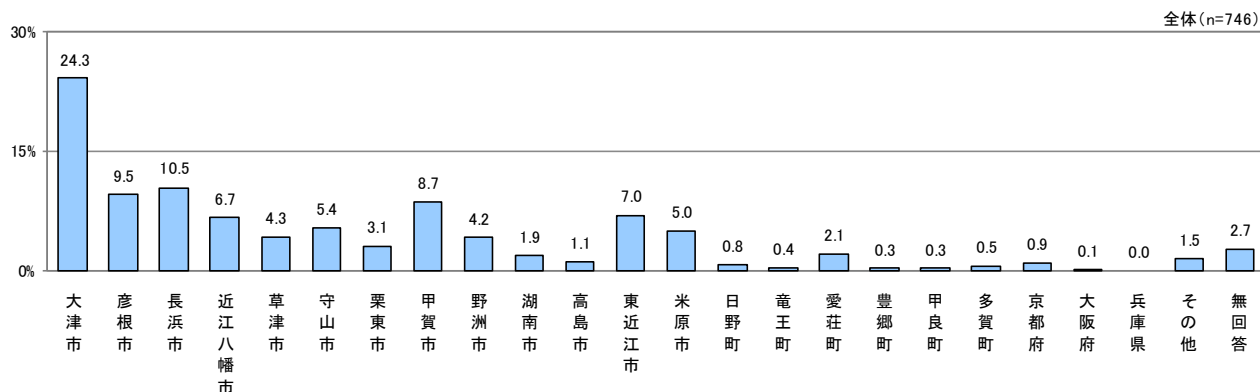
受験資格についても、「無回答」が58.3%と6割近くを占めているが、回答者の中では、「保育士の資格を有する者」が12.5%で最も多く、次いで「高等学校卒業者等であり、かつ、二年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの」が10.9%、「教育職員免許法第四条に規定する免許状を有する者」が9.5%となっている。(図1-4)

⑤居住地

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

④現在の住所地

【図1-5 居住地】



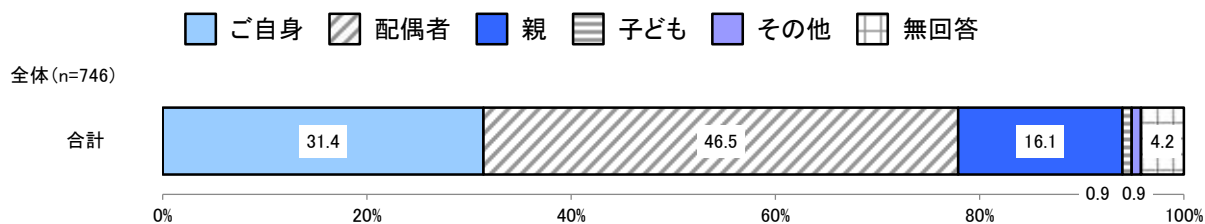
居住地については、「大津市」が24.3%で最も多く、次いで「長浜市」が10.5%、「彦根市」が9.5%、「甲賀市」が8.7%となっている。(図1-5)

⑥家計の主たる生計者

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

⑤家計の主たる生計者

【図1-6 家計の主たる生計者】

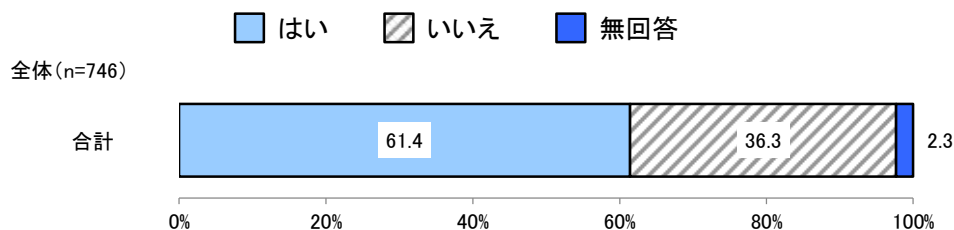


家計の主たる生計者については、「配偶者」が46.5%で最も多く、次いで「ご自身」が31.4%、「親」が16.1%となっている。(図1-6)

⑦放課後児童支援員になろうと思うか

問2 あなたは今後、放課後児童支援員になろうと思いますか。(〇はひとつ)

【図1-7 放課後児童支援員になろうと思うか】

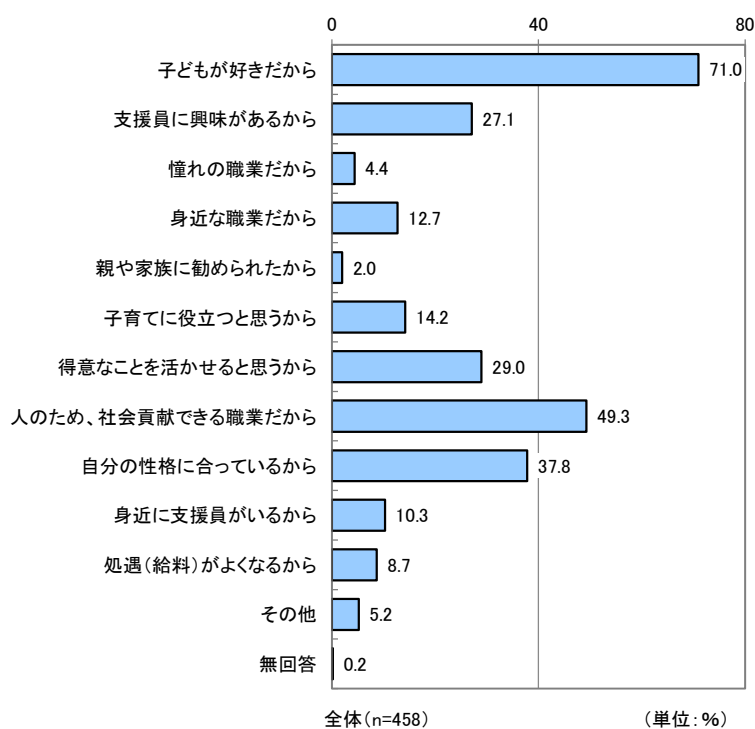


放課後児童支援員になろうと思うかについては、「はい」が61.4%、「いいえ」が36.3%と、「はい」の方が上回っている。(図1-7)

⑧放課後児童支援員になろうと思う理由

問3 放課後児童支援員になろうと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図1-8 放課後児童支援員になろうと思う理由】

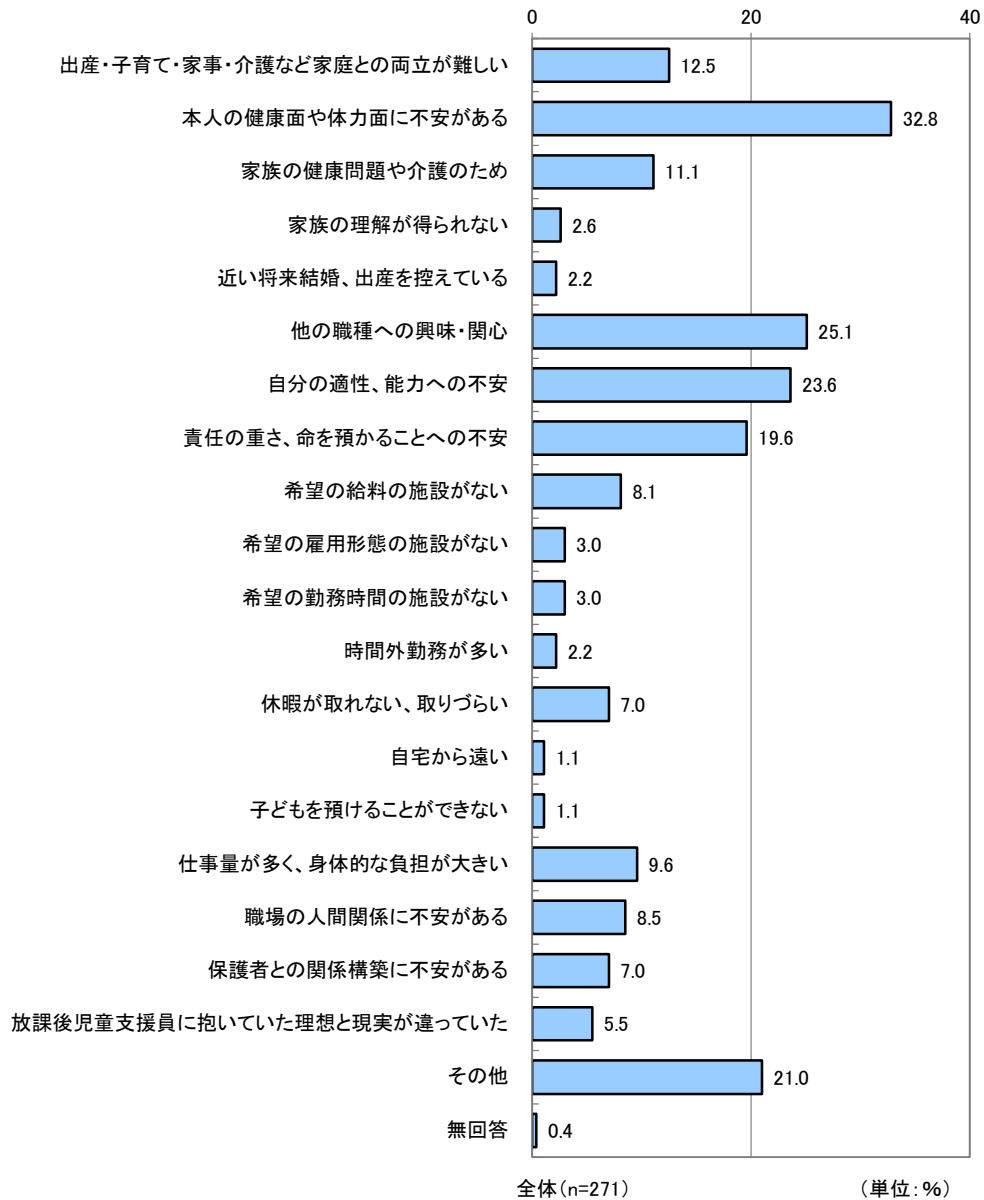


放課後児童支援員になろうと思う理由については、「子どもが好きだから」が71.0%で最も多く、次いで「人のため、社会貢献できる職業だから」が49.3%、「自分の性格に合っているから」が37.8%となっている。(図1-8)

⑨放課後児童支援員になろうと思わない理由

問4 放課後児童支援員になろうと思わない理由はなんですか。(〇はいくつでも)

【図1-9 放課後児童支援員になろうと思わない理由】

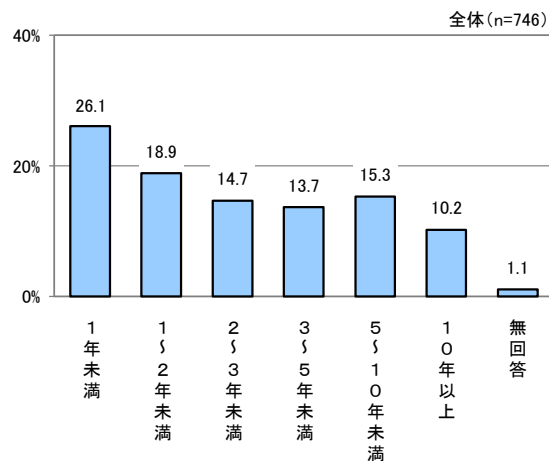


放課後児童支援員になろうと思わない理由については、「本人の健康面や体力面に不安がある」が32.8%で最も多く、次いで「他の職種への興味・関心」が25.1%、「自分の適性、能力への不安」が23.6%となっている。(図1-9)

⑩補助員就業年数

問5 あなたが補助員として働いた就業年数は、通算で何年ですか。(○はひとつ)

【図1-10 補助員就業年数】

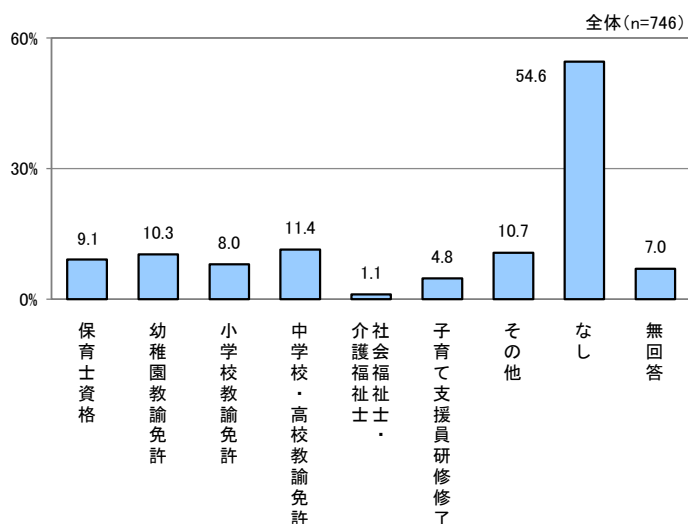


補助員就業年数については、「1年未満」が26.1%で最も多く、次いで「1～2年未満」が18.9%、「5～10年未満」が15.3%となっている。(図1-10)

⑪取得・修了している資格

問6 あなたが現在、取得・修了している資格等がありますか。(○はいくつでも)

【図1-11 取得・修了している資格】



■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 児童厚生員	5
・ 養護学校教諭免許	4
・ ヘルパー2級	4

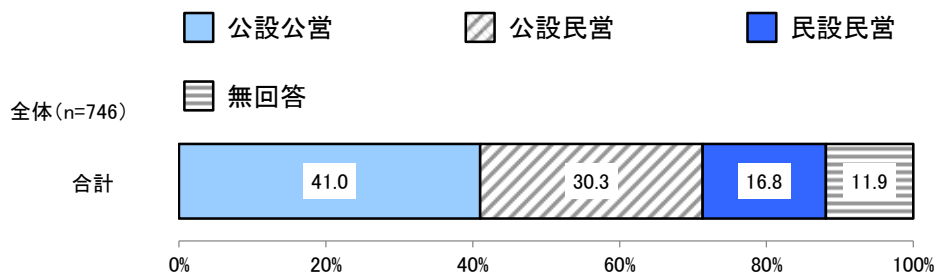
取得・修了している資格については、「なし」が54.6%で最も多く、次いで「中学校・高等教諭免許」が11.4%、「その他」が10.7%、「幼稚園教諭免許」が10.3%となっている。(図1-11)

(2) 現在の就業先の状況

①施設の設置・運営主体

問7 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-1 施設の設置・運営主体】

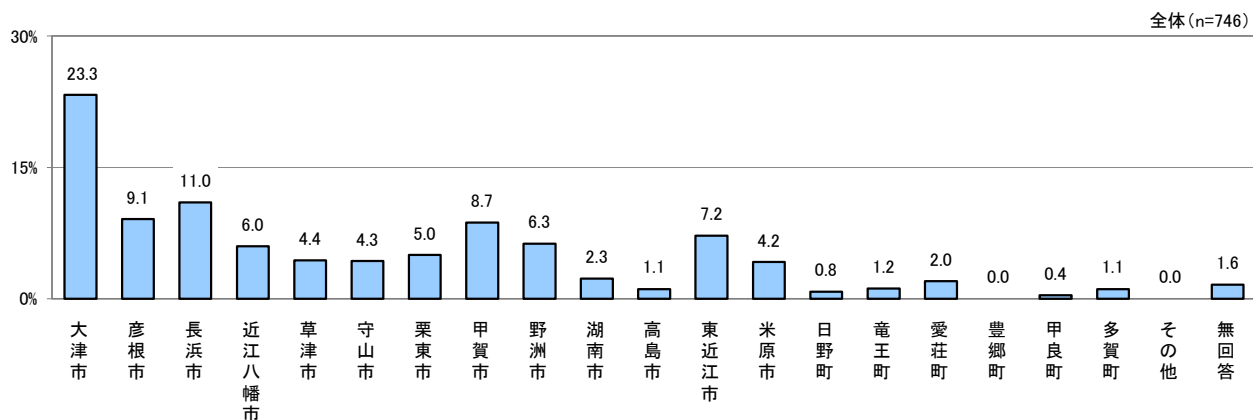


施設の設置・運営主体については、「公設公営」が41.0%で最も多く、次いで「公設民営」が30.3%、「民設民営」が16.8%となっている。(図 2-1)

②施設の所在地

問8 現在の就業先の市町名をご記入ください。

【図 2-2 施設の所在地】

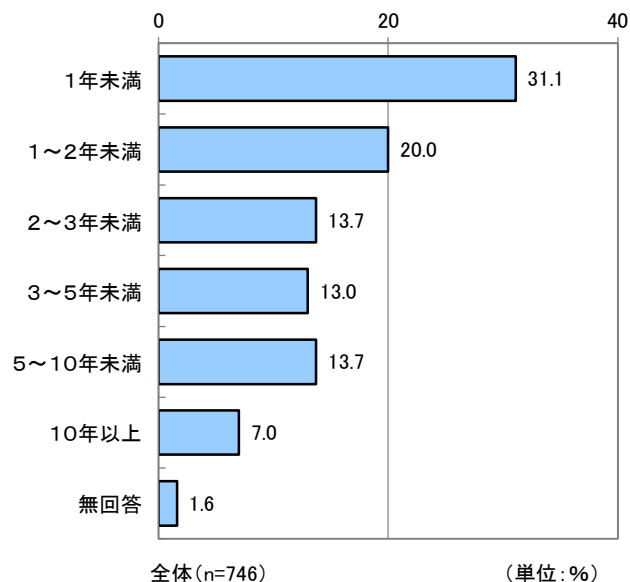


施設の所在地については、「大津市」が23.3%で最も多く、次いで「長浜市」が11.0%、「彦根市」が9.1%、「甲賀市」が8.7%、「東近江市」が7.2%となっている。(図 2-2)

③現在の就業先での勤続年数

問9 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(〇はひとつ)

【図2-3 現在の就業先での勤続年数】

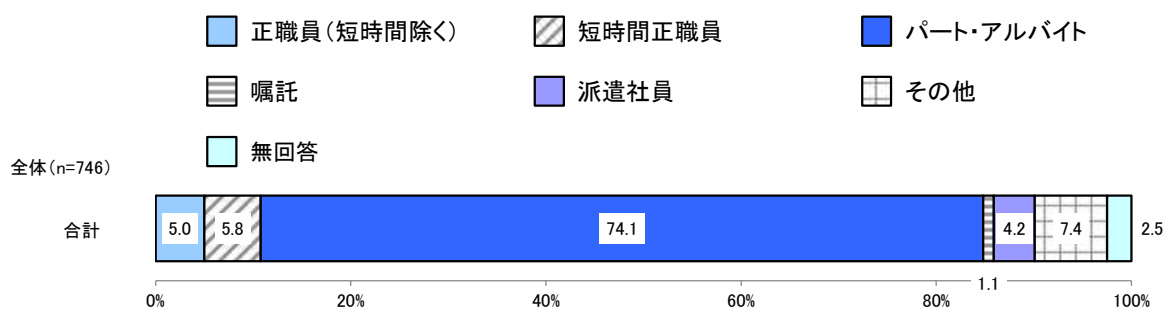


現在の就業先での勤続年数については、「1年未満」が31.1%で最も多く、次いで「1～2年未満」が20.0%、「2～3年未満」と「5～10年未満」が13.7%となっている。(図2-3)

④現在の雇用形態

問10 現在の雇用形態についてお答えください。(〇はひとつ)

【図2-4 現在の雇用形態】

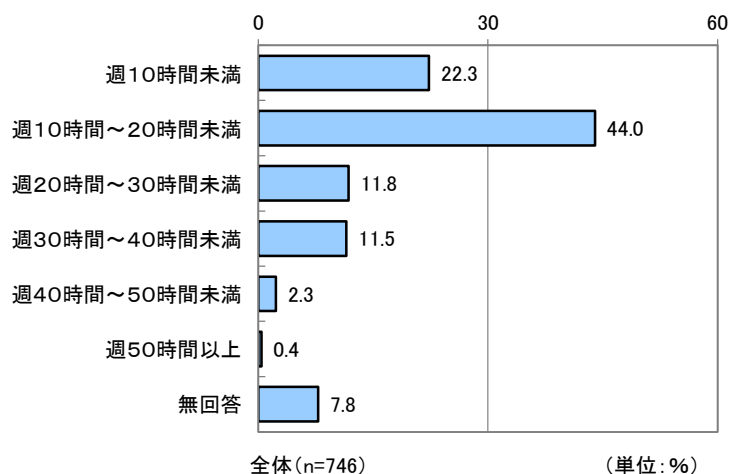


現在の雇用形態については、「パート・アルバイト」が74.1%で最も多く、次いで「その他」が7.4%、「短時間正職員」が5.8%、「正職員(短時間除く)」が5.0%となっている。(図2-4)

⑤ 1週当たりの平均的な労働時間

問 11 昨年度（令和2年度）の時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図 2-5 1週当たりの平均的な労働時間】

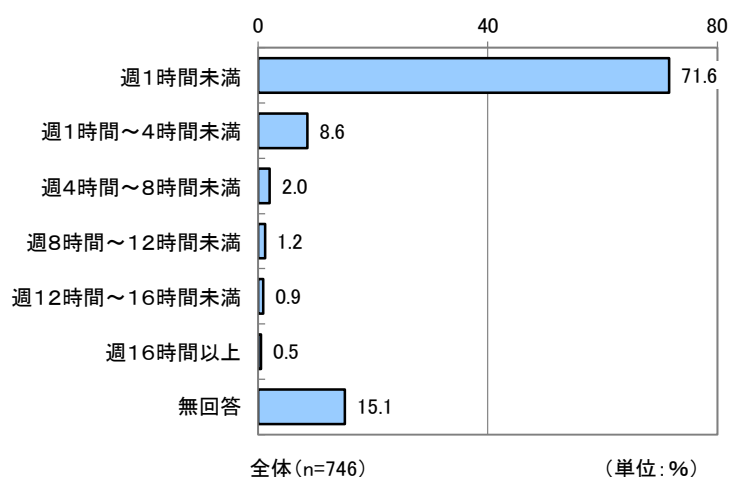


1週当たりの平均的な労働時間については、「週 10 時間～20 時間未満」が 44.0%で最も多く、次いで「10 時間未満」が 22.3%、「週 20 時間～30 時間未満」が 11.8%、「週 30 時間～40 時間未満」が 11.5%となっている。（図 2-5）

⑥ 1週当たりの平均的な残業時間

問 12 昨年度（令和2年度）の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図 2-6 1週当たりの平均的な残業時間】

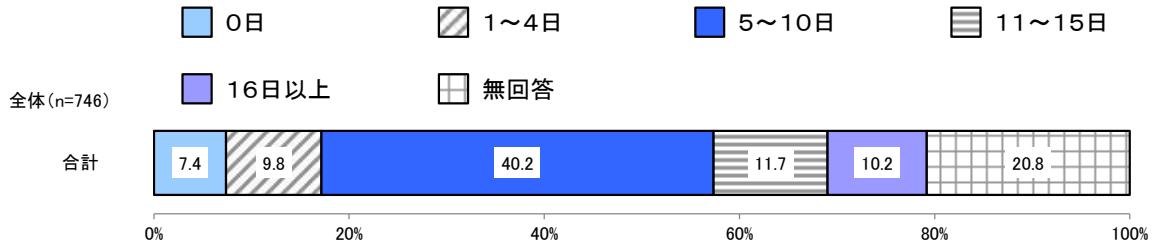


1週当たりの平均的な残業時間については、「週 1 時間未満」が 71.6%で最も多く、次いで「週 1 時間～4 時間未満」が 8.6%、「週 4 時間～8 時間未満」が 2.0%となっている。（図 2-6）

⑦-1 取得可能な有給休暇

問 13 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

【図 2-7-1 取得可能な有給休暇】

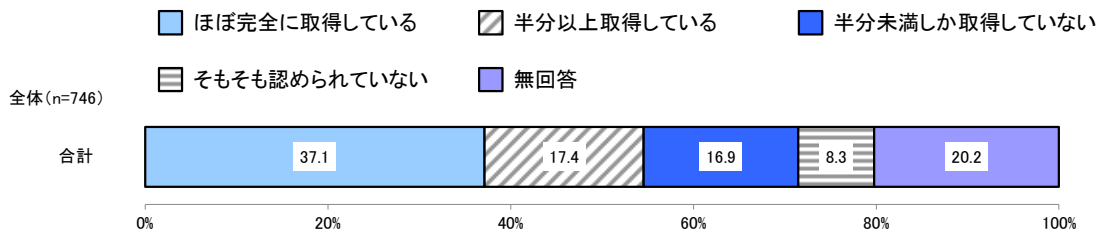


取得可能な有給休暇については、「5～10日」が40.2%で最も多く、次いで「11～15日」が11.7%、「16日以上」が10.2%となっている。(図 2-7-1)

⑦-2 有給休暇の取得状況

問 13-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(○はひとつ)

【図 2-7-2 有給休暇の取得状況】

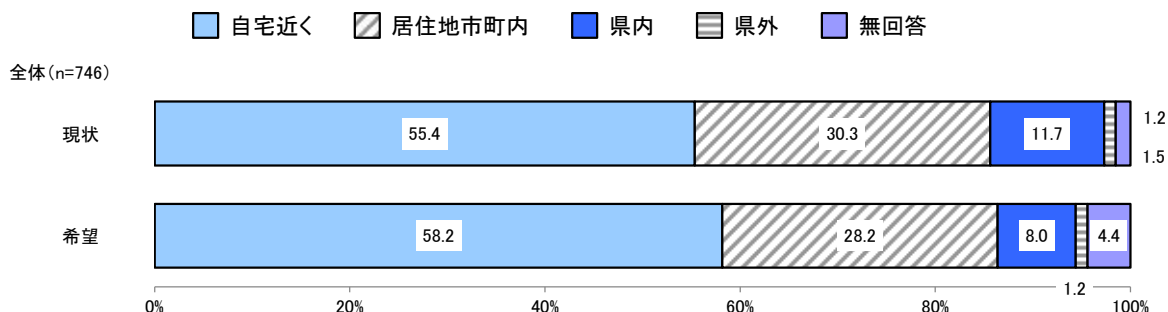


有給休暇の取得状況については、「ほぼ完全に取得している」が37.1%で最も多く、次いで「半分以上取得している」が17.4%、「半分未満しか取得していない」が16.9%となっている。(図 2-7-2)

⑧勤務地

問 14 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-8 勤務地】



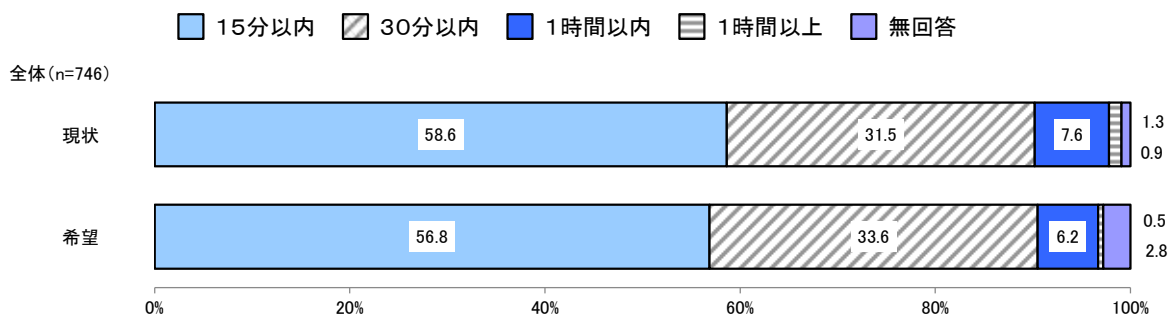
勤務地については、現状は「自宅近く」が55.4%で最も多く、次いで「居住地市町内」が30.3%、「県内」が11.7%となっている。

希望は、「自宅近く」が58.2%で最も多く、現状より3.1ポイント高くなっている。(図 2-8)

⑨通勤時間

問 15 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望（許容できる上限）をお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-9 通勤時間】



通勤時間については、現状は「15分以内」が58.6%で最も多く、次いで「30分以内」が31.5%、「1時間以内」が7.6%となっている。

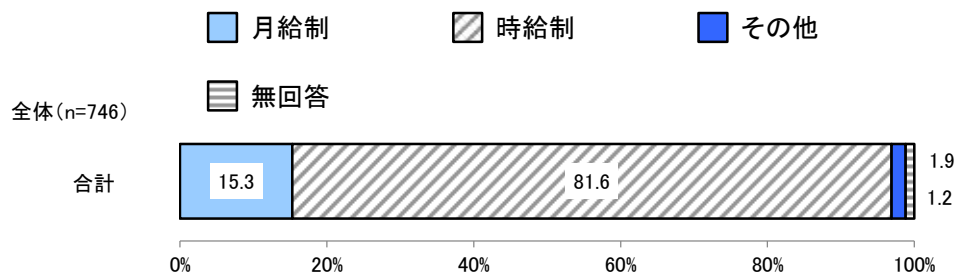
希望は、「15分以内」が56.8%で最も多いが、現状より1.8ポイントとわずかに低く、「30分以内」が33.6%と、現状より2.1ポイント高い。(図 2-9)

⑩-1 給与算定方法

問 16 現在の給与について、おうかがいします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(○はひとつ)

【図 2-10-1 給与算定方法】



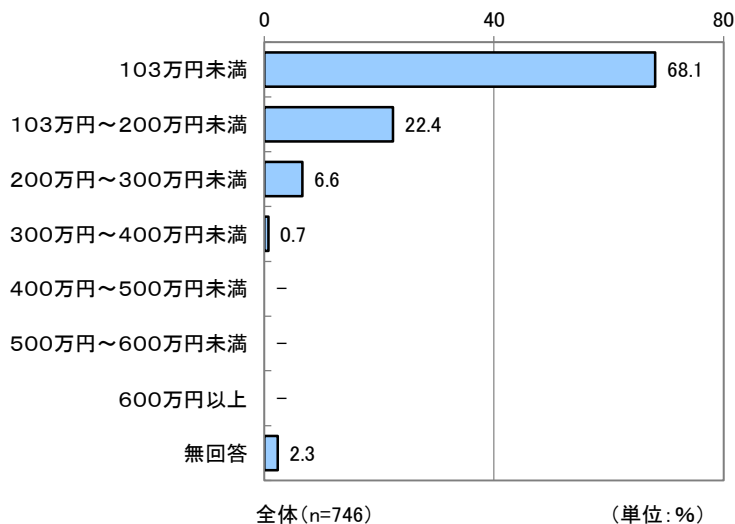
給与算定方法については、「時給制」が81.6%で最も多く、次いで「月給制」が15.3%となっている。(図 2-10-1)

⑩-2 給与年収ベース

問 16 現在の給与について、おうかがいします。

②現在の給与について年収ベース（総支給額）でお答えください。(○はひとつ)

【図 2-10-2 給与年収ベース】

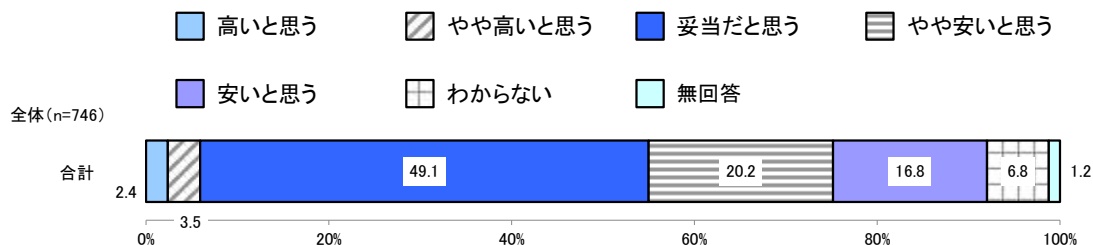


給与年収ベースについては、「103万円未満」が68.1%で最も多く、次いで「103万円～200万円未満」が22.4%、「200万円～300万円未満」が6.6%となっている。(図 2-10-2)

⑩-3 給与の妥当性

問 17 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのように感じていますか。(〇はひとつ)

【図 2-10-3 給与の妥当性】



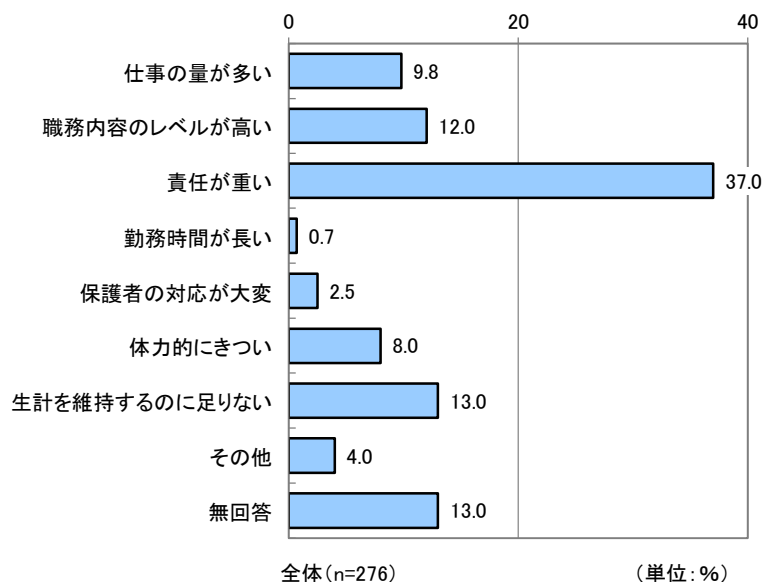
給与の妥当性については、「妥当だと思う」が 49.1%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が 20.2%、「安いと思う」が 16.8%となっている。(図 2-10-3)

⑩-4 安いと思う理由

問 18 問 17 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

①そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

【図 2-10-4 安いと思う理由】



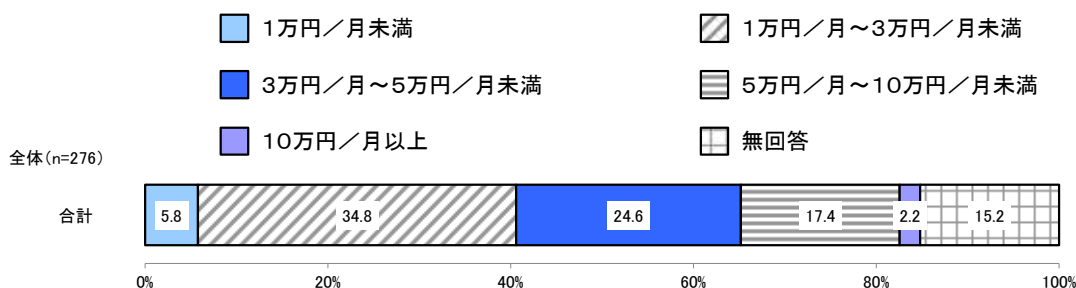
安いと思う理由については、「責任が重い」が 37.0%で最も多く、次いで「生計を維持するのに足りない」が 13.0%、「職務内容のレベルが高い」が 12.0%となっている。(図 2-10-4)

⑩-5 あといくら上乗せがあれば妥当か

問 18 問 17 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

②現在の給与（月額）に、あといくら上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

【図 2-10-5 あといくら上乗せがあれば妥当か】

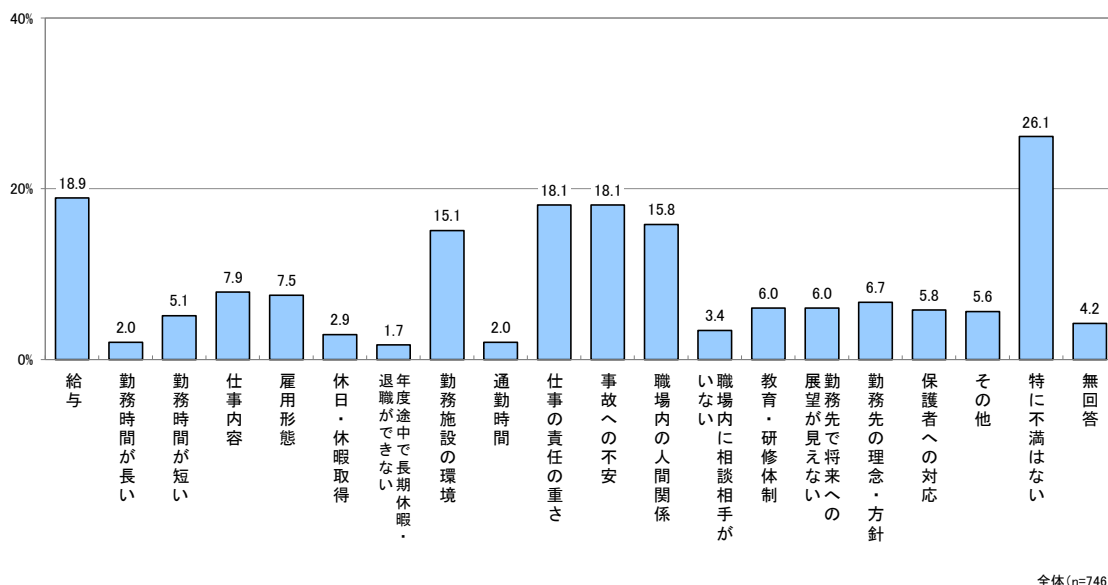


あといくら上乗せがあれば妥当かについては、「1万円/月～3万円/月未満」が 34.8%で最も多く、次いで「3万円/月～5万円/月未満」が 24.6%、「5万円/月～10万円/月未満」が 17.4%となっている。(図 2-10-5)

⑪労働条件や労働環境についての不満

問 19 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(○は3つまで)

【図 2-11 労働条件や労働環境についての不満】

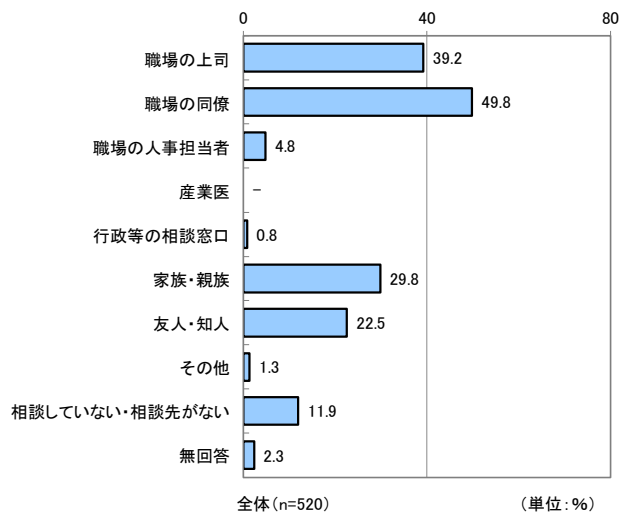


労働条件や労働環境についての不満については、「特に不満はない」が 26.1%で最も多く、次いで「給与」が 18.9%、「仕事の責任の重さ」と「事故への不安」が 18.1%となっている。(図 2-11)

⑫悩みの相談相手

問 20 問 19 で回答したような仕事での悩みの相談相手はどなたですか。(〇は3つまで)

【図 2-12 悩みの相談相手】



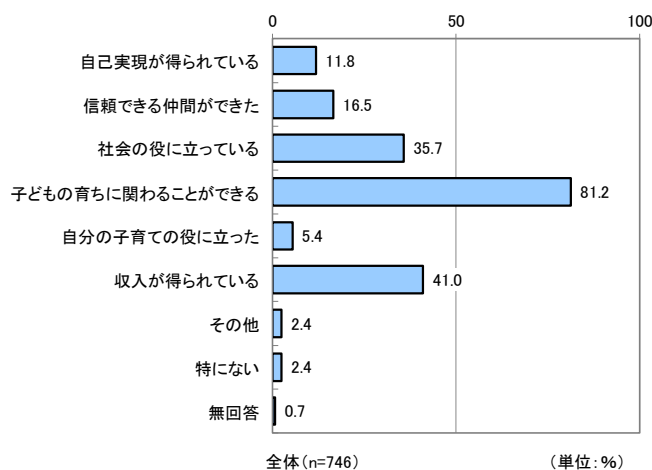
悩みの相談相手については、「職場の同僚」が 49.8%で最も多く、次いで「職場の上司」が 39.2%、「家族・親族」が 29.8%、「友人・知人」が 22.5%となっている。(図 2-12)

⑬補助員のやりがい

問 21 あなたが補助員として働いてこられた中で、やりがいに感じることは何ですか。

(〇は主なもの3つまで)

【図 2-13 補助員のやりがい】

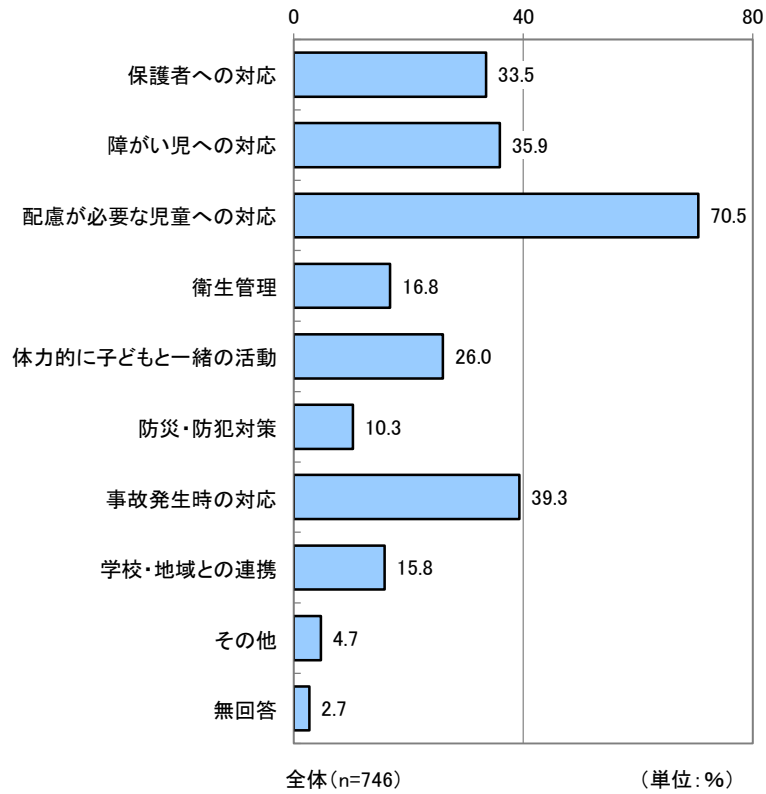


補助員のやりがいについては、「子どもの育ちに関わることができる」が 81.2%で最も多く、次いで「収入が得られている」が 41.0%、「社会の役に立っている」が 35.7%となっている。(図 2-13)

⑭現場での悩み

問 22 あなたは、現在放課後児童クラブの現場で対応が難しいと感じていること（悩み）は何ですか。（〇はいくつでも）

【図 2-14 現場での悩み】

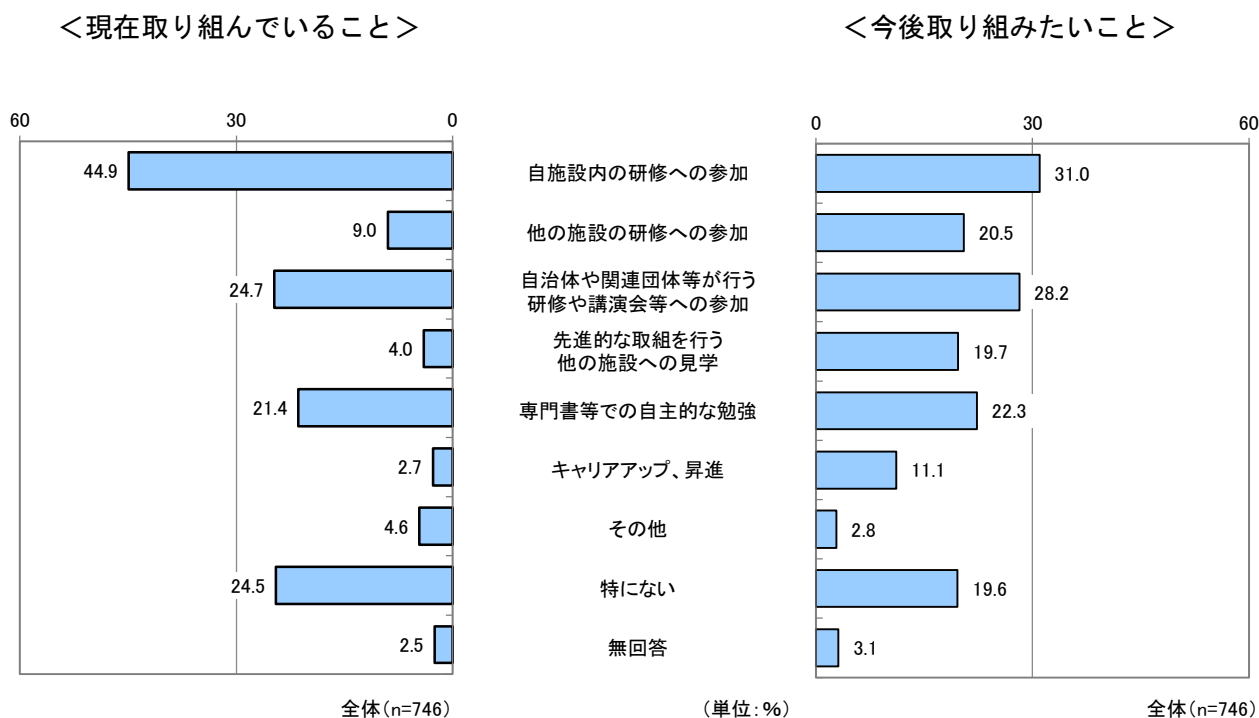


現場での悩みについては、「配慮が必要な児童への対応」が 70.5%で最も多く、次いで「事故発生時の対応」が 39.3%、「障がい児への対応」が 35.9%、「保護者への対応」が 33.5%となっている。
 (図 2-14)

⑮-1 自己研鑽の取り組み

問 23 あなたは自己研鑽のため、①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことは何ですか。
(○はいくつでも)

【図 2-15-1 自己研鑽の取り組み】



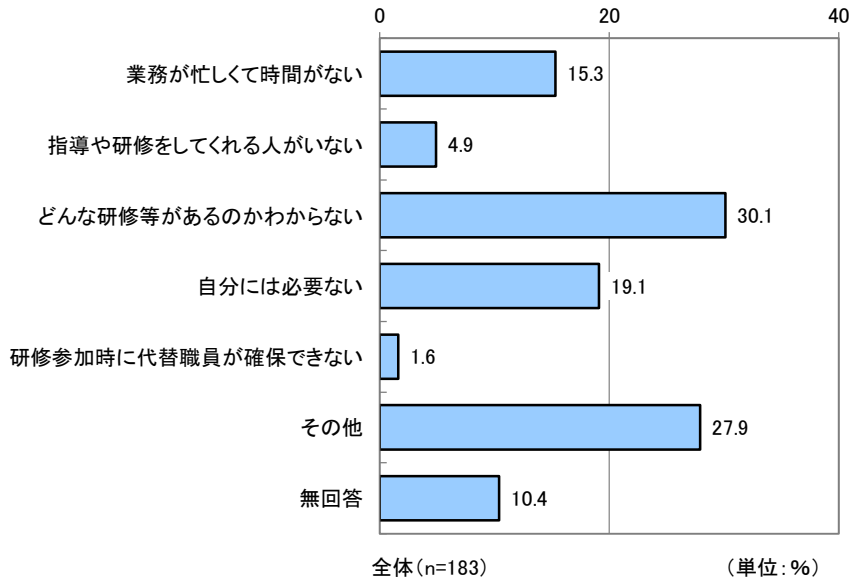
自己研鑽の取り組みについて、現在取り組んでいることをみると、「自施設内の研修への参加」が44.9%で最も多く、次いで「自治体や関連団体等が行う研修や講演会への参加」が24.7%、「専門書等での自主的な勉強」が21.4%となっている。「特にない」も24.5%みられた。

今後取り組みたいことをみると、「自施設内の研修への参加」が31.0%で最も多く、次いで「自治体や関連団体等が行う研修や講演会への参加」が28.2%、「専門書等での自主的な勉強」が22.3%となっている。(図 2-15-1)

⑮-2 取り組んでいない理由

問 24 問 23 「①現在取り組んでいること」で「8 特にない」を選んだ方のみお答えください。
 現在、取り組んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-15-2 取り組んでいない理由】



取り組んでいない理由については、「どんな研修があるのかわからない」が 30.1%で最も多く、次いで「その他」が 27.9%、「自分には必要ない」が 19.1%、「その他」には「学業優先のため」、「年齢的なもの」が多かった。(図 2-15-2)

■その他の主な内容

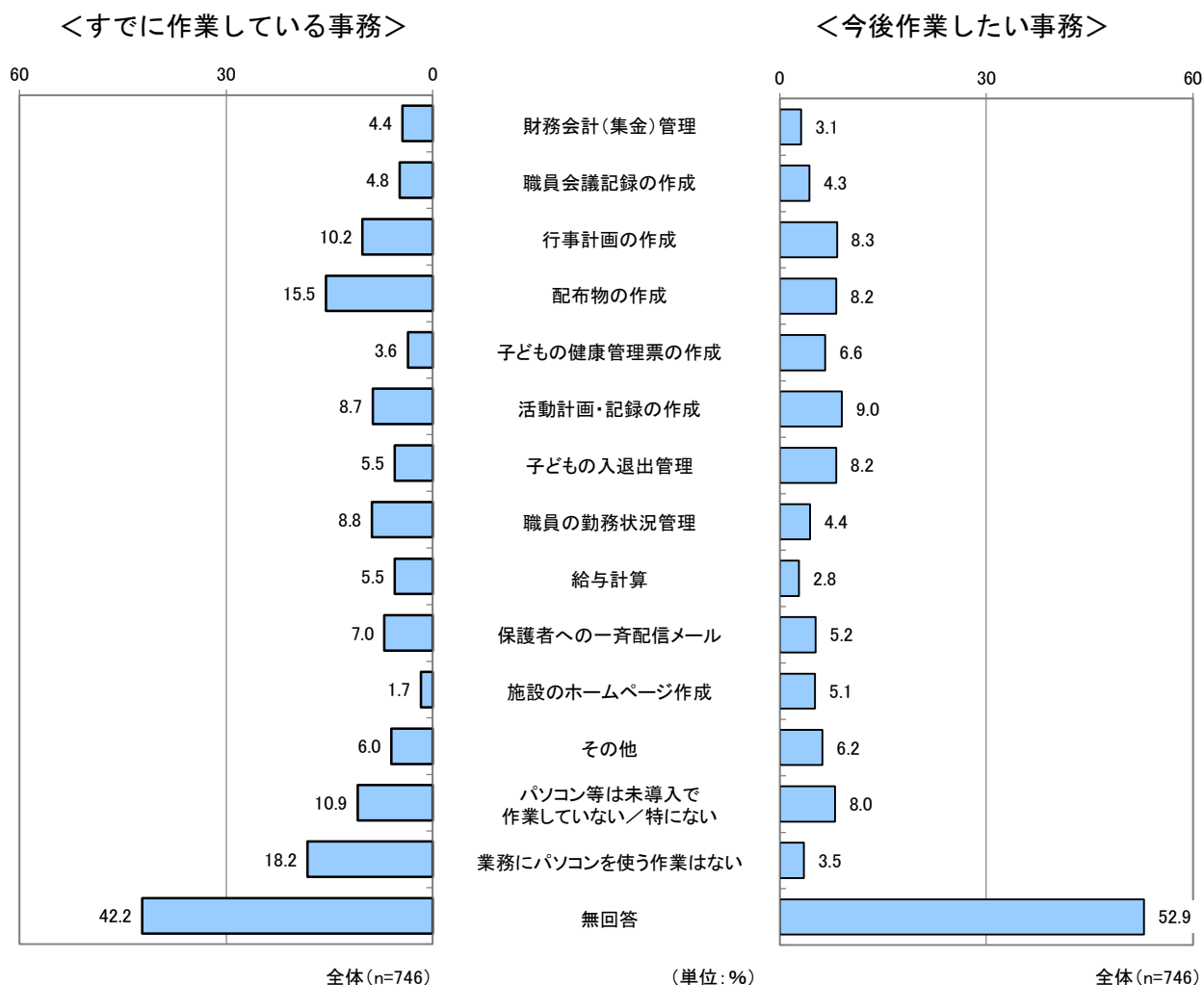
内 容	サンプル数
・ 学業優先のため	8
・ 年齢的なもの	6
・ 他の仕事との兼ね合い	5
・ 勤務開始からまだ間もないため	3

⑯ 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務

問 25 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、すでに作業している事務をお答えください。（〇はいくつでも）

問 26 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、今後作業したい事務をお答えください。（〇はいくつでも）

【図 2-16 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務】



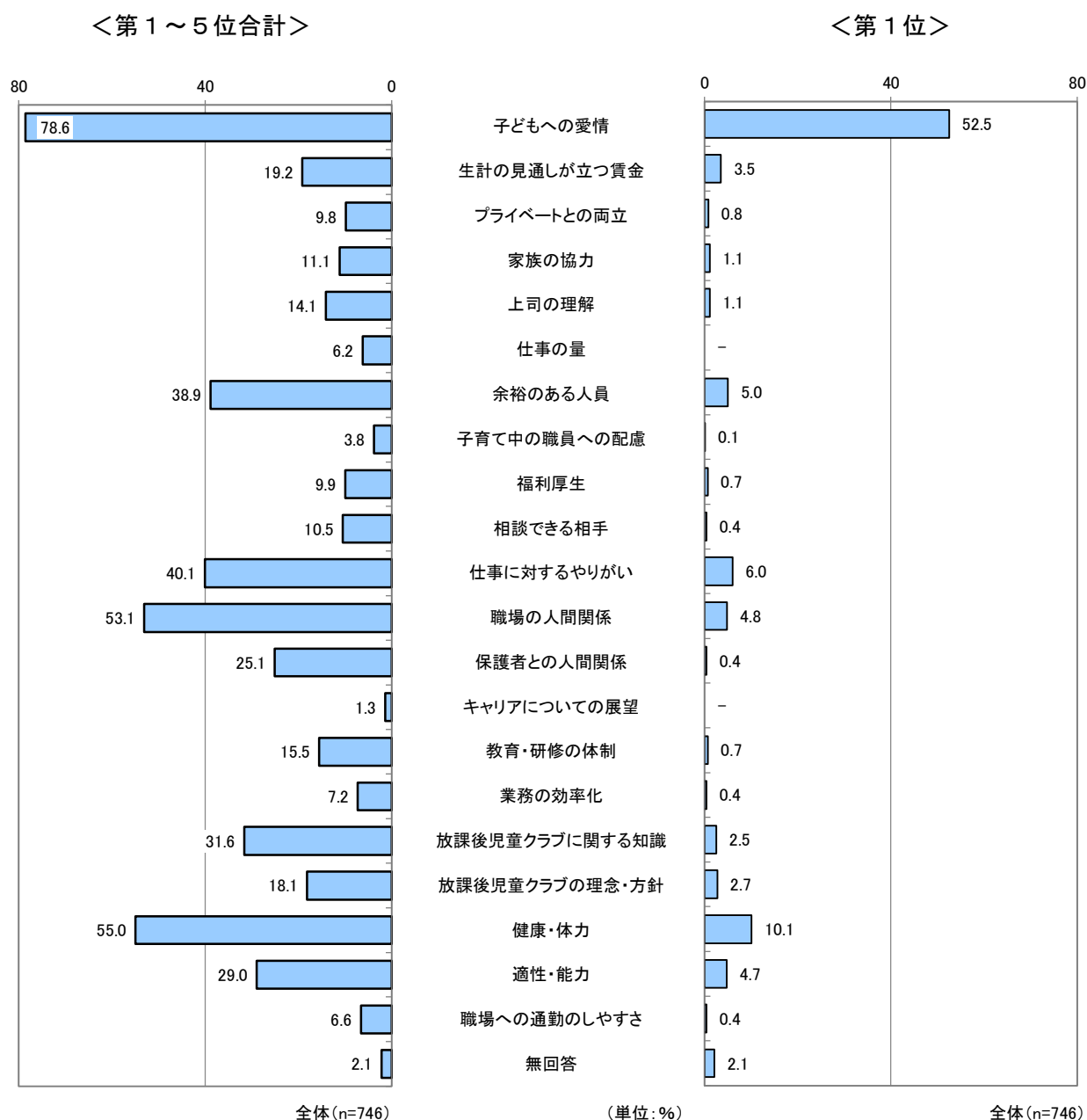
情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務については、「無回答」が 42.2%と多く、回答者の中でも「業務にパソコンを使う作業はない」が 18.2%で最も多い。次いで、「配布物の作成」が 15.5%、「パソコン等は未導入で作業していない／特にない」が 10.9%となっている。

今後作業したい事務についても、「無回答」が 52.9%と多い。次いで「活動計画・記録の作成」が 9.0%、「行事計画の作成」が 8.3%となっている。（図 2-16）

⑰補助員として重要なこと

問 27 補助員として働くためには、何が重要だと思われますか。下記の選択肢から特に重要だと思うことを第1位から第5位までお選びいただき、番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

【図 2-17 補助員として重要なこと】



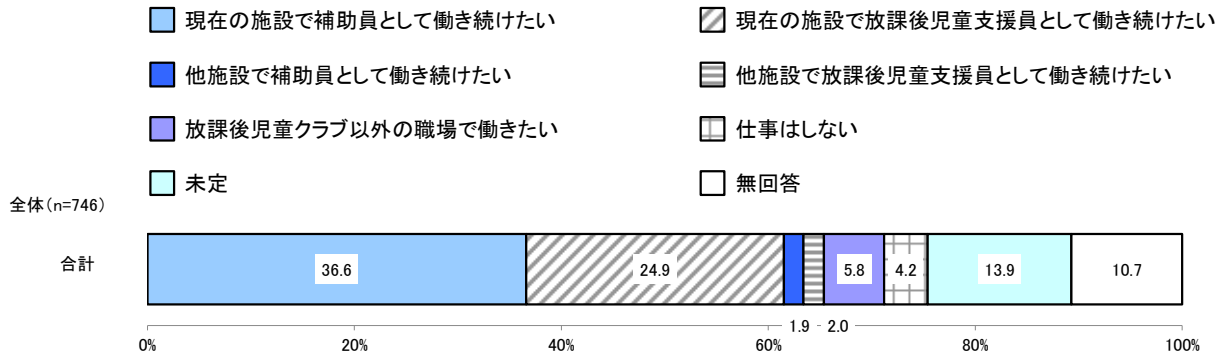
補助員として重要なことについては、第1～5位合計では、「子どもへの愛情」が78.6%で最も多く、次いで「健康・体力」が55.0%、「職場の人間関係」が53.1%、「仕事に対するやりがい」が40.1%となっている。

第1位のみで見ると、「子どもへの愛情」が52.5%で圧倒的に高い。(図 2-17)

⑱-1 今後の就業意向

問 28 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-18-1 今後の就業意向】

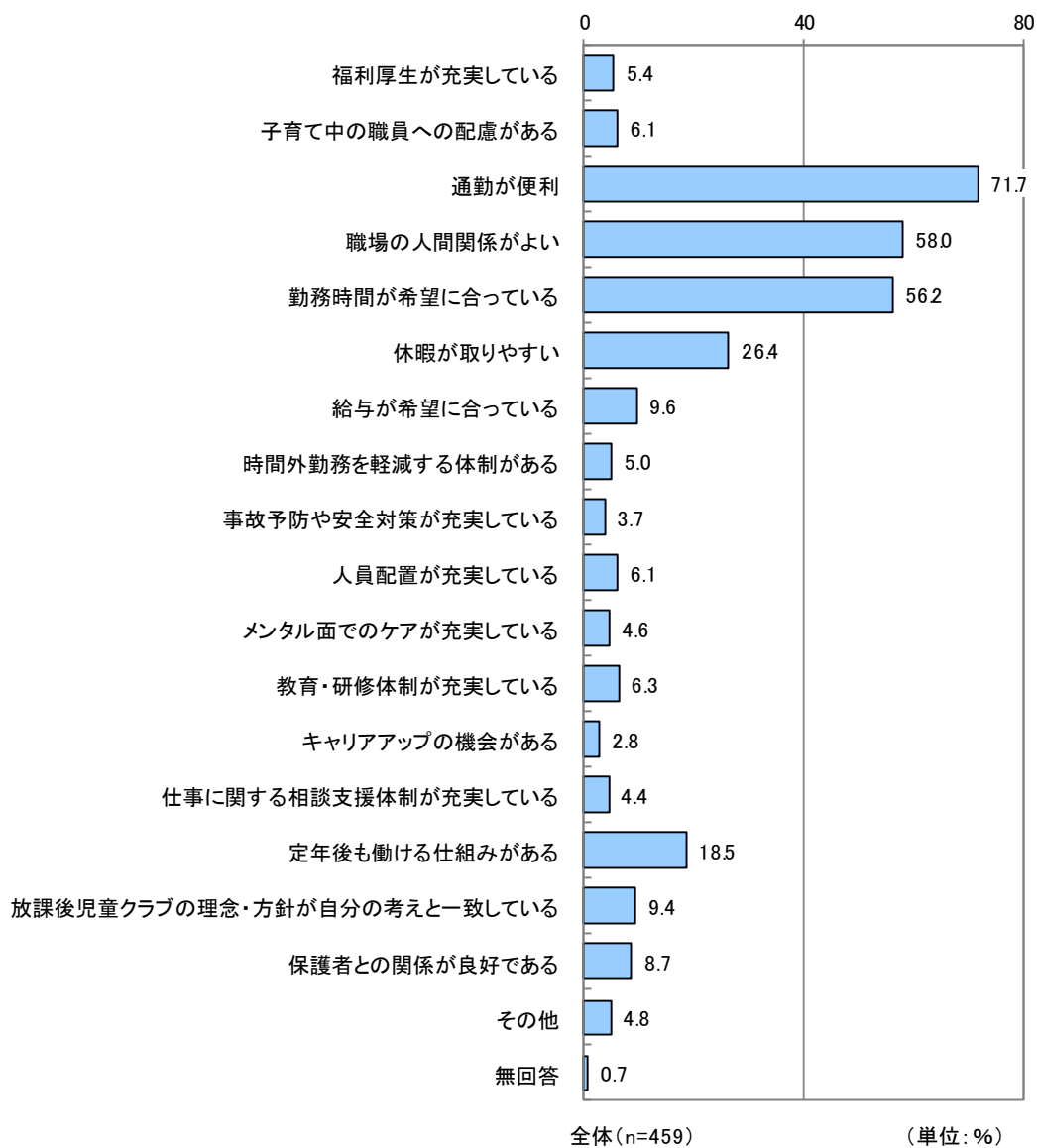


今後の就業意向については、「現在の施設で補助員として働きたい」が 36.6%で最も多く、次いで「現在の施設で放課後児童支援員として働きたい」が 24.9%、「未定」が 13.9%、「放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」が 5.8%となっている。(図 2-18-1)

⑱-2 働き続けたい理由

問 29 問 28 で「1 現在の施設で補助員として働き続けたい」、「2 現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい」と回答した方におうかがいします。
現在の施設で働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-18-2 働き続けたい理由】

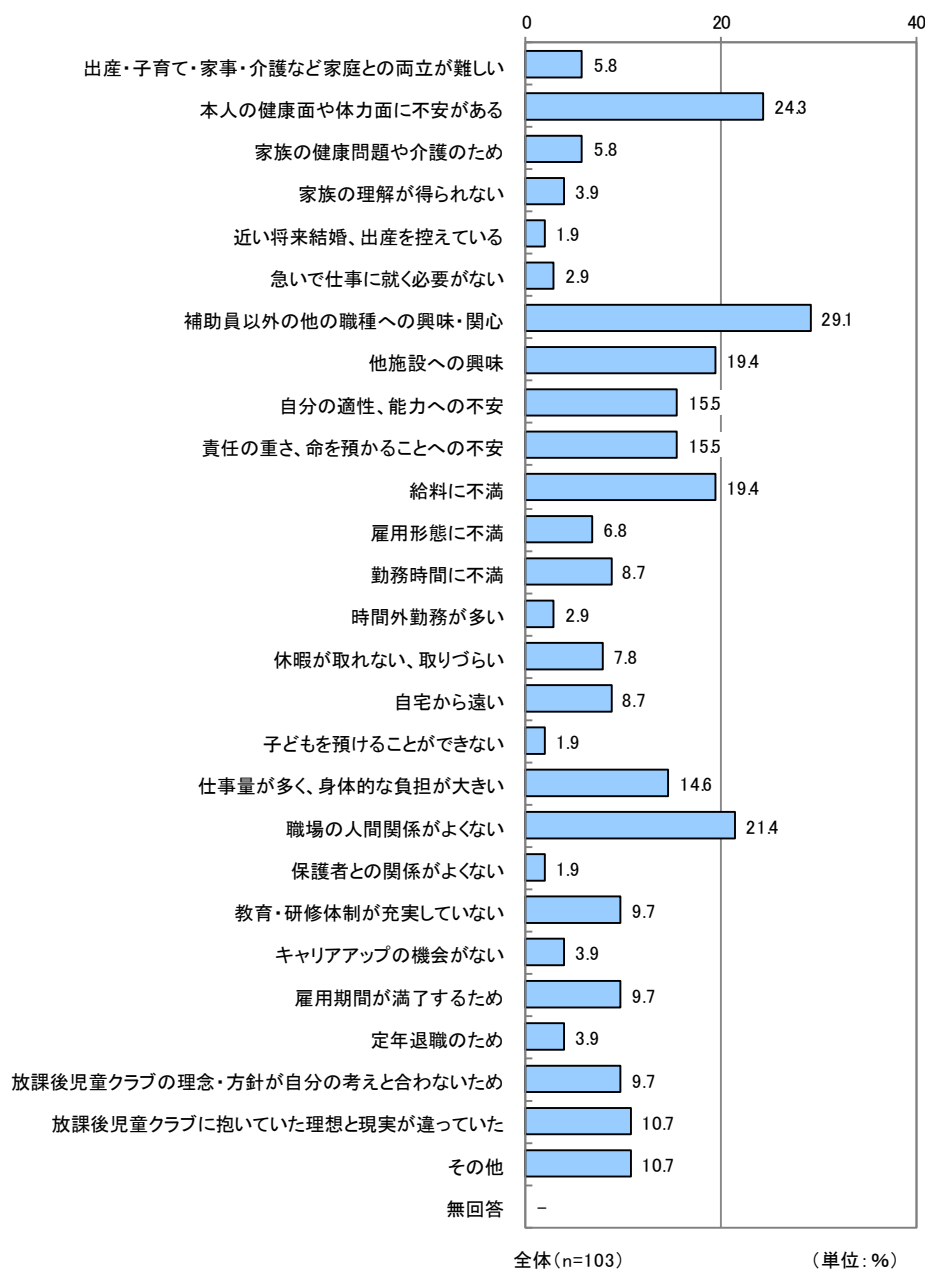


働き続けたい理由については、「通勤が便利」が 71.7%で最も多く、次いで「職場の人間関係がよい」が 58.0%、「勤務時間が希望に合っている」が 56.2%となっている。(図 2-18-2)

⑱-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由

問 30 問 28 で「3 他施設で補助員として働きたい」、「4 他施設で放課後児童支援員として働きたい」、「5 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「6 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。
その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-18-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由】

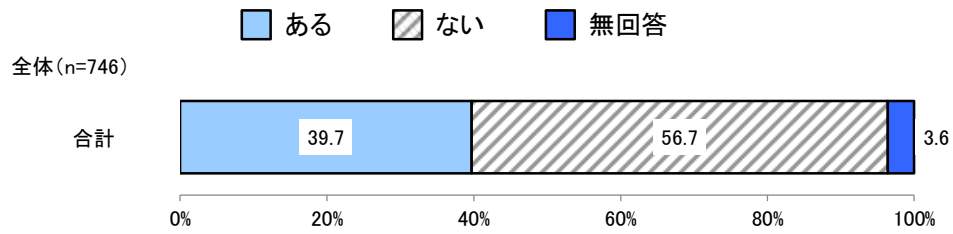


「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由については、「補助員以外の他の職種への興味・関心」が 29.1% で最も多く、次いで「本人の健康面や体力面に不安がある」が 24.3%、「職場の人間関係がよくない」が 21.4% となっている。(図 2-18-3)

⑱就業先以外での子どもに関する仕事の経験

問 31 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(○はひとつ)

【図 2-19 就業先以外での子どもに関する仕事の経験】



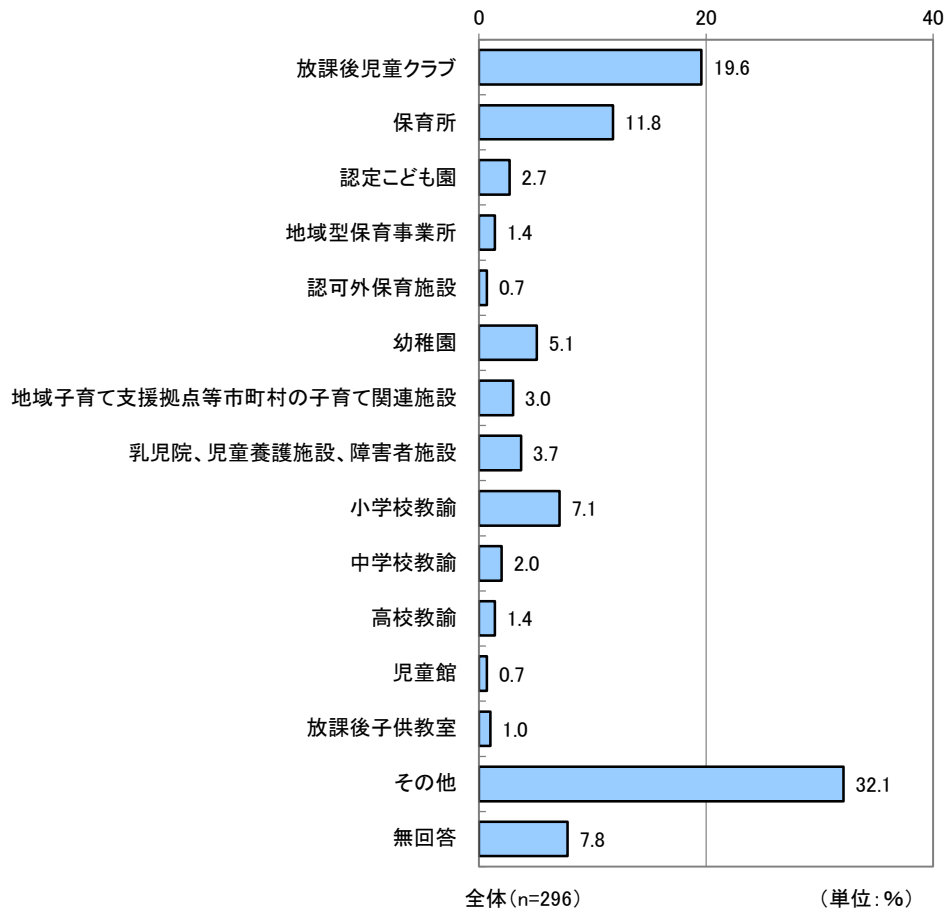
就業先以外での子どもに関する仕事の経験については、「ない」が56.7%、「ある」が39.7%と、「ない」の方が上回っている。(図 2-19)

(3) 退職経験者の実態

①直近に退職された勤務先

問 32 直近に退職された勤務先は、下記のいずれにあたりますか。(○はひとつ)

【図 3-1 直近に退職された勤務先】



直近に退職された勤務先については、「その他」が32.1%で最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が19.6%、「保育所」が11.8%、「小学校教諭」が7.1%となっている。(図 3-1)

■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 学習塾	11
・ 音楽教室	5
・ 放課後等デイサービス	4
・ 小学校の校務員	4

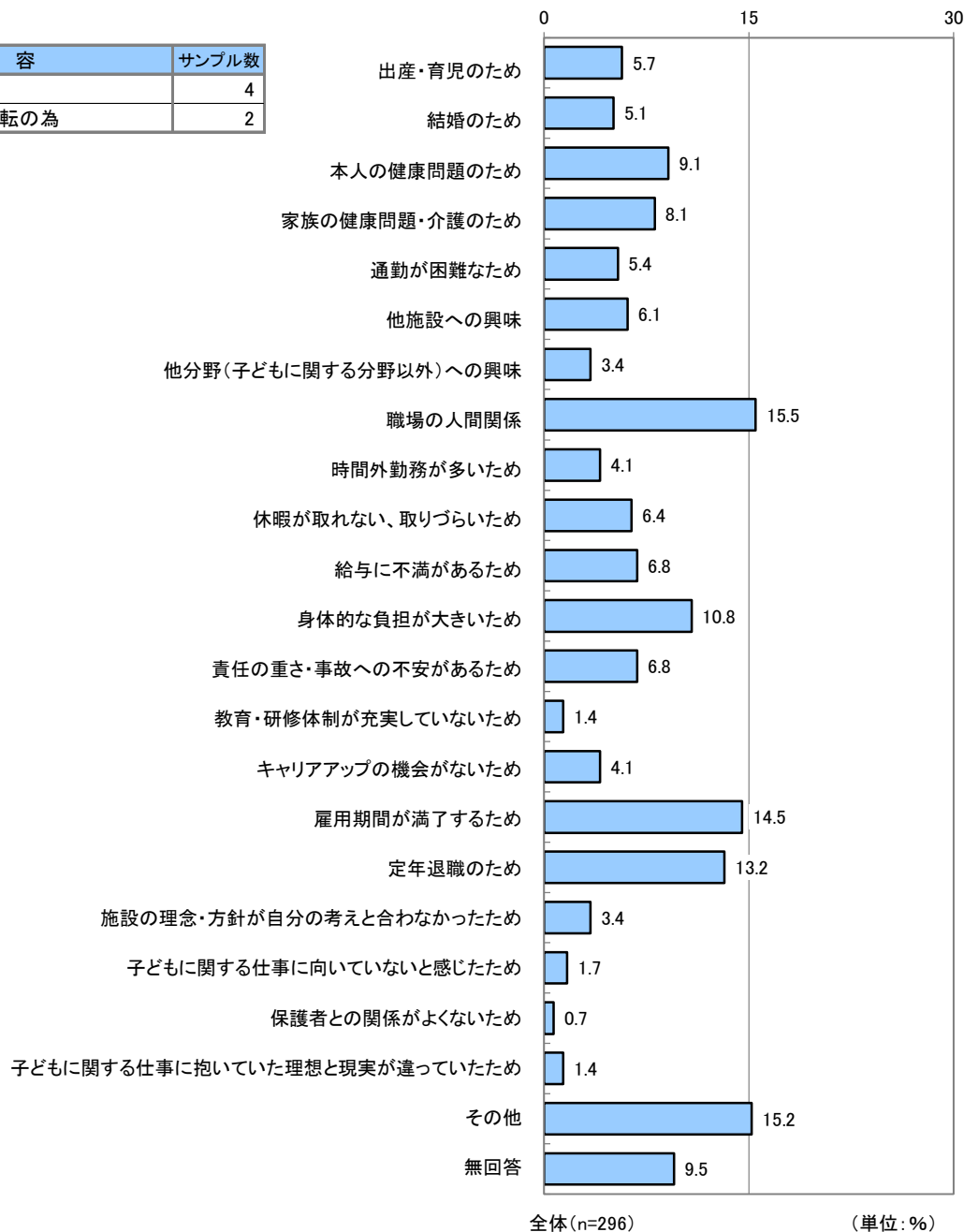
②退職理由

問 33 直近に退職された勤務先を退職された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 3-2 退職理由】

■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・ 転居のため	4
・ 施設の閉鎖、移転の為	2

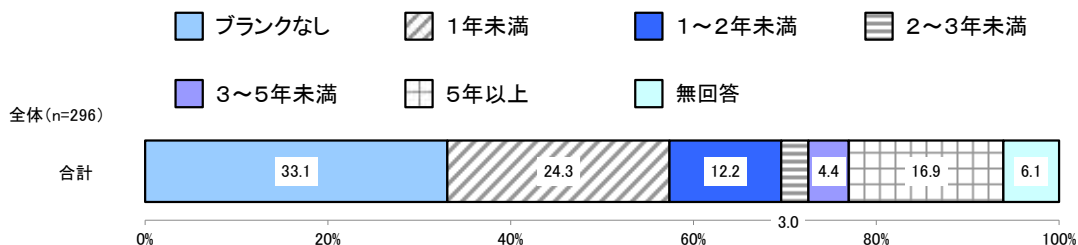


退職理由については、「職場の人間関係」が 15.5%で最も多く、次いで「その他」が 15.2%、「雇用期間が満了するため」が 14.5%、「定年退職のため」が 13.2%となっている。(図 3-2)

③退職から就業までの期間

問 34 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間はどれくらいでしたか。(〇はひとつ)

【図 3-3 退職から就業までの期間】

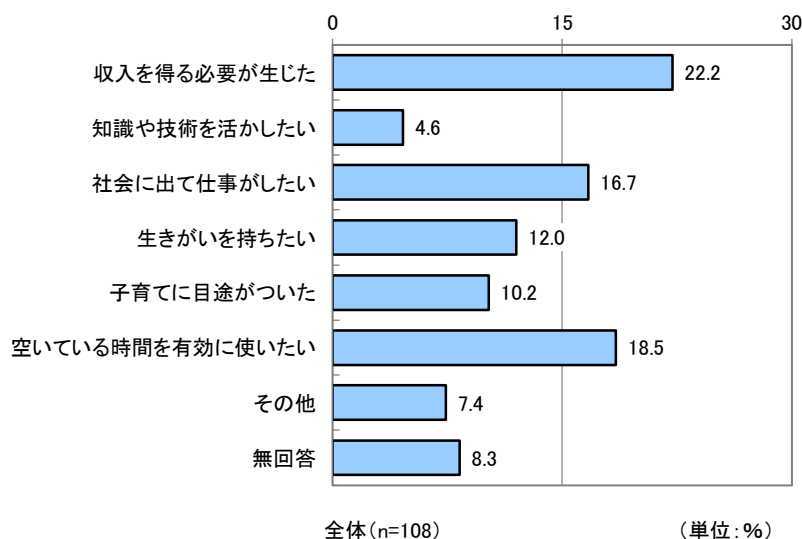


退職から就業までの期間については、「空白なし」が 33.1%で最も多く、次いで「1年未満」が 24.3%、「5年以上」が 16.9%となっている。(図 3-3)

④空白が1年以上ある人の再就職理由

問 34-1 再就職までの期間が1年以上あった方におうかがいします。
再就職された最も大きな理由は何ですか。(〇はひとつ)

【図 3-4 空白が1年以上ある人の再就職理由】



空白が1年以上ある人の再就職理由については、「収入を得る必要が生じた」が 22.2%で最も多く、次いで「空いている時間を有効に使いたい」が 18.5%、「社会に出て仕事がしたい」が 16.7%となっている。(図 3-4)

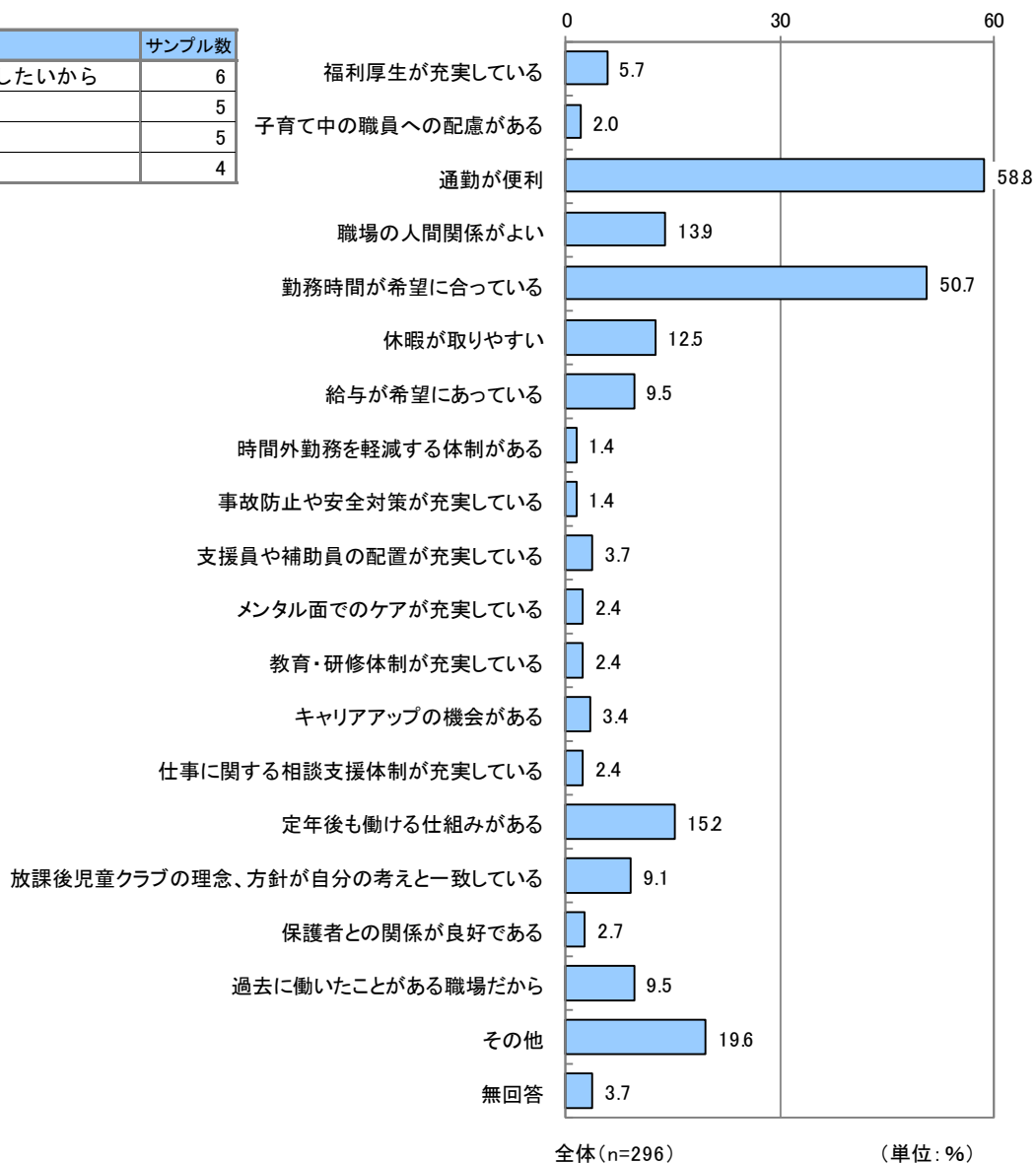
⑤現在の勤務先を選んだ理由

問 35 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 3-5 現在の勤務先を選んだ理由】

■その他の主な内容

内 容	サンプル数
・子どもと係わる仕事がしたいから	6
・知人からの紹介	5
・経験を活かせるから	5
・誘われたから	4



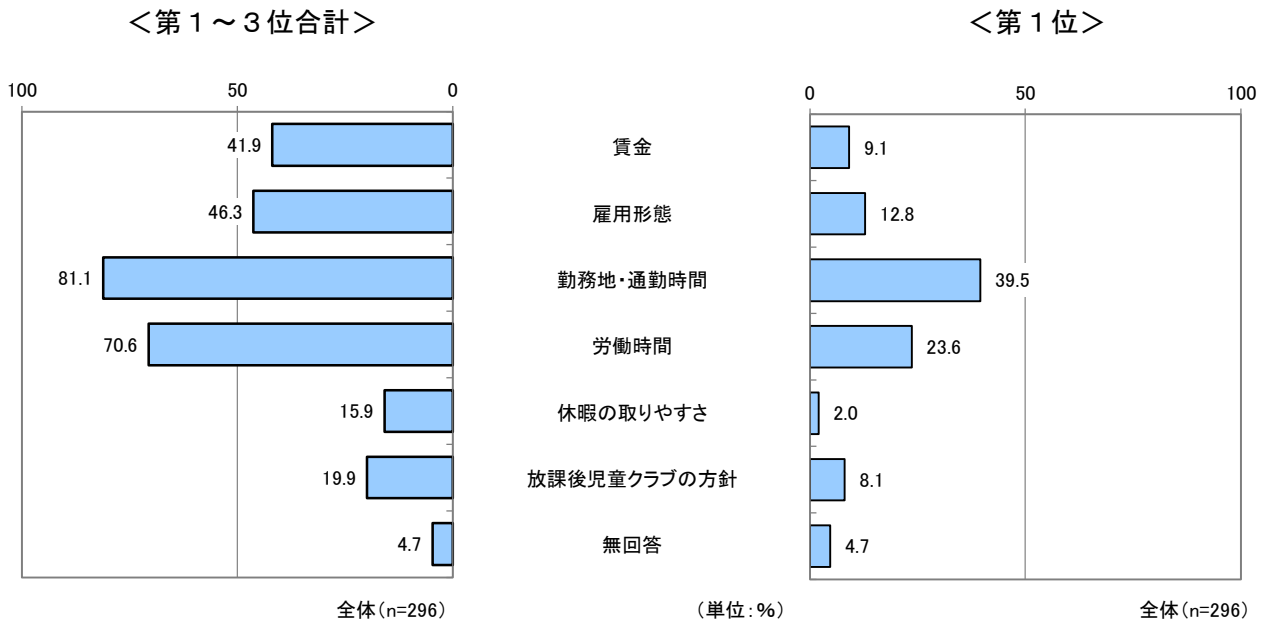
現在の勤務先を選んだ理由については、「通勤が便利」が 58.8%で最も多く、次いで「勤務時間が希望に合っている」が 50.7%、「その他」が 19.6%、「定年後も働ける仕組みがある」が 15.2%となっている。(図 3-5)

⑥勤務先を探す際の重視点

問 36 現在の勤務先を探す際に重視した条件は何ですか。

第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

【図 3-6 勤務先を探す際の重視点】



勤務先を探す際の重視点については、第1～3位合計では、「勤務地・通勤時間」が81.1%で最も多く、次いで「労働時間」が70.6%、「雇用形態」が46.3%となっている。

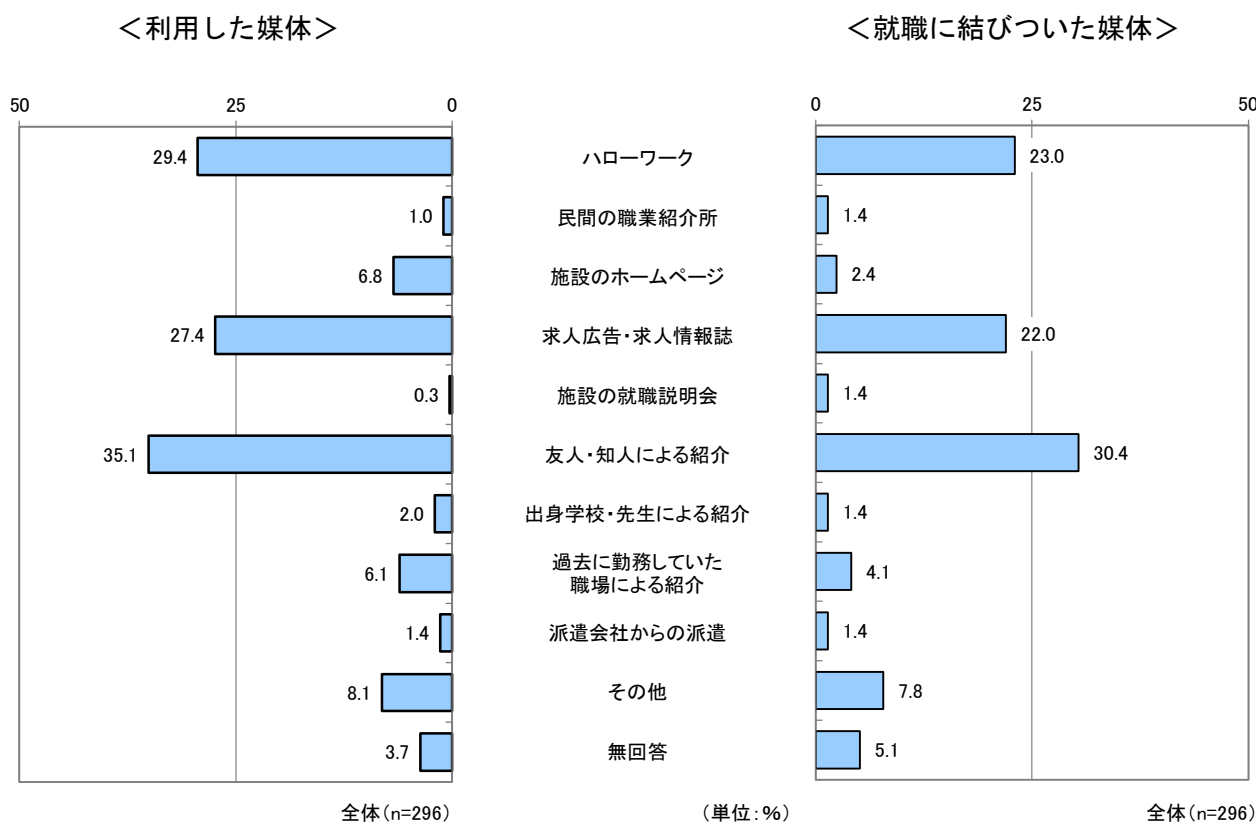
第1位のみでは、「勤務地・通勤時間」が39.5%で最も多く、次いで「労働時間」が23.6%、「雇用形態」が12.8%となっている。(図3-6)

⑦勤務先を探す際の媒体について

問 37 現在の勤務先を探す際に利用した媒体等は何でしたか。(〇はいくつでも)

問 38 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何でしたか。
(〇は主なものひとつ)

【図 3-7 勤務先を探す際の媒体について】



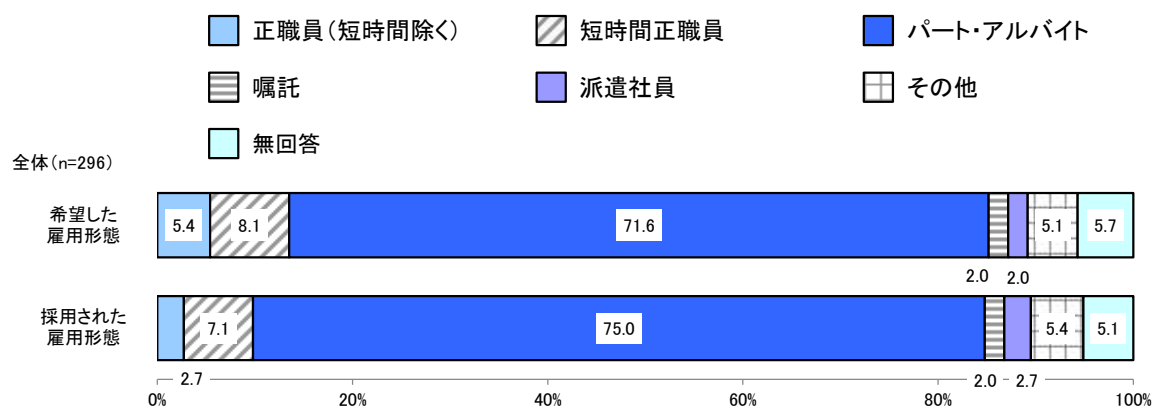
勤務先を探す際の媒体について、利用した媒体をみると、「友人・知人による紹介」が 35.1%で最も多く、次いで「ハローワーク」が 29.4%、「求人広告・求人情報誌」が 27.4%となっている。

就職に結びついた媒体をみると、「友人・知人による紹介」が 30.4%で最も多く、次いで「ハローワーク」が 23.0%、「求人広告・求人情報誌」が 22.0%となっている。(図 3-7)

⑧希望した雇用形態と採用時の雇用形態

問 39 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。(〇はひとつ)

【図 3-8 雇用形態】



雇用形態については、希望は、「パート・アルバイト」が71.6%で最も多く、次いで「短時間正職員」が8.1%、「正職員(短時間除く)」が5.4%となっている。

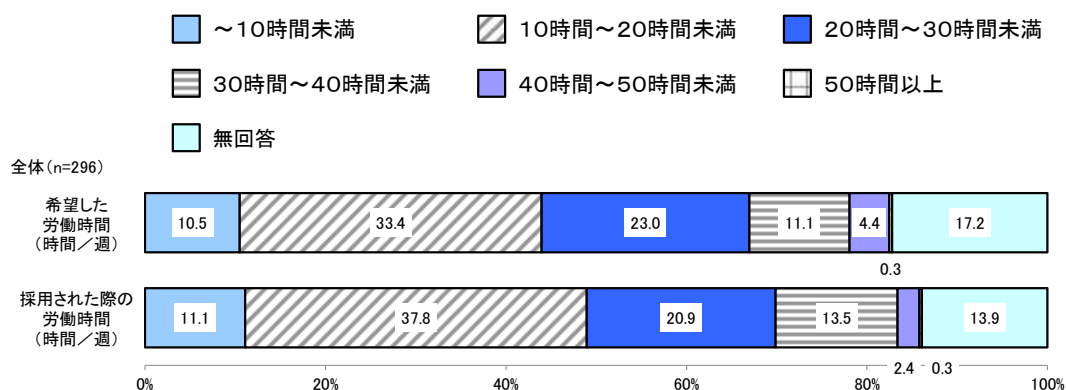
採用された雇用形態は、「パート・アルバイト」が75.0%で最も多く、次いで「短時間正職員」が7.1%、「その他」が5.4%となっており、希望よりも「パート・アルバイト」が3.4ポイント高い。

(図 3-8)

⑨希望した労働時間と採用時の労働時間

問 40 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

【図 3-9 労働時間】



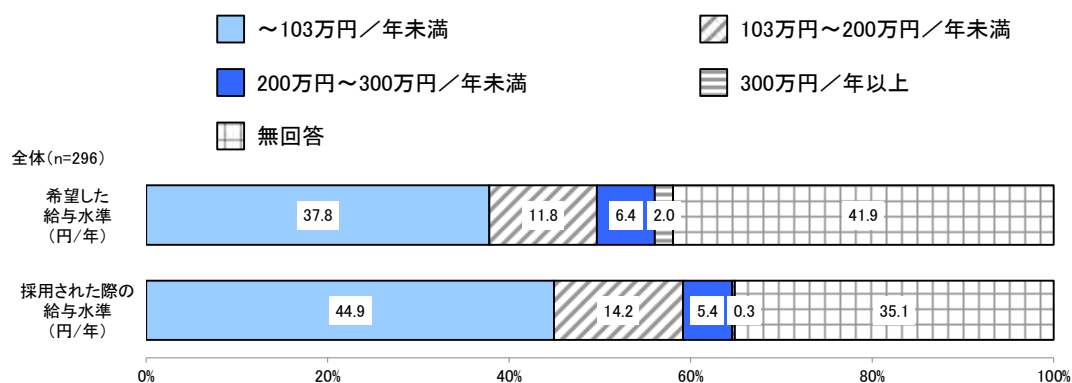
労働時間については、希望は「10時間~20時間未満」が33.4%で最も多く、次いで「20時間~30時間未満」が23.0%、「30時間~40時間未満」が11.1%となっている。

採用された際の労働時間は、「10時間~20時間未満」が37.8%で最も多く、希望よりも「20時間未満」合計の割合が5.0ポイント、「40時間未満」合計の割合が5.3ポイント高くなっている。(図3-9)

⑩希望した給与水準と採用時の給与水準

問 41 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、おおよその年収(総収入)ベースで金額をご記入ください。

【図 3-10 給与水準】



給与水準については、希望は「~103万円/年未満」が37.8%で最も多く、次いで「103万円~200万円/年未満」が11.8%、「200万円~300万円/年未満」が6.4%となっている。

採用された際の給与水準は、「~103万円/年未満」が44.9%と希望より7.1ポイント高く、「103万円~200万円/年未満」は14.2%と希望より2.4ポイント高い。(図3-10)

(4) 補助員自由回答

問 42 すべての方に、おうかがいします。

補助員としての就労や労働環境について感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

405 人から回答をいただき、内容は、おおむね以下のとおり。

- 給与、福利厚生などに関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71 件
 - ・仕事量に対する給与が少し少ない気がする。補助員の給与を滋賀県全体でそこ上げてほしい
 - ・年々学童保育を必要とする子供や保護者が増える一方で、職員の人数や賃金は大きくは変わっていません。子供を増やすなら、職員の確保と賃金向上をと思います
- 子どもへの接し方・保育のあり方について・・・・・・・・・・・・・・・・64 件
 - ・学校ではなく放課後なので、ある程度開放された時間の中で、子どものメリハリのついた生活をつけさせることに工夫が必要だと思っています
 - ・子供達のために、自分の持っているスキルを伝える。それによって、子供達が向上すればよいと考える
- 人材に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56 件
 - ・どちらの会社であっても、人員不足のようです。また、人件費も押さえられている様子であり、全体的に給与面や人員確保が求められているように感じています
 - ・職員の人数が少なく、なかなか目が行き届かない
- やりがいについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54 件
 - ・子どもに対する配慮がとても厳しいことがあります。でもそれだけにやりがいもあり充実しています。就労している中での賃金などがあることに承知していますが、支援員の動きのなさに少し物足りなさを感じます
 - ・子どもたちと接することが好きなので、体力が続く限りは頑張りたいと思っています
- 業務や待遇等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47 件
 - ・支援員と同等の仕事を任せられ、責任を持たされている
 - ・子供を保育することに対しては、補助員としてやりがいがあるが、用務員、事務員も居ず、延長時間も環境的にも整っていないことに対し、業務内容の多さ、体力面、不満、不安がある
- 労働時間・勤務体制について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・43 件
 - ・長期の休みはほぼ毎日出勤しなければならないので、休みをもらうとなると、他の人に迷惑をかける事になる。休んだ時に他の所から人員補充ができるような体制をとっていただきたい
 - ・時間内に業務して、みんなで帰るため、事務的な仕事をする時間が取れない。子供達のための書籍購入などが休日になる
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・169 件
 - ・放課後児童クラブの所長や教育委員会など、相談できる、相談しやすい拠り所があると安心して就労できます

4. 児童クラブ事務員調査

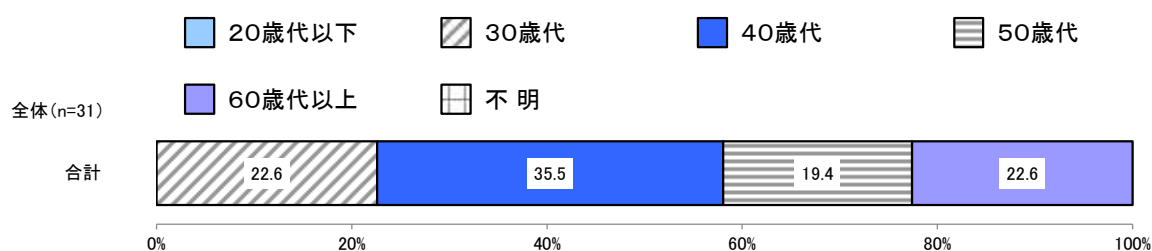
(1) 回答者の基本属性

①年代

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

①年代

【図 1-1 年代】



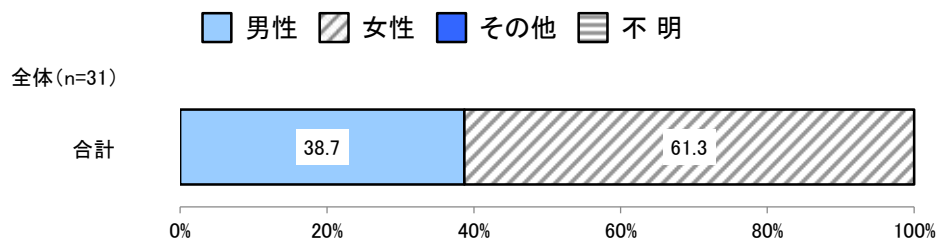
年代については、「40歳代」が35.5%で最も多く、次いで「30歳代」と「60歳以上」が22.6%、「50歳代」が19.4%となっている。(図 1-1)

②性別

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

②性別

【図 1-2 性別】



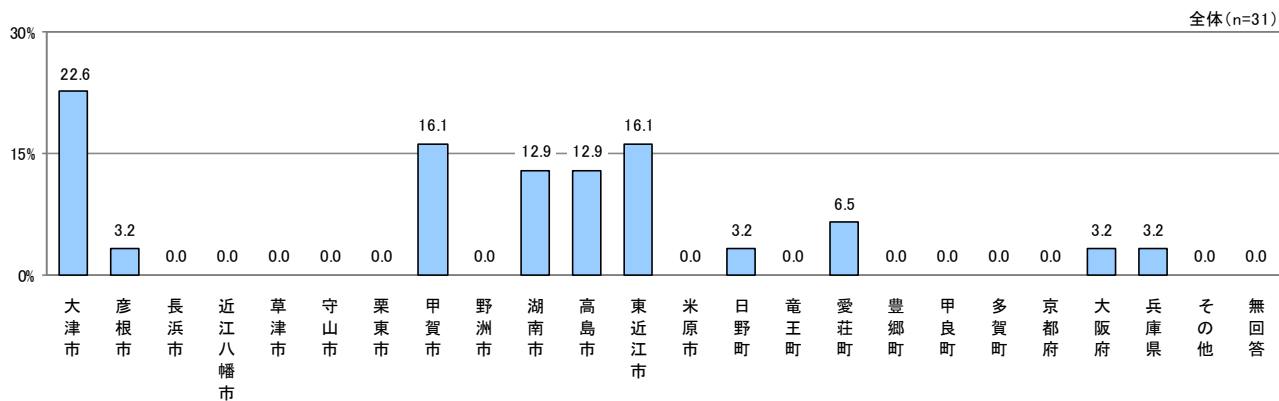
性別については、「女性」が61.3%、「男性」が38.7%となっている。(図 1-2)

③居住地

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

③現在の住所地

【図1-3 居住地】



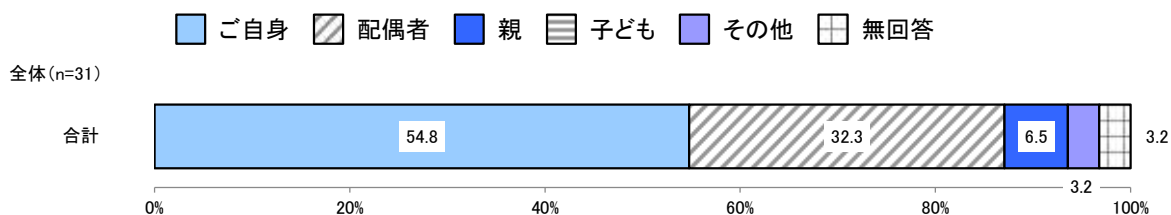
居住地については、「大津市」が22.6%で最も多く、次いで「甲賀市」と「東近江市」が16.1%、「湖南市」と「高島市」が12.9%となっている。(図1-3)

④家計の主たる生計者

問1 あなたご自身のことについておうかがいします。

④家計の主たる生計者

【図1-4 家計の主たる生計者】

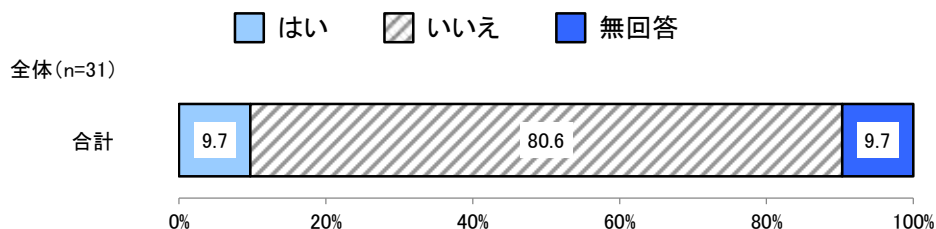


家計の主たる生計者については、「ご自身」が54.8%で最も多く、次いで「配偶者」が32.3%、「親」が6.5%となっている。(図1-4)

⑤放課後児童支援員になろうと思うか

問2 あなたは今後、放課後児童支援員になろうと思いますか。(〇はひとつ)

【図1-5 放課後児童支援員になろうと思うか】

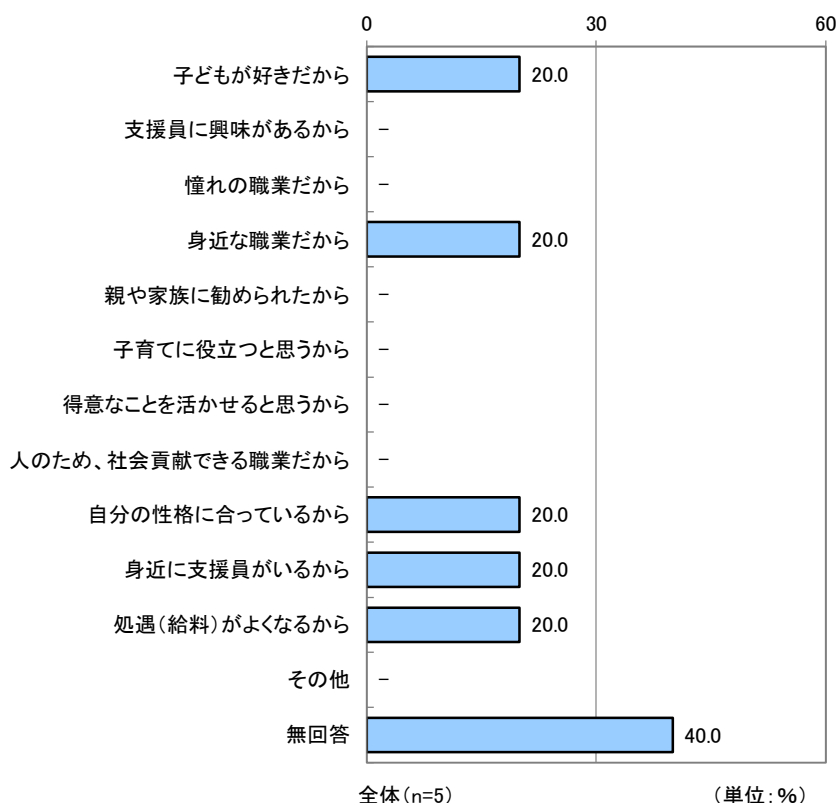


放課後児童支援員になろうと思うかについては、「いいえ」が80.6%、「はい」が9.7%と、「いいえ」の方が大幅に上回っている。(図1-5)

⑥放課後児童支援員になろうと思う理由

問3 放課後児童支援員になろうと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図1-6 放課後児童支援になろうと思う理由】



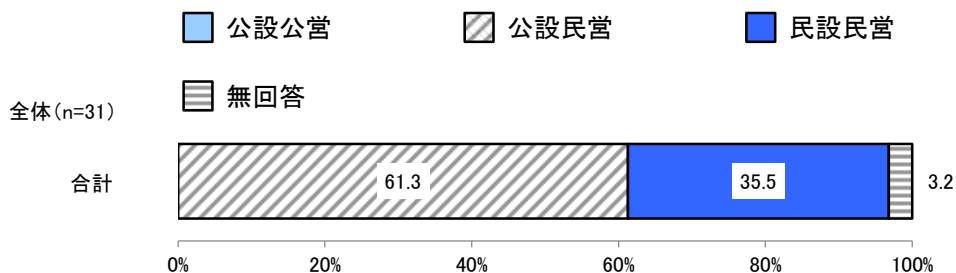
放課後児童支援員になろうと思う理由については、サンプル数が5しかないが、「子どもが好きだから」「身近な職業だから」「自分の性格に合っているから」「身近に支援員がいるから」「処遇(給料)がよくなるから」がそれぞれ20.0%となっている。(図1-6)

(2) 現在の就業先の状況

①施設の設置・運営主体

問4 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-1 施設の設置・運営主体】

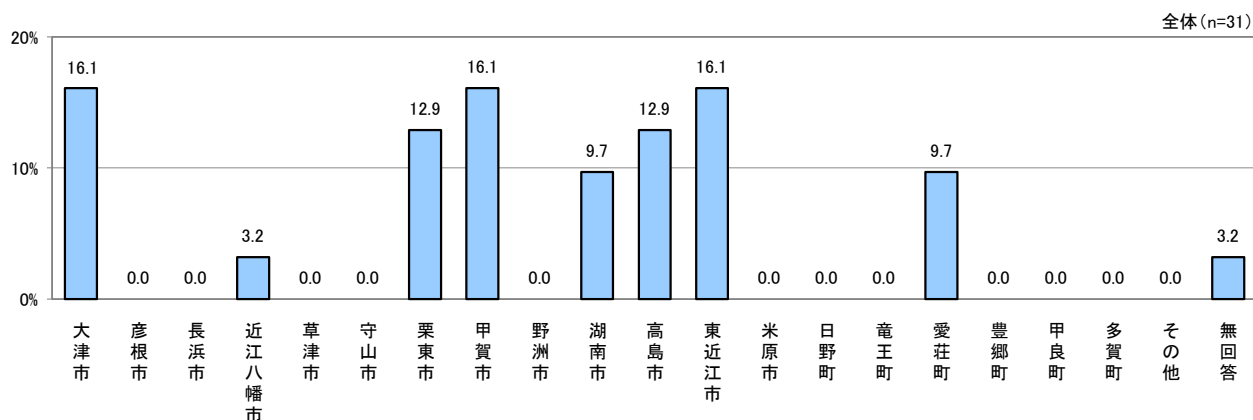


施設の設置・運営主体については、「公設民営」が61.3%で最も多く、次いで「民設民営」が35.5%となっている。「公設公営」は今回みられなかった。(図 2-1)

②施設の所在地

問5 現在の就業先の市町名をご記入ください。

【図 2-2 施設の所在地】

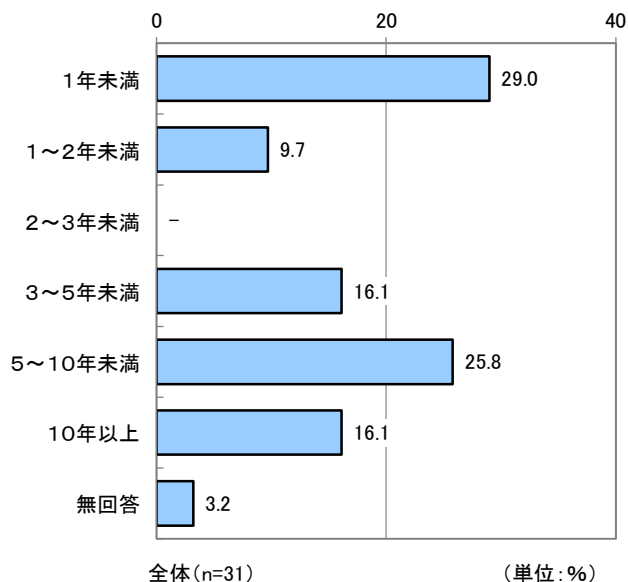


施設の所在地については、「大津市」と「甲賀市」と「東近江市」が16.1%で最も多く、次いで「栗東市」と「高島市」が12.9%、「湖南市」と「愛荘町」が9.7%となっている。(図 2-2)

③現在の就業先での勤続年数

問6 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(〇はひとつ)

【図2-3 現在の就業先での勤続年数】

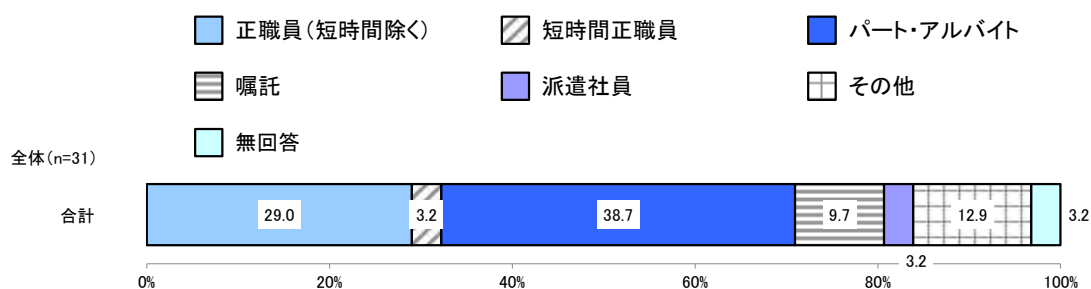


現在の就業先での勤続年数については、「1年未満」が29.0%で最も多く、次いで「5～10年未満」が25.8%、「3～5年未満」と「10年以上」が16.1%となっている。(図2-3)

④現在の雇用形態

問7 現在の雇用形態についてお答えください。(〇はひとつ)

【図2-4 現在の雇用形態】

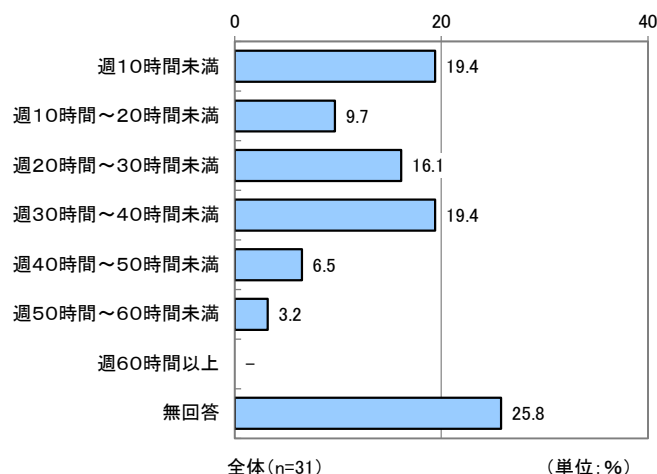


現在の雇用形態については、「パート・アルバイト」が38.7%で最も多く、次いで「正職員(短時間除く)」が29.0%、「その他」が12.9%、「嘱託」が9.7%となっている。(図2-4)

⑤ 1週当たりの平均的な労働時間

問8 昨年度（令和2年度）の時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図2-5 1週当たりの平均的な労働時間】

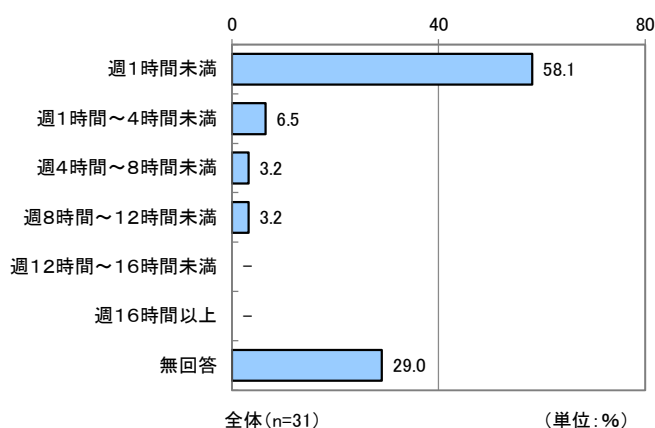


1週当たりの平均的な労働時間については、「週10時間未満」と「週30時間～40時間未満」が19.4%で最も多く、次いで「週20時間～30時間未満」が16.1%、「週10時間～20時間未満」が9.7%となっている。（図2-5）

⑥ 1週当たりの平均的な残業時間

問9 昨年度（令和2年度）の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。（〇はひとつ）

【図2-6 1週当たりの平均的な残業時間】

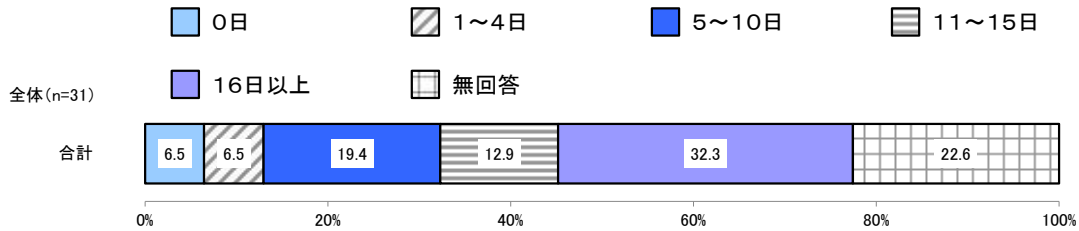


1週当たりの平均的な残業時間については、「週1時間未満」が58.1%で最も多く、次いで「週1時間～4時間未満」が6.5%、「週4時間～8時間未満」と「週8時間～12時間未満」が3.2%となっている。（図2-6）

⑦-1 取得可能な有給休暇

問 10 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

【図 2-7-1 取得可能な有給休暇】

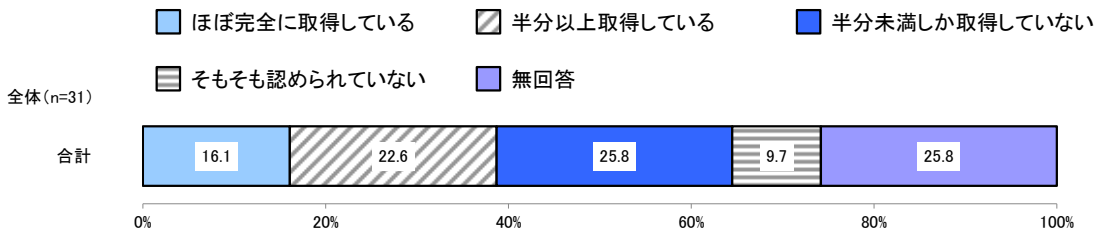


取得可能な有給休暇については、「16日以上」が32.3%で最も多く、次いで「5～10日」が19.4%、「11～15日」が12.9%となっている。(図 2-7-1)

⑦-2 有給休暇の取得状況

問 10-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(○はひとつ)

【図 2-7-2 有給休暇の取得状況】

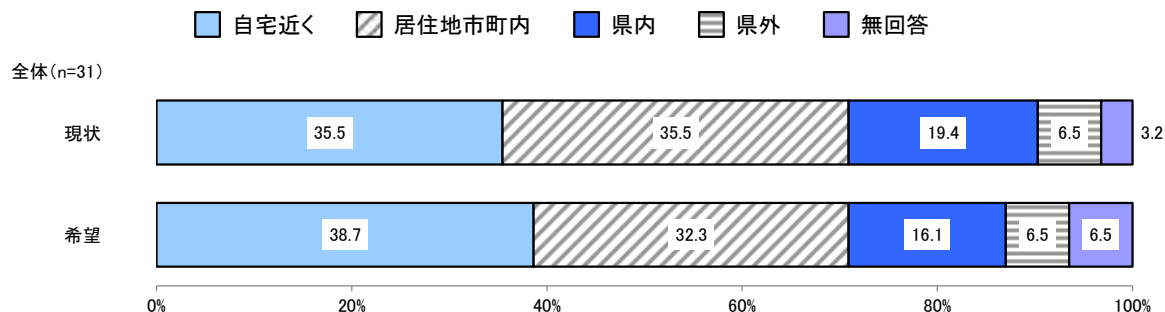


有休休暇の取得状況については、「半分未満しか取得していない」が25.8%で最も多く、次いで「半分以上取得している」が22.6%、「ほぼ完全に取得している」が16.1%となっている。(図 2-7-2)

⑧勤務地

問 11 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-8 勤務地】



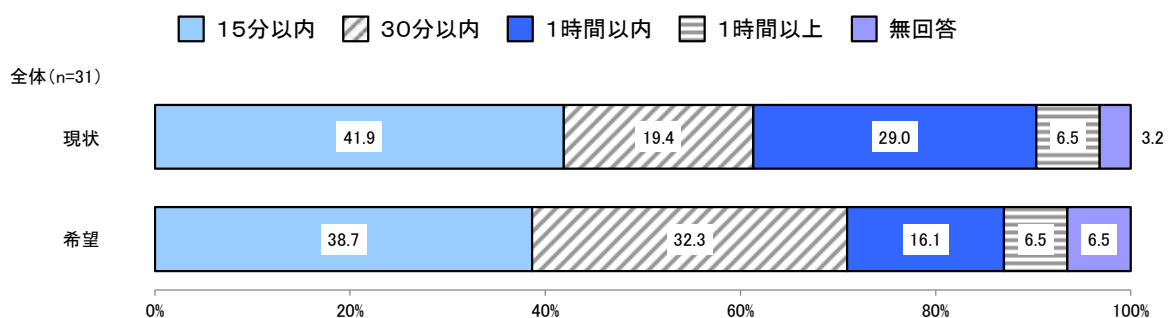
勤務地については、現状は「自宅近く」と「居住地市町内」が 35.5%で最も多く、次いで「県内」が 19.4%となっている。

希望は、「自宅近く」が 38.7%で最も多く、現状より 3.2 ポイント高くなっている。(図 2-8)

⑨通勤時間

問 12 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望（許容できる上限）をお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-9 通勤時間】



通勤時間については、現状は「15分以内」が 41.9%で最も多く、次いで「1時間以内」が 29.0%、「30分以内」が 19.4%となっている。

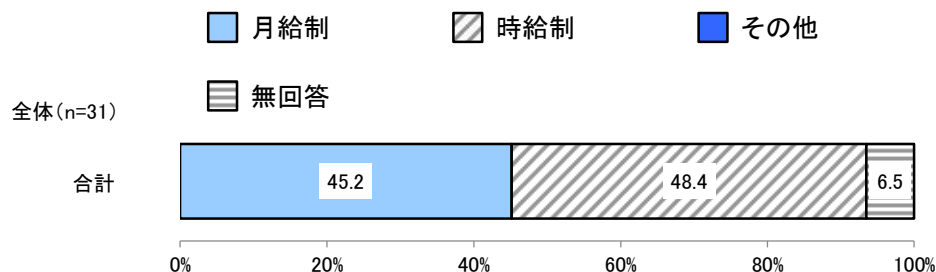
希望は、「15分以内」が 38.7%で最も多いが、現状よりは 3.2 ポイント低く、「30分以内」が 32.3%と、現状より 12.9 ポイント高い。一方、「1時間以内」は 16.1%と、現状より 12.9 ポイント低い。(図 2-9)

⑩-1 給与算定方法

問 13 現在の給与について、おうかがいします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(○はひとつ)

【図 2-10-1 給与算定方法】



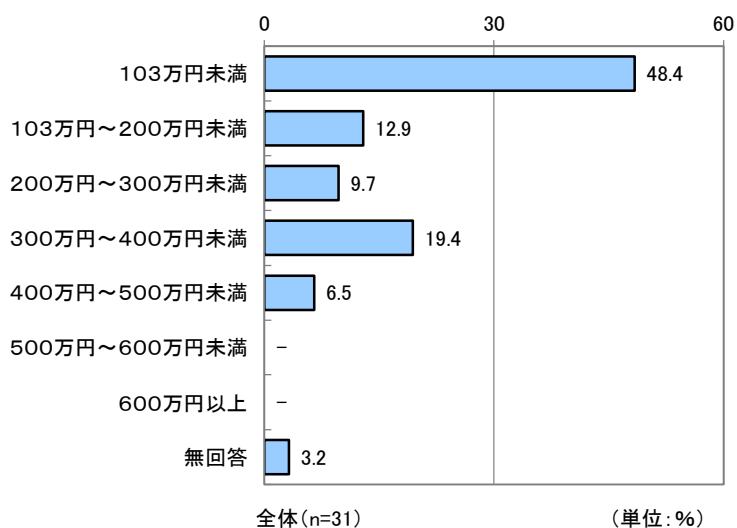
給与算定方法については、「時給制」が48.4%で最も多く、次いで「月給制」が45.2%となっている。(図 2-10-1)

⑩-2 給与年収ベース

問 13 現在の給与について、おうかがいします。

②現在の給与について年収ベース（総支給額）でお答えください。(○はひとつ)

【図 2-10-2 給与年収ベース】

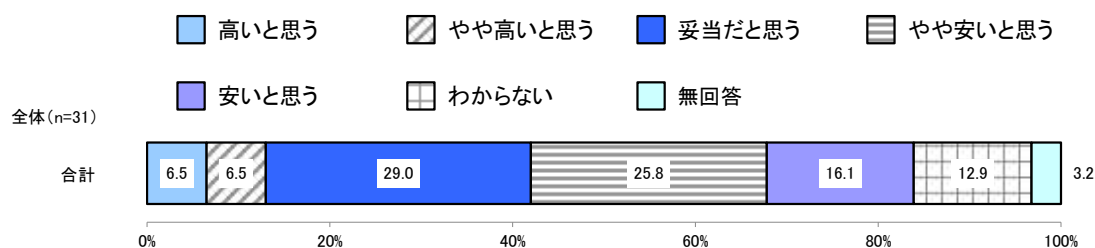


給与年収ベースについては、「103万円未満」が48.4%で最も多く、次いで「300万円～400万円未満」が19.4%、「103万円～200万円未満」が12.9%となっている。(図 2-10-2)

⑩-3 給与の妥当性

問 14 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのように感じていますか。(〇はひとつ)

【図 2-10-3 給与の妥当性】



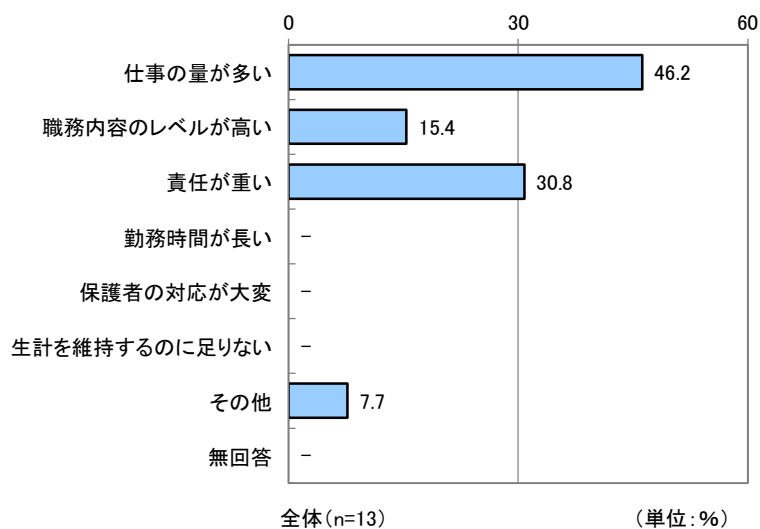
給与の妥当性については、「妥当だと思う」が29.0%で最も多く、次いで「やや安いと思う」が25.8%、「安いと思う」が16.1%となっている。(図 2-10-3)

⑩-4 安いと思う理由

問 15 問 14 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

① そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

【図 2-10-4 安いと思う理由】



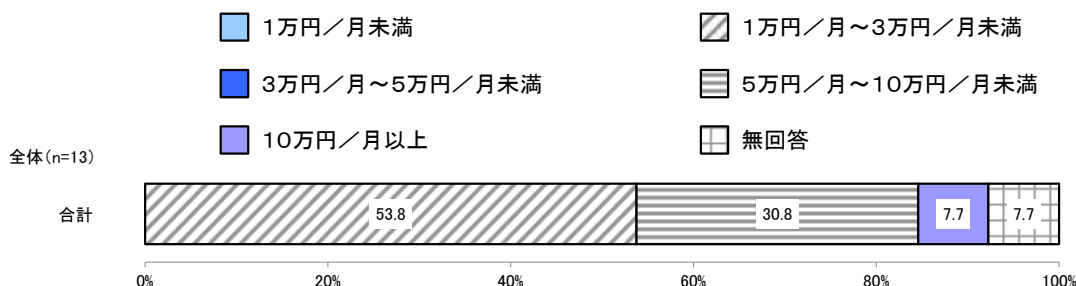
安いと思う理由については、「仕事の量が多い」が46.2%で最も多く、次いで「責任が重い」が30.8%、「職務内容のレベルが高い」が15.4%となっている。(図 2-10-4)

⑩-5 あといくら上乗せがあれば妥当か

問 15 問 14 で「4 やや安いと思う」「5 安いと思う」と答えた方におうかがいします。

②現在の給与（月額）に、あといくら上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

【図 2-10-5 あといくら上乗せがあれば妥当か】

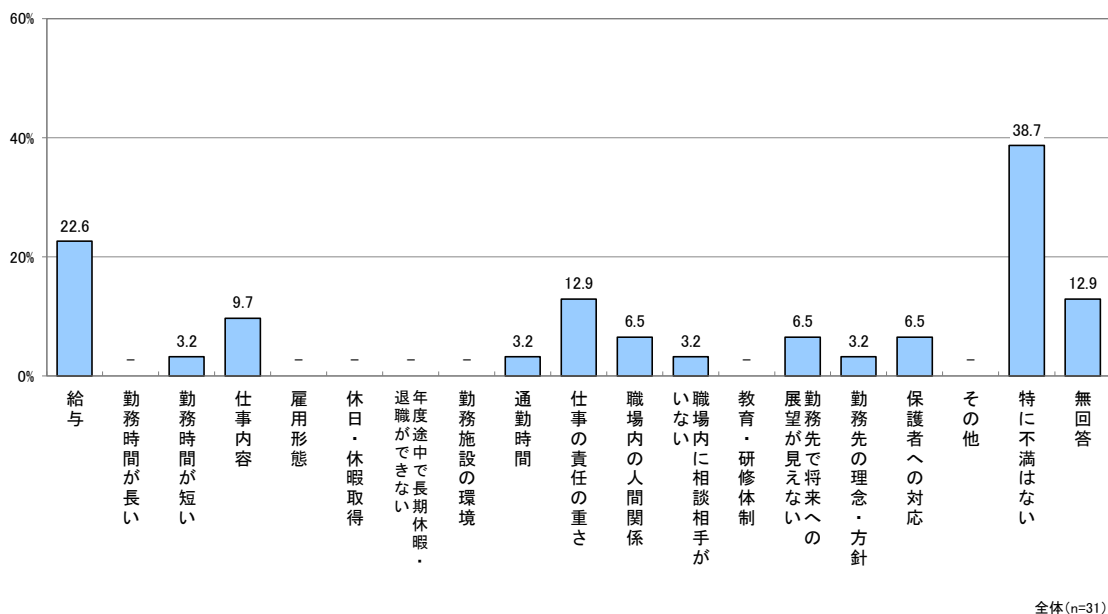


あといくら上乗せがあれば妥当かについては、「1万円/月～3万円/月未満」が 53.8%で最も多く、次いで「5万円/月～10万円/月未満」が 30.8%、「10万円/月以上」が 7.7%となっている。(図 2-10-5)

⑪労働条件や労働環境についての不満

問 16 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(○は3つまで)

【図 2-11 労働条件や労働環境についての不満】

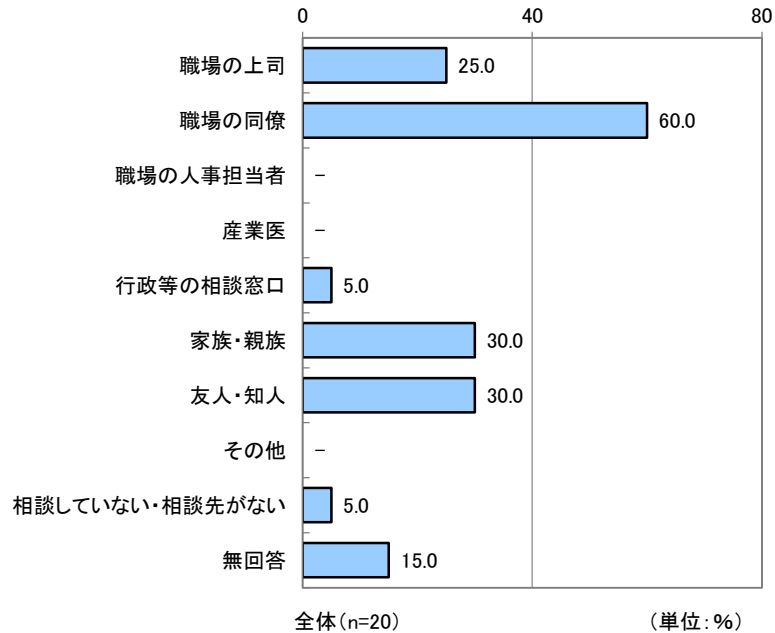


労働条件や労働環境についての不満については、「特に不満はない」が 38.7%で最も多く、次いで「給与」が 22.6%、「仕事の責任の重さ」が 12.9%となっている。(図 2-11)

⑫悩みの相談相手

問 17 問 16 で回答したような仕事での悩みの相談相手はどなたですか。(○は3つまで)

【図 2-12 悩みの相談相手】



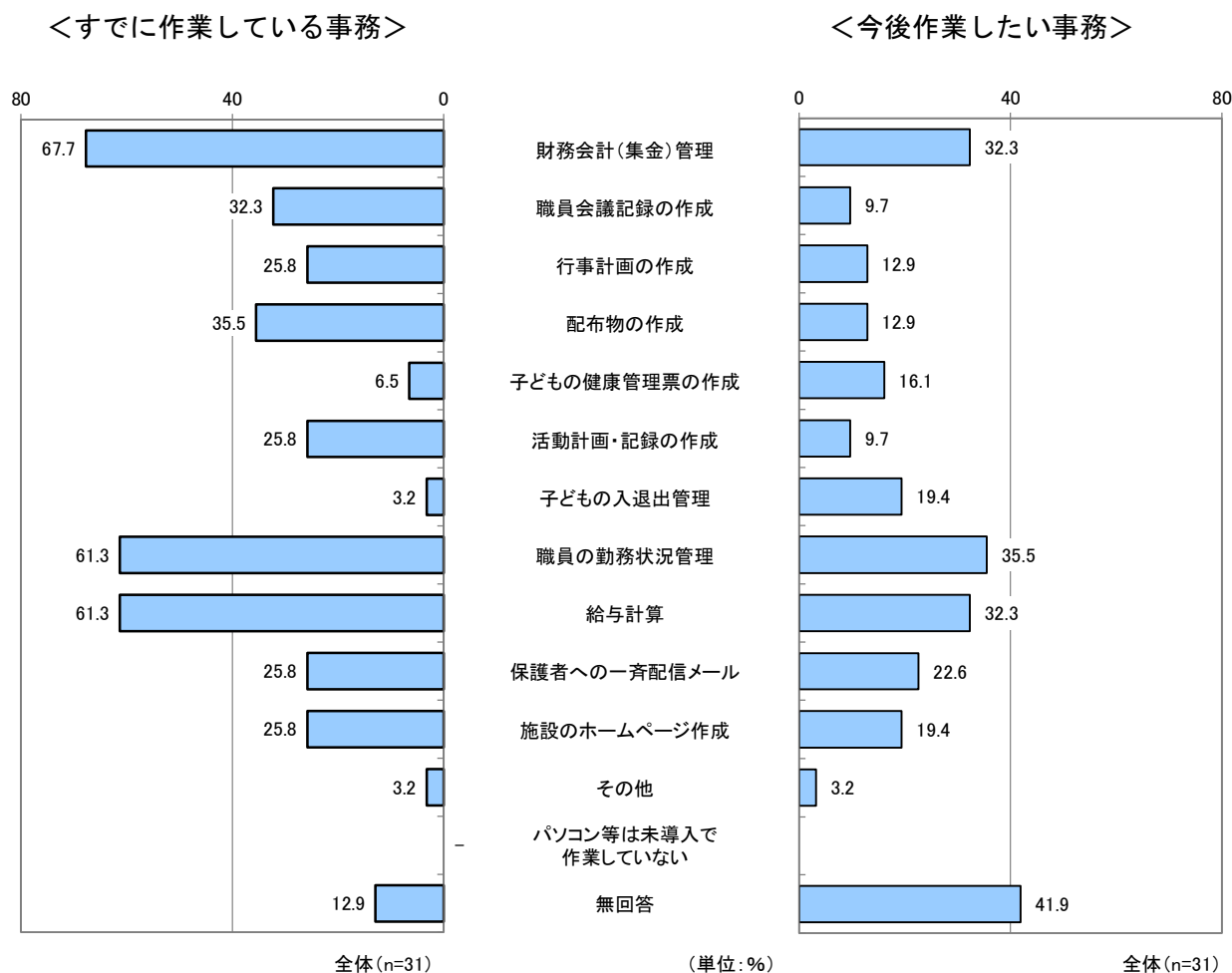
悩みの相談相手については、「職場の同僚」が 60.0%で最も多く、次いで「家族・親族」と「友人・知人」が 30.0%、「職場の上司」が 25.0%となっている。(図 2-12)

⑬ 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務

問 18 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、すでに作業している事務をお答えください。（〇はいくつでも）

問 19 勤務先でパソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、今後作業したい事務をお答えください。（〇はいくつでも）

【図 2-13 情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務・今後作業したい事務】



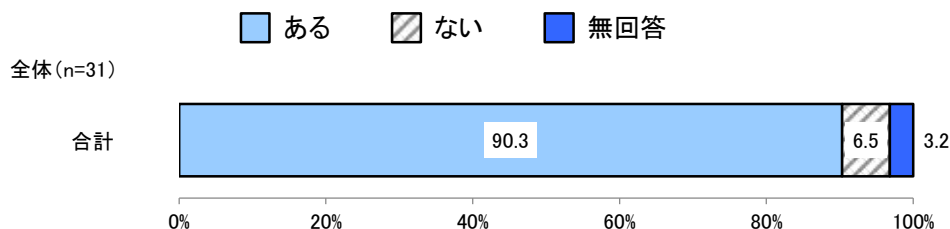
情報通信技術（ICT）を使用してすでに作業している事務については、「財務会計（集金）管理」が 67.7%で最も多く、次いで、「職員の勤務状況管理」と「給与計算」が 61.3%となっている。

今後作業したい事務については、「無回答」が 41.9%で最も多いが、それ以外では「職員の勤務状況管理」が 35.5%と最も多く、次いで「財務会計（集金）管理」と「給与計算」が 32.3%となっている。（図 2-13）

⑭-1 事務員を配置するメリットの有無

問 20 放課後児童クラブに事務員を配置することのメリットはありますか。(○はひとつ)

【図 2-14-1 事務員を配置するメリットの有無】

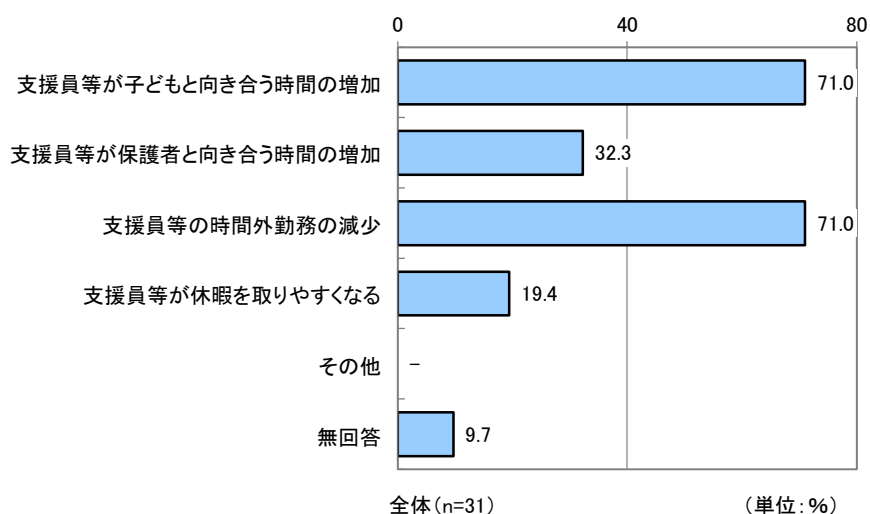


事務員を配置することのメリットの有無については、「ある」が 90.3%と圧倒的に多く、「ない」が 6.5%となっている。(図 2-14-1)

⑭-2 事務員を配置するメリット

問 21 放課後児童クラブに事務員を配置することのメリットは何だと思えますか。(○はひとつ)

【図 2-14-2 事務員を配置するメリット】

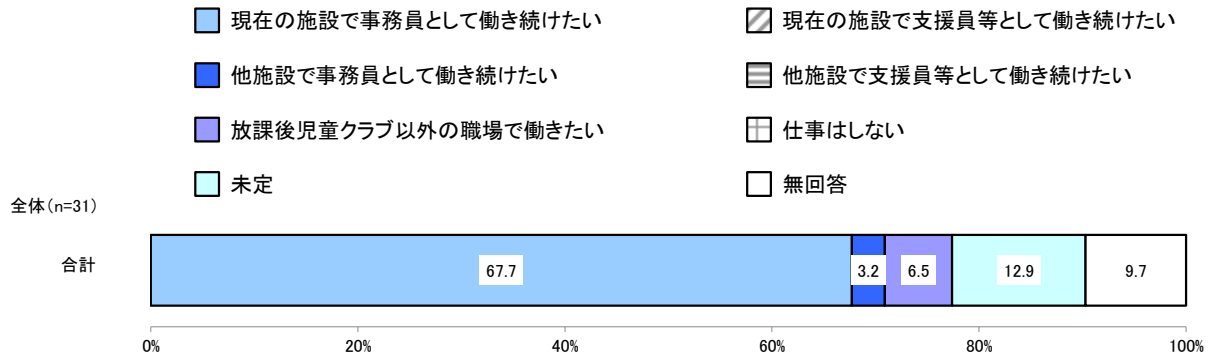


事務員を配置するメリットについては、「支援員等が子どもと向き合う時間の増加」と「支援員等の時間外勤務の減少」が 71.0%で最も多く、次いで「支援員等が保護者と向き合う時間の増加」が 32.3%となっている。(図 2-14-2)

⑮-1 今後の就業意向

問 22 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

【図 2-15-1 今後の就業意向】

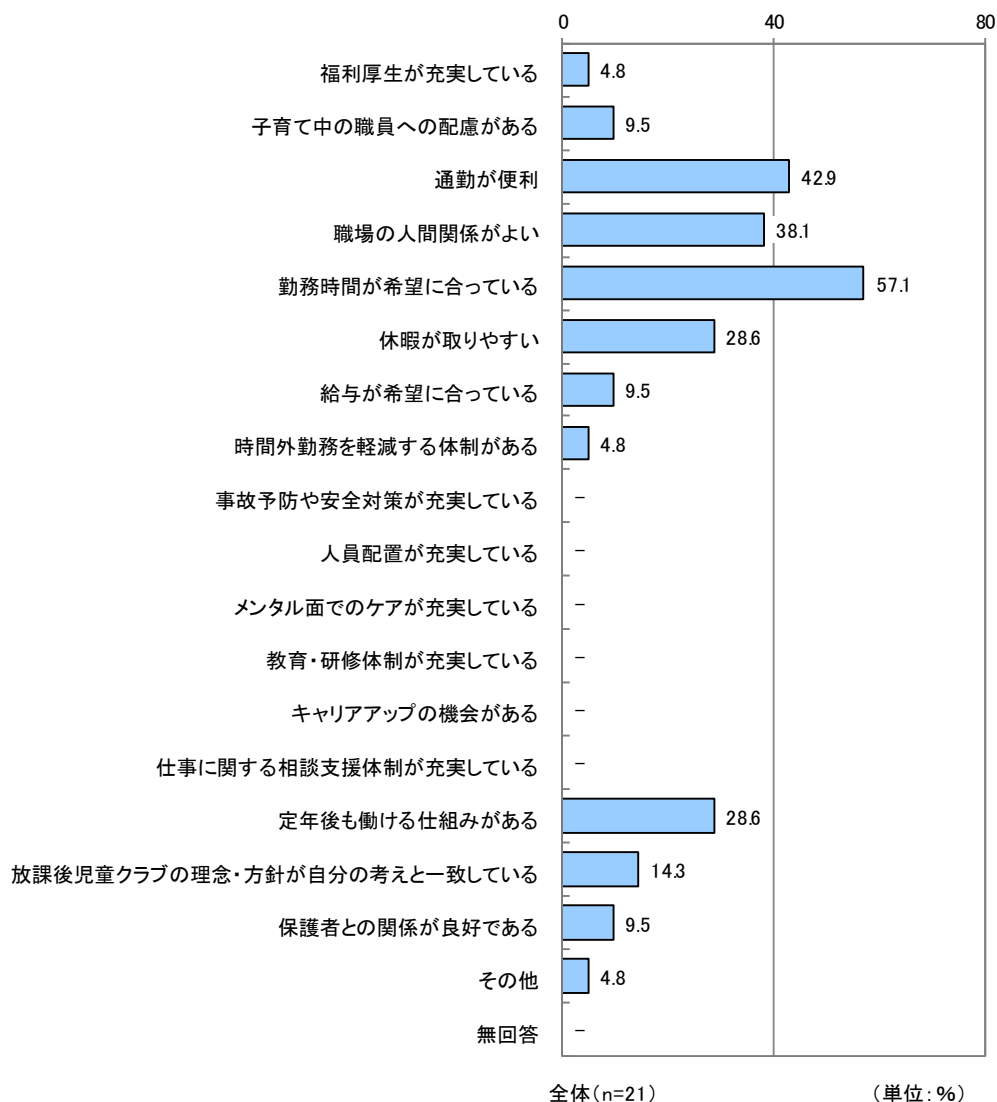


今後の就業意向については、「現在の施設で事務員として働きたい」が 67.7%で最も多く、次いで「未定」が 12.9%、「放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」が 6.5%となっている。(図 2-15-1)

⑮-2 働き続けたい理由

問 23 問 22 で「1 現在の施設で補助員として働き続けたい」、「2 現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい」と回答した方におうかがいします。
現在の施設で働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-15-2 働き続けたい理由】

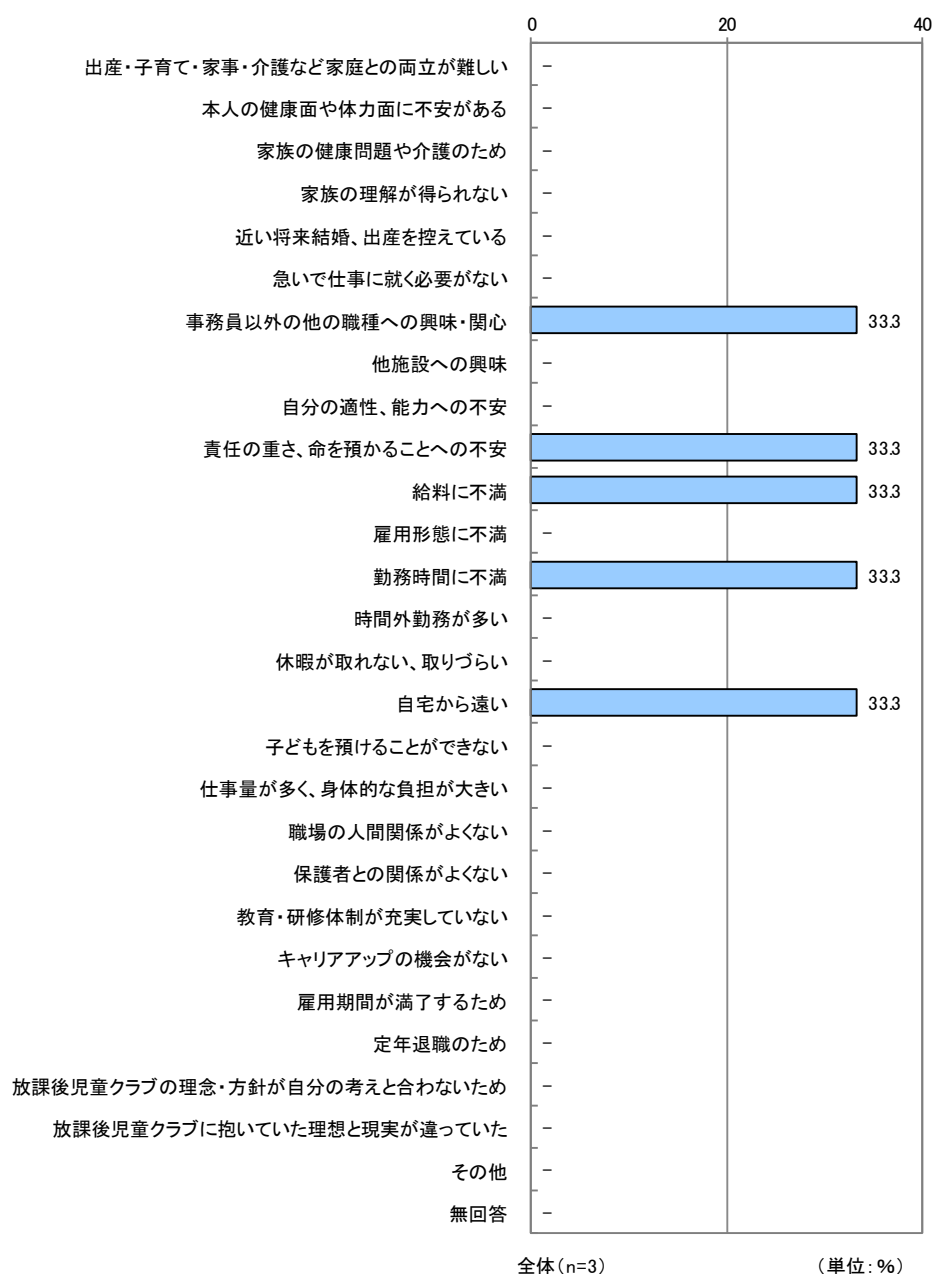


働き続けたい理由については、「勤務時間が希望に合っている」が 57.1%で最も多く、次いで「通勤が便利」が 42.9%、「職場の人間関係がよい」が 38.1%となっている。(図 2-15-2)

⑮-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由

問 24 問 22 で「3 他施設で事務員として働き続けたい」、「4 他施設で支援員等として働き続けたい」、「5 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「6 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。
その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図 2-15-3 「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由】

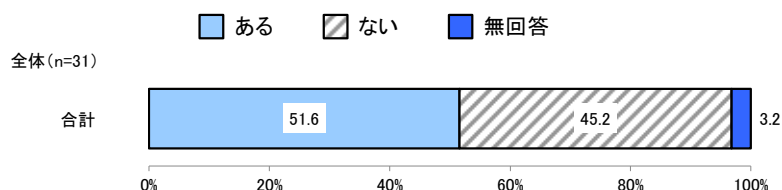


「他の施設で働きたい」「他の職場で働きたい」「仕事はしない」理由については、サンプル数が3しかないが、「事務員以外の他の職種への興味・関心」と「責任の重さ、命を預かることへの不安」「給料に不満」「勤務時間に不満」「自宅から遠い」がそれぞれ 33.3%となっている。(図 2-15-3)

⑩就業先以外での子どもに関する仕事の経験

問 25 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(○はひとつ)

【図 2-16 就業先以外での子どもに関する仕事の経験】



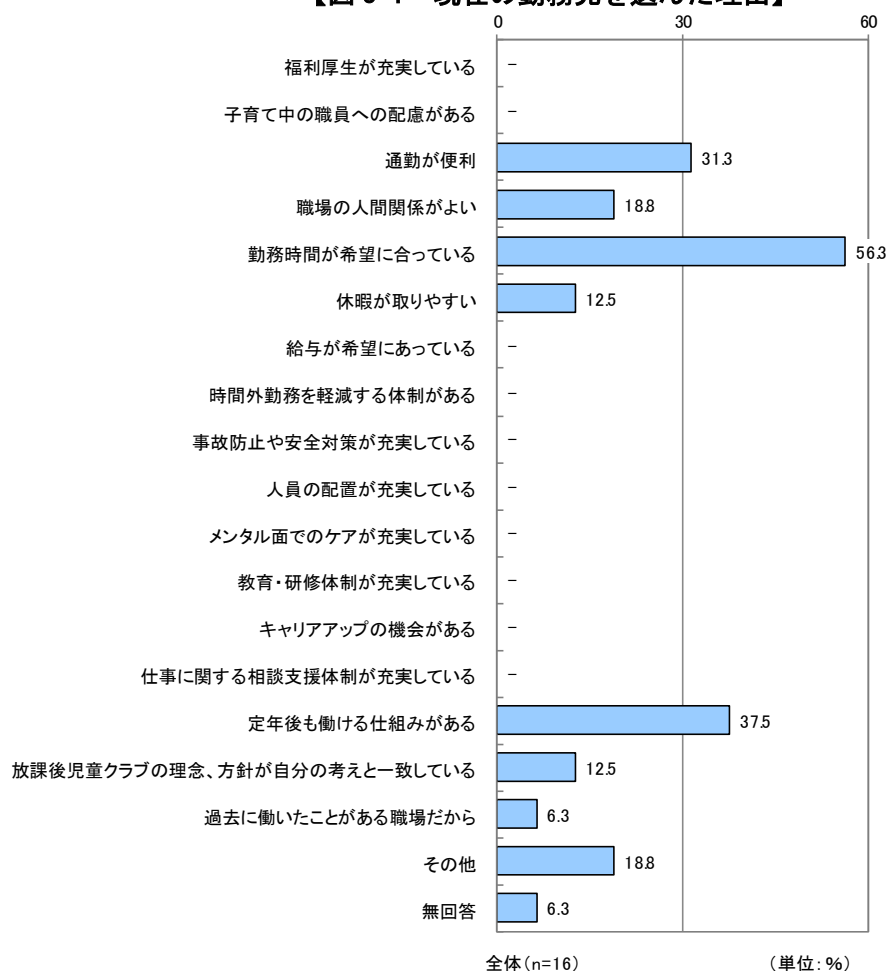
就業先以外での子どもに関する仕事の経験については、「ある」が51.6%、「ない」が45.2%と、「ある」の方が上回っている。(図 2-16)

(3) 退職経験者の実態

①現在の勤務先を選んだ理由

問 26 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

【図 3-1 現在の勤務先を選んだ理由】



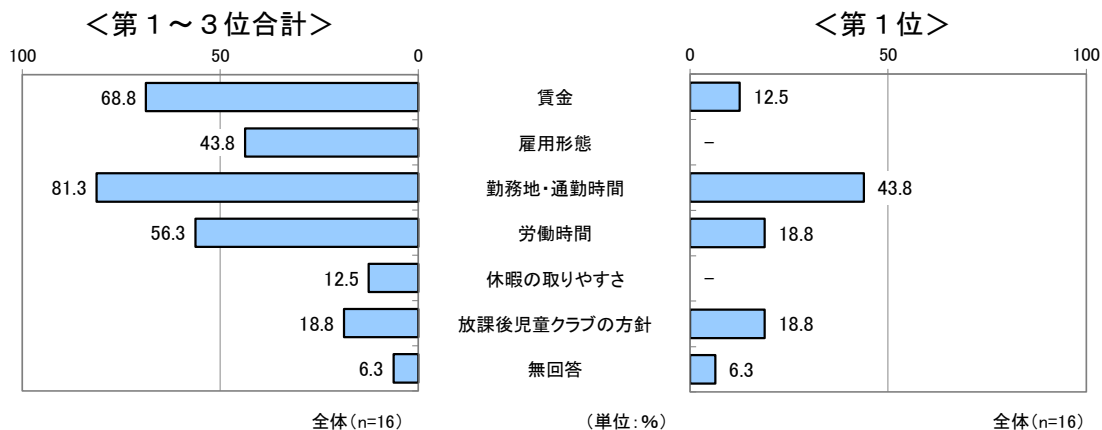
現在の勤務先を選んだ理由については、「勤務時間が希望に合っている」が56.3%で最も多く、次いで「定年後も働ける仕組みがある」が37.5%、「通勤が便利」が31.3%となっている。(図 3-1)

②勤務先を探す際の重視点

問 27 現在の勤務先を探す際に重視した条件は何ですか。

第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

【図 3-2 勤務先を探す際の重視点】



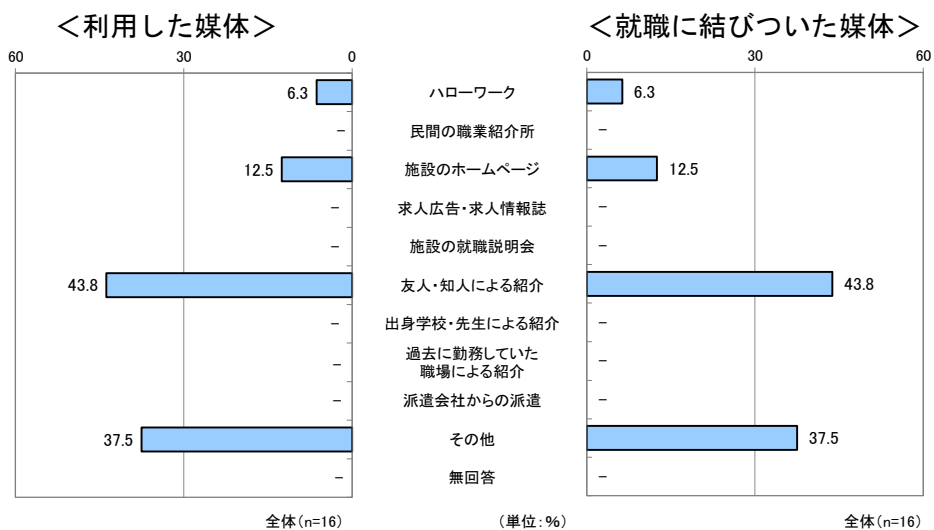
勤務先を探す際の重視点については、第1～3位合計では、「勤務地・通勤時間」が81.3%で最も多く、次いで「賃金」が68.8%、「労働時間」が56.3%となっている。第1位のみでは、「勤務地・通勤時間」が43.8%で最も多く、次いで「労働時間」と「放課後児童クラブの方針」が18.8%となっている。(図3-2)

③勤務先を探す際の媒体について

問 28 現在の勤務先を探す際に利用した媒体等は何でしたか。(○はいくつでも)

問 29 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何でしたか。(○は主なものひとつ)

【図 3-3 勤務先を探す際の媒体について】

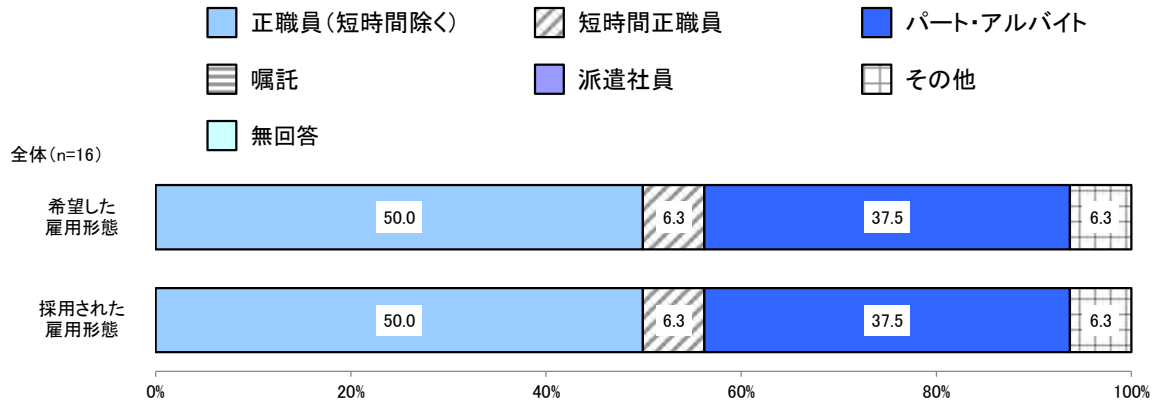


勤務先を探す際の媒体について、利用した媒体をみると、「友人・知人による紹介」が43.8%で最も多く、次いで「その他」が37.5%、「施設のホームページ」が12.5%となっている。就職に結びついた媒体をみると、利用した媒体と同様になっている。(図3-3)

④希望した雇用形態と採用時の雇用形態

問 30 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。(〇はひとつ)

【図 3-4 雇用形態】



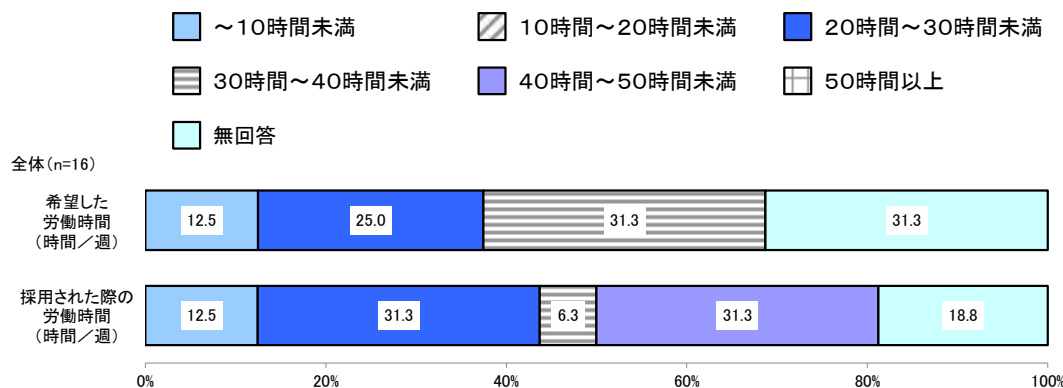
雇用形態については、希望は、「正職員（短時間除く）」が50.0%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が37.5%、「短時間正職員」が6.3%となっている。

採用された雇用形態は、希望と同様になっている。(図 3-4)

⑤希望した労働時間と採用時の労働時間

問 31 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

【図 3-5 労働時間】



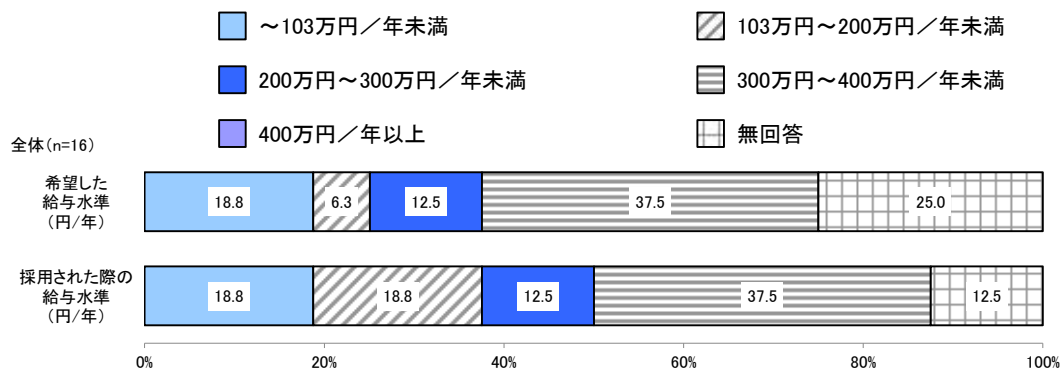
労働時間については、希望は「30時間～40時間未満」が31.3%で最も多く、次いで「20時間～30時間未満」が25.0%、「～10時間未満」が12.5%となっている。

採用された際の労働時間は、「10時間～20時間未満」と「40時間～50時間未満」が31.3%で最も多く、次いで「～10時間未満」が12.5%となっている。希望より「20時間未満」合計が6.3ポイント高く、「40時間未満」合計が18.7ポイント低い。(図 3-5)

⑥希望した給与水準と採用時の給与水準

問 32 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、おおよその年収（総収入）ベースで金額をご記入ください。

【図 3-6 給与水準】



給与水準については、希望は「300万円～400万円/年未満」が37.5%で最も多く、次いで「～103万円/年未満」が18.8%、「200万円～300万円/年未満」が12.5%となっている。

採用された際の給与水準は、「300万円～400万円/年未満」が37.5%と、希望同様、最も多く、次いで「103万円～200万円/年未満」は18.8%と希望より12.5ポイント高い。(図 3-6)

(4) 事務員自由回答

問 33 すべての方に、おうかがいします。

補助員としての就労や労働環境について感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

11 人から回答をいただき、内容は、おおむね以下のとおり。

- ・ 今後、民間の参入が進むことで、突然雇用を切られるようなことがあればと恐れています
- ・ 事務員といっても大企業のように会計などの数字管理だけの業務では、児童クラブの事務員は収まらないです。事務、経理、総務と児童クラブの規模によって、業務の兼務が必要となるので大変だと感じます。直接子どもに関わることにのみ補助金が出ますが、それを支える運営、事務にも補助制度がないと、現場の人まかせで何とか頑張っている状況だと思います。子供のためと思って働かれている人ばかりなので、今後以上の支援をお願いします
- ・ 子育て社会に関わって楽しく仕事をしています
- ・ 現在、放課後児童支援員の勤務時間が午後 7 時までであり、女性の方には帰宅時間が遅くなり大変です。今後 15 分でも短くできれば、就職希望者が増えてくれると思います
- ・ 給与も上がり、子育て中の職員への配慮もあるので、ありがたいです。産休も育休も取得でき、感謝です
- ・ 別仕事の定年退職後に人手不足で勧められて始めた仕事ですが、子どもがかわいくて癒されながら仕事をしています。休みも取りやすいです。多少の人間関係問題はありますが、中心は子どもですので、すぐに気にならなくなります

Ⅲ. 調査票

1. 児童クラブ施設調査

Mother Lake 滋賀県 滋賀県放課後児童クラブ実態調査へのご協力をお願い

(施設用調査)

日頃から本県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたびは、放課後児童クラブの利用児童数や職場環境の状況、また放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組につなげることを目的として、放課後児童クラブ事業者の皆様さんや放課後児童クラブにお勤めの方にアンケートを実施することといたしました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年(2021年)6月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、本年5月1日現在の状況をご記入ください。
2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、施設が特定できる公表はいたしません。どうぞありのままをお答えください。
3. 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考えに近いものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にてできるだけ具体的にご記入ください。
4. 回答については、①調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただく方法と②インターネットを利用して「しがネット受付サービス」からダウンロードして回答・提出していただく方法の2通りあります。どちらの方法でも回答いただく場合でも6月30日(水)までに、ご投函もしくはしがネット受付サービスで提出くださいますようお願いいたします。

(調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 子育て支援係
電話 077-528-3553

しがネット受付サービスのURLおよびQRコード

https://s-kantan.jp/pref-shiga-w/offer/offenList_detail.action?tempSeq=9866



貴施設に関する基本情報についてお答えをお願いします。

問1 貴施設の設置・運営主体の種類などについてお答えをお願いします。

①施設の所在地	() 市・町
②施設の種類(番号に○)	1 公設公営 2 公設民営 3 民設民営
	1 市町 2 社会福祉法人 3 民法第34条法人等(公益財団法人、公益財団法人、一般財団法人、一般財団法人) 4 NPO法人 5 運営委員会(保護者や地域住民等により構成される組織) 6 保護者会 7 任意団体(法人格等を有しない組織であって、運営委員会、保護者会以外のもの) 8 株式会社 9 学校法人 10 個人 11 その他()
③設置主体	1 市町 2 社会福祉法人 3 民法第34条法人等(公益財団法人、公益財団法人、一般財団法人、一般財団法人) 4 NPO法人 5 運営委員会(保護者や地域住民等により構成される組織) 6 保護者会 7 任意団体(法人格等を有しない組織であって、運営委員会、保護者会以外のもの) 8 株式会社 9 学校法人 10 個人 11 その他()
④運営主体	1 学校の余裕教室 2 学校敷地内の専用施設 3 児童館・児童センター 4 市町が保有する公有地専用施設 5 民有地の専用施設 6 民家・アパート 7 福祉センター等の公的施設利用 8 団地集会所 9 保育所 10 幼稚園 11 認定こども園 12 空き店舗 13 その他()
⑤実施場所	
⑥開設年月日	昭和・平成・令和()年()月()日

問2 貴施設の支援の単位数、利用定員、登録児童数などについてお答えをお願いします。

① 支援の単位数 → () 支援の単位

② 利用定員と登録児童数 (令和3年5月1日時点)

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
利用定員	人	人	人	人	人	人	人
登録児童数	人	人	人	人	人	人	人

③ 登録児童数の内訳 (令和3年5月1日時点)

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
1年生	人	人	人	人	人	人	人
2年生	人	人	人	人	人	人	人
3年生	人	人	人	人	人	人	人
4年生	人	人	人	人	人	人	人
5年生	人	人	人	人	人	人	人
6年生	人	人	人	人	人	人	人
合計	人	人	人	人	人	人	人

④ 1日当たりの平均利用者数 (児童の数)

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
平均利用者数	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の「毎日利用する児童の人数(A)に、一時的に利用する児童の平均利用者数(B)を加えた人数」が平均利用者数となります。(子ども・子育て支援交付金の国庫補助を受けている場合は、当該交付金の実績報告等で算出する方法の児童数になります。)

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

⑤ ④で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 放課後児童支援員不足
- 2 既存施設の構造上、支援単位を分割できない
- 3 児童の急増
- 4 空き教室や空き店舗等の新たな施設がない
- 5 新たに施設整備をする財政余力がない
- 6 施設整備が追い付いていない
- 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
- 8 その他 ()

⑥ 利用者が最も多かった日およびその利用者数

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
最も多かった日	月 日 日	月 日 日	月 日 日	月 日 日	月 日 日	月 日 日	人
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
その他の日の利用者数	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の最も利用者が多かった日の「毎日利用する児童の人数(A)に、一時的に利用する児童の平均利用者数(B)を加えた人数」を記入してください。(例：最も多かった日が夏休み中の場合、毎日利用する児童の人数に、一時的に利用する児童の平均利用者数および夏休みのみ利用する児童の人数を加えた人数)

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

⑦ ⑥で41人以上の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 放課後児童支援員不足
- 2 既存施設の構造上、分割できない
- 3 児童の急増
- 4 空き教室や空き店舗等の新たな施設がない
- 5 新たに施設整備をする財政余力がない
- 6 施設整備が追い付いていない
- 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
- 8 その他 ()

③ 長期休暇中の1支援単位の利用者数

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
夏休み	人	人	人	人	人	人	人
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
冬休み	人	人	人	人	人	人	人
(A)	人	人	人	人	人	人	人
(B)	人	人	人	人	人	人	人
春休み	人	人	人	人	人	人	人

※令和2年度の長期休暇中の「毎日利用する児童の人数(A)」に、一時的に利用する児童の平均利用人数を加えた人数(B)」を記入してください。(子ども・子育て支援交付金の国庫補助を受けている場合は、当該交付金の実績報告等で算出する方法の、長期休暇中における原簿数になります。)

※春休みは令和3年3月の春休みの人数を記入してください。

※1人未満の端数が生じた場合は切り上げてください。

問3 障害児から入所申し込みがあった場合、受け入れをしますか。(○はひとつ)

1 受け入れる → 問4へ 2 受け入れない → 問3-1へ

問3-1 障害児を受け入れない理由をお聞かせください。(○はいくつでも)

1 既存の放課後児童支援員等に専門的な知識をもった者がいない
 2 専門的な知識をもった放課後児童支援員等を募集しているが応募がない
 3 看護師等の確保ができない
 4 施設の構造上、受け入れられない
 5 受け入れるつもりがない
 6 その他 ()

問4 施設の面積等について、お答えをお願いします。

① 放課後児童クラブ全体の面積

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
現況	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡

※支援単位の欄には、設備運営基準第9条に規定する「専用区画」(遊び及び生活の場としての機能並びに静養するための機能を備えた部屋または間仕切り等で区切られたスペース)の面積を記入してください。

※「事務室、トイレ等」の欄は施設の共用部分を記入してください。

※小数点第2位まで記入してください。(小数点第3位は四捨五入してください。)

② 児童1人当たりの専用区画面積

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
現況	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡

※問4①で算出した専用区画面積を問2④で算出した人数で除して計算してください。

※小数点第2位まで記入してください。(小数点第3位は四捨五入してください。)

③ 児童1人当たりの専用区画面積の理想

理想

※設備運営基準で児童1人当たりおおむね1.65㎡以上の専用区画面積を確保することとされていますが、理想とする児童1人当たりの専用区画面積を記入してください。

※小数点第2位まで記入してください。

④ ②で1.65㎡未満の支援単位がある場合、その理由をお答えください。(○はいくつでも)

1 放課後児童支援員不足
 2 既存施設の構造上、分割できない
 3 児童の急増
 4 空き教室や空き店舗等の新たな設備がない
 5 新たに施設整備をする財政余力がない
 6 施設整備が追い付いていない
 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
 8 そもそも分割については検討したことがない
 9 その他 ()

⑤ 長期休暇中の児童 1人当たりの専用区画面積

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
現況	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡

※事務室やトイレ等は専用区画面積に含まないでください。

※小敷点第2位まで記入してください。(小敷点第3位は四捨五入してください。)

⑥ ⑤で1.65㎡未満の支援単位がある場合、その理由をお知らせください。(○はいくつでも)

- 1 放課後児童支援員不足
- 2 既存施設の構造上、分割できない
- 3 児童の急増
- 4 空き教室や空き店舗等の新たな設備がない
- 5 新たに施設整備をする財政余力がない
- 6 施設整備が追い付いていない
- 7 今後、子どもの数が減少することから施設整備を躊躇している
- 8 そもそも分割については検討したことがない
- 9 その他 ()

貴施設の職員についておうかがいします。

問5 貴施設の職員体制についておうかがいします。各職種別の職員数をご記入ください。

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
放課後児童支援員	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名
	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名
補助員	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名
	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名
事務員	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名
	常勤	名	名	名	名	名	名
	非常勤	名	名	名	名	名	名

※常勤＝原則として、各施設で定めた勤務時間（所定労働時間）のすべてを勤務する者。

また、1日6時間以上かつ月20日以上勤務する者は、上記にかかわらず「常勤職員」としてください。

※正規＝雇用期間の定めがない勤務の者。

問6 放課後児童支援員等の配置状況について、おうかがいします。

① 放課後児童支援員の配置状況

	支援単位 1	支援単位 2	支援単位 3	支援単位 4	支援単位 5	支援単位 6	合計
現況	名	名	名	名	名	名	名
理想	名	名	名	名	名	名	名

- ② ①で2名以上配置できていない支援単位がある場合、その理由をお答えください。
(○はいくつでも)

1	放課後児童支援員不足	2	採用してもすぐに退職する
3	市町の条例で認められているため	4	求人に応募がない
5	その他 ()		

③ 補助員の配置状況

	支援単位1	支援単位2	支援単位3	支援単位4	支援単位5	支援単位6	合計
現状	名	名	名	名	名	名	名

④ 事務員の配置状況 (施設全体で) → 現状 () 名

問7 1つの支援単位に携わる放課後児童支援員の体制はどのようになっていますか。(○はひとつ)

- 1 開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっている (学級担任のようなもの)
→ 問8へ
- 2 開所時間中、特定の放課後児童支援員が専任となっていない
→ 問7-1へ

※専任=開所時間中、少なくとも一人の支援員が子どもの健全育成に常に携わっていることをいう。

問7-1 放課後児童支援員が専任となっていない理由をお知らせください。(○はいくつでも)

- 1 短時間勤務の放課後児童支援員しか雇用できない
- 2 施設の方針としてローテーション勤務としている
- 3 その他 ()

問8 正規職員(常勤)の放課後児童支援員の週当たりの平均的な(時間外労働含む)実労働時間は長時間ですか。(○はひとつ)

- 1 週20時間未満
- 2 週20時間～30時間未満
- 3 週30時間～40時間未満
- 4 週40時間～50時間未満
- 5 週50時間以上

※以下、問9から問11までは、今後、放課後児童クラブにお勤めの方の労働条件の向上を図るための基礎データとして活用させていただきます。趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。
記入にあたっては、下記の注意書きを参照してください。

- 注) 年齢と勤続年数は平均値をご記入ください。
平均年齢は小数点以下第2位を四捨五入してご記入ください。
注) 勤続年数は、異施設を運営する法人等における勤続年数とします。
公立公営の場合、当該自施設における放課後児童クラブの問9では放課後児童支援員として、問10では補助員として、問11では事務員としての勤続年数をお答えください。
注) 新卒は貴施設における給与表で、問9ではこれまで放課後児童支援員としての経歴がなく、初めて放課後児童支援員として勤務する場合、問10ではこれまで補助員としての経歴がなく、初めて補助員として勤務する場合、問11ではこれまで事務員としての経歴がなく、初めて事務員としての勤続年数を記入してください。
注) 給与等は賞与を含む昨年の給与支給総額をご記入ください。
なお、社会保険料、所得税等の控除前の額になります。

問9 貴施設における放課後児童支援員の状況について、該当する数字をご記入ください。

① 放課後児童支援員 (常勤)

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任			
放課後児童支援員			
放課後児童支援員			

② 放課後児童支援員 (非常勤)

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任			
放課後児童支援員			
放課後児童支援員			

問 10 貴施設における補助員の現況について、該当する数字をご記入ください。

① 補助員（常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任補助員	/	/	万円
補助員	歳	年 か月	万円

② 補助員（非常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任補助員	/	/	万円
補助員	歳	年 か月	万円

問 11 貴施設における事務員の現況について、該当する数字をご記入ください。

① 事務員（常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任事務員	/	/	万円
事務員	歳	年 か月	万円

② 事務員（非常勤）

	(1) 平均年齢 (例：26.5歳)	(2) 平均勤続年数 (例：10年4か月)	(3) 給与等 (年間一人当たり) (例：538万円)
新任事務員	/	/	万円
事務員	歳	年 か月	万円

問12 職員の賃金を向上させるために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをそれぞれお答えください。（それぞれ〇はいくつでも）

① 現在取り組んでいること

1 研修の実施)
2 先進的な取組をしている他施設への見学	
3 休憩時間や休日取得しやすさ、働きやすい環境づくり	
4 職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり	
5 給与や処遇改善による優秀な人材の確保	
6 正規職員の増加	
7 リーダーの養成	
8 相談窓口の設置	
9 その他 ()	
10 特にない	

② 今後取り組みたいこと

1 研修の実施)
2 先進的な取組をしている他施設への見学	
3 休憩時間や休日取得しやすさ、働きやすい環境づくり	
4 職員間の信頼関係づくり、良好な人間関係づくり	
5 給与や処遇改善による優秀な人材の確保	
6 正規職員の増加	
7 リーダーの養成	
8 相談窓口の設置	
9 その他 ()	
10 特にない	

問13 問12①で「10. 特にない」と回答された方におうかがいします。

現在、職員の賃金向上の取り組みをできていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

1 業務が忙しくて時間が足りない)
2 人手不足	
3 指導や研修ができる人材が少ない	
4 労働条件の改善が難しい（給与、有給取得等）	
5 何をすればいいかわからない	
6 研修参加時の代替職員が確保できない	
7 その他 ()	

情報通信技術（ICT）の活用についてお答えがいたします。

問14 業務の簡略化、負担軽減のため、情報通信技術（ICT）の導入を望まれますか。（○はひとつ）

- 1 導入したい → 問17へ
- 2 導入したくない → 問18へ
- 3 どちらともいえない → 問18へ
- 4 すでに導入している → 問15へ

問15 問14で「4 すでに導入している」と回答した方にお答えがいたします。

導入して、どのような効果があったか、お答えください。（○はいくつでも）

- 1 手書きでの書類作成が削減できた
- 2 紙媒体の管理が少なくなった
- 3 計算業務が自動化できた
- 4 事務の簡素化により、時間外勤務が減った
- 5 情報管理のフォーマットが一律になり見やすくなった
- 6 職員同士の情報共有がしやすくなった
- 7 保護者との情報共有がしやすくなった
- 8 職員の勤務意欲（モチベーション）が向上した
- 9 放課後児童クラブの質の向上させるための工夫を職員が考える時間が増えた
- 10 職員間の情報の一元管理により業務ミスが減少した
- 11 その他（ ）
- 12 特に効果はない

問16 パソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、すでに作業している事務をお答えください。

（○はいくつでも）

- 1 財務会計（集金）管理
- 2 職員会議記録の作成
- 3 行事計画の作成
- 4 配布物の作成
- 5 子どもの健康管理票の作成
- 6 活動計画・記録の作成
- 7 子どもの入退出管理
- 8 職員の勤務状況管理
- 9 給与計算
- 10 保護者への一斉配信メール
- 11 施設のホームページ作成
- 12 その他（ ）

問17 パソコン等の情報通信技術（ICT）を使用して、今後作業したい事務をお答えください。

（○はいくつでも）

- 1 財務会計（集金）管理
- 2 職員会議記録の作成
- 3 行事計画の作成
- 4 配布物の作成
- 5 子どもの健康管理票の作成
- 6 活動計画・記録の作成
- 7 子どもの入退出管理
- 8 職員の勤務状況管理
- 9 給与計算
- 10 保護者への一斉配信メール
- 11 施設のホームページ作成
- 12 その他（ ）

職員定着に向けた取り組みについてお答えがいたします。

問18 貴施設の過去3年間の放課後児童支援員等の数をご記入ください。（各年5月1日時点のもの）

	平成30年	令和元年	令和2年
放課後児童支援員	正規	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非正規	名	名
補助員	正規	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非正規	名	名

問19 貴施設で過去3年間に自己都合で退職した放課後児童支援員等（定年退職除く）がいる場合、その人数をご記入ください。

	平成30年	令和元年	令和2年
放課後児童支援員	常勤	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非正規	名	名
補助員	常勤	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非正規	名	名

問20 問19の過去3年間の退職者(定年退職者除く)について、勤務年数別の実人数をご記入ください。

	平成30年	令和元年	令和2年
1年未満	名	名	名
1年～3年	名	名	名
3年～5年	名	名	名
5年～7年	名	名	名
7年～10年	名	名	名
10年～15年	名	名	名
15年～20年	名	名	名
20年以上	名	名	名
合 計	名	名	名

問21 貴施設で、職員の職場定着のために①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことをお答えください。(〇はいくつでも)

①現在取り組んでいること

- 1 給与水準の引き上げ
- 2 給与体系の構築
- 3 労働時間の短縮
- 4 休暇を取得しやすい環境整備
- 5 職員の子育て支援体制の充実
- 6 キャリアアップの仕組みの構築
- 7 施設外研修受講環境の改善
- 8 施設内研修内容の充実
- 9 作成書類の軽減、事務作業の効率化、ICT化
- 10 福利厚生者の充実
- 11 メンタルヘルス対策
- 12 パワハラ、セクハラ防止策の充実
- 13 研修・休暇取得時の代替職員の確保
- 14 相談窓口の充実
- 15 職場の和やかな雰囲気づくり
- 16 職員間のミーティングの充実
- 17 クレーム対応体制の整備
- 18 その他 ()
- 19 特になし

②今後取り組みたいこと

- 1 給与水準の引き上げ
- 2 給与体系の構築
- 3 労働時間の短縮
- 4 休暇を取得しやすい環境整備
- 5 職員の子育て支援体制の充実
- 6 キャリアアップの仕組みの構築
- 7 施設外研修受講環境の改善
- 8 施設内研修内容の充実
- 9 作成書類の軽減、事務作業の効率化、ICT化
- 10 福利厚生者の充実
- 11 メンタルヘルス対策
- 12 パワハラ、セクハラ防止策の充実
- 13 研修・休暇取得時の代替職員の確保
- 14 相談窓口の充実
- 15 職場の和やかな雰囲気づくり
- 16 職員間のミーティングの充実
- 17 クレーム対応体制の整備
- 18 その他 ()
- 19 特になし

問22 貴施設において、職員を安定的に雇用していくために望む公的支援はなんですか。(〇はいくつでも)

- 1 職員の給与改善に関する公的支援の充実
- 2 非正規から正規への雇用を安定的に継続する取組
- 3 正規と非正規の均衡(均等)処遇の促進
- 4 社会保険・雇用保険の事業主負担の軽減
- 5 人材バンクの創設
- 6 保育・介護サービスなどの福祉制度の充実
- 7 教育・研修制度の充実
- 8 相談支援体制の充実
- 9 放課後児童クラブに勤務する人々の社会的評価を高める取組
- 10 加配職員雇用のための支援の充実
- 11 その他 ()

職員の採用状況についておうかがいします。

問23 令和2年度の採用状況について、該当する欄に数字をご記入ください。

		採用予定数	採用数
支援員	正規	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非常勤	名	名
補助員	正規	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非常勤	名	名
事務員	正規	名	名
	非常勤	名	名
	常勤	名	名
	非常勤	名	名

問24 令和2年度の採用において、募集に対し応募がなかった、または、募集より応募が少なかった形態はありますか。(〇はいくつでも)

1 正規 (常勤)	2 正規 (非常勤)
3 非正規 (常勤)	4 非正規 (非常勤)

問25 採用するにあたり、どのようなスタッフを求めていますか。(〇は3つまで)

1 常勤
2 連番のできるスタッフ
3 正規職員の休暇・休業代替スタッフ
4 正規職員の研修参加時の代替スタッフ
5 加配職員
6 職員の事務作業時間を確保するためのスタッフ
7 非常勤スタッフ
8 長期休暇期間中に勤務できるスタッフ
9 その他 ()

問26 採用に至らない方、あるいは、採用するには心配な方は、どんな方ですか。(〇は3つまで)

1 放課後児童支援員として基本的な実務経験のない方
2 熟練した実務経験のない方
3 施設管理経験のない方
4 配慮が必要な児童に対する経験のない方
5 放課後児童支援員として幅広い知識・実技能力のない方
6 最近の子育て事情をご存じない方
7 パソコンの基本的な操作ができない方
8 社会性・一般常識のない方
9 コミュニケーション能力のない方
10 その他 ()

問27 実施している求人手続きについて、おうかがいします。

①求人手続きの手段 (〇はいくつでも)

1 ハローワーク	2 求人広告 (媒体名:)
3 自施設・自社のHP等	4 人材派遣・紹介会社・依頼
5 就職説明会	6 友人・知人の紹介
7 退職した職員への情報提供	8 その他 ()

②求人手続きの効果 (〇ひとつ)

1 高い	2 やや高い
3 やや低い	4 低い

問28 現在、職員の採用に困難を感じますか。「1 はい」の場合は、その理由もご記入ください。(〇はひとつ)

1 はい	その理由
2 いいえ	

処遇改善等の実施状況についてお答えをお願いします。

問 29 放課後児童支援員等処遇改善事業を活用されていますか。(○はひとつ)

- 1 満額活用している → 問32へ 2 一部活用している → 問30へ
 3 活用していない → 問31へ

<参考>令和2年度国・県補助基準額

- (1) 家庭、学校等との連絡及び情報交換等の育成支援に従事する職員を配置する場合
 1,677,000円
 (2) (1)の「家庭、学校等との連絡及び情報交換等」に加え、地域との連携・協力等の育成支援に従事する常勤職員を配置する場合
 3,158,000円

問 30 問 29 で「2 一部活用している」を選ばれた方にお答えいたします。処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため ()
 2 事務負担が大きいため (具体的) ()
 3 その他 ()

→次は問 32 へお進みください。

問 31 問 29 で「3 活用していない」を選ばれた方にお答えいたします。処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。(「5 事務負担が大きいため」、「7 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- 1 平日の開所時間が18時30分を超えていない
 2 休日の開所時間が8時未済である
 3 年間開所日数が250日未満である
 4 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため
 5 事務負担が大きいため (具体的) ()
 6 規程等の整備ができていない
 7 その他 ()

問 32 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業を活用されていますか。(○はひとつ)

- 1 満額活用している → 問35へ 2 一部活用している → 問33へ
 3 活用していない → 問34へ

<参考>令和2年度国・県補助基準額

- (1) 放課後児童支援員を配置 129,000円
 (2) 一定の研修を受講した概ね経験年数5年以上の放課後児童支援員を配置 259,000円
 (3) (2)の条件を満たす概ね経験年数10年以上の事業所長の立場にある放課後児童支援員を配置 389,000円

問 33 問 32 で「2 一部活用している」を選ばれた方にお答えいたします。キャリアアップ処遇改善事業を満額活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「3 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため
 2 事務負担が大きいため (具体的) ()
 3 その他 ()

→次は問 35 へお進みください。

問 34 問 32 で「3 活用していない」を選ばれた方にお答えいたします。キャリアアップ処遇改善事業を活用されていない理由をお答えください。(「2 事務負担が大きいため」、「4 その他」を選んだ方は具体的に記入してください。)

(○はいくつでも)

- 1 他の業務に従事している職員との均衡が図れないため
 2 事務負担が大きいため (具体的) ()
 3 規程等の整備ができていない
 4 経験年数等に応じた定期昇給等の仕組みの導入に努めていない
 5 その他 ()

問35 運営上の課題に感じていることがあれば、ご記入ください。

問36 最後に、行政に対するご意見・ご提案などがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れご返送ください。

2. 児童クラブ支援員調査

Mother Lake 滋賀県 滋賀県放課後児童クラブ実態調査へのご協力をお願い

(支援員用調査)

日頃から本県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、放課後児童クラブの利用児童数や職場環境の状況、また放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組につなげることを目的として、放課後児童クラブにお勤めの方にアンケートを実施することといたしました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年(2021年)6月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、本年5月1日現在の状況をご記入ください。
2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、個人が特定できる公表はいたしません。どうぞありのままをお答えください。
3. 回答は問1から順に、質問ごとに用意的に答えただけの場合に近しいものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカテゴリー内にご記入ください。
4. 回答については、①調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただく方法と②インターネットを利用して「しがネット受付サービス」で回答する方法の2通りあります。どちらの方法でも回答いただく場合でも6月30日(水)までに、ご投函もしくはしがネット受付サービスで回答くださいますようお願いいたします。

(調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 子育て支援係
電話 077-528-3553

しがネット受付サービスのURLおよびQRコード
https://s-kantan.jp/nref-s/sign-u/offer/offerlist_detail.action?tempSeq=9812



次の質問に順番に、もれなくお答えください。

問1 あなたご自身のことについてお答えをお願いします。

①年代	1 20歳以下 4 50歳代	2 30歳代 5 60歳代以上	3 40歳代
②性別	1 男性	2 女性	3 その他
	修了年月 → 平成・令和()年()月 受験資格 →		
③放課後児童支援員 認定資格研修の 研修修了年月 および受験資格	<p>1 保育士の資格を有する者 2 社会福祉士の資格を有する者 3 学校教育法(昭和十八年勅令第百三十六号)の規定による高等学校(旧中等学校令(昭和二十二年法律第二十六号)の規定による高等学校を含む。)若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第九十條第二項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者(第九号において「高等学校卒業業者等」という。)であって、二年以上児童福祉事業に従事したものである者 4 教育職員免許法(昭和二十四年法律第四十七号)第四條に規定する免許状を有する者 5 学校教育法の規定による大学(旧大学令(大正七年勅令第百二十八号)による大学を含む。)において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者(当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。) 6 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程において優秀な成績で単位を修得したことにより、同法第百二条第二項の規定により大学院への入学が認められた者 7 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者 8 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者 9 高等学校卒業業者等であり、かつ、二年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの 10 五年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの</p>		

④現在の住所地	() 都・道・府・県 () 市・町・村
⑤家計の主たる生計者	1 ご自身 2 配偶者 3 親 4 子ども 5 その他 ()

問2 あなたはなぜ放課後児童支援員になろうと思われましたか。(〇はいくつでも)

1 子どもが好きだから	2 支援員に興味があったから
3 憧れの職業だったから	4 身近な職業だったから
5 親や家族に勧められたから	6 子育てに役立つと思ったから
7 得意なことを活かせると思ったから	8 人のため、社会貢献できる職業だから
9 自分の性格に合っていたから	10 身近に支援員がいたから
11 その他 ()	

問3 あなたが放課後児童支援員として働いた就業年数は、通算で何年ですか。(〇はいくつ)

1 1年未満	2 1～2年未満
3 2～3年未満	4 3～5年未満
5 5～10年未満	6 10年以上

(注) 就業年数には、産休、育休、長期研修等の期間を含みます。

問4 あなたが放課後児童支援員以外に取得・修了している資格等はありませんか。(〇はいくつでも)

1 保育士資格	2 幼稚園教諭免許
3 小学校教諭免許	4 中学校・高校教諭免許
5 社会福祉士・介護福祉士	6 子育て支援員研修修了
7 その他 ()	8 なし

現在の就業先の状況についておたずねします。

問5 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(〇はいくつ)

1 公設公営	2 公設民営	3 民設民営
--------	--------	--------

問6 現在の就業先の市町名をご記入ください。

() 市・町

問7 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(〇はいくつ)

1 1年未満	2 1～2年未満
3 2～3年未満	4 3～5年未満
5 5～10年未満	6 10年以上

問8 現在の雇用形態についてお答えください。(〇はいくつ)

1 正職員(短時間除く)	2 短時間正職員
3 パート・アルバイト	4 嘱託
5 派遣社員	6 その他 ()

問9 昨年度(令和2年度)の時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。(〇はいくつ)

1 週10時間未満	2 週10時間～20時間未満
3 週20時間～30時間未満	4 週30時間～40時間未満
5 週40時間～50時間未満	6 週50時間以上

問10 昨年度(令和2年度)の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。(〇はいくつ)

1 週1時間未満	2 週1時間～4時間未満
3 週4時間～8時間未満	4 週8時間～12時間未満
5 週12時間～16時間未満	6 週16時間以上

問11 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

() 日

問11-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(〇はいくつ)

1 ほぼ完全に取得している	2 半分以上取得している
3 半分未満しか取得していない	4 そもそも認められていない

問12 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(〇はそれぞれひとつ)

①現在の状況

1 自宅近く	2 居住地市町内
3 県内	4 県外

②今後の希望

1 自宅近く	2 居住地市町内
3 県内	4 県外

問13 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望(許容できる上限)をお答えください。

(〇はそれぞれひとつ)

①現在の状況

1 15分以内	2 30分以内
3 1時間以内	4 1時間以上

②今後の希望

1 15分以内	2 30分以内
3 1時間以内	4 1時間以上

問14 現在の給与について、おうかがいします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(〇はひとつ)

1 月給制	2 時給制	3 その他 ()
-------	-------	-----------

②現在の給与について年収ベース(総支給額)でお答えください。(〇はひとつ)

1 103万円未満	2 103万円～200万円未満
3 200万円～300万円未満	4 300万円～400万円未満
5 400万円～500万円未満	6 500万円～600万円未満
7 600万円以上	

問15 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのように感じていますか。(〇はひとつ)

1 高いと思う → 問17へ	2 やや高いと思う → 問17へ
3 妥当だと思う → 問17へ	4 やや安いと思う → 問16へ
5 安いと思う → 問16へ	6 わからない → 問17へ

問16 問15で14 やや安いと思う15 安いと思うと答えた方におうかがいします。

①そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(〇はひとつ)

1 仕事の量が多い	2 勤務内容のレベルが高い
3 責任が重い	4 勤務時間が長い
5 保護者の対応が大変	6 体力的にきつい
7 生計を維持するのに足りない	8 その他 ()

②現在の給与(月額)に、あといくら上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

() 円/月

問17 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

1 給与	2 勤務時間が長い
3 勤務時間が短い	4 仕事内容
5 雇用形態	6 休日・休暇取得
7 年度途中で長期休暇・退職ができない	8 勤務施設の環境
9 通勤時間	10 仕事の責任の重さ
11 事故への不安	12 職場内の人間関係
13 職場内に相談相手がいけない	14 教育・研修体制
15 勤務先で将来への展望が見えない	16 勤務先の理念・方針
17 保護者への対応	18 その他 ()
19 特に不満はない	

問18 問17で回答したような仕事での悩みの相談相手はどなたですか。(〇は3つまで)

1 職場の上司	2 職場の同僚
3 職場の人事担当者	4 産業医
5 行政等の相談窓口	6 家族・親族
7 友人・知人	8 その他 ()
9 相談していない・相談先がない	

問19 あなたが放課後児童支援員として働いてこれた中で、やりがいに感じていることは何ですか。

(〇は主なもの3つまで)

1 自己実現が得られている	2 信頼できる仲間ができた
3 社会の役に立っている	4 子どもの育ちに関わることができる
5 自分の子育ての役に立った	6 収入が得られている
7 その他 ()	8 特になし

問20 あなたは、現在放課後児童クラブの現場で対応が難しいと感じていること(悩み)は何ですか。

(〇はいくつでも)

1 保護者への対応	2 障がい児への対応
3 配慮が必要な児童への対応	4 衛生管理
5 体力的に子どもと一緒に活動	6 防災・防犯対策
7 事故発生時の対応	8 学校・地域との連携
9 その他 ()	

問21 あなたは自己研鑽のため、①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことは何ですか。

(〇はいくつでも)

- ① 現在取り組んでいること
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 自施設内の研修への参加 |
| 2 | 他の施設の研修への参加 |
| 3 | 自治体や関連団体等が行う研修や講演会等への参加 |
| 4 | 先進的な取組を行う他の施設への見学 |
| 5 | 専門書等での自主的な勉強 |
| 6 | キャリアアップ、昇進 |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特になし |

- ② 今後取り組みたいこと
- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 自施設内の研修への参加 |
| 2 | 他の施設の研修への参加 |
| 3 | 自治体や関連団体等が行う研修や講演会等への参加 |
| 4 | 先進的な取組を行う他の施設への見学 |
| 5 | 専門書等での自主的な勉強 |
| 6 | キャリアアップ、昇進 |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特になし |

問22 問21「①現在取り組んでいること」で「18 特になし」を選んだ方のみお答えください。現在、取り組んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも) (それ以外の方は、問23へお進みください)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 業務が忙しくて時間が足りない |
| 2 | 指導や研修をしてくれる人がいない |
| 3 | どんな研修等があるかわからない |
| 4 | 自分には必要ない |
| 5 | 研修参加時に代替職員が確保できない |
| 6 | その他 () |

問23 勤務先でパソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して、すでに作業している事務をお答えください。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-------------------|
| 1 | 財務会計(集金)管理 |
| 2 | 職員会議記録の作成 |
| 3 | 行事計画の作成 |
| 4 | 配布物の作成 |
| 5 | 子どもの健康管理票の作成 |
| 6 | 活動計画・記録の作成 |
| 7 | 子どもの入退出管理 |
| 8 | 職員の勤務状況管理 |
| 9 | 給与計算 |
| 10 | 保護者への一斉配信メール |
| 11 | 施設のホームページ作成 |
| 12 | その他 () |
| 13 | パソコン等は未導入で作業していない |

問24 勤務先でパソコン等の情報通信技術(ICT)を使用して、今後作業したい事務をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|--------------|
| 1 | 財務会計(集金)管理 |
| 2 | 職員会議記録の作成 |
| 3 | 行事計画の作成 |
| 4 | 配布物の作成 |
| 5 | 子どもの健康管理票の作成 |
| 6 | 活動計画・記録の作成 |
| 7 | 子どもの入退出管理 |
| 8 | 職員の勤務状況管理 |
| 9 | 給与計算 |
| 10 | 保護者への一斉配信メール |
| 11 | 施設のホームページ作成 |
| 12 | その他 () |

問25 放課後児童支援員として働くためには、何が重要だと思いますか。下記の選択肢から特に重要だと思ふことを第1位から第5位までお選びいただき、番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

- | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 第4位 | 第5位 |
|-----|----------------|-----|----------------|-----|
| 1 | 子どもへの愛情 | 2 | 生計の見通しが立つ賃金 | |
| 3 | プライベートとの両立 | 4 | 家族の協力 | |
| 5 | 上司の理解 | 6 | 仕事の量 | |
| 7 | 余裕のある人員 | 8 | 子育て中の職員への配慮 | |
| 9 | 福利厚生 | 10 | 相談できる相手 | |
| 11 | 仕事に対するやりがい | 12 | 職場の人間関係 | |
| 13 | 保護者との人間関係 | 14 | キャリアアップについての要望 | |
| 15 | 教育・研修の体制 | 16 | 業務の効率化 | |
| 17 | 放課後児童クラブに関する知識 | 18 | 放課後児童クラブの理念・方針 | |
| 19 | 健康・体力 | 20 | 適性・能力 | |
| 21 | 職場への通勤のしやすさ | | | |

問26 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

- | | |
|---|--------------------------------|
| 1 | 現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい → 問27へ |
| 2 | 他施設で放課後児童支援員として働き続けたい → 問28へ |
| 3 | 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい → 問28へ |
| 4 | 仕事はしない → 問28へ |
| 5 | 未定 → 問29へ |

問27 「1 現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい」と回答した方におうかがいします。

現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 福利厚生が充実している
- 2 子育て中の職員への配慮がある
- 3 通勤が便利
- 4 職場の人間関係がよい
- 5 勤務時間が希望に合っている
- 6 休暇が取りやすい
- 7 給与が希望に合っている
- 8 時間外勤務を軽減する体制がある
- 9 事故予防や安全対策が充実している
- 10 支援員配置が充実している
- 11 メンタル面でのケアが充実している
- 12 教育・研修体制が充実している
- 13 キャリアアップの機会がある
- 14 仕事に関する相談支援体制が充実している
- 15 定年後も働ける仕組みがある
- 16 放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと一致している
- 17 保護者との関係が良好である
- 18 その他 ()

→次は、問 29へお進みください。

問28 「2 別の施設で放課後児童支援員として働き続けたい」、「3 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「4 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。

その理由は何か。(〇はいくつでも)

- 1 出産・子育て・家事・介護など家庭との両立が難しい
- 2 本人の健康面や体力面に不安がある
- 3 家族の健康問題や介護のため
- 4 家族の理解が得られない
- 5 近い将来結婚、出産を控えている
- 6 急いで仕事に就く必要がない
- 7 放課後児童支援員以外の他の職種への興味・関心
- 8 他施設への興味
- 9 自分の適性、能力への不安
- 10 責任の重さ、命を預かることへの不安
- 11 給料に不満
- 12 雇用形態に不満
- 13 勤務時間に不満
- 14 時間外勤務が多い
- 15 休暇が取れない、取りづらい
- 16 自宅から遠い
- 17 子どもを預けることができない
- 18 仕事量が多く、身体的な負担が大きい
- 19 職場の人間関係がよくない
- 20 保護者との関係がよくない
- 21 教育・研修体制が充実していない
- 22 キャリアアップの機会がない
- 23 雇用期間が満了するため
- 24 定年退職のため
- 25 放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと合わないため
- 26 支援員に抱いていた理想と現実が違っていた
- 27 その他 ()

問29 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(〇はひとつ)

- 1 ある → 問30へ 2 ない → 問40へ

問30～問39は、問29で「1 ある」と回答された方（これまでに勤務先（子どもに関する仕事に限る）を退職した経験がある方）におうかがいします。

問30 直近に退職された勤務先は、下記のいずれにあたりますか。(○はひとつ)

- 1 放課後児童クラブ
- 2 保育所
- 3 認定こども園
- 4 地域型保育事業所（家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所）
- 5 認可外保育施設
- 6 幼稚園
- 7 地域子育て支援拠点等市町村の子育て関連施設
- 8 乳母院、児童養護施設、障害者施設
- 9 小学校教諭
- 10 中学校教諭
- 11 高校教諭
- 12 児童館
- 13 放課後子供教室
- 14 その他（ ）

問31 直近に退職された勤務先を退職された理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 出産・育児のため
- 2 結婚のため
- 3 本人の健康問題のため
- 4 家族の健康問題・介護のため
- 5 通勤が困難なため
- 6 他施設への興味
- 7 他分野（子どもに関する分野以外）への興味
- 8 職場の人間関係
- 9 時間外勤務が多いため
- 10 休暇が取れない、取りづらいため
- 11 給与に不満があるため
- 12 身体的な負担が大きいため
- 13 責任の重さ・事故への不安があるため
- 14 教育・研修体制が充実していないため
- 15 キャリアアップの機会がないため
- 16 雇用期間が満了するため
- 17 定年退職のため
- 18 施設の理念・方針が自分の考えと合わなかったため
- 19 子どもに関する仕事に向いていないと感じたため
- 20 保護者との関係がよくないため
- 21 子どもに関する仕事に抱いていた理想と現実が違っていたため
- 22 その他（ ）

問32 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間はどれくらいでしたか。(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 ブランクなし | → 問33へ | 2 1年未満 | → 問33へ |
| 3 1～2年未満 | → 問32-1へ | 4 2～3年未満 | → 問32-1へ |
| 5 3～5年未満 | → 問32-1へ | 6 5年以上 | → 問32-1へ |

問32-1 再就職までの期間が1年以上あった方におうかがいします。(それ以外の方は問33へお進みください。)再就職された最も大きな理由は何ですか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 収入を得る必要が生じた | 2 知識や技術を活かしたい |
| 3 社会に出て仕事をしたい | 4 生きがいを持ちたい |
| 5 子育てに目途があった | 6 空いている時間を有効に使いたい |
| 7 その他（ ） | |

問33 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 1 福利厚生が充実している | 2 子育て中の職員への配慮がある |
| 3 通勤が便利 | 4 職場の人間関係がよい |
| 5 勤務時間が希望に合っている | 6 休暇が取りやすい |
| 7 給与が希望にあっている | 8 時間外勤務を軽減する体制がある |
| 9 事故防止や安全対策が充実している | 10 支援員の配置が充実している |
| 11 メンタル面でのケアが充実している | 12 教育・研修体制が充実している |
| 13 キャリアアップの機会がある | 14 仕事に関する相談支援体制が充実している |
| 15 定年後も働ける仕組みがある | 16 放課後児童クラブの理念、方針が自分の考えと一致している |
| 17 保護者との関係が良好である | 18 過去に働いたことがある職場だから |
| 19 その他（ ） | |

問34 現在の勤務先を探す際に重視した条件は何ですか。第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

第1位	第2位	第3位
1 賃金	2 雇用形態	
3 勤務地・通勤時間	4 労働時間	
5 休暇の取りやすさ	6 放課後児童クラブの方針	

問35 現在の勤務先を探す際に利用した媒体等は何でしたか。(〇はいくつでも)

1 ハローワーク	2 民間の職業紹介所
3 施設のホームページ	4 求人広告・求人情報誌
5 施設の就職説明会	6 友人・知人による紹介
7 出身学校・先生による紹介	8 過去に勤務していた職場による紹介
9 派遣会社からの派遣	10 その他 ()

問36 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何でしたか。(〇は主なものひとつ)

1 ハローワーク	2 民間の職業紹介所
3 施設のホームページ	4 求人広告・求人情報誌
5 施設の就職説明会	6 友人・知人による紹介
7 出身学校・先生による紹介	8 過去に勤務していた職場による紹介
9 派遣会社からの派遣	10 その他 ()

問37 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。

①希望した雇用形態 (〇はひとつ)

1 正職員 (短時間除く)	2 短時間正職員
3 パート・アルバイト	4 嘱託
5 派遣社員	6 その他 ()

②実際に採用された雇用形態 (〇はひとつ)

1 正職員 (短時間除く)	2 短時間正職員
3 パート・アルバイト	4 嘱託
5 派遣社員	6 その他 ()

問38 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

求職の際に希望した労働時間	() 時間/週
実際に採用された際の労働時間	() 時間/週

問39 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、おおよその年取(総収入)ベースで金額をご記入ください。

求職の際に希望した給与水準	() 円/年
実際に採用された際の給与水準	() 円/年

問40 すべての方に、おうかがいします。

放課後児童支援員としての就労や労働環境などについて感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れご返送ください。

3. 児童クラブ補助員調査

Mother Lake 滋賀県 滋賀県放課後児童クラブ実態調査へのご協力をお願いします

(補助員用調査)

日頃から本県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、放課後児童クラブの利用児童数や職場環境の状況、また放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組につなげることを目的として、放課後児童クラブにお勤めの方にアンケートを実施することといたしました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年(2021年)6月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、本年5月1日現在の状況をご記入ください。
2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、個人が特定できる公表はいたしません。どうぞありのままをお答えください。
3. 回答は問1から順に、質問ごとに具体的な答えの中から、あなたの考えに近いものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をコメント欄に記入してください。
4. 回答については、①調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただく方法と②インターネットを利用して「しがネット受付サービス」で回答する方法の2通りあります。どちらの方法でも回答いただく場合でも6月30日(水)までに、ご投函もしくはしがネット受付サービスで回答くださいようお願いいたします。

(調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 子育て支援係
電話 077-528-3553

しがネット受付サービスのURLおよびQRコード
https://s-kantan.jp/nref-s/sign-u/offer/offerlist_detail.action?tempSeq=9820



次の質問に順番に、お答えください。

問1 あなたご自身のことについてお答えをお願いします。

①年代	1 20歳以下 4 50歳代	2 30歳代 5 60歳代以上	3 40歳代
②性別	1 男性	2 女性	3 その他
③放課後児童支援員 認定資格研修の 研修修了予定年月 および受験資格	修了予定年月 → 平成・令和 () 年 () 月 受験資格 → 1 保育士の資格を有する者 2 社会福祉士の資格を有する者 3 学校教育法(昭和二十二年法律第二十六号)の規定による高等学校(旧中等学校令(昭和十八年勅令第三十六号)による中等学校を含む。)若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第九十條第二項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。)又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者(第九号において「高等学校卒業業者等」という。)であって、二年以上児童福祉事業に従事したものの 4 教育職員免許法(昭和二十四年法律第四十七号)第四條に規定する免許状を有する者 5 学校教育法の規定による大学(旧大学令(大正七年勅令第二百八十八号)による大学を含む。)において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者(当該学科又は当該課程を修めて同法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を含む。) 6 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程において優秀な成績で単位を修得したことにより、同法第九十條第二項の規定により大学院への入学が認められた者 7 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者 8 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者 9 高等学校卒業業者等であり、かつ、二年以上放課後児童健全育成事業に類似する事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの 10 五年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、市町村長が適当と認めたもの		

④現在の住所地	() 都・道・府・県 () 市・町・村
⑤家計の主たる生計者	1 ご自身 2 配偶者 3 親 4 子ども 5 その他 ()

問2 あなたは今後、放課後児童支援員になろうと思いませんか。(○はひとつ)

1 はい → 問3へ 2 いいえ → 問4へ

問3 放課後児童支援員になろうと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 子どもが好きだから
- 2 支援員に興味があるから
- 3 憧れの職業だから
- 4 身近な職業だから
- 5 親や家族に勧められたから
- 6 子育てに役立つと思うから
- 7 得意なことを活かせると思うから
- 8 人のため、社会貢献できる職業だから
- 9 自分の性格に合っているから
- 10 身近に支援員がいるから
- 11 処遇(給料)がよくなるから
- 12 その他 ()

→次は問5へお進みください。

問4 放課後児童支援員になろうと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 出産・子育て・家事・介護など家庭との両立が難しい
- 2 本人の健康面や体力面に不安がある
- 3 家族の健康問題や介護のため
- 4 家族の理解が得られない
- 5 近い将来結婚、出産を控えている
- 6 他の職種への興味・関心
- 7 自分の適性、能力への不安
- 8 責任の重さ、命を預かることへの不安
- 9 希望の給料の施設がない
- 10 希望の雇用形態の施設がない
- 11 希望の勤務時間の施設がない
- 12 時間外勤務が多い
- 13 休暇が取れない、取りづらい
- 14 自宅から遠い
- 15 子どもを預けることができない
- 16 仕事量が多く、身体的な負担が大きい
- 17 職場の人間関係に不安がある
- 18 保護者との関係構築に不安がある
- 19 放課後児童支援員に抱いていた理想と現実が違っていた
- 20 その他 ()

問5 あなたが補助員として働いた就業年数は、遡算で何年ですか。(○はひとつ)

1 1年未満	2 1～2年未満
3 2～3年未満	4 3～5年未満
5 5～10年未満	6 10年以上

(注) 就業年数には、産休、育休、長期研修等の期間を含みます。

問6 あなたが現在、取得・修了している資格等がありますか。(○はいくつでも)

1 保育士資格	2 幼稚園教諭免許
3 小学校教諭免許	4 中学校・高校教諭免許
5 社会福祉士・介護福祉士	6 子育て支援員研修修了
7 その他 ()	8 なし

現在の就業先の状況についておたずねします。

問7 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(○はひとつ)

1 公設公営	2 公設民営	3 民設民営
--------	--------	--------

問8 現在の就業先の市町名をご記入ください。

() 市・町

問9 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(○はひとつ)

1 1年未満	2 1～2年未満
3 2～3年未満	4 3～5年未満
5 5～10年未満	6 10年以上

問10 現在の雇用形態についてお答えください。(○はひとつ)

1 正職員(短時間除く)	2 短時間正職員
3 パート・アルバイト	4 嘱託
5 派遣社員	6 その他 ()

問11 昨年度(令和2年度)の時間外勤務を含めた、1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。(○はひとつ)

1 週10時間未満	2 週10時間～20時間未満
3 週20時間～30時間未満	4 週30時間～40時間未満
5 週40時間～50時間未満	6 週50時間以上

問12 昨年度(令和2年度)の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。(○はひとつ)

1 週1時間未満	2 週1時間～4時間未満
3 週4時間～8時間未満	4 週8時間～12時間未満
5 週12時間～16時間未満	6 週16時間以上

問13 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

() 日

問13-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(○はひとつ)

1 ほぼ完全に取得している	2 半分以上取得している
3 半分未満しか取得していない	4 そもそも認められていない

問14 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(○はそれぞれひとつ)

①現在の状況	
1 自宅近く	2 居住都市町内
3 県内	4 県外
②今後の希望	
1 自宅近く	2 居住都市町内
3 県内	4 県外

問15 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望(許容できる上限)をお答えください。

(○はそれぞれひとつ)

①現在の状況	
1 15分以内	2 30分以内
3 1時間以内	4 1時間以上
②今後の希望	
1 15分以内	2 30分以内
3 1時間以内	4 1時間以上

問16 現在の給与について、お答えをお願いします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(○はひとつ)

1 月給制	2 時給制	3 その他()
-------	-------	----------

②現在の給与について年取ベース(総支給額)でお答えください。(○はひとつ)

1 103万円未満	2 103万円～200万円未満
3 200万円～300万円未満	4 300万円～400万円未満
5 400万円～500万円未満	6 500万円～600万円未満
7 600万円以上	

問17 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのよう感じていますか。(○はひとつ)

1 高いと思う → 問19へ	2 やや高いと思う → 問19へ
3 妥当だと思う → 問19へ	4 やや安いと思う → 問18へ
5 安いと思う → 問18へ	6 わからない → 問19へ

問18 問17で「やや安いと思う」「安いと思う」と答えた方にお答えをお願いします。

①そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(○はひとつ)

1 仕事の量が多い	2 職務内容のレベルが高い
3 責任が重い	4 勤務時間が長い
5 保護者の対応が大変	6 体力的にきつい
7 生計を維持するのに足りない	8 その他()

②現在の給与(月額)に、あといくら上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

() 円/月

問19 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(○は3つまで)

1 給与	2 勤務時間が長い
3 勤務時間が短い	4 仕事内容
5 雇用形態	6 休日・休暇取得
7 年度途中で長期休暇・退職ができない	8 勤務施設の環境
9 通勤時間	10 仕事の責任の重さ
11 事故への不安	12 職場内の人間関係
13 職場内に相談相手が見えない	14 教育・研修体制
15 勤務先で将来への展望が見えない	16 勤務先の理念・方針
17 保護者への対応	18 その他()
19 特に不満はない	

問20 問19で回答したような仕事での脳の相談相手はどなたですか。(○は3つまで)

- | | | | |
|---|----------------|---|---------|
| 1 | 職場の上司 | 2 | 職場の同僚 |
| 3 | 職場の人事担当者 | 4 | 産業医 |
| 5 | 行政等の相談窓口 | 6 | 家族・親族 |
| 7 | 友人・知人 | 8 | その他 () |
| 9 | 相談していない・相談先がない | | |

問21 あなたが補助員として働いてこられた中で、やりがいを感じたことは何ですか。(○は主なもの3つまで)

- | | | | |
|---|--------------|---|--------------------|
| 1 | 自己実現が得られている | 2 | 信頼できる仲間ができた |
| 3 | 社会の役に立っている | 4 | 子どもの育ちに関わることができている |
| 5 | 自分の子育ての役に立った | 6 | 収入が得られている |
| 7 | その他 () | 8 | 特になし |

問22 あなたは、現在放課後児童クラブの現場で対応が難しいと感じていること(悩み)は何ですか。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|---|-----------|
| 1 | 保護者への対応 | 2 | 障がい児への対応 |
| 3 | 配慮が必要な児童への対応 | 4 | 衛生管理 |
| 5 | 体力的に子どもと一緒に活動 | 6 | 防災・防犯対策 |
| 7 | 事故発生時の対応 | 8 | 学校・地域との連携 |
| 9 | その他 () | | |

問23 あなたは自己研鑽のため、①現在取り組んでいること、②今後取り組みたいことは何ですか。

(○はいくつでも)

① 現在取り組んでいること

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 施設内の研修への参加 |
| 2 | 他の施設の研修への参加 |
| 3 | 自治体や関連団体等が行う研修や講演会等への参加 |
| 4 | 先進的な取組を行う他の施設への見学 |
| 5 | 専門書等での自主的な勉強 |
| 6 | キャリアアップ、昇進 |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特になし |

② 今後取り組みたいこと

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 施設内の研修への参加 |
| 2 | 他の施設の研修への参加 |
| 3 | 自治体や関連団体等が行う研修や講演会等への参加 |
| 4 | 先進的な取組を行う他の施設への見学 |
| 5 | 専門書等での自主的な勉強 |
| 6 | キャリアアップ、昇進 |
| 7 | その他 () |
| 8 | 特になし |

問24 問23①現在取り組んでいること」で「8 特になし」を選んだ方のみお答えください。現在、取り組んでいる理由は何ですか。(○はいくつでも)(それ以外の方は、問25へお進みください)

- | | | | |
|---|-------------------|---|------------------|
| 1 | 業務が忙しくて時間が足りない | 2 | 指導や研修をしてくれる人がいない |
| 3 | どんな研修等があるのかわからない | 4 | 自分には必要ない |
| 5 | 研修参加時に代替職員が確保できない | 6 | その他 () |

問25 勤務先でパソコン等の情報通信技術(CT)を使用し、すでに作業している事務をお答えください。

(○はいくつでも)

- | | | | |
|----|-------------------|----|--------------|
| 1 | 財務会計(集金)管理 | 2 | 職員会議記録の作成 |
| 3 | 行事計画の作成 | 4 | 配布物の作成 |
| 5 | 子どもの健康管理票の作成 | 6 | 活動計画・記録の作成 |
| 7 | 子どもの入退出管理 | 8 | 職員の勤務状況管理 |
| 9 | 給与計算 | 10 | 保護者への一斉配信メール |
| 11 | 施設のホームページ作成 | 12 | その他 () |
| 13 | パソコン等は未導入で作業していない | | |

問26 勤務先でパソコン等の情報通信技術(CT)を使用して、今後作業したい事務をお答えください。
(〇はいくつでも)

1	財務会計(集金)管理	2	職員会議記録の作成
3	行事計画の作成	4	配布物の作成
5	子どもの健康管理票の作成	6	活動計画・記録の作成
7	子どもの入退出管理	8	職員の勤務状況管理
9	給与計算	10	保護者への一斉配信メール
11	施設のホームページ作成	12	その他()

問27 補助員として働かためには、何が重要だと思われますか。下記の選択肢から特に重要だと思われることを第1位から第5位までお選びいただき、番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位

1	子どもへの愛情	2	生計の見通しが立つ資金
3	プライベートとの両立	4	家族の協力
5	上司の理解	6	仕事の量
7	余裕のある人員	8	子育て中の職員への配慮
9	福利厚生	10	相談できる相手
11	仕事に対するやりがい	12	職場の人間関係
13	保護者との人間関係	14	キャリアについての展望
15	教育・研修の体制	16	業務の効率化
17	放課後児童クラブに関する知識	18	放課後児童クラブの理念・方針
19	健康・体力	20	適性・能力
21	職場への通勤のしやすさ		

問28 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

1	現在の施設で補助員として働き続けたい	→ 問29へ
2	現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたい	→ 問29へ
3	他施設で補助員として働き続けたい	→ 問30へ
4	他施設で放課後児童支援員として働き続けたい	→ 問30へ
5	放課後児童クラブ以外の職場で働きたい	→ 問30へ
6	仕事はない	→ 問30へ
7	未定	→ 問31へ

問29 問28で1 現在の施設で補助員として働き続けたい、12 現在の施設で放課後児童支援員として働き続けたいと回答した方におうかがいします。

現在の施設で働き続けたい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1	福利厚生が充実している
2	子育て中の職員への配慮がある
3	通勤が便利
4	職場の人間関係がよい
5	勤務時間が希望に合っている
6	休暇が取りやすい
7	給与が希望に合っている
8	時間外勤務を軽減する体制がある
9	事故予防や安全対策が充実している
10	人員配置が充実している
11	メンタル面でのケアが充実している
12	教育・研修体制が充実している
13	キャリアアップの機会がある
14	仕事に関する相談支援体制が充実している
15	定年後も働ける仕組みがある
16	放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと一致している
17	保護者との関係が良好である
18	その他()

→次は、問31へお進みください。

問30 問28で「3 他施設で補助員として働き続けたい」、「4 他施設で放課後児童支援員として働き続けたい」、「5 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「6 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。

その理由は何か。(〇はいくつでも)

- 1 出産・子育て・家事・介護など家庭との両立が難しい
- 2 本人の健康面や体力面に不安がある
- 3 家族の健康問題や介護のため
- 4 家族の理解が得られない
- 5 近い将来結婚、出産を控えている
- 6 急いで仕事に就く必要がない
- 7 補助員以外の他の職種への興味・関心
- 8 他施設への興味
- 9 自分の適性、能力への不安
- 10 責任の重さ、命を預かることへの不安
- 11 給料に不満
- 12 雇用形態に不満
- 13 勤務時間に不満
- 14 時間外勤務が多い
- 15 休職が取れない、取りづらい
- 16 自宅から遠い
- 17 子どもを預けることができない
- 18 仕事量が多く、身体的な負担が大きい
- 19 職場の人間関係がよくない
- 20 保護者との関係がよくない
- 21 教育・研修体制が充実していない
- 22 キャリアアップの機会がない
- 23 雇用期間が満了するため
- 24 定年退職のため
- 25 放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと合わないため
- 26 放課後児童クラブに抱いていた理想と現実が違っていた
- 27 その他 ()

問31 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(〇はいとつ)

- 1 ある → 問32へ 2 ない → 問42へ

問32～問41は、問31で「1 ある」と回答された方（これまでに勤務先（子どもに関する仕事に限る）を退職した経験がある方）におうかがいします。

問32 直近に退職された勤務先は、下記のいずれにあたりですか。(〇はひとつ)

- 1 放課後児童クラブ
- 2 保育所
- 3 認定こども園
- 4 地域型保育事業所（家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所）
- 5 認可外保育施設
- 6 幼稚園
- 7 地域子育て支援拠点等市町村の子育て関連施設
- 8 乳児院、児童養護施設、障害者施設
- 9 小学校教諭
- 10 中学校教諭
- 11 高校教諭
- 12 児童館
- 13 放課後子供教室
- 14 その他 ()

問33 直近に退職された勤務先を退職された理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 出産・育児のため
- 2 結婚のため
- 3 本人の健康問題のため
- 4 家族の健康問題・介護のため
- 5 通勤が困難なため
- 6 他施設への興味
- 7 他分野（子どもに関する分野以外）への興味
- 8 職場の人間関係
- 9 時間外勤務が多いため
- 10 休職が取れない、取りづらいため
- 11 給与に不満があるため
- 12 身体的な負担が大きい
- 13 責任の重さ・事故への不安があるため
- 14 教育・研修体制が充実していないため
- 15 キャリアアップの機会がないため
- 16 雇用期間が満了するため
- 17 定年退職のため
- 18 施設の理念・方針が自分の考えと合わなかった
- 19 子どもに関する仕事に向いていないと感じたため
- 20 保護者との関係がよくないため
- 21 子どもに関する仕事に抱いていた理想と現実が違っていた
- 22 その他 ()

問34 直近の退職から現在の勤務先に就業するまでの期間はどれくらいでしたか。(○はひとつ)

1	ブランクなし	→	問35へ
2	1年未満	→	問35へ
3	1～2年未満	→	問34-1へ
4	2～3年未満	→	問34-1へ
5	3～5年未満	→	問34-1へ
6	5年以上	→	問34-1へ

問34-1 再就職までの期間が1年以上あった方におうかがいします。(それ以外の方は問35へお進みください。)**再就職された最も大きな理由は何ですか。(○はひとつ)**

1	収入を得る必要が生じた	2	知識や技術を活かしたい
3	社会に出て仕事をしたい	4	生きがいを持ちたい
5	子育てに目途がついた	6	空いている時間を有効に使いたい
7	その他 ()		

問35 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	福利厚生が充実している
2	子育て中の職員への配慮がある
3	通勤が便利
4	職場の人間関係がよい
5	勤務時間が希望に合っている
6	休暇が取りやすい
7	給与が希望にあっている
8	時間外勤務を軽減する体制がある
9	事故防止や安全対策が充実している
10	支援員や補助員の配置が充実している
11	メンタル面でのケアが充実している
12	教育・研修体制が充実している
13	キャリアアップの機会がある
14	仕事に関する相談支援体制が充実している
15	定年後も働ける仕組みがある
16	放課後児童クラブの理念、方針が自分の考えと一致している
17	保護者との関係が良好である
18	過去に働いたことがある職場だから
19	その他 ()

問36 現在の勤務先を探る際に重視した条件は何ですか。第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号を二記入ください。(回答はひとつずつ)

第1位	第2位	第3位
-----	-----	-----

1	賃金	2	雇用形態
3	勤務地・通勤時間	4	労働時間
5	休暇の取りやすさ	6	放課後児童クラブの方針

問37 現在の勤務先を探る際に利用した媒体等は何でしたか。(○はいくつでも)

1	ハローワーク	2	民間の職業紹介所
3	施設のホームページ	4	求人広告・求人情報誌
5	施設の就職説明会	6	友人・知人による紹介
7	出身学校・先生による紹介	8	過去に勤務していた職場による紹介
9	派遣会社からの派遣	10	その他 ()

問38 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何でしたか。(○は主なものひとつ)

1	ハローワーク	2	民間の職業紹介所
3	施設のホームページ	4	求人広告・求人情報誌
5	施設の就職説明会	6	友人・知人による紹介
7	出身学校・先生による紹介	8	過去に勤務していた職場による紹介
9	派遣会社からの派遣	10	その他 ()

問39 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。

①希望した雇用形態 (○はひとつ)	
1	正職員 (短時間除く)
2	短時間正職員
3	パート・アルバイト
4	嘱託
5	派遣社員
6	その他 ()
②実際に採用された雇用形態 (○はひとつ)	
1	正職員 (短時間除く)
2	短時間正職員
3	パート・アルバイト
4	嘱託
5	派遣社員
6	その他 ()

問40 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

求職の際に希望した労働時間	() 時間/週
実際に採用された際の労働時間	() 時間/週

問41 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、おおよその年収(総収入)ベースで金額をご記入ください。

求職の際に希望した給与水準	() 円/年
実際に採用された際の給与水準	() 円/年

問42 すべての方に、おうかがいします。
補訪員としての就労や労働探検について感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。
調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れご返送ください。



滋賀県

滋賀県放課後児童クラブ実態調査へのご協力のお願い

(事務員用調査)

日頃から本県の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。このたび、放課後児童クラブの利用児童数や職場環境の状況、また放課後児童支援員等として働くことへの不安や職場等に望むことなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の効果的な放課後児童クラブの質の向上の取組につなげることを目的として、放課後児童クラブにお勤めの方にアンケートを実施することといたしました。

皆様にはお忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和3年(2021年)6月

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、本年5月1日現在の状況をご記入ください。
2. この調査は無記名で行い、調査票に記入された内容は統計的に処理し、個人が特定できる公表いたしません。どうぞありのままをお答えください。
3. 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考えに近いものの番号に○印をつけてください。質問によっては具体的に数字等をご記入いただく場合があります。また、回答で「その他」を選ばれた場合は、その内容をカッコ内にてできるだけ具体的にご記入ください。
4. 回答については、①調査票にご記入いただき、同封の返信用封筒(切手不要)に入れてご投函いただく方法と②インターネットを利用して「しがネット受付サービス」で回答する方法の2通りあります。どちらの方法でも回答いただく場合でも6月30日(水)までに、ご投函もしくはしがネット受付サービスで回答くださいますようお願いいたします。

(調査に関する問い合わせ先)

滋賀県健康医療福祉部 子ども・青少年局 子育て支援室 子育て支援係

電話 077-528-3553

しがネット受付サービスのURLおよびQRコード

https://s-kantan.jp/pref-sigan-w/offer/offerList_detail.action?tempSeq=9821



4. 児童クラブ事務員調査

次の質問に順番に、もれなくお答えください。

問1 あなたご自身のことについてお答えをお願いします。

①年代	1 20歳代以下 4 50歳代	2 30歳代 5 60歳代以上	3 40歳代
②性別	1 男性	2 女性	3 その他
③現在の住所地	() 都・道・府・県 () 市・町・村		
④家計の主たる生計者	1 ご自身 3 親	2 配偶者 4 子ども	5 その他 ()

問2 あなたは今後、放課後児童支援員になろうと思えますか。(○はひとつ)

1 はい → 問3へ 2 いいえ → 問4へ

問3 放課後児童支援員になろうと思う理由は何ですか。(○はいくつでも)

1 子どもが好きだから	2 支援員に興味があるから
3 種々の職業だから	4 身近な職業だから
5 親や家族に勧められたから	6 子育てに役立ちと思うから
7 得意なことを活かせると思うから	8 人のため、社会貢献できる職業だから
9 自分の性格に合っているから	10 身近に支援員がいるから
11 処遇(給料)がよくなるから	12 その他 ()

現在の就業先の状況についてお答えをお願いします。

問4 現在の就業先の施設の設置・運営主体についてお答えください。(○はひとつ)

1 公設公営	2 公設民営	3 民設民営
--------	--------	--------

問5 現在の就業先の市町村名をご記入ください。

() 市・町

問6 現在の就業先での勤続年数は何年ですか。(○はひとつ)

1	1年未満	2	1～2年未満
3	2～3年未満	4	3～5年未満
5	5～10年未満	6	10年以上

問7 現在の雇用形態についてお答えください。(○はひとつ)

1	正職員(短時間除く)	2	短時間正職員
3	パート・アルバイト	4	嘱託
5	派遣社員	6	その他()

問8 昨年度(令和2年度)の時間外勤務を含めた1週あたりの平均的な労働時間は何時間ですか。(○はひとつ)

1	週10時間未満	2	週10時間～20時間未満
3	週20時間～30時間未満	4	週30時間～40時間未満
5	週40時間～50時間未満	6	週50時間～60時間未満
7	週60時間以上		

問9 昨年度(令和2年度)の1週あたりの平均的な残業時間は何時間ですか。(○はひとつ)

1	週1時間未満	2	週1時間～4時間未満
3	週4時間～8時間未満	4	週8時間～12時間未満
5	週12時間～16時間未満	6	週16時間以上

問10 あなたが取得可能な有給休暇は年間何日間程度ですか。前年度からの繰り越しがある場合は、それを除いた日数をご記入ください。

() 日

問10-1 取得可能な有給休暇のうち、どの程度取得できていますか。(○はひとつ)

1	ほぼ完全に取得している	2	半分以上取得している
3	半分未満しか取得していない	4	そもそも認められていない

問11 あなたの勤務地の①現在の状況と、②今後の希望をお答えください。(○はそれぞれひとつ)

①現在の状況			
1	自宅近く	2	居住都市町内
3	県内	4	県外
②今後の希望			
1	自宅近く	2	居住都市町内
3	県内	4	県外

問12 あなたの通勤時間の①現在の状況と、②今後の希望(許容できる上限)をお答えください。

(○はそれぞれひとつ)

①現在の状況			
1	15分以内	2	30分以内
3	1時間以内	4	1時間以上
②今後の希望			
1	15分以内	2	30分以内
3	1時間以内	4	1時間以上

問13 現在の給与について、お答えをお願いします。

①現在の給与の算定方法についてお答えください。(○はひとつ)

1	月給制	2	時給制	3	その他()
---	-----	---	-----	---	--------

②現在の給与について年収ベース(総支給額)でお答えください。(○はひとつ)

1	103万円未満	2	103万円～200万円未満
3	200万円～300万円未満	4	300万円～400万円未満
5	400万円～500万円未満	6	500万円～600万円未満
7	600万円以上		

問14 現在の給与は、勤務内容に比べ、どのように感じていますか。(○はひとつ)

1	高いと思う	→	間16～	2	やや高いと思う	→	間16～
3	妥当だと思う	→	間16～	4	やや安いと思う	→	間15～
5	安いと思う	→	間15～	6	わからない	→	間16～

問15 問14で「やや安いと思う」「安いと思う」と答えた方にお答えをお願いします。

①そのように回答された最も大きな理由は次のうちどれですか。(○はひとつ)

1	仕事の量が多い	2	職務内容のレベルが高い
3	責任が重い	4	勤務時間が長い
5	保護者の対応が大変	6	生計を維持するのに足りない
7	その他()		

②現在の給与(月額)に、あといくらか上乗せがあれば妥当だと考えますか。金額をご記入ください。

() 円/月

問16 現在の労働条件や労働環境について、特に不満に感じていることは何ですか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|----|--------------------|----|-----------------|
| 1 | 給与 | 2 | 勤務時間が長い |
| 3 | 勤務時間が短い | 4 | 仕事内容 |
| 5 | 雇用形態 | 6 | 休日・休暇取得 |
| 7 | 年度途中で長期休暇・退職ができにくい | 8 | 勤務施設の環境 |
| 9 | 通勤時間 | 10 | 仕事の責任の重さ |
| 11 | 職場内の人間関係 | 12 | 職場内に相談相手がいらない |
| 13 | 教育・研修体制 | 14 | 勤務先で将来への展望が見えない |
| 15 | 勤務先の理念・方針 | 16 | 保護者への対応 |
| 17 | その他 () | 18 | 特に不満はない |

問17 問16で回答したような仕事での悩みの相談相手はどなたですか。(〇は3つまで)

- | | | | |
|---|----------------|---|---------|
| 1 | 職場の上司 | 2 | 職場の同僚 |
| 3 | 職場の人事担当者 | 4 | 産業医 |
| 5 | 行政等の相談窓口 | 6 | 家族・親族 |
| 7 | 友人・知人 | 8 | その他 () |
| 9 | 相談していない・相談先がない | | |

問18 勤務先でパソコン等の情報通信技術(CT)を使用して、すでに作業している事務をお答えください。

(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|-------------------|----|--------------|
| 1 | 財務会計(集金)管理 | 2 | 職員会議記録の作成 |
| 3 | 行事計画の作成 | 4 | 配布物の作成 |
| 5 | 子どもの健康管理票の作成 | 6 | 活動計画・記録の作成 |
| 7 | 子どもの入退出管理 | 8 | 職員の勤務状況管理 |
| 9 | 給与計算 | 10 | 保護者への一斉配信メール |
| 11 | 施設のホームページ作成 | 12 | その他 () |
| 13 | パソコン等は未導入で作業していない | | |

問19 勤務先でパソコン等の情報通信技術(CT)を使用して、今後作業したい事務をお答えください。

(〇はいくつでも)

- | | | | |
|----|--------------|----|--------------|
| 1 | 財務会計(集金)管理 | 2 | 職員会議記録の作成 |
| 3 | 行事計画の作成 | 4 | 配布物の作成 |
| 5 | 子どもの健康管理票の作成 | 6 | 活動計画・記録の作成 |
| 7 | 子どもの入退出管理 | 8 | 職員の勤務状況管理 |
| 9 | 給与計算 | 10 | 保護者への一斉配信メール |
| 11 | 施設のホームページ作成 | 12 | その他 () |

問20 放課後児童クラブに事務員を配置することのメリットはあると思いますか。(〇はひとつ)

- | | | | |
|---|-----------|---|-----------|
| 1 | ある → 問21へ | 2 | ない → 問22へ |
|---|-----------|---|-----------|

問21 放課後児童クラブに事務員を配置することのメリットは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------|---|--------------------|
| 1 | 支援員等が子どもと向き合う時間の増加 | 2 | 支援員等が保護者と向き合う時間の増加 |
| 3 | 支援員等の時間外勤務の減少 | 4 | 支援員等が休暇を取りやすくなる |
| 5 | その他 () | | |

問22 今後の就業意向について、あなたの考えにもっとも近いものをお答えください。(〇はひとつ)

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 | 現在の施設で事務員として働き続けたい → 問23へ |
| 2 | 現在の施設で支援員等として働き続けたい → 問23へ |
| 3 | 他施設で事務員として働き続けたい → 問24へ |
| 4 | 他施設で支援員等として働き続けたい → 問24へ |
| 5 | 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい → 問24へ |
| 6 | 仕事はしない → 問24へ |
| 7 | 未定 → 問25へ |

問23 問22で1 現在の施設で事務員として働き続けたい、2 現在の施設で支援員等として働き続けたいと回答した方におかいます。

現在の施設で働き続けたい理由は何か。(〇はいくつでも)

- | | |
|----|-----------------------------|
| 1 | 福利厚生が充実している |
| 2 | 子育て中の職員への配慮がある |
| 3 | 通勤が便利 |
| 4 | 職場の人間関係がよい |
| 5 | 勤務時間が希望に合っている |
| 6 | 休暇が取りやすい |
| 7 | 給与が希望に合っている |
| 8 | 時間外勤務を軽減する体制がある |
| 9 | 事故予防や安全対策が充実している |
| 10 | 人員配置が充実している |
| 11 | メンタル面でのケアが充実している |
| 12 | 教育・研修体制が充実している |
| 13 | キャリアアップの機会がある |
| 14 | 仕事に関する相談支援体制が充実している |
| 15 | 定年後も働ける仕組みがある |
| 16 | 放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと一致している |
| 17 | 保護者との関係が良好である |
| 18 | その他 () |

→ 一次は、問25へお進みください。

問24 問22で「3 他施設で事務員として働き続けたい」、「4 他施設で支援員等として働き続けたい」、「5 放課後児童クラブ以外の職場で働きたい」、「6 仕事はしない」と回答した方におうかがいします。

その理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 出産・子育て・家事・介護など家庭との両立が難しい
- 2 本人の健康面や体力面に不安がある
- 3 家族の健康問題や介護のため
- 4 家族の理解が得られない
- 5 近い将来結婚、出産を控えている
- 6 急いで仕事に就く必要がない
- 7 事務員以外の他の職種への興味・関心
- 8 他施設への興味
- 9 自分の適性、能力への不安
- 10 責任の重さ、命を預かることへの不安
- 11 給料に不満
- 12 雇用形態に不満
- 13 勤務時間に不満
- 14 時間外勤務が多い
- 15 休暇が取れない、取りづらい
- 16 自宅から遠い
- 17 子どもを預けることができない
- 18 仕事量が多く、身体的な負担が大きい
- 19 職場の人間関係がよくない
- 20 保護者との関係がよくない
- 21 教育・研修体制が充実していない
- 22 キャリアアップの機会がない
- 23 雇用期間が満了するため
- 24 定年退職のため
- 25 放課後児童クラブの理念・方針が自分の考えと合わないため
- 26 放課後児童クラブに抱いていた理想と現実が違っていた
- 27 その他 ()

問25 現在の就業先以外で、過去に子どもに関する仕事をされたことがありますか。(回答はひとつ)

- 1 ある → 問26へ 2 ない → 問33へ

問26～問32は、問25で「1 ある」と回答された方（これまでに勤務先（子どもに関する仕事に限る）を選職した経験がある方）におうかがいします。

問26 現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 福利厚生が充実している
- 2 子育て中の職員への配慮がある
- 3 通勤が便利
- 4 職場の人間関係がよい
- 5 勤務時間が希望に合っている
- 6 休暇が取りやすい
- 7 給与が希望にあっている
- 8 時間外勤務を軽減する体制がある
- 9 事故防止や安全対策が充実している
- 10 人員配置が充実している
- 11 メンタル面でのケアが充実している
- 12 教育・研修体制が充実している
- 13 キャリアアップの機会がある
- 14 仕事に関する相談支援体制が充実している
- 15 定年後も働ける仕組みがある
- 16 放課後児童クラブの理念、方針が自分の考えと一致している
- 17 過去に働いたことがある職場だから
- 18 その他 ()

問27 現在の勤務先を探る際に重視した条件は何ですか。第1位から第3位まで、下記の選択肢の番号をご記入ください。(回答はひとつずつ)

第1位	第2位	第3位

- 1 賃金
- 2 雇用形態
- 3 勤務地・通勤時間
- 4 労働時間
- 5 休暇の取りやすさ
- 6 放課後児童クラブの方針

問28 現在の勤務先を探る際に利用した媒体等は何でしたか。(〇はいくつでも)

- 1 ハローワーク
- 2 民間の職業紹介所
- 3 施設のホームページ
- 4 求人広告・求人情報誌
- 5 施設の就職説明会
- 6 友人・知人による紹介
- 7 出身学校・先生による紹介
- 8 過去に勤務していた職場による紹介
- 9 派遣会社からの派遣
- 10 その他 ()

問29 その中で、現在の勤務先への就職に実際に結び付いた媒体等は何か。(○は主なものはひとつ)

1	ハローワーク	2	民間の職業紹介所
3	施設のホームページ	4	求人広告・求人情報誌
5	施設の就職説明会	6	友人・知人による紹介
7	出身学校・先生による紹介	8	過去に勤務していた職場による紹介
9	派遣会社からの派遣	10	その他 ()

問30 現在の勤務先への求職の際に①希望した雇用形態と②実際に採用された雇用形態をお答えください。

①希望した雇用形態 (○はひとつ)

1	正職員 (短時間除く)	2	短時間正職員
3	パート・アルバイト	4	嘱託
5	派遣社員	6	その他 ()

②実際に採用された雇用形態 (○はひとつ)

1	正職員 (短時間除く)	2	短時間正職員
3	パート・アルバイト	4	嘱託
5	派遣社員	6	その他 ()

問31 現在の勤務先への求職の際に希望した労働時間と、実際に採用された際の労働時間をそれぞれ、1週間あたりの時間数を数字でご記入ください。

求職の際に希望した労働時間	() 時間/週
実際に採用された際の労働時間	() 時間/週

問32 現在の勤務先への求職の際に希望した給与水準と、実際に採用された際の給与水準をそれぞれ、およびその年収(総収入)ベースで金額をご記入ください。

求職の際に希望した給与水準	() 円/年
実際に採用された際の給与水準	() 円/年

問33 すべての方に、おうちがほしいです。事務員としての就労や労働環境について感じておられることがあれば、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございます。
調査票は同封の返信用封筒(切手不要)に入れご返送ください。

放課後児童クラブ実態調査報告書
令和3年10月

発行：滋賀県 健康医療福祉部 子ども・青少年局
子育て支援室 子育て支援係
滋賀県大津市京町四丁目1番1号 TEL：077-528-3553